

令和7年度

第 号

監督職員	職 氏 名
監督員	
主任監督員	
総括監督員	

設 計 図 書

工事日数 540 日限り

工 事 名 平 戸 市 上 亀 工 業 団 地 （ 仮 称 ） 用 地 造 成 工 事

施 工 箇 所 平 戸 市 田 平 町 上 亀 免

平戸市 文化観光商工部 商工物産課

令和7年度平戸市上亀工業団地（仮称）用地造成工事特記仕様書（1）

第1章 総 則

第1条 本特記仕様書は、令和7年度平戸市上亀工業団地（仮称）用地造成工事に適用する。

第2条 受注者は、工事の施工にあたって本特記仕様書を厳守するほか、契約書、設計図書、長崎県建設工事共通仕様書〔長崎県土木部（令和7年4月）〕、長崎県建設工事施工管理基準〔長崎県土木部（令和7年4月）〕、土木設計（測量、調査）業務等共通仕様書〔長崎県土木部（令和7年4月）〕、長崎県土木工事検査基準、長崎県建設工事検査規程、労働安全衛生規則、建設副産物対策と建設工事公衆災害防止対策要綱、その他関連図書及び関連諸法令に準拠するものとする。

第3条 前払いの取扱い

本工事（業務）の契約締結年度には前払金及び部分払いの支払いは行わない。

第4条 特例監理技術者の配置

本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者（特例監理技術者）の配置を不可とする工事である。

第2章 施工条件明示

第1条 余裕期間【任意着手方式】

1. 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事（任意着手方式）であり、発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができる。
なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、「余裕期間制度を活用した工事試行要領」に定める「工期通知書（様式-1）」により、工事の始期を通知すること。（余裕期間：契約締結日から工事の始期の前日）
2. 余裕期間内に施工体制等（配置予定技術者の配置など）の確保が図られ、工事着手可能となった場合に限り、受注者は、実工期の開始日までの間に「余裕期間制度を活用した工事試行要領」に定める「工期変更申請書（様式-2）」による協議をもって、工事の始期を変更できる。
なお、工事の終期についても、工事の始期を前倒しする日数分を前倒しするものとし、実工期の日数に変更できない。
3. 週休2日モデル工事に限り、受注者が「必要工期」を算出し実工期が不足する場合は、施工計画書の提出前までに発注者と協議し、工期の変更を行うことができる。
4. 余裕期間内は、現場代理人、主任技術者または監理技術者を配置することを要しない。
5. 余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間中に増加する経費は受注者の負担とする。
6. 余裕期間内に行う準備は、受注者の責により行うものとする。

実工期：工事の始期から540日間

（余裕期間は最大60日間とし、契約締結日から最大60日後の翌日を工事着手期限とする）

7. 契約締結後において、前2、3のように実工期の変更の必要が生じた場合は、受注者は、発注者との協議の上、工期に係る契約を変更しなければならない。
8. 工事实績情報サービス（コリンズ）に登録する技術者の従事期間は、実工期（余裕期間を含めない）をもって登録するものとする。
9. 受注者は、工事完了後、アンケートの提出を求められた場合は、アンケートに協力するものとする。

- 第2条 本工事の施工にあたっての施工条件を下記に明示するので、受注者は、施工計画書の作成時及び工事施工時においては、十分留意するものとする。
- なお、明示した施工条件に重大な変更が生じた場合は、協議の上で契約変更の対象とする。

1. 工程関係

- ・ 部分的な工期の設定はない。
通常の施工時間帯での工事を想定している。
 - ・ 週休2日工事における現場閉所の実施
本工事は、週休2日工事（受注者希望型）であり、通期の4週8休以上となる現場閉所を行うための経費を計上している。受注者は週休2日を実施するか選択できるものとし、実施の有無および実施する週休2日のパターンについて、施工計画書の提出前までに監督職員と工事打合せ簿により協議を行うものとする。なお、実施する場合は、予定工程において設定された休日及び現場閉所を行うほか以下の1) から7) によるものとし、完成通知時において実施工程表等により実施状況を取りまとめ監督職員へ報告するものとするが、通期の4週8休以上が未達成の場合においても当面は減点評価を行わない。
工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場閉所の実施が不可能となる期間が生じる場合は、受発注者間で協議の上、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を別途定めるものとする。
- 1) 週休2日は工事着手日から工事完成日までの期間において、月単位または通期の4週8休（現場閉所率 28.5%）以上となる休日を確保することとする。なお、月単位の4週8休を実施する場合において、暦上の土曜日・日曜日の閉所で現場閉所率 28.5%に満たない月がある場合は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に、4週8休（28.5%）以上を達成しているものとみなす。
 - 2) 予定工程において設定された休日は、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き監督職員との協議なしに現場事務所を営業することや、工事及び測量等の現場作業のみならず書類整理等の事務作業も実施することが出来ない。やむを得ず休日に作業（災害対応や緊急工事等）を実施する場合には、監督職員と協議を行うこととする。
 - 3) 元請技術者（現場代理人、主任技術者、監理技術者）は現場閉所に合わせて、必ず休日とすること。
 - 4) 受注者は、当初設定された工期が週休2日を実施するにあたって適当ではないと判断した場合は、「必要工期」を算出し施工計画書の提出前までに発注者と協議を行うこと。発注者が妥当と判断した場合は変更の対象とする。
 - 5) 月単位の4週8休以上を選択し現場閉所が達成された場合は、月単位の4週8休以上となる補正係数により、変更契約を行うものとする。また、通期の4週8休となる現場閉所が達成されなかった場合並びに週休2日を選択しなかった場合は、補正を減じた変更契約を行うものとする。4週8休以上とは、現場閉所率 28.5%（8日/28日）以上の場合とする。
各週休パターンにおける補正係数については、下記のとおりとする。
【月単位の4週8休以上：補正係数】
 - ・ 労務費：1.04 ・ 機械経費（賃料）：1.02
 - ・ 共通仮設費：1.03 ・ 現場管理費：1.05**【通期の4週8休以上：補正係数】**
 - ・ 労務費：1.02 ・ 機械経費（賃料）：1.02
 - ・ 共通仮設費：1.02 ・ 現場管理費：1.03
 - 6) 対象期間中、工事現場にモデル工事であることを現場に看板等により掲示すること。
 - 7) モデル工事完了後、「週休2日」の実施の有無にかかわらず実態調査（アンケート）に協力すること。

2. 用地関係

受注者が施工上必要とする用地以外の借地は予定していない。

3. 工事支障物件関係

受注者は、工事支障物件関係の施工条件明示内容にかかわらず、工事着手前に電力、通信、ガス、水道設備等の埋設物、及び架空線等上空施設の有無について、各施設管理者（道路管理者等含む）に確認するものとする。地下埋設物等の調査は、別添「地下埋設物件の事故防止に関する特記仕様書」、架空線等上空施設の調査は、別添「架空線等上空施設への接触・切断事故防止に関する特記仕様書」による。また、工事施工箇所に地下埋設物件等が予想される場合には、当該物件の位置、深さ等を調査し監督職員に報告し、その対応について協議するものとする。

受注者は施工中、管理者不明の地下埋設物を発見した場合は、監督員に報告し、その処置については占有者全体の現地確認を求めるなど、管理者を明確にするものとする。

工事区域の支障物件については、確認し、十分注意を払い慎重に施工すること。

4. 公害関係

- ・ 工事に伴う公害防止対策（騒音・振動・粉塵・水質汚濁等）について、特段の考慮はしていない。
- ・ 事業損失に係わる事前調査等の実施は予定していない。

5. 安全対策関係

- ・ 交通安全対策としての交通誘導員について、以下の通り計上している。
交通安全対策として、木くず（除根殻）搬出時、重機械搬入搬出時、資材搬入時（セメント系固化材等）に交通誘導員を延べ20人計上している。
また、配置等場所については、別途協議する。
- ・ 安全対策としての施工方法等の制約はない。
- ・ 工事区域は、機雷・爆弾等の危険区域ではない。

6. 資機材等の搬入関係

- ・ 資機材等の搬入経路や搬入時間帯等に特段の制約は無い。

7. 仮設備関係

- ・ 仮設備に関して特段の指定事項はない。

8. 現場環境改善関係

- ・ 本工事は現場環境改善費を計上しており、施工に際し受注者は、下表の内容のうち原則として「計上費目（現場環境改善のうち仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）」ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）の合計5つの内容を実施するものとする。ただし、地域の状況・工事内容により実施費目数及び実施内容数を変更する場合は、監督職員と協議するものとする。
なお、受注者は現場環境改善の具体的な実施内容、実施期間について、工事着手前に監督職員へ提出するものとする。また、工事完了時には、現場環境改善の実施写真を提出するものとする。
- ・ 「親と子の現場見学会」を実施すること。この場合、「計上費目」は「地域とのコミュニケーション」の「⑤見学会等の開催（イベント等の実施含む）」とする。

計上費目	実施する内容（土木工事諸経费率計上分）
現場環境改善 （仮設備関係）	①用水・電力等の供給設備、②緑化・花壇、③ライトアップ施設、 ④見学路及び椅子の設置、⑤昇降施設の充実、⑥環境負荷の低減
現場環境改善 （営繕関係）	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む）、 ②労働宿舍の快適化、③デザインボックス（交通誘導警備員待機室）、④現場休憩所の快適化、⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 （安全関係）	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等）、 ②盗難防止対策（警報機等）、③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①完成予想図、②工法説明図、③工事工程表、 ④デザイン工事看板（各工事PR看板含む）、 ⑤見学会等の開催（イベント等の実施含む）、 ⑥見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営、 ⑦パンフレット・工法説明ビデオ、 ⑧地域対策費（地域行事等の経費を含む）、⑨社会貢献

9. 残土・産業廃棄物関係

- ・ 搬入や搬出等については下記のとおりとする。

(1) 建設発生土の利用(搬入)

本工事において、現場外からの搬入は想定していない。

(2) 建設発生土の搬出(処分場へ搬出の場合)

本工事において、現場外への搬出は想定していない。

(3) コンクリート塊・アスファルト塊の処理

本工事により発生するコンクリート塊やアスファルト塊は、「公表用積算基準(長崎県土木部)」の再資源化処理施設一覧に掲載の処理地から選定するものとし、事前に監督職員の承諾を得て搬出するものとする。

なお、発注者は「公表用積算基準(長崎県土木部)」の再資源化処理施設一覧に掲載の処理地で最も安価(積算時の処分費と運搬費の総価)となる再資源化処理施設を想定しているが、当該再資源化処理施設の受入れが不可能な場合または受注者が再資源化処理施設一覧より選定した処分場が発注者が想定した処理施設より安価となる場合は、協議の上、契約変更の対象とする。

(4) 木くず・・・産業廃棄物に該当する分

本工事により発生する木くず(伐開・除根殻)の搬出は、「公表用積算基準(長崎県土木部)」の再資源化処理施設一覧に掲載の処理地から選定するものとし、事前に監督職員の承諾を得るものとする。

なお、発注者は「公表用積算基準(長崎県土木部)」の再資源化処理施設一覧に掲載の処理地で最も安価(積算時の処分費と運搬費の総価)となる再資源化処理施設を想定しているが、当該再資源化処理施設の受入れが不可能な場合または受注者が再資源化処理施設一覧より選定した処分場が発注者が想定している処理地より安価となる場合は、協議の上、契約変更の対象とする。

なお、受注者は、搬出した数量を証明できる資料を監督職員へ提出するものとし、設計数量については協議の上で設計変更の対象とする。

(5) 廃プラスチック・・・産業廃棄物に該当する分

本工事により発生する廃プラスチックは、長崎県知事の許可を有する産業廃棄物処理業者から選定するものとし、事前に監督職員の承諾を得て搬出するものとする。

なお、発注者は最も安価(積算時の処分費と運搬費の総価)となる処理施設を想定しているが、当該処理施設の受入れが不可能な場合または請負者が選定した搬出場所が発注者が想定した処理施設より安価となる場合は、協議の上、契約変更の対象とする。

なお、搬出した数量を証明できる資料を監督職員へ提出するものとし、設計数量については協議の上で設計変更の対象とする。

(6) 舗装切断時の排水等

- ・ 受注者は、舗装切断時に発生する排水については、水質汚濁の防止を図る観点から、その排水を回収し、産業廃棄物(汚泥)として処理しなければならない。ただし、現場条件等により、これにより難しい場合は、産業廃棄物担当部局と協議のうえ適正に処理しなければならない。
- ・ 受注者は、当該排水の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されていることを確かめるとともに、整備、保管し、監督職員から請求があった場合はこれを提示しなければならない。なお、受注者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表を作成し、監督職員に提出しなければならない。
- ・ 当該排水の処理に関し、排水量に変更が生じた場合、排水量等に関する資料を受注者が作成し監督職員と協議を行うことにより、契約変更の対象とすることができる。
- ・ 受注者は、舗装切断時に排水が生じない工法(空冷式等)を採用した場合は、吸引する装置の併用など、粉塵の飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵は、舗装切断時の排水と同様、適正に処理しなければならない。
- ・ 受注者は、舗装切断時に発生する排水の処理にあたっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項」の規定に基づく産業廃棄物処分量の許可を受けた処理施設から選定し、適正に処理すること。
発注者は、その処理費用の計上にあたっては長崎県、長崎市、佐世保市の各自治体で作成している「産業廃棄物処理業者名簿」に掲載されている処理施設の中から処分費と運搬費の総価が最も安価となる処理施設を想定している。
なお、発注者が想定した処理施設の受入れが不可能な場合または受注者が選定した処理施設が発注者が想定した処理施設より安価となる場合は、協議の上、契約変更の対象とすることができる。

- ・「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正な処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を把握し処理業者に提供することが必要である。

10. その他

- ・現場発生品の発生及びその再使用は想定していないが、再使用可能な製品があれば、監督職員と協議し、指示を仰ぐものとする。

第3条 現場環境改善（快適トイレの試行設置）

1. 内容

受注者は、施工現場付近に以下の（１）から（１１）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。（１２）から（１７）については、満たしていればより快適に使用できる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める標準仕様】

- （１）洋式便器
- （２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- （３）臭い逆流防止機能（フラPPER機能）
（必要に応じて消臭剤等を活用し臭い対策をとること）
- （４）容易に開かない施錠機能（二重ロック等）
（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）
- （５）照明設備（電源がなくても良いもの）
- （６）衣類掛け等のフック付き、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重 5 k g 以上）

【快適トイレとして活用するために備える付属品】

- （７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- （８）入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配慮等）
- （９）サンタリーボックス（女性専用トイレに必ず設置）
- （１０）鏡と手洗い器
- （１１）便座除菌シート等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- （１２）室内寸法900×900mm以上（半畳程度以上）
- （１３）擬音装置（機能を含む）
- （１４）着替え台（フィッティングボード等）
- （１５）臭気対策機能の多重化
- （１６）窓など室内温度の調整が可能な設備
- （１７）小物置き場等（トイレトーパー予備置き場）

2. 設置に要する費用

設置に要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、快適トイレの設置にあたっては、上記 1 の内容を満たすことを示す書類を添付し、監督職員と協議の上、規格・基数等の詳細について決定することとし、精算変更時において、支出実態のわかる資料により監督職員と協議の上、従来品相当額を差し引いた後、上限51,000円/基・月を設計変更の対象とする。（「快適トイレとして活用するために備える付属品」の費用は、現場環境改善費（率）に含む。）

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事（施工箇所）までとする。

また、運搬費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事（施工箇所）より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

3. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

なお、「標準仕様」及び「快適トイレとして活用するために備える付属品」の一部の手配が出来ない場合においては、リース会社 2 社以上からの手配できない旨の証明書を添付し監督職員と協議を行い、仕様の一部を満たすトイレについても導入を可能とする。

第3章 そ の 他

第1条 設計変更等

設計変更等については、契約書第18条から第26条及び長崎県建設工事共通仕様書共通編1-1-18から1-1-20に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「設計変更ガイドライン 令和2年6月」（長崎県土木部）及び「工事一時中止に係るガイドライン 令和3年10月」（長崎県土木部）によることとする。

第2条 重点的な監督業務

本工事は、重点的な監督業務の実施を予定していない。

第3条 三者会議

本工事では、『工事実施段階における「三者会議」の実施要領〔長崎県〕』に基づいた三者会議の実施を予定していないが、三者会議の実施が必要と判断する受注者は、発注者と協議するものとする。

第4条 熱中症対策に資する現場管理費の補正について

1. 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行対象工事であり、熱中症対策に資する現場管理費補正を希望する場合は、受注者は施工計画書に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載するものとする。
2. 計測方法は、施工現場から最寄りの気象庁が公表している観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。ただし、これにより難しい場合は、施工現場を代表する1地点で気象庁の気温測定方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いるものとし、計測に要する費用は受注者の負担とする。
3. 真夏日率の算定式における工期は、工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
4. 施工計画書に基づき提出された計測結果をもとに対象期間内の真夏日率に補正係数を乗じて熱中症補正值を算出し、現場管理費率に加算するものとする。なお、真夏日とは日最高気温が30度以上の日をいい、WBGTを用いる場合は、WBGTが25度以上となる日を真夏日と見なす。

真夏日率 = 工期期間中の真夏日 ÷ 工期

熱中症補正值（%）= 真夏日率 × 補正係数※ （※補正係数1.2）

現場管理費

= 対象純工事費 × ((現場管理費率 × 施工地域を考慮した補正係数) + 熱中症補正值)

ただし、「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」及び「緊急工事の場合」と重複する場合においても、最高2%とする。

第5条 コンクリートの単位水量測定について（試行）

コンクリート構造物の品質確保を図る目的から、本工事で使用する生コン生産者以外の機関による単位水量測定を試行的に実施するものとする。

なお、単位水量測定に要する費用については、共通仮設費率分に含まれているため、別途計上は行わない。

地下埋設物件の事故防止に関する特記仕様書

第1条 総 則

本特記仕様書は、掘削を伴う工事及び調査等による地下埋設物件の損傷事故を未然に防止することを目的とする。

第2条 対象工事等

本特記仕様書は、掘削、地下杭、矢板工事等を伴う工事及びボーリング調査等を対象とする。

第3条 地下埋設物件に係る資料収集

1. 受注者は工事等着手前の準備にあたり、発注者から道路台帳、占用台帳、電線共同溝・情報ボックス台帳及びその他地下埋設物件を確認するために必要な最新の資料（以下、「各種台帳等」という。）の貸与を受けるものとする。
また、各種台帳等に記載のある占用物件の占用企業者（以下、「占用者」という。）からも最新の資料を収集すること。
2. 現地調査において各種台帳等に記載の無い物件（信号機、マンホール等）があった場合、または、地下埋設物件があると予想される場合、道路管理者や河川管理者の他、予想される管理者（上下水道、NTT、電力、公安委員会、ガス等）から最新の資料（本工事に伴い移設された地下埋設物件を含む）を収集すること。
3. 上記の資料収集により得られた地下埋設物件の位置を記載した別紙様式－1（地下埋設物件配置平面図）を作成するものとする。
4. 上記1，2の資料確認の履行については、工事着手前に地下埋設物確認書（様式－8）により監督職員に報告すること。

第4条 調整会議等の実施（工事情報の共有）

工事による地下埋設物への影響についての確認及び工事工程等の情報共有を図るため、必要に応じて、発注者、受注者、関係する占用者の三者による調整会議等を行うものとする。

第5条 地下埋設物件の位置確認

1. 本特記仕様書第3条により地下埋設物件が確認された場合は、掘削影響範囲（必要な掘削範囲及び土留工等の仮設物から50cm以上の範囲）を占用者との現地立会いを必ず行った上で決定し、別紙様式－1（地下埋設物件配置平面図）に記入し、監督職員に提出するものとする。
2. 立会いの結果、地下埋設物件があると認められた場合は、現地での方向、幅等の判る位置出し（各点のマーキング、ピン等）を行い、時間経過により位置出しが不明瞭にならないように必ず控えマーキング、ピン等を設置すること。なお、不明瞭になった場合は、再度位置出しを行うこととする。
3. その結果は、別紙様式－2（地下埋設物件事前確認簿）に取りまとめ、監督職員に提出しなければならない。

第6条 試掘等

1. 第5条の結果を基に監督職員と協議の上、調査工事区域内の地下埋設物件（電線共同溝、通信ケーブル、電力ケーブル及び水道・下水道・ガス等）の埋設位置、方向等について、更に確認が必要と判断された場合は、探査や試掘の調査を実施するものとする。
2. 試掘を行う際は、事前に当該箇所の地下埋設物件に係る占有者と、試掘位置、試掘方法について必ず確認を行い、原則立会を求めるものとし、試掘着手前にその結果を別紙様式－3（試掘方法計画書）に取りまとめ、監督職員に提出しなければならない。なお、占有者との打合せにおいて立会の回答が得られなかった場合で、どうしても立会が必要と判断される場合は、監督職員を通じて占有者に協力要請するものとする。
3. 試掘においては、必ず作業状況を監視する者（以下、「監視員」という。）を専任で配置して慎重に作業を行わなければならない。
4. 試掘に携わる作業員及び監視員に対しては、地下埋設物件の位置や掘削方法等について、試掘着手前に必ず現地で「試掘方法計画書」を提示して、周知、指導しなければならない。
5. 試掘において舗装版のカッター切断を行う場合は、想定外の浅層に地下埋設物件が設置されている場合もあるため、十分確認し実施すること。
6. 試掘において、地下埋設物件の位置が不確実な箇所及び地下埋設物件に50cm程度に近接した位置からは、人力による掘削施工で慎重に行い、地下埋設物件の損傷防止に努めなければならない。
7. 試掘は、本工事の施工掘削深さまでの確認を行うことを原則とする。
8. 作業中に地下埋設物件の位置出しが不明瞭となった場合は、必ず作業を中止し、再度位置出しを行った後に作業を行わなければならない。
9. 作業中に管理者の不明な地下埋設物件を発見した場合は、速やかに監督職員に報告するものとする。
10. 試掘が完了したら、別紙様式－4（試掘結果報告書）を作成のうえ、本掘削着手前までに監督職員に提出しなければならない。

第7条 試掘等費用

試掘等費用については計上していないが、現地調査の結果必要な場合は、監督職員と協議の上、契約変更の対象とする。

第8条 本掘削及び建込等

1. 本掘削に着手する際は、事前に別紙様式－5（本掘削方法計画書）を作成し、監督職員に提出するものとする。
2. 本掘削を行う際は、事前に当該箇所の地下埋設物件に係る占有者と掘削位置、掘削方法、立会の有無について必ず確認を行い、必要に応じて立会を求めるものとする。
3. 本掘削において、地下埋設物件が掘削影響範囲内にある場合は、必ず監視員（原則試掘に立ち会った者）を専任で配置して慎重に作業を行わなければならない。
4. 本掘削に携わる作業員及び監視員に対しては、地下埋設物件の位置や掘削方法等について、本掘削着手前に必ず現地で「本掘削方法計画書」を提示して、周知、指導しなければならない。

5. 舗装版のカッター切断を行う場合は、地下埋設物件の位置出しを確認しながら慎重に行うこと。
6. 本掘削において、地下埋設物件に50cm程度に近接した位置からは、必ず人力による掘削施工で慎重に行い、地下埋設物件の損傷防止に努めなければならない。
7. 作業中に地下埋設物件の位置出しが不明瞭となった場合は、必ず作業を中止し、再度位置出しを行った後に作業を行わなければならない。
8. 作業中に事前確認想定外の地下埋設物件への接触などが確認された場合は、直ちに作業を中止し、速やかに監督職員に報告するとともに、試掘等による地下埋設物件の再確認を行うものとする。なお、再確認の結果は、速やかに監督職員に報告しなければならない。
9. 本掘削が完了したら、別紙様式－6（地下埋設物件工事完了確認簿）を作成のうえ、監督職員に提出しなければならない。
10. 建込等においては、原則として地下埋設物件を回避することとし、建込等位置を決定し、監督職員に報告するものとする。この場合においては、前記1から6、8、9は適用しない。なお、地下埋設物件を回避できない場合は、施工方法等について監督職員と協議のうえ、決定するものとする。

第9条 監視員

試掘及び本掘削における監視は、主任（監理）技術者および現場代理人等が行うものとする。

第10条 教育の実施

新規入場者教育、KY活動並びに安全教育時等において、作業員、オペレーター等に対し、地下埋設物件事故防止対策についての教育の徹底を図ること。

第11条 履行状況確認

本特記仕様書の各条項毎の履行状況を別紙様式－7（履行状況チェックシート（案））により行い、第3条から第8条までの各段階毎に確認後、監督職員に提出しなければならない。

第12条 施工範囲の変更

変更指示等により施工範囲（掘削範囲）が変更になった場合は、本特記仕様書に基づき速やかに対応するものとする。

第13条 様式

本特記仕様書に定める別紙様式については、「長崎県建設工事共通仕様書」及び「土木設計（測量、調査）業務等共通仕様書」の提出書類様式集を参照すること。

第14条 その他

本特記仕様書に定めのない事項、疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

架空線等上空施設への接触・切断事故防止に関する特記仕様書

第1条 総則

本特記仕様書は道路工事等において架空線等上空施設への接触・切断事故を未然に防止することを目的とする。

第2条 対象工事等

本特記仕様書の対象は、架空線等上空施設に近接して施工する工事現場、土取り場、土捨て場、資材等置き場、資機材運搬経路等工事に係る全ての道路工事等とする。ただし、災害の応急復旧等緊急工事は対象外とする。

第3条 架空線等上空施設に係る資料収集

1. 受注者は工事等着手前の準備にあたり、架空線等上空施設を確認するために発注者から道路台帳、占用台帳等の必要な資料（以下、「各種台帳等」という。）の貸与を受けるものとする。

また、各種台帳等に記載のある占用物件の占用企業者（以下、「占用者」という。）からも資料収集すること。

2. 現地調査において各種台帳等に記載の無い物件（信号機、有線、CATV等）があった場合は、予想される管理者（NTT、電力、公安委員会、CATV等）からも資料収集すること。

第4条 架空線等の位置確認

1. 工事影響範囲内において、第3条による各種台帳等から収集した資料を参考に必ず現地確認を行い、架空線の場所、種類、高さ等について別途様式－1（架空線平面図）及び横断図に記載するとともに写真を添付し、工事着工前に監督職員に提出しなければならない。

第5条 事故防止対策

1. 第4条の調査結果で、工事影響範囲内の架空線については、「防護カバー設置」等の措置を電線管理者に依頼するものとする。なお、電線管理者が防護措置をとらない場合は、受注者は自ら「高さ制限装置の設置」や架空線が目立つような対策をとるものとする。

2. 施工計画書への記載

受注者は、上記第3条、第4条、第5条の1及び下記について、監督職員の確認を得てから、施工計画書へ明記するものとする。

1) 建設機械のブーム、ダンプトラックがダンプアップ状態等、架空線等上空施設への接触、切断が懸念される状態での移動・走行の禁止対策について

2) 建設機械等の施工時においては、接触・切断が懸念される状態での旋回の禁止対策について

3) 現場出入り口での「高さ制限装置の設置」や架空線等への「防護カバー設置」等の事前対策の実施方法

4) 禁止対策及び事前対策等の定期点検並びにオペレーター、運転手等への安全教育指導の実施方法について

3. 点検・教育の実施

1) 施工計画書に記載された禁止対策及び事前対策等は、定期点検を実施するものとし、改善並びに補修等が必要と確認された場合には、適宜対応するものとする。

2) 新規入場者教育、K Y活動並びに安全教育時等において、オペレーター、運転手等に対し、施工計画書に記載された項目について教育の徹底を図る。

4. 監督職員への報告

点検・教育の実施状況については、実施後速やかに監督職員へ報告すること。

第6条 施工範囲の変更

変更指示等により施工範囲が変更となった場合は、本特記仕様書に基づき速やかに対応するものとする。

第7条 様式

この仕様書に定める別紙様式については、「長崎県建設工事共通仕様書」の提出書類様式集を参照すること。

第8条 その他

この仕様書に定めない事項、疑義が生じた場合は、協議するものとする。

令和7年度平戸市上亀工業団地（仮称）用地造成工事特記仕様書（2）

第1章 総則

第1節 適用

第1条 本特記仕様書は、令和7年度平戸市上亀工業団地（仮称）用地造成工事に適用する。

第2条 官公庁への手続き等

本工事の施工に当たって必要となる官公庁その他に対する手続き等は、受注者において行うものとする。

官公庁及び地元住民等に交渉を要するとき、または交渉を受けたときは、速やかにその旨を発注者に報告し協議するものとする。

第3条 測量等

（1）各工種の施工に先立ち精密な測量を行い、基準点及び水準点を要所に設けなければならない。また、基準点の保全に努めなければならない。

（2）施工の支障となる基準点及び水準点について監督職員と協議のうえ移設しその成果を図面に示して提出しなければならない。

（3）設計図書に示す作業段階において検測及び確認を受けなければならない。

第4条 工事記録

各構造物の基礎状況、材料、施工管理、施工方法など施工過程の諸記録を監督職員の指示に従い提出しなければならない。

第5条 観測記録

工事により影響が発生する危険性のある既設構造物や地下水等について工事着手前から定期的に観測を行い、必要に応じて諸記録を監督職員に報告しなければならない。

第6条 段階確認及び検査

以下の工事時点において、立会いまたは検査を受けなければならない。

- ・工事着手前または着手直後、及び工事中間時
- ・工事用引照点、用地境界、中心点等設置時及び工事測量表作成時、その都度。
- ・法線設置完了時
- ・刈払・伐開・除根の施工後
- ・段切り着工前及び施工後
- ・土（岩）質の変化時
- ・構造物（排水管渠等）床掘・埋戻し 施工中適時
- ・排水管渠等地中埋設構造物 施工中適時及び覆土前
- ・鉄筋組立施工後
- ・ブロック積擁壁工 施工中適時
- ・鉄筋コンクリート擁壁工 施工中適時
- ・法面整形 施工中適時
- ・厚層基材吹付 現場配合時
- ・地盤改良工 施行中適時、完了時
- ・盛土工敷均し締固め 施行中適時
- ・その他監督職員が指示した時

なお、工事の検査のため必要がある場合には、その工事の一部または全部の工事を中止させ、または一部破壊する場合がある。この場合、受注者は異議の申し立てをすることはできず、且つ十分な便宜を図るものとし、検査に必要な労力などは受注者が提供しなければならない。検査の結果、工事の一部または全部に欠陥が発生された時は、受注者は全て自らの負担においてその欠陥のある工事部分及び検査のため取り壊した部分を補修または取替えなければならない。

第7条 工事の一時中止

発注者は次に掲げる事項について受注者に対し、必要と認める期間、工事の全部または一部の中止を命ずることがある。その場合、受注者は、ただちにこれに従わなければならない。

- ・天候の悪条件により、地域環境や工事に損害を生じる恐れのある場合
- ・受注者が設計図書・仕様書・その他の関係基準または監督職員の指示に従わない場合
- ・人命に危害を与える恐れのある場合
- ・災害・または異常でかつ予想できなかった地下の状況により、工事の続行が不適当、または不可能となった場合

第8条 書類の提出及び報告

受注者は工事施工に先立ち下記に掲げる項目のほか、一般仮設計画、堀削、築堤計画、主要機械の使用計画及び搬入搬出などを記載した施工計画書及び工程表、その他を作成し監督職員の承諾を得なければならない。また、何らかの理由によりこれらを変更する場合も同様とする。

その他（現場組織表、安全管理体制図、施工方法、施工順序、使用機械、主要資材、施工管理計画、緊急時の連絡体制図、交通管理要領、環境対策、作業現場の環境整備、再生資源の利用促進、その他監督員が指示したもの）。

受注者は、工事施工中の毎月の実績を報告しなければならない。その他必要とする報告の内容は、その都度、監督職員が指示する。

第2節 安全管理

第1条 交通安全

工事用機材及び土砂の搬入搬出を行う場合は、あらかじめ交通安全対策について、関係機関と協議し、道路交通に支障をきたさないよう路面の清掃等をおこなうこと。

通行の安全を確保するため必要な個所には、防護柵の安全施設を設置しなければならない。

見通しの悪い交差点その他必要な個所には、警備員を配置し、事故防止に努めなければならない。

工事施工中の危険、障害等を防止するため、受注者は工事標識及び夜間照明等の適切な設備を施し、保全（安全）には万全の注意をはらわなければならない。

第2条 防災計画

工事による土砂の流出の恐れがある場合、沈砂池、土留め施設等を設け、又必要に応じ、雨水等を一時貯留して調整しながら流出させるなど適切な措置により、開発区域外に被害を及ぼさないようにすること。なお、これらの施設並びに排水路に土砂が堆積して機能を失い破壊の原因とならないよう常に維持管理に努めること。

谷部の埋立てを行う場合は、地形、地質、地下水等の状況を十分把握し、透水管暗渠の排水施設により土砂が崩壊しないよう防災工事を実施しなければならない。

災害防止のため、排水施設等の整備を先行しなければならない。

第3節 材料

第1条 使用の試験成績書等資料の提出

見本または資料を提出する材料は下記のとおりとする。

- ・コンクリート2次製品
- ・暗渠排水管等
- ・法面保護材料
- ・その他監督職員が指示するもの

第2条 材料の試験及び検査

使用材料の試験及び検査は下記のものについて行うものとする。

- ・生コンクリート及び生アスファルト
- ・その他監督職員が指示するもの

ただし、品質、規格等の証明があるものについては検査を省略することがある。

第4節 その他

第1条 工事現場進入路等

本工事に使用する重機及び資材等の搬入路は、監督職員と事前に協議するものとする。

また、受注者は大型輸送機械による交通安全輸送に関する計画を書面で監督職員に提出すること。

第2条 土地の利用

受注者は、営繕施設等、直接工事現場で必要とするもの以外の施設は、事業用地外に設置するものとする。

受注者は、工事着手前に発注者が確保している工事用地等について、監督職員の立会のうえ、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。なお、工事施工上、境界杭が支障となり紛失等の恐れのある場合については、控杭を設置しなければならない。

第3条 土量バランスの報告

造成工事で監督職員の指定する時点において、それまでの運土量ならびに全体土工量の切盛バランス見込みを監督職員に報告するものとする。

第2章 施工

第1節 土工

第1条 土質区分

土質区分は、共通仕様書第4章第3節の土及び岩の分類による。

第2条 盛土

盛土材料は、切土による発生土を流用するものとする。

盛土の安定の確保を十分考慮した載荷速度により、地盤強度の増加を図りながら盛土することを原則とする。

第3条 除根

除根及び除草は切盛土の施工に先立ち行うものである。

除根前に、造成地区の外周境界を旗等により範囲を表示し、監督職員の確認を受けなければならない。

大石類、根株の除去に伴って凸凹や空洞が生じたときは、ブルドーザ等で整地し降雨及び地表水などによる水たまりができないようにしなければならない。

排根作業にあたり、表土の持ち去りを極力少なくするよう注意しなければならない。

集積した刈払い物等は関係法令により、適切に処理するものとし、できる限り再利用を図らなければならない。また、その処分方法について事前に監督職員と協議しなければならない。

除根作業後は、監督職員に報告したのちに次の作業に着手するものとする。

第4条 排水処理

工事箇所の湧水は施工前にその処理について、監督職員と協議するものとする。

工事施工中、常に降雨などによる滞水を生じないように適当な縦横断勾配と仮排水設備を設け、常に良好な排水状態を維持しなければならない。

排水は表面、法面、小段、暗渠等系統的に排水施設を計画し、造成部分の一部に排水系統の行きわたらない部分が生じないようにしなければならない。

第5条 濁水対策

施工区域内においては、防災計画に基づき沈砂池・板柵などを設置し土砂の流失防止に努めること。

土砂が調整池や河川等に堆積または流失した場合は速やかに撤去する事。

沈砂地が異常に急速に堆積し、下流に対して溢流の危険が予想される場合には堀削、嵩上げ等の処理を受注者側で講ずるものとする。

第2節 切土一般

第1条 切土一般

切取りは、設計図書に基づきできる限り上部から不陸のないよう行うものとし、切土中に土質の著しい変化がある場合、または流用土として使用できない土質が出てきた場合には、速やかに監督職員と協議しなければならない。

切土中に予期せぬ埋設物を発見した場合は、速やかに監督職員に報告し指示を受けなければならない。

湧水箇所については、地山の安定に注意し、施工中の排水を処理しながら施工しなければならない。

土砂と岩との判定及び締固め回数については、別途指示する土工機械の作業量試験（ヤード試験）を行い、標準作業量を決定する。また、重機走行にあたりトラフィカビリティ確保のために地盤改良が必要な場合は、地盤改良材配合試験などを行い、監督職員と協議のうえ行うものとする。

第2条 切土施工

切土施工中に地盤崩壊・地滑り等が発生した場合、あるいはそれらが生じる恐れがある場合は、必要な処置を講ずると共に、速やかにその対策工法等について監督職員と協議するものとする。

堀削に当たり必要な断面を確保すると共に、極力過堀りを避けるものとする。

法面は、定められた勾配に凸凹のないよう仕上げなければならない。

基礎地盤について指定された支持力が得られない場合、または均等性に疑問がある場合は監督職員と協議しなければならない。

受注者は、切土施工中の地山の挙動を監視しなければならない。

第3条 岩石破碎

岩石破碎箇所における法の仕上がり面近くでは過度な堀削は避けるものとし、浮石等が残らないようにしなければならない。

岩堀削により、生じた大きな破碎岩は、30cm以下に小割を行い、盛土材料に適したものとしなければならない。

第4条 切土の法面仕上げ

浮き石等は必ず除去し、転石等で法面の不陸を招く恐れがある場合は、監督職員と協議のうえ施工するものとする。

第3節 盛土一般

第1条 盛土一般

盛土材料は、雑物を含まない使用目的に適合したものでなければならない。

また、盛土地盤上にへどろ等の予期しない不良土質が現れた場合は、監督職員と協議のうえ処理しなければならない。

盛土箇所に管渠等の構造物がある場合は、管渠等を損傷しないように留意し、偏心偏圧のかからないよう左右均等、かつ、層状に締め固めなければならない。

盛土基礎地盤について指定された支持力が得られない場合、または、均等性に疑問がある場合は監督職員と協議しなければならない。

第2条 盛土材料

切土より発生する土を盛土に流用するものとする。

第3条 軟弱地盤上の盛土

沈下の恐れがある場合の丁張りは、位置、高さ等、常時点検しなければならない。

沈下量確認方法は次の各項等について監督職員と協議しなければならない。

(1) 切土（土取場）における跡坪測量による確認

(2) 沈下板などによる確認

(3) その他必要な記録

軟弱な地盤や地下水位の高い場所に盛土を行う場合は、速やかに排水溝等を設け、盛土の乾燥を図らなければならない。

工事中、地盤に予期しない沈下または滑動を生じた場合は、あるいはそれらが生じる恐れがある場合は、直ちに工事を中止し、監督職員と協議しなければならない。

第4節 造成土工

第1条 盛土材料

盛土材の主要材料が岩塊、玉石等である場合は、盛土下部に用いるなど構造物の基礎及び地下埋設物に悪影響を及ぼさないよう使用する場所に注意すること。この場合は空隙を細かい材料で充填しなければならない。

貢岩、泥岩に対しては、スレーキング現象による影響を十分検討しておくこと。

第2条 盛土施工

現地盤の勾配が1：4より急勾配を有する現地盤の地表面が滑り面となる恐れがある場合は、段切り等を施し、現地盤との密着を図り滑動の防止を図らなければならない。この場合、一段当たりの最小幅は1m、最小高さは50cmとする。

受注者は、特に指示する場合を除き、片切り、片盛りの接続部には、1：4程度の勾配をもって緩和区間を設けるものとする。また、堀削（切土）部、盛土部の縦断方向の接続部には、岩の場合1：5以上、土砂の場合1：10程度のすりつけ区間を設け、路床支持力等の不連続性を避けなければならない。

盛土は、最凹部から各層をできるだけ水平に締め固めながら、逐次所定の高さまで盛り上げるものとし、高撒きによる盛土を行ってはならない。なお、一層の仕上がり厚は、30cm程度を標準とする。その際、締め固め機械の通過軌道を十分重ね合わせなければならない。

在来土に薄い盛土を行う場合、あらかじめその表面をかき起こし、新旧一体となるよう施工しなければならない。

第3条 高盛土に関する管理

当団地の盛土高は、10メートル程度になる区域がかなりあり、最大のところでは約13メートルにもなるため、層別沈下計を設置、測定し沈下に対する動向を観測する。なお、層別沈下計はその位置を測定することによって、盛土工施工中・施工後にわたり層毎の沈下量を把握するためのものである。

盛土施工後は、地表面沈下計によりさらに詳しく盛土の沈下動向等について把握するため、層別沈下計の設置を行うこと。なお、設置個所は別途協議し、それ以外は地表面沈下計等により観測すること。

第4条 品質管理及び品質規格（案）

（１） 土質変化が少なくかつ高含水比粘性土ではない普通土

工種	種別	区分	試験（測定項目）	試験（測定項目方法）	試験（測定）回数		品質規格	処理
					盛土の20%	初期以降		
造成工事	盛土工	盛土の管理試験	盛土材料試験 ・比重試験 ・含水量試験 ・粒度試験 ・液性限界試験 ・塑性限界試験 ・突固試験	J I S A 1 2 0 2 J I S A 1 2 0 3 J I S A 1 2 0 4 J I S A 1 2 0 5 J I S A 1 2 0 5 J I S A 1 2 1 0 E 法	当初に1回	土質変化時		
			室内試験 ・含水量試験 ・突固試験	J I S A 1 2 0 3 J I S A 1 2 1 0	3,000 m ³ に1回	6,000 m ³ に1回		
			現場試験 ・現場密度試験	J I S A 1 2 1 4	3,000 m ³ に1回	6,000 m ³ に1回	基面下1.0mまで $\rho d 95\%$ 以上 基面下1.0m以上 $\rho d 90\%$	所定の規格値が得られない場合は、再転圧、置換等の処理を行う

（２）破砕した軟岩Ⅰ・Ⅱ・中硬岩の締固め管理

J I S A 1 2 1 4による盛土の基準密度試験及び現場の乾燥密度試験が行えない場合。

基準密度については、通常ロックフィルダム工事等において基準密度を求めるために行われる直径30cmの大型モールドを用いてJ I S A 1 2 1 0に準じて（特にJ I Sに定められる標準締固めエネルギーに等しくなるよう）求め、一層の締固め回数等の条件を定めるよう注意する。

現場の乾燥密度については、J I Sに定められている砂置換法が5.3cm以下の試料にしか適用できないことから、土質工学会等で定められている水置換法及び日本高速道路（株）等で採用されているR I法を用い、これにより求めた値の相関関係について確認した後、R I法により締固め度を求め、盛土の品質管理を行う。

工種	種別	区分	試験（測定項目）	試験（測定項目方法）	試験（測定）回数		品質規格	処理
					盛土の20%	初期以降		
造成工事	盛土工	盛土の管理試験	盛土材料試験	・比重試験 J I S A 1 2 0 2 ・含水量試験 J I S A 1 2 0 3 ・粒度試験 J I S A 1 2 0 4 ・液性限界試験 J I S A 1 2 0 5 ・塑性限界試験 J I S A 1 2 0 5 ・突固試験 J I S A 1 2 1 0	当初に1回	土質変化時		
			室内試験	・含水量試験 J I S A 1 2 0 3 ・突固試験 J I S A 1 2 1 0 o r ・水置換法 ・R I 法	3,000 m ³ に1回	6,000 m ³ に1回		
			現場試験	・現場密度試験 J I S A 1 2 1 4 o r ・R I 法	3,000 m ³ に1回 施工箇所1層ごとに1日15点	6,000 m ³ に1回	基面下1.0mまで $\rho d 95\%$ 以上 基面下1.0m以上 $\rho d 90\%$	所定の規格値が得られない場合は、再転圧、置換等の処理を行う

第5条 岩石材料を使用する場合の土質試験

「土の締固め試験」「粒度試験」を行い、細粒分含有量を調べ、25%以下（スレーキング特性）であることを確認すること。

圧密沈下を極力抑えるために空気間隙率で13%以下になるよう破碎転圧すること。

実施に当たっては、これらの留意点に基づき盛土体の安定性（変位や挙動など）に十分注意を払い安全かつ慎重な施工に努めること。

第5節 防災工

第1条 工事中の水防等

施工中は現場の状況に合わせて十分な排水処理を行い、常に良好な施工条件を確保すること。

気象情報等に注意し、見張り人などを配置し、降雨時に土砂の流失等の災害を起こさないように努めなければならない。

土砂の流失等により万一損害を与えた場合は、速やかに監督職員に報告することとし、この場合、受注者は損害を補償すること。

第2条 暗渠排水管及び土砂流失防止堰堤の設置に当たっては、現地地形を十分に考慮した上で監督職員と協議し実施すること。

第3章 その他

第1条 工事環境に対する計画

工事の施工に際しては、粉塵、水質汚濁、騒音、振動、水象、交通傷害などにより地域住民との摩擦、トラブルを防止するよう綿密な検討を施工計画書作成時に行うものとする。

工事中に地域住民から苦情・意見等があった場合は、直ちに監督職員に報告し指示を受けるものとする。

受注者は、工事車両が車輪に泥土、土砂を付着したまま現場から外部に出る恐れがある場合、タイヤ洗浄装置及びこれに類する装置を設置し、その対策を講じなければならない。

工事用機械及び車両の走行によって砂塵の被害を第三者に及ぼす恐れがある場合、散水及び路面清掃を行わなければならない。

工事により発生する濁水の放流に起因した事故等が発生しないよう排水先の水路・河川等の維持管理を行わなければならない。

第2条 長崎県産品資材の優先使用

本工事に使用する資材（アスファルト合材、生コンクリート、木材、砕石類、リサイクル製品、コンクリート2次製品等）については、県内で産出、生産または製造され、その規格、品質が適正である場合は、これを優先して使用すること。

本工事に使用する工事材料を工事着手前までに監督職員へ提出しなければならない。

第3条 再資源の利用

受注者は資材の使用に際し、再生資源（再生加熱アスファルト、再生クラッシャーラン、再生粒度調整砕石、再生コンクリート砂等）を利用するものとする。なお、使用に際し「プラント再生舗装技術指針」を遵守するものとする。

第4条 資料の提出

受注者は工事の変更時及び完成時には、必要な図面や資料等を提出するものとする。

なお、工事途中においても、監督職員の指示に従って必要な図面等は速やかに提出するものとする。

第5条 安全対策協議会

受注者は災害防止の徹底並びに各工事の円滑化を図るために、発注者、地元住民代表者及び工事関係者で組織する安全対策協議会を設置することとする。

第6条 疑義事項の処理

本特記仕様書は、設計図書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、監督職員と協議するものとし、承諾を得た上で実施しなければならない。

第4章 工事概要

第1節 準備工

第1条 除根、集積、搬出

第2章第1節第3条に記す。なお、これ以外のものについては、平戸市指定の処分場において一般廃棄物として処分すること。その際は市関係者と連絡を取り指示に従うこと。

第2条 その他の廃棄物

当工事区内で上記以外の廃棄物が発生した場合は、関係法令を遵守し適正に処理すること。

第3条 段切り

傾斜地盤では盛土に先立ち段切りを行い原地盤と盛土が一体的になるように施工する。
原地盤が1：4（約14度）以上の勾配をなしている場合に設ける。

原地盤が岩である場合を除き、その大きさは一段の高さが50cm以上とし斜面に強度の劣る表土や風化土がある場合には、それらの土層を除去した後の地盤を対象とする。

また、段切り面には排水のために勾配をつけること。

段切りについては、監督職員の立会いのうえ確認を得ること。

第2節 防災工

第1条 仮設沈砂池・暗渠工

造成工事期間中の降雨時の土砂・濁水等は仮設沈砂池に流入させ、仮設沈砂池で滞留させることにより濁水中の土砂の沈殿を促し区域外への土砂及び濁水の流出を抑制する。
また、土堰堤内仮設沈砂池には縦樋集水柵を設置し、縦樋集水柵の上部に縦樋排水管（有孔管φ500）を設け排水機能及び流出抑制機能をもたせる。

特に暗渠排水、縦樋集水柵の施工については、その能力が発揮できるよう、入念な計画図を作図すると共に、常に維持管理に努めること。

暗渠は本支線を問わず在来の溪床に必ず設け樹枝状に埋設し、完全に地下水の排除ができるように計画する。また、溝底部が凸凹、蛇行のないよう施工すること。

暗渠工は吸水渠とし有孔管にフィルター材を巻いた構造とする。

被覆材は圧密後の状態で設計図書に示す厚さを確保し、かつ管体を十分被覆するよう施工すること。

暗渠工における排水管の管径は30cm以上、放流管の管径は15cm以上の吸水暗渠を設けるものとする。

地下排水工で排水工内に粘土等の細粒分が侵入し排水効果を低下させることのないように留意する。

盛土本体は、縦樋集水柵の方向に傾斜をつけながら順次盛り立てていく。

縦樋集水柵は有孔管にフィルターを巻き付け、盛り立てにつれて碎石などを積み上げたものである。

縦樋集水柵の布設計画高は、地表面（計画高）よりマイナス2.0mまで（キャップ等天端）とすること。また、中心点の座標及び施工水準高を防災計画平面図にプロットし提出すること。

計画図に基づき、段切り・暗渠排水工等を施工するが現況との相違により変更が生じた場合、監督職員と協議すること。

その場合、防災上必要と認めざるを得ない施設については、別途協議するものとする。

第3節 整地工（土工）

第1条 用地造成の仕様

敷地高（計画高） $FH = +140.75 \sim +141.7\text{ m}$

有効面積 $A = \text{約} 2.0\text{ ha}$

取扱い土量：（切土） $V = \text{約} 10.1\text{ 万 m}^3$

（盛土） $V = \text{約} 10.8\text{ 万 m}^3$

第2条 切土計画

- 1 土砂は、ブルドーザ及びバックホウ+ダンプトラックで掘削・運搬する。
軟岩(Ⅰ・Ⅱ)は、リッパ付ブルドーザでリッピング掘削起砕を行い岩盤を緩めたあと、ブルドーザ及びダンプトラックで掘削・運搬する。

2 土量配分計画

中硬岩は、掘削箇所に大型ブレイカが入り掘削を行い、バックホウで積込み、ダンプトラックで運搬する。

土質区分	土岩率	切土量
礫質土	49%	50,000 m ³
軟岩(Ⅰ)	35%	35,000 m ³
軟岩(Ⅱ)	7%	7,000 m ³
中硬岩	9%	9,000 m ³
合計	100.0 (%)	101,000 m ³

土砂・軟岩(Ⅰ・Ⅱ)・中硬岩等の推定岩盤線の大幅な変更等については、現場立会の上、リッピング試験等の結果をもとに協議するものとする。なお、変更にあたっては受注者は変更資料を作成し監督員と協議を行うものとする。

3 岩の分類判定方法と整理方法

判定方法	判定結果整理方法
(1) ヤード試験 ブルドーザによる掘削試験又はリッパ装置付ブルドーザによる起砕試験	試験実施結果報告書及び実施状況写真の作成。 ヤード試験実施の際には、(2)、(3)、(4)の判定方法も併用して実施する。
(2) リッパ装置付ブルドーザーによる起砕状況の確認	写真：リッピング状況、起砕後の状態、 キャタピラー等で踏んだ状態が判別できるもの。 測定位置、岩区分及び岩盤高を表示。
(3) 目視、ハンマー	写真：岩の色や亀裂の状態、ハンマーで叩いた後の状態が判別できるもの。 測定位置、岩区分及び岩盤高を表示
(4) 弾性波測定(簡易) 反発度(ロックシュミットハンマー) 軟岩Ⅰ－反発度の値15以下 軟岩Ⅱ－反発度の値15～27 中硬岩－反発度の値27～36 硬岩－反発度の値36以上	写真：測定状況 測定結果報告資料

上記で段階確認を行う。

4 切土法面整形

ブルドーザで仕上面より30cm程度控えて掘削した後、土砂部はバックホウ及び人力整形し岩盤部は油圧ブレイカ装置付バックホウで法面を整形した後、ピックハンマーにより人力整形する。

切土法面及び盛土法面の法勾配については、設計図書によるものとし、法面に切土法面及び盛土法面が混在する場合、原則として盛土法面に合わせなければならない。

第3条 盛土計画

1 盛土材料

地山から自然含水比の状態で採取し、室内試験によって測定したコーン指数(q_c)が400KN/m²未満であってはならない。なお、試料は地山の土質ごとの代表的判定ができるものを採用する。

盛土材の最大寸法は100mm(転石の場合は300mm)とし、径が37.5mm以上のものの混入率は40%以下とする。ただし、仕上げ面より1.0mの範囲内には転石(100mm)を含んではならない。

敷地内の流用土を盛土材とする場合は、最大寸法は300mmを原則とする。

2 試験盛土

締固め機種、締固め回数及び撤出し厚、含水比調節の可否を適切に定めることを目的とする。試験土の撤出しは厚さを20～50cmの範囲で3種類以上変えて行い、できるだけ均一な材料により均等な初期密度となるようにする。締固め機種は工事及び土質の状態に適用しうる実際の1または2機種とし、場合によっては同一機種で重量、空気、振動数を変えて行う。

3 敷均し・締固工 機種の選定

盛土の敷均し・締固めは、ブルドーザ及びブルドーザ+タイヤローラによることとしているが突起の先端に荷重を集中することができ土塊や岩塊の破碎や締固めに効果があるタンピングローラ(シープスフートローラ、テーパーフートローラ)や岩塊や岩片をその軟らかいものはフートで破碎し、破碎しきれないものはその上を通過するたびに、どんどん踏み込んでいくことができるコンパクトドーザや被牽引式の大型振動ローラ等の締固め効果が期待できる機種での施工方法・管理規程を立案し監督職員と協議すること。

4 宅盤仕上げ

宅盤仕上げにおける表面勾配は設計図書に示す0.5%とし、平坦に締固めかつ排水が良好に行われるようにしなければならない。盛土天端面の雨水や流水が直接法面に流下したり、盛土内に侵入したりしないように法肩に小堤又は、土のうを設置して仕切り、雨水を宅地内側溝等に導き排水すること。

5 盛土法面の施工

盛土法面付近は、一層の注意をはらい特に入念に締固めながら立ち上がっていき、盛土部本体が締固められ、所定の盛土体が構成したのち、ブルドーザやバックホウ等を用い、法面を土工定規に従って整形したのち、自重3t以上の振動ローラを盛土天端より巻きあげながら振動をかけて締固める工法と法面勾配が1.8割と緩いため、法面の傾斜方向に被牽引式のタイヤローラや被牽引式の振動ローラを直接乗り入れて締固めを行う工法の併用とし盛土法面を堅固に構築する。

第4節 法面保護工

第1条 法面工

法面勾配及び小段幅は、1割8分とし、法高5.0毎に1.5m及び点検補修小段15.0mに1段の割合で5.0mの小段を設ける。

法面保護工は下記のとおり。

区分	分類	法高	保護工法
切土部	軟岩Ⅰ・Ⅱ	5.0 m	厚層基材吹付工(厚 5 c m)
	中硬岩	5.0 m	厚層基材吹付工(厚 6 c m)
盛土部	—	5.0 m	植生シート

なお、吹付に使用する種子は協議すること。

第5節 法面排水工

第1条 小段工

小段は排水溝の方向に約10%程度（5～15%）の下り勾配をつけて施工し排水溝に水が流れるようにすること。

小段表面はコンクリート張りを施し雨水の浸透防止を図ること。

施工にあたっては、盛土築立を入念に施工した後、布設するもので沈下等、現地を測定し測定値を報告するとともに、維持管理に努めること。

各小段における排水溝は0.3×0.3 m程度とする。

前後の水路底と天端高を合わせ、たるみ、盛り上がりのないようプレキャスト水路を布設しなければならない。

第2条 縦排水溝

流量の分散を図るため間隔は概ね20 m程度とし、集水柵を設置すること。

縦排水溝(U型溝)は、ソケット付きとし水が裏面に廻らぬよう継目のモルタルを完全にし、法長3 m程度の間隔で、縦排水溝下部にすべり止めを設置すること。

縦排水溝の側面は、勾配をつけコンクリートで保護する。

縦排水溝の設置の際は、地形的にできるだけ凹部の水の集まりやすい箇所を選定すること。

法面の上部に自然斜面が続いて、その斜面に常時流水のある沢や水路がある場合、監督職員と協議し縦排水溝の断面に十分な余裕を持たせることとする。

排水溝と合流する箇所には、必ず柵を設けて、柵には水が飛び散らないように蓋を設ける。

第3条 水平排水工

小段のある盛土には小段毎にフィルター層を設け、速やかに伏流水を排除するものとする。フィルター層の間隔は4.6 m、奥行き10.5 mとする。なお、小段幅5.0 mの箇所では敷設間隔は3.4 m、奥行き14.0 mとする。

第6節 地盤改良工

第1条 セメント系安定処理

法尻部の浅層改良とGH+133 m小段下地盤の中層改良を行う。

（工法の原理と適用）

- ・ 軟弱な粘性土に70～150 kg/m³程度のセメント系固化材を添加混合して締固め、セメントの接着硬力によって地盤の圧縮性や強度特性などを改良することにより、支持力の増加を図る。

（施工上の留意点）

安定材の配合について施工前に安定処理土の供試体を作成し、配合試験を行う。

現在、固化材添加量等は、下記としているが施工時の添加量については、現地土を使用した配合試験により(添加量を)定め監督職員と協議すること。

中層混合処理

特殊土用固化材の場合の添加量

施工箇所	室内目標強度 (kN/m ²)	推定固化材添加量 (kg/m ³)
測線 1	1, 0 5 0	8 0
測線 2	1, 0 8 0	9 0
測線 3	2, 3 4 0	1 5 0

浅層地盤改良

地盤の支持力確保が必要となる一軸圧縮強度の指標

施工箇所	室内目標強度 (kN/m ²)	推定固化材添加量 (kg/m ³)
測線 1	2 7 0	7 0
測線 2	1 8 0	7 0

地質の特性等から別途工法を採用する場合は、監督職員と協議するものとする。その際には、当該工事と同様な地盤での実績資料を提出するものとする。

なお、工法変更を行った場合には、発注者側の積算基準に基づき契約変更する場合もある。

第2条 施工

- ① 改良体の打設位置及び幅、深度は図面のとおりとする。
- ② 施工に際しては、改良深度及び改良材の使用量等を自記記録等に記録し、管理の充実を図るものとする。
- ③ 改良区域の着底管理では、改良杭の下端が着実に支持層に着底していることを確認する。確認方法は、監督職員と協議の上決定する。
- ④ 施工順序は周辺地盤等の影響に大きく関係するので計画図面を作成し監督職員の承認を得るものとする。
- ⑤ 施工に先立ち、改良杭打設の支障とならないよう改良位置で転石等障害物の調査を実施し、監督職員に報告するものとする。障害物等の発生が生じた場合の対策については契約変更の対象とする。
- ⑥ 地盤改良の数量及び打ち止め深度に変更が生じた場合には監督職員と協議するものとする。
- ⑦ 改良杭の施工に伴う排土処理については考慮していないが、これにより難しい場合は監督職員と協議するものとし、この場合、契約変更の対象とする。
- ⑧ 改良後は、改良体の上端から下端までの全長をチェックボーリングにより採取し、全長において連続して改良されていることを目視確認するとともに、改良帯コアを用いた一軸圧縮試験により設計基準強度以上であることを確認する。

なお、チェックボーリング本数は、3本以上とする。

- ⑨ 安定処理工における散布及び混合を行うにあたり、粉塵対策及び六価クロム溶出試験について、監督職員と協議すること。

第3条 動態観測

1 施工管理の目的

動態観測を実施し、実際の地盤の挙動を確実に把握して施工方法の修正等に積極的に活用する。

2 盛土の安定管理

盛土施工中は、盛土の安定性と圧密の進行状態に基づき盛土の速度を管理するために、沈下計、変位杭その他の計器を設置して、観測体制を確立し、観測結果は速やかに施工に反映させ常に基礎地盤を安定な状態に保持し施工しなければならない。

3 観測施設

地表面の鉛直変位測定については、地盤工学会「沈下版を用いた地表面沈下量測定方法」(JIS 1712-2003)、「変位杭を用いた軟弱地盤の地表面変位測定方法」に準拠して行うものとする。

第7節 練積み造擁壁工

第1条 地盤(地耐力等)

擁壁を設置する場所の土質(地耐力等)は設計条件を満足するか否か確かめること。
相違する場合は、監督職員と協議し設計内容を再検討すること。

第2条 伸縮目地

伸縮目地は原則として擁壁長さ20m以内ごとに一箇所設け、特に地盤の変化する箇所、擁壁高さが著しく異なる箇所、擁壁の構造工法を異にする所は有効に伸縮目地を設け、基礎部分まで切断すること。また、擁壁の屈曲部は隅角部から擁壁の高さ分だけ避けて設置すること。

第3条 隅角部の強化

擁壁の屈曲する箇所は隅角を挟む二等辺三角形の部分をコンクリートで補強すること。
二等辺の一边の長さは擁壁の高さ3m以下で50cm、3mを超えるものは60cmとする。

第4条 根切り

基礎の根切り工事は掘り過ぎによって基礎地盤を乱さないこと。

第5条 裏込めコンクリート

裏込めコンクリートと透水層の厚さが不足しないよう石積み各段の厚さを明示した施工図を作成すること。

第6条 抜型枠

裏込めコンクリートが透水層内に流入して機能を損なわないよう抜型枠を使用すること。

第7条 コンクリートの打ち込み

胴込め及び裏込めコンクリートの打ち込みはコンクリートが間知石と一体になるよう十分突き固めること。

排水のための水抜穴は、次の事項を十分考慮すること。

- (1) 擁壁の裏面全面に透水層を設けること。
- (2) 水抜穴は擁壁の下部地表近くおよび湧水等のある箇所に特に重点的に配置すること。
- (3) 水抜穴は、千鳥配置とし排水方向に適当な勾配をとること。
- (4) 水抜穴は壁面の面積3㎡以内ごとに内径75mm以上の耐水材料を使用して設けること。
- (5) 水抜穴の入口には水抜穴から流出しない程度の大きさの碎石等を置き、砂利・砂・背面土等が流出しないように配慮すること。

(6) 地盤面下の壁面で地下水の流路にあたっている壁面がある場合、有効に水抜穴を設けて地下水を排水すること。

(7) 透水管はコンクリートの圧力で潰れないものを使用すること。

第8条 記録写真

施工記録写真の撮影は箱尺・リボンテープ等を正確に当てて全体の様子と部分の記録が明らかなものとする。

第9条 盛土の場合の擁壁

盛土部分の練積み擁壁については、土圧の減少、擁壁重量の加算のために十分な厚さの裏込栗石等が必要である。

第8節 鉄筋コンクリート擁壁

第1条 地盤（地耐力等）

擁壁を設置する場所の土質（地耐力等）は設計条件を満足するか否かを確認すること。
条件と相違する場合は設計者と協議し、設計内容を再検討すること。

第2条 強度の異なる鉄筋の混合使用禁止

鉄筋の配筋は強度の相違する鉄筋を混合して使用しないこと。

第3条 コンクリートの被り

鉄筋に対するコンクリートの被り厚さは定められた厚さを厳守し、鉄筋位置がずれないように幅止め金物、スパーサー・ブロック等で正確に固定すること。

第4条 バイブレーター

コンクリートの打込みには極力バイブレーターを使用して骨材の分離を防ぎ密実で、均質なコンクリートとなるよう施工すること。

第5条 コンクリートの打継ぎ

コンクリートの打継ぎは横打継ぎを極力避けること。やむを得ず横打継ぎとなる場合は、同一高さとならないよう配慮し、打継ぎ面には土砂等の異物が混入しないよう十分清掃すること。

第6条 テストピース

コンクリートの打込み時には必ずテストピースを採取して、強度に疑いが残らぬ処置を施すこと。

第7条 埋戻し

型枠存置期間は建築基準法第76条（建設省告示第110号「参考資料参照」）に定める最低日数を守り、所定のコンクリート強度が確かめられない前に裏込め土の埋戻しを行わないこと。

第8条 排水関係

排水のための水抜穴は、次の事項を十分考慮すること。

- (1) 擁壁の裏面全面に透水層を設けること。
- (2) 透水層は一般的に栗石・砂利または碎石を用いる。ただし、石油系素材を用いた「透水マット」を使用する場合にはその特性に応じた適正な使用方法によること。適正な使用方法等については、「擁壁用透水マット技術マニュアル」（平成3年3月社団法人建築研究振興会）を参考とする。
- (3) 水抜穴は擁壁の下部地表面近くおよび湧水等のある個所に特に重点的に配置すること。
- (4) 水抜穴は千鳥配置とし排水方向に適当な勾配をとること。

- (5) 水抜穴は壁面の面積3㎡以内ごとに内径75mm以上の耐水材料を使用して設けること。
- (6) 水抜穴の入口には水抜穴から流出しない程度の大きさの碎石等を置き、砂利、砂、背面土等が流出しないように配慮すること。
- (7) 地盤面下の壁面で地下水の流路にあたっている壁面がある場合は、有効に水抜穴を設けて地下水を排水すること。
- (8) 透水管はコンクリートの圧力で潰れないものを使用すること。

第9条 伸縮目地

伸縮目地は原則として擁壁長さ20メートル以内ごとに一箇所設け、特に地盤の変化する箇所、擁壁高さが著しく異なる箇所、擁壁の構造工法を異にする所は有効に伸縮目地を設け、基礎部分まで切断すること。また擁壁の屈曲部は隅角部から擁壁の高さ分だけ避けて設置すること。

第10条 隅角部の補強

擁壁の屈曲する箇所は隅角をはさむ二等辺三角形の部分をコンクリートで補強すること。二等辺の一边の長さは擁壁の高さ3メートル以下で50センチメートル、3メートルを越えるものは60センチメートルとする。

第11条 酸・塩・有機物・泥土の排除

骨材、水および混和剤はコンクリートの凝結を防げるような酸・塩・有機物または泥土を含まないように注意すること。

第12条 骨材の大きさ

骨材は鉄筋相互間および鉄筋と型枠との間を容易に通る程度の大きさとする。

第13条 鉄筋の末端の安定

鉄筋の末端はかぎ状に折り曲げて（フック）コンクリートから抜け出さないよう定着すること。ただし、異形鉄筋はこの限りではない。

第14条 主筋の継手

丸鋼を使用する場合は、主筋の継手は構造部材における引張力の最も小さい部分に設け、継手の重ね長さは、溶接する場合を除き主筋の径（径の異なる主筋を継ぐ場合においては、細い主筋の径）の25倍以上としなければならない。ただし、主筋の継手を引張力の最も小さい部分に設けることができない場合においては、その重ね長さを主筋の径の40倍以上とすること。

第15条 引張り鉄筋の定着

引張り鉄筋の定着される部分の長さは、主筋に溶接する場合を除き、その径の40倍以上としなければならない。

第9節 舗装工

第1条 CBR試験

設計CBR値＝3としてるので、監督職員と協議のうえ土質試験の箇所を決定する。
調査箇所は1箇所計画している。

第10節 道路施設撤去工

受注者は、道路施設の撤去に際して、供用中の施設に損傷及び機能上の悪影響が生じないこと。また、道路交通に対して支障が生じないように必要な対策を講じなければならない。

工事施工中の危険、障害等を防止するため、受注者は工事標識及び夜間照明等の適切な設備を施し、保全（安全）には万全の注意をはらわなければならない。

第5章 環境保全に関する配慮事項

保全対象動植物（ツユクサシユスラン、カスミサンショウウオ）手帳を配布するので、手帳に掲載してある希少動物を発見した場合は捕獲し開発区域外へ移動させること。また、水生生物等が発見した場合は、監督員に報告し対応を協議し希少動植物の保全に努めること。

第6章 地質調査

第1条 業務内容

- 1 ボーリング位置は別添図面による。また、個々のボーリング孔の条件は地質調査数量表のとおりとする。
- 2 ボーリング位置の決定は監督職員と現地立会のうえ決定するものとする。
- 3 ボーリング作業終了深度については、土質やN値等で掘進深さを変更することがあるので、監督職員と協議のうえ、その指示に従うものとする。
- 4 ボーリング作業中は、標高、地質分類厚、N値等を測定するとともに、地下水位の測定及びコアの採取に努め、標本箱にはボーリングナンバー、標高等を記入し監督職員が立ち会う場合、直ちにその地点の地層、N値が判断できるように整理しておくものとする。
- 5 土質の分類は、J G S 0 0 5 1（地盤材料の工学的物類方法）による。
- 6 標準貫入試験は、J I S A - 1 2 1 9により実施し、1.0m間隔とする。
- 7 乱さない試料採取は、三重管式サンプラーによるものとするが、採取方法を変更する場合には、監督職員と協議の上決定し、変更対象とする。
- 8 踏み荒らし、伐採等については、最小限に留め終了後の原形復旧等は、すべて請負者により行うものとする。
- 9 土質試験項目および試験数量は土質試験数量表のとおりとする。
採取位置等は監督職員と協議すること。なお、試験項目および数量について変更の要素がある場合も監督職員と事前に協議すること。
- 10 地質解析等調査業務
ボーリング資料をもとに、当地域の地質の解析検討を行うものとする。
解析検討項目については下記のとおりとする。
 - 1) 既存資料の収集・現地調査
 - ・関係文献等の収集と検討
 - ・調査地周辺の現地踏査
 - 2) 資料整理とりまとめ
 - ・各種計測結果の評価及び考察（異常データのチェックを含む）
 - ・試料の観察
 - ・ボーリング柱状図の作成
 - 3) 断面図の作成
 - ・地層及び土性の判定
 - ・土質又は地質断面図の作成（着色含む）
 - ・その他各種図面類の作成
 - 4) 総合解析とりまとめ
 - ・調査地周辺の地形・地質の検討

- ・地質調査結果に基づく土質定数の設定
- ・地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定
- ・切土、盛土に関する検討
- ・設計・施工上の留意点の検討

- 1 1 事前調査及び資機材搬入や調査において、地権者とのトラブルが発生しないよう細心の注意を払うこと。また、現地に立ち入って作業する際は、事前に監督職員及び用地担当者等に十分協議すること。

第7章 軟弱地盤解析

第1条 解析目的

軟弱地盤解析は、地質調査結果を用いて高盛土の安定性及び圧密沈下特性について検討するものである。

第2条 解析計画

地質調査結果をもとに、地盤モデルを作成するとともに、解析条件の整理を行うが、解析条件については、監督職員と協議する。

第3条 解析内容

- 1 解析は、現況地盤解析と対策後地盤解析を実施するものとする。
- 2 現況地盤解析は、地盤破壊と地盤圧密について解析を行うが、地盤破壊については常時、地震時とする。なお、地盤破壊は「盛土等の安全対策推進ガイドライン及び同解説：国交省、農林水産省、林野庁」を参考に、安定解析を行うものとする。
- 3 現況地盤解析の地盤圧密は、盛土荷重に伴う圧密沈下量に対する検討を行ったうえで、長期的な沈下量について考察するものである。
- 4 対策後地盤解析では、地盤破壊について検討するものであり、計画されている対策工に対する安全性を考察するものである。
- 5 地下水位の設定に当たっては、現況水位及び盛土高の1/3水位を考慮した水位の2モデルとするが、設定にあたっては監督職員と協議のうえ決定するものとする。
- 6 解析断面数は、下記のとおりとする。
 - ・現況地盤解析

地盤破壊	2断面
地盤圧密	1断面
 - ・対策後地盤解析

地盤破壊	2断面
------	-----

第8章 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）

第1条 法令遵守

本工事は、宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）及び関連法令に基づき施工すること。

第2条 施工中・完了時における安全確認の内容

定期報告

- ・工事着手後、3か月ごとに定期報告が必要

中間検査

- ・盛土前又は切土後の地盤面に排水施設を設置する工事を行った段階で中間検査が必要
※盛土及び切土の安定性に関わる重要な検査として、施工後では確認することのできない箇所について行う。

完了検査

- ・宅地造成又は特定盛土等に関する工事が許可の内容に適合していることを判定するための完了検査が必要

第3条 検査及び報告

本工事は、盛土規制法に基づき下記に示す定期報告を行うとともに、中間検査及び完了検査を受検しなければならない。

1 中間検査に係る提出書類

排水施設設置工事完了後、速やかに以下の書類を提出すること。

- ・平面図（検査対象工程に係る工事の内容を明示したもの）
- ・検査対象の写真（特定工程となる排水施設の施工の全景写真）

2 定期報告（定期報告書）

（１）工事着手後は３か月ごとにその末日に定期報告を行うこと。

（２）報告内容は以下を含むこと。

報告事項（報告時点における以下の施工状況）

- ・盛土又は切土（高さ・面積・土量）
- ・擁壁
- ・排水施設
- ・その他

施工状況

- ・報告の時点における盛土、切土、擁壁等の工事（出来形及び鉄筋コンクリート造の場合の配筋等）及びその付近の状況を撮影したもの
- ・工事進捗が確認できる図面等

施工済の箇所を着色等し明示・写真の撮影方向を表示

3 完了検査

工事完了後、以下の書類を提出すること。

- ・工事完了の概要が分かる（工事が許可の内容に適合していることを判定できる）写真

第4条 検査・定期報告時の留意事項

- （１）工事内容、出来形等について裏付けとなる関係図書を整備すること。
- （２）写真の撮影に当たっては、工事着手前の状況及び工事中における構造物の床堀・型枠コンクリート等の施工状況、形状寸法などが確認できるように撮影すること。
- （３）検査に当たっては、工事の責任者等工事内容を説明できる者が立会うこと。
- （４）検査・定期報告の結果、不適当な箇所がある場合には、速やかに必要な対策を講じ、再度、検査・確認を受けること。

第9章 施工管理

第1条 工事竣工までに、下記図書を整理し、提出するものとする。

- 1 出来形管理資料：出来形管理図・写真管理資料・出来高数量計算書
- 2 品質管理資料：管理図及び総括表
- 3 工程管理資料
- 4 建設資材の品質管理資料
- 5 建設材料の品質記録保存資料

6 その他監督職員の指示した資料

第10章 再生資源

第1条 再生資源及び現場内発生材の利用

1) 再生資源の利用

受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

なお、使用に際し、「プラント再生舗装技術指針」及び「建設発生材の再生利用指針」を遵守するものとする。

第2条 建設副産物

建設工事共通仕様書第1編共通編第1章1-1-2 1 建設副産物に記載されている「再生資源利用計画」及び「再生資源利用促進計画」の様式については、監督職員の指示によるものとする。

又、土砂、碎石、アスファルト混合物以外の再生資源を利用した場合及び建設汚泥及び建設混合廃棄物が発生した場合においても作成するものとする。

第3条 再生資源利用計画（実施）書、再生資源利用促進計画（実施）書

受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成時に再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出すること。

第4条 建設廃棄物処理委託契約書、建設廃棄物用マニフェスト

受注者（排出事業者）は、建設廃棄物の適正処理をするため、排出事業者と収集運搬業者及び排出事業者と処分業者で建設廃棄物処理委託契約（2者契約）を行い、建設廃棄物を運搬処理する毎にマニフェストを発行して委託処理を行うこと。

また、工事完成時に建設廃棄物処理委託契約書の写し、マニフェストの写しを提出すること。

第11章 その他

第1条 設計図書の他に提示する「参考資料」は、あくまでも入札参加業者の適正・迅速な見積りに供するための参考資料であり、何ら請負契約上の拘束力を生ずるものではない。

工事の実施に当たっては、この主旨を十分理解し、事故発生等の事態を招かないよう、その防止措置に留意すること。

第2条 安全訓練の実施について

（1）本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。

- ・全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- ・工事内容等の周知徹底
- ・本工事安全施工技術指針等の周知徹底
- ・工事における災害対策訓練
- ・工事で予想される事故対策
- ・その他、安全・訓練等として必要事項

(2) 安全・訓練等に関する施工計画書の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督職員に提出するものとする。

(3) 安全・訓練等の実施状況をビデオ等又は工事報告（工事月報）に記録し報告するものとする。

第3条 過積載防止について

(1) 積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。

(2) さし柵装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。

(3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。

(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。

(5) 骨材の購入等に当たって、骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

(6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、団体等への加入者の使用を促進すること。

(7) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

第4条 下請負人を使用する場合について

1 受注者は、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手を「県内に主たる営業所」を有するものの中から選定するよう努めなければならない。ただし選定にあたっては、請負者の判断による。

2 受注者は、下請負人の変更が生じた場合は、その都度速やかに監督職員へ所定の様式にて提出しなければならない。

3 受注者は、本工事に使用した下請負人を工事完成后、所定の様式及び電子ファイルにて監督職員に提出しなければならない。

第12章 積算基準等

1 土木工事標準積算基準書 長崎県土木部

2 建設機械等損料算定書 長崎県土木部

3 土木工事積算要領 都市再生機構

4 その他

※事業の実施にあたっては、監督職員と緊密な連絡・調整を図り円滑な事業の遂行に努めること。

工事数量総括表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	基 準
造成工事	1	式	K0004
★整地土工	1	式	X206005
掘削・運搬・敷均し・締固め工☆	1	式	Y206005
BD掘削押土+敷均し+締固め [ブロック内] (粘性土)	8,000	m3	D0138
リッパ° 起砕+掘削・押土+敷均し+締固め (軟岩Ⅰ)	5,500	m3	D0139
リッパ° 起砕+敷均し+締固め (軟岩Ⅱ)	50	m3	D0140
大型ブレイカ掘削(Ⅰ)+敷均し+締固め (中硬岩)	50	m3	D0223
BD掘削押土+敷均し+締固め [ブロック間] (粘性土)	1,300	m3	D0141
BH掘削積込+DT運搬+BD敷均し+TR締固め (粘性土)	40,100	m3	D0144
リッパ° 起砕+集積・押土+掘削積込+運搬+敷均し +締固め (軟岩Ⅰ)	29,900	m3	D0145
リッパ° 起砕+集積・押土+掘削積込+運搬+敷均し +締固め (軟岩Ⅱ)	7,100	m3	D0146
大型ブレイカ掘削(Ⅰ)+集積・押土+掘削・積込 +運搬+敷均し+締固め (中硬岩)	8,500	m3	D0147
★法面工	1	式	X404005
法面整形工☆	1	式	Y102050
切土法面整形	4,880	m2	M0013
盛土法面整形	7,250	m2	M0014
盛土内排水工☆	1	式	Y505015
水平排水工	1,612	m	M0015
法面植生工☆	1	式	Y404040

工事数量総括表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	明細単価番号 基 準
厚層基材吹付	2,840	m ²	M0054
植生シート	6,090	m ²	M0073
植生マット	1,330	m ²	M0112
張コンクリート工☆	1	式	Y500726
張コンクリート	2,830	m ²	M0050
張ブロック工☆	1	式	Y500150
張ブロック	302	m	M0117
★地盤改良工	1	式	X203050
安定処理工（ハック材混合）	950	m ²	M0120
中層混合処理工	2,028	m ³	M0138
★放流施設工	1	式	X512115
調整池	1	箇所	M0001
洪水吐	1	箇所	M0002
放流渠	2	m	M0020
★下流水路改修工	1	式	X105015
下流水路	471	m	M0044
★水路工	1	式	X500010
小段水路工☆	1	式	Y108270
U型側溝（小段排水）	1,094	m	M0055

工事数量総括表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	明細単価番号 基 準
U型側溝（縦排水）	244	m	M0070
小段集水桝	44	箇所	M0051
プレキャスト側溝工☆	1	式	Y108470
L型側溝	14	m	M0045
管渠型側溝	51	m	M0027
自由勾配側溝	680	m	M0018
U型側溝	333	m	M0095
現場水路工☆	1	式	Y202200
階段水路	40	m	M0005
集水桝工☆	1	式	Y202200
現場打集水桝	18	箇所	M0019
★防災工	1	式	X513070
地下排水工☆	1	式	Y513000
本暗渠 φ 300～500	1,160	m	M0082
補助暗渠 φ 150	639	m	M0083
竖樋	1	箇所	M0084
土砂流出防止工☆	1	式	Y302095
仮設土堰堤	1	式	M0071
防災小堤	108	m	M0006

工事数量総括表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	明細単価番号 基 準
素掘水路	235	m	M0046
沈砂池工☆	1	式	Y508718
仮設沈砂池	1	箇所	M0078
土のう工☆	1	式	Y508720
土のう	1	式	M0079
★舗装工	1	式	X512005
アスファルト舗装	820	m ²	M0110
コンクリート舗装	1,230	m ²	M0032
★路側防護柵工	1	式	X512005
ガードレール	231	m	M0052
★消防水利施設工	1	式	X202345
防火水槽設置 耐震性貯水槽（40m ³ 級）	1	基	処：M0017
★給水施設工	1	式	X102015
上水道引込み	30	m	M0064
★雑工	1	式	X201010
構造物撤去	1	式	処：M0097
★仮設工	1	式	X102300
進入防止柵	375	m	M0040
交通誘導警備員	1	式	M0060

工事数量総括表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	明細単価番号 基 準
共通仮設費(積上げ)	1	式	H00802
運搬費	1	式	H20001
建設機械運搬費	1	式	M0034
準備費	1	式	H20002
刈払い・除根	36,000	m2	処: M0109
すきとり+運搬+敷均し	19,000	m2	M0010
段切り	19,000	m2	M0062
事業損失防止施設費	1	式	H10000
地表面沈下計設置	1	式	M0011
技術管理費	1	式	H20005
地盤改良試験費	1	式	M0098
溶出試験費	1	式	M0036
盛土の管理試験費	1	式	M0037
土質試験委託費	1	式	M0038
地盤調査費	1	式	M0039

工事数量総括表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	基 準
市道山の手線拡幅工事	1	式	K0005
★水路工	1	式	X202015
落蓋式側溝	130	m	M0003
自由勾配側溝	6	m	M0088
現場打横断側溝	1	m	D0083
集水柵工	8	箇所	M0100
★舗装工	1	式	X202025
アスファルト舗装	588	m ²	M0102
★区画線工	1	式	X202040
区画線工	856	m	M0092
★縁石工	1	式	X202030
地先境界ブロック	141	m	M0111
★路側防護柵工	1	式	X202050
ガードレール	141	m	M0091
★構造物撤去工	1	式	X202060
構造物撤去	1	式	M0114
アスファルト舗装撤去	277	m ²	M0033

[illegible]

放流渠

2 m 当り

13

第 14 号 明細書				下流水路		M0044
				(, 処:	471 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	基 準			
作業土工	1	式				
床掘	460	m ³				
埋戻	380	m ³				
残土処理	40	m ³				
基面整正	326	m ²				
法面整形工	1	式				
法面整形 切土部 ㄥ質土、砂及び砂質土、粘性土	30	m ²				
法面整形 盛土部 ㄥ質土、砂及び砂質土、粘性土	40	m ²				
床止め工	1	式				
接続帯工	1	箇所				
排水構造物工	1	式				
床版張コンクリート工 t=100mm	2	m ²				
U型側溝	304	m				
暗渠管	18	m				
配水管 φ100	32	m				
集水柵	19	箇所				
ふとんかご 2段 (2000×1200×500)	1	箇所				
復旧工	1	式				
土水路復旧工	22	m				

[illegible]

第 22 号 明細書				階段水路		M0005
				40	m 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	基 準			
土工	1	式				
床掘り 土砂 標準	200	m3				
基面整正	58	m2				
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	110	m3				
基礎工	1	式				
基礎栗石工 厚さ0.2m 敷均し	58	m2				
型枠 一般型枠 均しコンクリート	8	m2				
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40(高)	5	m3				
水路工	1	式				
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t未満 補正無(一般構造物)	1.46	t				
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	250	m2				
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 21-8-20(高)W/C55	32	m3				
インバート工	1	式				
型枠 一般型枠 小型構造物	12	m2				
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物 18-8-40(高)W/C60	7	m3				
鉄板設置工	1	式				
跳水防止板	16	枚				
縞鋼板製蓋 (小段W1.5m用)	2	箇所				
現場打床版 (小段W5.0m用)	1	箇所				

[illegible]

第 23 号 明細書				現場打集水桝		M0019	
				18		箇所 当り	
名 称 ・ 規 格				数 量	単位	基 準	
現場打集水桝 □500×H600				4	箇所		
現場打集水桝 □600×H700				1	箇所		
現場打集水桝 □600×H900				2	箇所		
現場打集水桝 □600×H1100				1	箇所		
現場打集水桝 □600×H1200				1	箇所		
現場打集水桝 □700×H1000				1	箇所		
現場打集水桝 □700×H1100				2	箇所		
現場打集水桝 □700×H1200				1	箇所		
現場打集水桝 □700×H1300				1	箇所		
現場打集水桝 □700×H1400				1	箇所		
現場打集水桝 □700×H1500				1	箇所		
現場打集水桝 □1000×H1900				1	箇所		
現場打集水桝 1000×1200×H1800				1	箇所		
計							

第 30 号 明細書				M0078
仮設沈砂池				
1 箇所 当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準	
沈砂池 10.0m×20.0m×1.0m	1	式		
床掘り 土砂 標準	250	m3		
基面整正	200	m2		
板柵工H=1.0m	60	m		
ふとんかご 設置 スロープ式H60cmW120cm 4.0mm(＃8)	32	m		
ふとんかご 設置 スロープ式H40cmW120cm 4.0mm(＃8)	8	m		
吸出防止材(t=10mm)	20	m2		
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40(高)	20	m3		
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	30	m3		
接続管 φ 500	3	m		
吸出防止材(t=10mm)	66	m2		
計				

第 35 号 明細書

防火水槽設置 耐震性貯水槽（40m3級）

（ , 処: 1 基 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
土工	1	式	
床掘り 土砂 標準	210	m3	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	70	m3	
埋戻し（鉄鋼スラグ） 最大埋戻幅1m未満	40	m3	
基面整正	30	m2	
本体工	1	式	
横円筒型耐震性貯水槽 基礎工	1	式	
横円筒型耐震性貯水槽 設置 40t 一体型 1ピット	1	基	
マンホール設置 T-25 φ600	1	箇所	
給水費	1	式	
標識工	1	式	
防火水槽標識板（支給品）設置 鋼管ポールφ60.5×3000 含む	1	箇所	
区画線工	1	式	
区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 黄 鉛・クロムフリー	25.4	m	
区画線設置 溶融式手動 矢印・記号・文字15cm 塗布厚1.5mm 黄 鉛・クロムフリー 重複施工ロス分20%	31.9	m	
計			

[illegible]

第 47 号 明細書				M0114			
構造物撤去							
(, 処: 1 式 当り							
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準				
U型側溝 300撤去	0.6	m					
U型側溝 450撤去	43.5	m					
U型側溝 600撤去	2.9	m					
現場打ちU型側溝 400撤去	97.9	m					
現場打ち横断側溝 300×400撤去	0.5	m					
L型側溝 撤去	48.4	m					
集水桝取壊し □600×600	1	箇所					
集水桝取壊し □800×800	1	箇所					
集水桝取壊し □800×1000	1	箇所					
集水桝取壊し □1000×900	1	箇所					
コンクリート塊処分工	1	式					
鉄くず処分	1	式					
計							

第 49 号 明細書				M0031
張コンクリート				
				2,770 m2 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準	
盛土法面	1	式		
小段部	1	式		
コンクリート打設工(小段排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	706	m2		
張コンクリート (小段部)	1	m2		
コンクリート打設工(小段排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	1	m2		
斜面部	1	式		
コンクリート打設工(縦排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	1,132	m2		
コンクリート打設工(縦排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	1	m2		
コンクリート打設工(縦排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	1	m2		
コンクリート打設工(縦排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	1	m2		
法尻部	1	式		
張コンクリート (盛土 法尻部)	235	m2		
切土法面	1	式		
小段部	1	m2		
コンクリート打設工(小段排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	253	m2		
コンクリート打設工(小段排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	1	m2		
斜面部	1	式		
コンクリート打設工(縦排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	317	m2		
コンクリート打設工(縦排水溝) 18-8-40 W/C=60%以下(高炉)	1	m2		

<div> <div>第 50 号 明細書</div> <div>地質調査・解析業務</div> <div>M0080</div> </div>			
1 式 当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
☆一般調査業務費	1	式	
★直接調査費	1	式	
ボーリング工☆	1	式	
市場単価 土質ボーリング（深度50m以下） オールコアボーリング φ66mm 粘性土・シルト	28	m	
市場単価 土質ボーリング（深度50m以下） オールコアボーリング φ66mm 礫混じり土砂	39	m	
市場単価 岩盤ボーリング（深度50m以下） オールコアボーリング φ66mm 軟岩	18	m	
市場単価 岩盤ボーリング（深度50m以下） オールコアボーリング φ66mm 中硬岩	2	m	
市場単価 土質ボーリング（深度50m以下） ノンコアボーリング φ116mm 粘性土・シルト	20	m	
原位置試験及び試料採取☆	1	式	
市場単価 標準貫入試験 粘性土・シルト	28	回	
市場単価 標準貫入試験 礫混じり土砂	39	回	
市場単価 標準貫入試験 軟岩	18	回	
ロータリ式三重管サンプラー （トリプルサンプリング）	4	本	
室内試験☆	1	式	
土の含水量試験 JIS A1203 1試料につき3個	4	試料	
土粒子の比重試験 JIS A1202 1試料につき3個	4	試料	
土の粒度試験(2) JIS A1204:ふるい分析 0.5kg未満	4	試料	
土の粒度試験(1) JIS A1204:沈降分析	4	試料	
土の液性限界試験 JIS A1205 1試料につき4～6点	4	試料	

<div> <div>第 50 号 明細書</div> <div>地質調査・解析業務</div> <div>M0080</div> </div>			
<div> <div>(続 き)</div> <div>1 式 当り</div> </div>			
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
土の塑性限界試験 JIS A1205 1試料につき3個	4	試料	
土の湿潤密度試験 1試料につき3個	4	試料	
三軸圧縮試験(1) 非圧密 非排水	4	試料	
土の圧密試験	4	試料	
土の突固め試験(1) JIS A1210乾燥法 モール径10cm ランマー25N	4	試料	
締固めた土のコーン指数試験 (3試料)	4	試料	
スレーキング試験	1	試料	
総合解析☆	1	式	
資料整理とりまとめ 直接人件費(直接調査費分)	1	業務	
断面図等の作成 直接人件費(直接調査費分)	1	業務	
電子成果品費作成費☆	1	式	
電子成果品作成費	1	式	
国土地理情報データベース検定費☆	1	式	
国土地理情報データベース検定費	6	本	
★間接調査費	1	式	
運搬費	1	式	
資機材運搬(ボーリング) 3～3.5t積 2.9t吊クレーン付	2	日	
特装车運搬(クローラ) 総運搬距離 100m以下	2.1	t	
準備費	1	式	

第 50 号 明細書
(続 き)

地質調査・解析業務

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
準備及び跡片付け	1	業務	
調査孔閉塞	6	箇所	
給水費(ポンプ運転) 20m以上150m以下	6	箇所	
仮設費	1	式	
傾斜地足場 地形傾斜15° 以上～30° 未満	6	箇所	
施工管理費	1	式	
旅費交通費（検定費除く）	1	式	
施工管理費(率計上分)	1	式	
★純調査費	1	式	
調査諸経費	1	式	
調査諸経費	1	式	
☆解析等業務費	1	式	
★地質調査解析	1	式	
地質調査解析☆	1	式	
既存資料の収集・現地調査 直接人件費(解析等調査業務費分)	1	業務	
資料整理とりまとめ 直接人件費(解析等調査業務費分)	1	業務	
断面図等の作成 直接人件費(解析等調査業務費分)	1	業務	
総合解析とりまとめ 直接人件費(解析等調査業務費分)	1	業務	
★軟弱地盤解析	1	式	

<div> <div>第 50 号 明細書</div> <div>地質調査・解析業務</div> <div>M0080</div> </div>			
<div> <div>(続 き)</div> <div>1 式 当り</div> </div>			
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
現況地盤解析☆	1	式	
地盤破壊 2断面当り	1	式	
地盤圧密 1断面当り	1	式	
対策後地盤解析☆	1	式	
地盤破壊 2断面当り	1	式	
照査☆	1	式	
照査	1	式	
打合せ(地質調査業務) 中間打合せ 4回	1	業務	
★直接経費	1	式	
旅費交通費（率計上分）	1	式	
電子成果品作成費(軟弱地盤)(率計上分)	1	式	
★その他の原価	1	式	
その他の原価	1	式	
★一般管理費	1	式	
一般管理等	1	式	
地質調査・解析業務 計			

第 56 号 明細書				M0007
洪水吐工				
1 箇所 当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	基 準	
バックホウ床掘 クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3)	60	m3		
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	27	m3		
基面整正	27	m2		
基礎碎石 t=20cm 再生クラッシャーラン	27	m2		
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1	m2		
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40(高)	2	m3		
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	127	m2		
コンクリート コンクリートポンプ車打設 無筋・鉄筋構造物 24-8-20(高)W/C55	51	m3		
コンクリート顔料 黒 標準混和量(質量:1.0~5.0%)	30	kg		
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物)	1.305	t		
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物)	1.111	t		
鉄筋工(太径鉄筋含む) 施工規模10t以上 補正無(一般構造物)	1.111	t		
手摺先行型枠組足場	81	掛m2		
裏込碎石 再生クラッシャーラン40~0	1	m3		
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.5	m2		
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40(高)	0.1	m3		
硬質塩ビ管 両差し口 VP 75mm×4m	0.9	本		
吸出し防止材設置	0.3	m2		
硬質塩ビ管(VU) 両差し口 φ100	3	m		

第 62 号 明細書

集水樹

19 箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
現場打ち集水樹（地区外）① □600×H700	1	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）②～④ □900×H1000 （1）	3	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑤ □900×H1000 （2）	1	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑥ □900×H1700	1	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑦、⑩ □1000×H1000 （1）	2	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑧、⑨、⑪ □1000×H1000 （2）	3	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑫、⑬ □1000×H1200	2	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑭ □1000×H1400 （1）	1	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑮ □1000×H1400 （2）	1	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑯ □1000×H1500	1	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑰ □1000×H1800	1	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑱ □1100×H1400	1	箇所	
現場打ち集水樹（地区外）⑲ □1100×H1800	1	箇所	
計			

第 68 号 明細書			構造物撤去	M0076
			(, 処: 1 式 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	明細単価番号 基 準	
コンクリート舗装版撤去 t=100mm	49	m2		
集水桝取壊し □600×700	1	箇所		
U型側溝撤去 U300×350	115	m		
U型側溝撤去 U450×450	5	m		
既設排水管撤去 φ 600	6	m		
既設排水管撤去 φ 900	2	m		
暗渠管撤去 φ 600	8	m		
暗渠管撤去 φ 700	2	m		
石積擁壁撤去工	1	式		
無筋コンクリート	1	式		
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込	0.5	m3		
産業廃棄物処理費 Co塊(無筋) (有) 共栄組 (平戸市)	1	t		
鉄筋コンクリート	1	式		
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	12	m3		
産業廃棄物処理費 Co塊(有筋) (有) 共栄組 (平戸市)	32	t		
廃プラ	1	式		
貨物自動車運賃 2t車 20kmまで	1	回		
廃プラ処分費	1	m3		
計				

[illegible]

第 72 号 明細書

小段集水榭

82 箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
盛土法面	1	式	
小段集水榭A □500×H500（Ⅰ1）	19	箇所	
小段集水榭A □500×H500（Ⅱ1）	3	箇所	
小段集水榭A □500×H500（Ⅲ）	2	箇所	
小段集水榭A □500×H500（Ⅳ）	2	箇所	
切土法面	1	式	
小段集水榭B □700×H600（Ⅰ1）	2	箇所	
小段集水榭B □700×H600（Ⅱ2）	5	箇所	
小段集水榭B □700×H600（Ⅲ）	2	箇所	
小段集水榭B □700×H600（Ⅳ）	8	箇所	
法尻部	1	式	
現場打ち集水榭① □500×H600	17	箇所	
現場打ち集水榭①' □500×H600	1	箇所	
現場打ち集水榭② □700×H700	14	箇所	
現場打ち集水榭②' □700×H700	2	箇所	
現場打ち集水榭③ □700×H800	2	箇所	
現場打ち集水榭④ □700×H900	2	箇所	
現場打ち集水榭⑤ □800×H800	1	箇所	
計			

小段集水枋

82 箇所 当り

80

第 73 号 明細書				M0042
自由勾配側溝（場内分）				560.7 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準	
右側	1	式		
自由勾配側溝 300×500	150.3	m		
自由勾配側溝 400×900	60.7	m		
自由勾配側溝 500×900	26.7	m		
自由勾配側溝 500×1000	35	m		
自由勾配側溝 500×1100	21.2	m		
左側	1	式		
自由勾配側溝 300×300	40.8	m		
自由勾配側溝 400×400	39.2	m		
自由勾配側溝 400×700	62.5	m		
自由勾配側溝 500×700	3.8	m		
自由勾配側溝 500×800	5.5	m		
自由勾配側溝 500×900	3.2	m		
自由勾配側溝（横断部） 500×800	1	m		
自由勾配側溝（横断部） 500×700	1.3	m		
自由勾配側溝 500×1000	23.3	m		
自由勾配側溝 500×1100	22.4	m		
自由勾配側溝 500×1200	24.4	m		
自由勾配側溝 500×1300	23.2	m		

第 76 号 明細書				M0043
給水管布設土工				
1 式 当り				
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	基 準	
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	7.5	m3		
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 砂 置換用	4	m3		
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ)	2	m3		
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離2km	5.4	m3		
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	21.6	m		
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下	4.2	m2		
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離2km	0.2	m3		
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 下層路盤 仕上り厚0.2m	4.2	m2		
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 上層路盤 仕上り厚0.15m	4.2	m2		
アスファルト舗装工(人力)(車道・路肩)(1層) 舗装厚50mm 再生アスファルト(密粒度)	4.2	m2		
区画線設置 溶融式手動 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	1.1	m		
計				

第 77 号 明細書				M0008	
労務				1 式 当り	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準		
ポリエチレン管据付工 呼び径50mm	18.6	m			
ポリエチレン管据付工 呼び径20mm	11.3	m			
ポリエチレン管据付工 呼び径13mm	0.6	m			
ポリエチレン管継手工 呼び径50mm	4	口			
ポリエチレン管継手工 呼び径20mm	5	口			
ポリエチレン管継手工 呼び径13mm	4	口			
ポリエチレン管切断 呼び径50mm	2	口			
ポリエチレン管切断 呼び径20mm	4	口			
ポリエチレン管切断 呼び径13mm	1	口			
止水栓取付け PP用 呼び径50mm	1	箇所			
止水栓取付け PP用 呼び径20mm	1	箇所			
止水栓取付け PP用 呼び径13mm	1	箇所			
止水栓取付け PP用 呼び径13mm	1	箇所			
量水器取付け(ねじ込み接合) メーター据付、接続、量水器筐取付 呼び径13mm	1	箇所			
散水栓取付 地下式散水栓 φ13	1	箇所			
サドル分水栓建込み 分岐呼び径50mm ビニル管 呼び径150mm	1	箇所			
サドル分水栓建込み 分岐呼び径20mm ビニル管 呼び径150mm	1	箇所			
管明示シート	29.9	m			
計					

第 78 号 明細書				材料費		M0145
				1 式 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	基 準			
ポリエチレン管 水道用二層管 1種軟質 φ50	18.6	m				
ポリエチレン管 水道用二層管 1種軟質 φ20	11.3	m				
ポリエチレン管 水道用二層管 1種軟質 φ13	0.6	m				
ポリエチレン管用金属継手分止水栓用ソケット φ50	1	個				
ポリエチレン管用金属継手分止水栓用ソケット φ20	1	個				
ポリエチレン管用金属継手 おねじ付ソケット φ50	2	個				
ポリエチレン管用金属継手 おねじ付ソケット φ20	2	個				
ポリエチレン管用金属継手 おねじ付ソケット φ13	3	個				
ポリエチレン管用金属継手 エルボ φ20×90°	2	個				
ねじ込み式エルボ 15A×90° 樹脂コーティング可鍛鉄製	1	個				
伸縮可とう離脱防止継手 ハイブント ポリエチレン管用 φ50 CV	1	個				
埋設用ゲート弁 φ50 青銅製(10K) ねじ込み形	1	個				
埋設用ゲート弁 φ20 青銅製(10K) ねじ込み形	1	個				
埋設用ゲート弁 φ13 青銅製(10K) ねじ込み形	2	個				
逆止弁 φ20×φ13	1	個				
量水器（フレキ有） φ13	1	個				
地下式散水栓 φ13	1	個				
スリース弁管 レジン H=900	2	基				
止水栓管 φ13用 DP=0.15 B1型	1	個				

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

第 116 号 明細書

盛土の管理試験費

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
盛土の材料試験費	1	式	
土の粒度試験(2) JIS A1204:ふるい分析 0.5kg未満	2	試料	
土の液性限界試験 JIS A1205 1試料につき4～6点	2	試料	
土の塑性限界試験 JIS A1205 1試料につき3個	2	試料	
土粒子の比重試験 JIS A1202 1試料につき3個	2	試料	
土の含水量試験 JIS A1203 1試料につき3個	2	試料	
土の突固め試験(1) JIS A1210乾燥法 モールト径10cm ランマー25N	2	試料	
室内試験	1	式	
土の含水量試験 JIS A1203 1試料につき3個	17	試料	
土の突固め試験(1) JIS A1210乾燥法 モールト径10cm ランマー25N	1	試料	
現場試験	1	式	
現場密度試験(砂置換法) JIS A1214	17	箇所	
計			

[illegible]

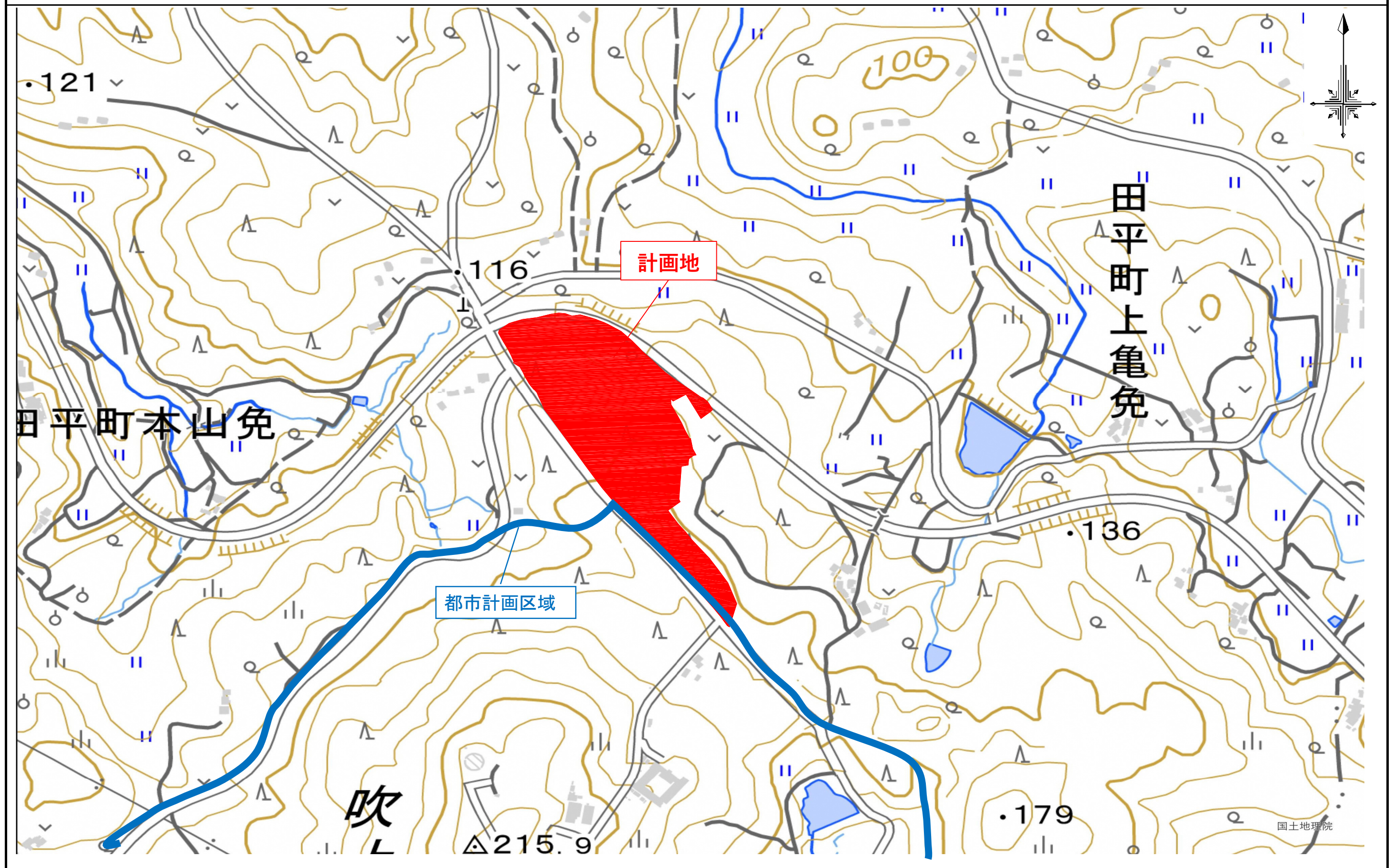
第 120 号 明細書

地盤改良試験費（中層混合処理）

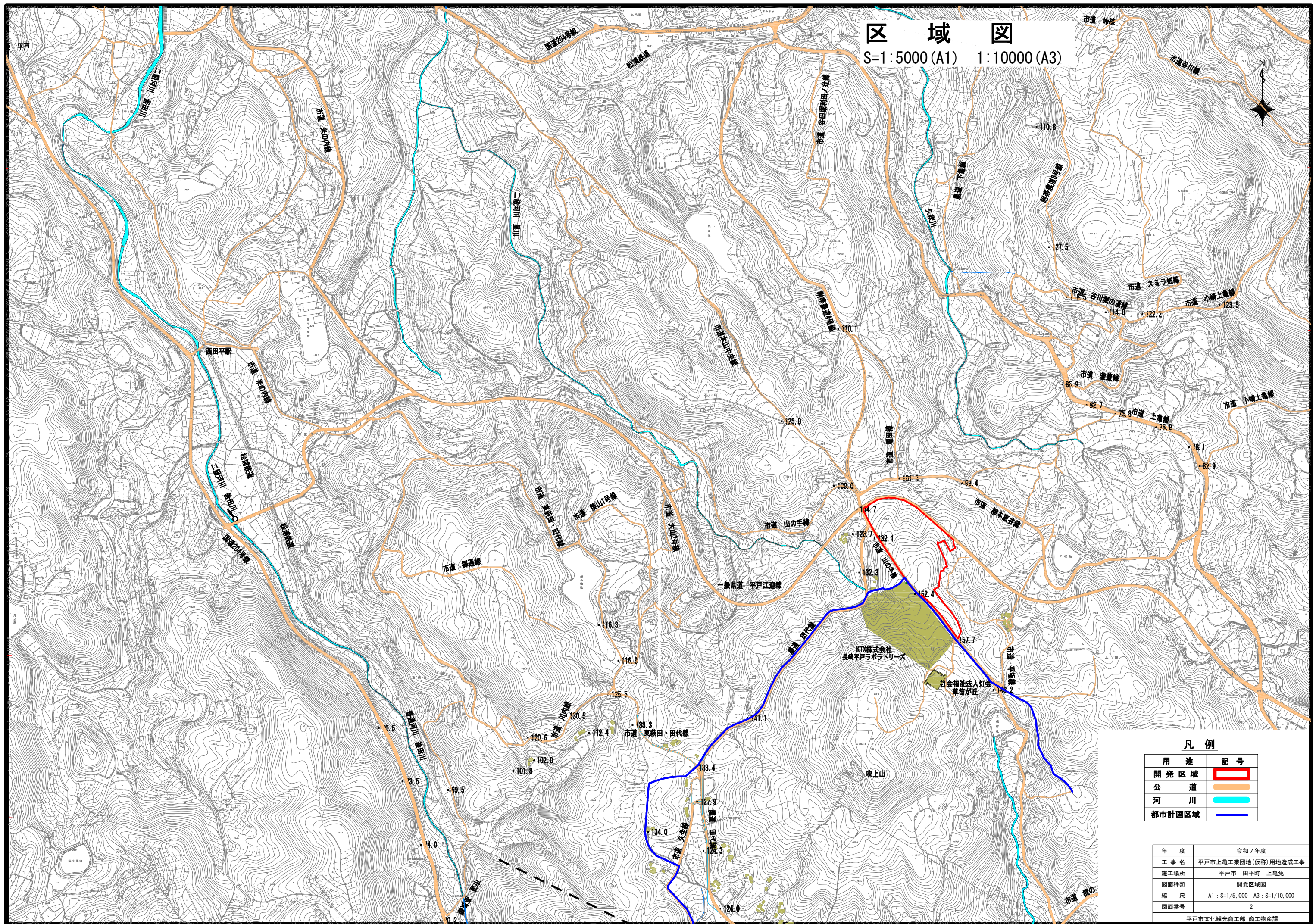
1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	基 準
使用する材料（土砂）	1	式	
土の含水量試験 JIS A1203 1試料につき3個	1	試料	
土の湿潤密度試験 1試料につき3個	1	試料	
一軸圧縮強度の測定（力学特性）	1	式	
土の一軸圧縮試験 JIS A1216 1試料につき2個	1	試料	
締固め度の強度	1	式	
土の湿潤密度試験 1試料につき3個	9	試料	
土の一軸圧縮試験 JIS A1216 1試料につき2個	9	試料	
チェックボーリング	1	式	
市場単価 岩盤ボーリング*（深度50m以下） オールコアボーリング* φ66mm 中硬岩	6.2	m	
市場単価 岩盤ボーリング*（深度50m以下） オールコアボーリング* φ66mm 中硬岩	8.2	m	
市場単価 岩盤ボーリング*（深度50m以下） オールコアボーリング* φ66mm 中硬岩	8.3	m	
計			

平戸市工業団地整備工事 位置図



$S=1:5000(A1) \quad 1:10000(A3)$

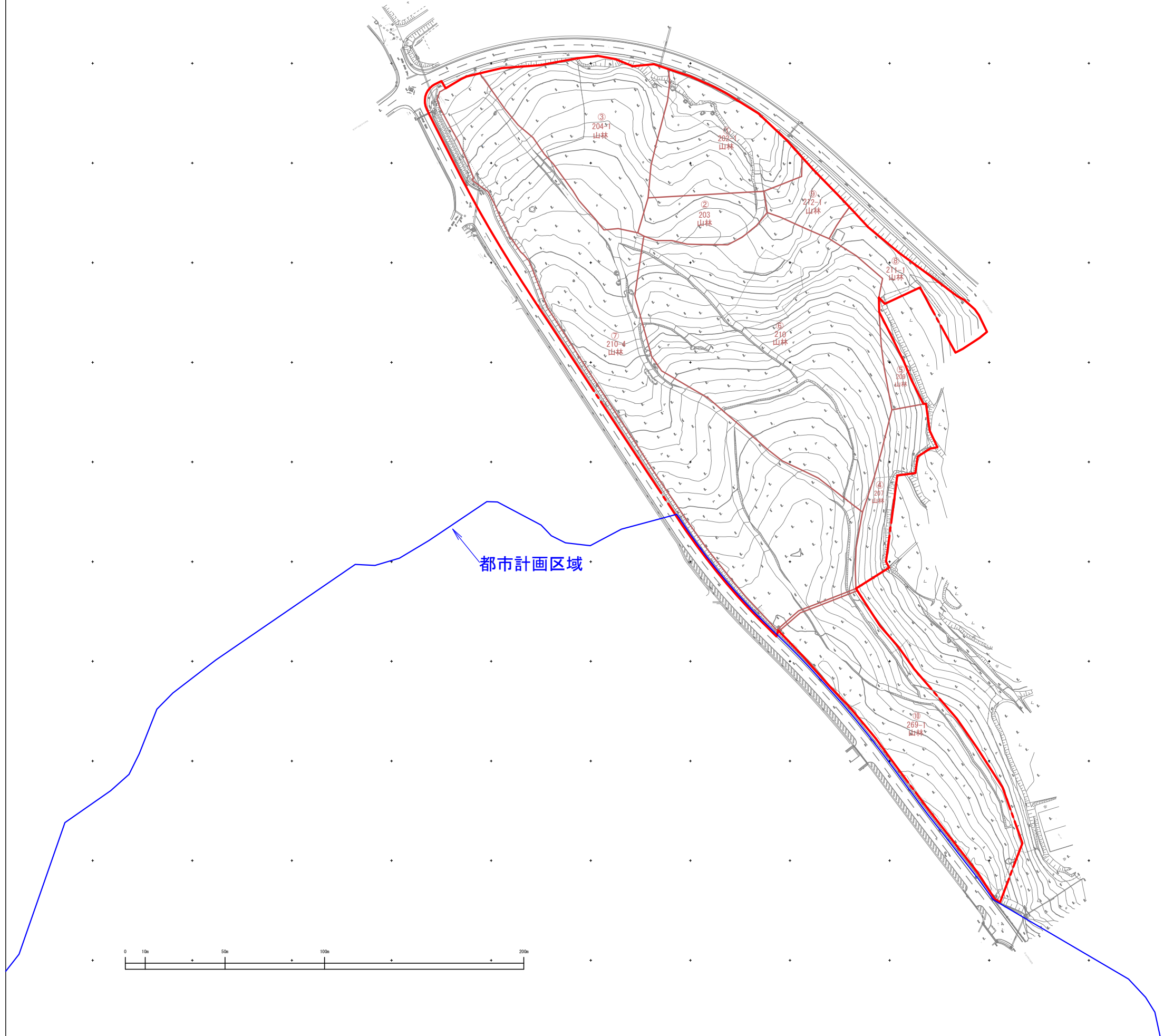
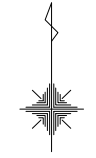


凡 例	
用 途	記 号
開 発 区 域	
公 道	
河 川	
都市計画区域	

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	開発区域図
縮 尺	A1 : S=1/5,000 A3 : S=1/10,000
図面番号	2
平戸市文化観光商工部 商工産課	

現 況 図

S=1 : 1,000 (A1)
S=1 : 2,000 (A3)

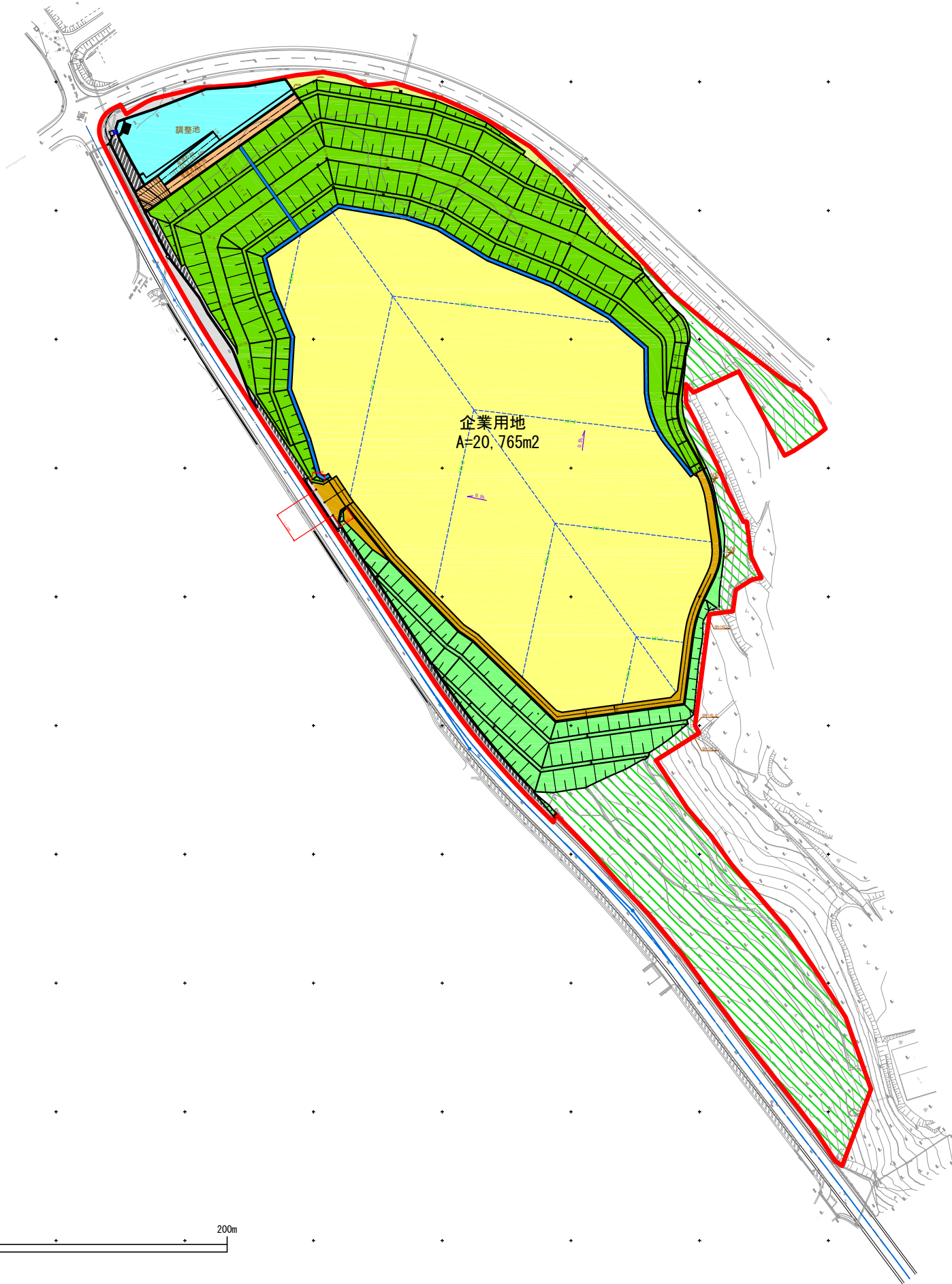


凡例

記 号	種 別
	開発区域界
	筆 界
	都市計画区域界

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	現 況 図
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	3
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

土地利用計画図 S=1 : 1,000 (A1)
S=1 : 2,000 (A3)

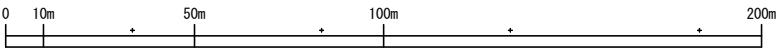


企業用地
A=20,765m²

土地利用面積一覧表

記号	種別	面積 (㎡)	割合 (%)	摘要
	開発区域界	47,870.48	100.0	市道拡幅考慮
	企業用地	20,765.41	43.4	
	緩衝帯 (W=5.0m)			
	小計	20,765.41	43.4	
	管理用通路	977.76	2.0	(W=3.0m)
	水路	526.97	1.1	
	造成法面	10,482.51	21.9	
	造成緑地	402.07	0.8	
	造成森林	3,445.50	7.2	
	残置森林	8,115.35	17.0	
	調整池	1,410.41	2.9	
	調整池 (管理用通路)	381.41	0.8	
	その他	1,363.09	2.9	市道拡幅考慮
	小計	27,105.07	56.6	

※CAD求積



年度	令和7年度
工事名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	土地利用計画図
縮尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	4
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

開発区域 求積図

S=1 : 1,000 (A1)
S=1 : 2,000 (A3)

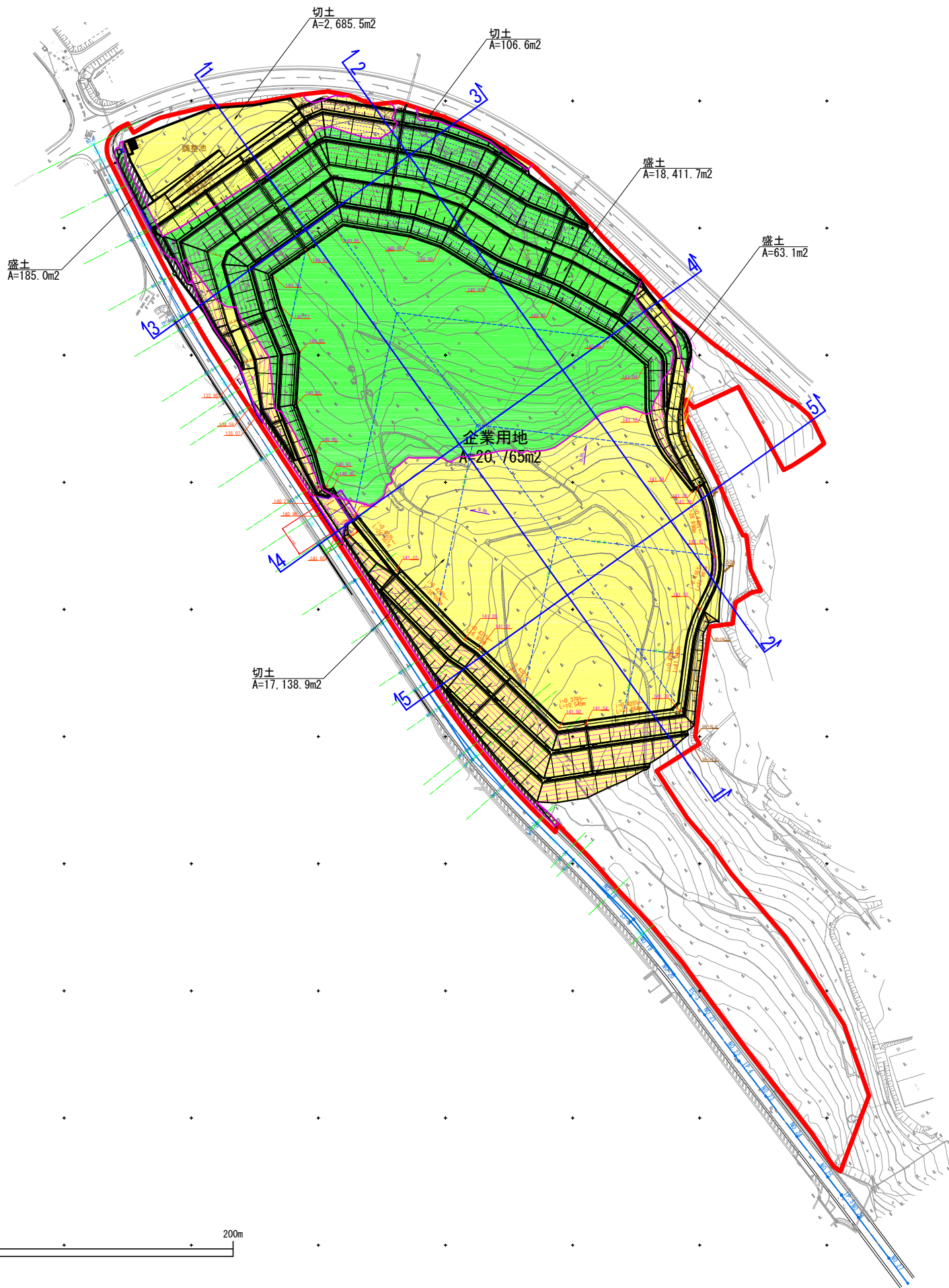
座標求積表				
地番	開発区域			
測点	Xn	Yn	(Xn-1-Yn-1)Yn	距離
001	37604.090	10556.097	-105223.174896	2.523
002	37602.082	10557.026	-42283.292120	2.524
003	37600.085	10558.170	-42979.851250	1.047
004	37596.127	10562.303	-73133.385972	3.822
005	37593.181	10564.714	-48812.247324	1.801
006	37591.098	10565.425	-20884.204691	1.901
007	37590.238	10567.146	-29080.427274	1.717
008	37588.927	10568.255	-27646.555080	1.716
009	37587.522	10569.270	-21199.405260	2.433
010	37585.029	10571.621	-26296.222189	4.032
011	37582.013	10574.286	-43047.867158	1.420
012	37580.998	10575.249	-22280.899145	1.420
013	37579.989	10576.205	-43523.812190	4.178
014	37576.840	10579.042	-48568.381822	2.093
015	37575.317	10580.478	-24208.133664	1.056
016	37574.592	10581.296	-12030.831222	0.514
017	37574.180	10581.542	-7875.682128	0.514
018	37573.808	10581.918	-18274.972386	1.883
019	37572.453	10583.226	-21272.284260	0.914
020	37571.788	10583.864	-10272.188720	0.454
021	37571.473	10584.182	-4879.718300	0.454
022	37571.148	10584.500	-20936.141000	2.325
023	37569.485	10588.125	-18271.270260	1.162
024	37568.672	10586.649	-13952.715748	0.581
025	37568.262	10587.368	-8681.641760	0.581
026	37567.852	10587.780	-41176.132840	7.819
027	37562.484	10593.188	-45599.434012	1.009
028	37563.453	10593.472	-32273.650422	2.174
029	37565.540	10594.084	-118325.324196	18.369
030	37562.284	10606.801	-26589.892746	16.271
031	37563.584	10618.811	-288610.150260	18.181
032	37526.894	10630.060	-291146.713340	20.413
033	37571.205	10643.120	-30489.313580	16.090
034	37488.225	10652.620	-35284.515180	29.451
035	37476.264	10669.720	-452172.487670	24.643
036	37485.076	10684.939	-335934.482160	15.252
037	37443.628	10694.289	-28519.444432	15.243
038	37430.988	10702.659	-158891.696968	3.379
039	37428.980	10705.376	-297502.399040	31.857
040	37428.778	10716.645	-618314.914550	29.700
041	37428.170	10716.117	-580781.734840	21.246
042	37506.296	10694.088	-368433.064296	18.158
043	37521.222	10683.756	-425544.685236	32.855
044	37548.127	10662.327	-382712.568328	13.497
045	37557.114	10654.490	-231883.011380	14.250
046	37567.889	10645.161	-301715.798223	20.949
047	37568.459	10633.752	-186223.771032	2.295
048	37568.520	10633.086	-123196.692564	19.729
049	37597.045	10649.789	-144059.695803	3.404
050	37600.057	10648.203	-37754.685688	32.725
051	37623.581	10652.884	-439931.649184	10.819
052	37643.233	10653.861	-129994.023120	9.125
053	37644.421	10662.909	-100796.478777	8.344
054	37653.686	10664.059	-120738.699281	7.499
055	37656.680	10670.359	-50496.720531	3.715
056	37657.395	10674.005	-96653.115275	9.223
057	37657.735	10670.066	-233955.581572	13.623
058	37679.227	10686.253	-148986.552128	2.240
059	37679.111	10687.013	-45781.486770	4.951
060	37683.527	10664.774	-124638.548964	8.122
061	37680.787	10681.151	-177593.453258	10.156
062	37700.185	10657.589	-239159.773629	14.530
063	37713.238	10650.884	-287475.648992	13.528
064	37725.288	10644.754	-205486.331216	7.244
065	37732.542	10644.648	-18325.667216	4.353
066	37729.340	10647.613	-53834.331329	19.485
067	37737.588	10665.262	-281213.596904	37.259
068	37738.848	10683.020	-329614.207620	1.106
069	37746.744	10686.689	-79961.321478	2.220
070	37712.331	10695.234	-91326.603126	4.705
071	37715.283	10688.898	-121421.793402	9.316
072	37733.680	10684.670	-120163.558320	4.483
073	37726.519	10692.824	-82709.070990	7.357
074	37731.415	10687.542	-71391.444560	3.832
075	37733.189	10683.450	-124200.919750	16.388
076	37743.040	10670.540	-232995.889040	20.120
077	37756.031	10654.688	-264119.060832	20.029
078	37787.829	10639.280	-243192.682240	13.785
079	37777.889	10639.855	-155472.259220	6.251
080	37782.455	10625.576	-199102.043089	19.838
081	37796.627	10611.693	-217435.038342	8.498
082	37802.949	10606.014	-156147.728108	11.293
083	37811.349	10596.467	-232519.787513	19.090
084	37824.888	10584.170	-169420.809190	4.664
085	37827.394	10580.212	-109219.528416	14.843
086	37828.211	10567.617	-112513.413198	5.981
087	37838.003	10562.327	-87794.062024	13.432
088	37843.523	10550.081	-96501.590907	11.607
089	37847.180	10539.055	-53887.254170	7.920
090	37849.585	10531.653	-15186.643626	10.607
091	37848.592	10521.092	-26576.278392	9.324
092	37852.111	10512.467	-52771.273555	9.906
093	37853.707	10503.066	-42505.994475	10.515
094	37852.516	10493.247	-48992.970243	19.136
095	37849.038	10474.629	-45134.314561	11.507
096	37848.207	10462.952	-14428.873760	5.277
097	37847.658	10455.394	-33342.251468	11.380
098	37845.018	10444.224	-44106.380252	6.812
099	37843.435	10437.980	-20123.624126	3.051
100	37842.131	10434.622	-45205.245860	9.940
101	37837.446	10427.201	-10813.007437	4.237
102	37841.094	10425.046	-22392.999898	3.427
103	37839.583	10421.945	-18019.571485	0.484
104	37839.385	10421.538	-3803.881370	0.271
105	37839.228	10421.304	-5429.499384	0.699
106	37838.844	10420.719	-6346.217871	0.378
107	37838.619	10420.415	-6719.747260	0.656
108	37838.200	10419.909	-6033.127311	0.237
109	37838.040	10419.734	-4720.139002	0.419
110	37837.747	10419.434	-5278.423944	0.307
111	37837.524	10419.222	-5115.838002	0.357
112	37837.256	10418.985	-7282.032545	0.550
113	37836.627	10418.640	-8793.332160	0.599
114	37836.412	10418.344	-8899.317290	0.496
115	37835.992	10418.076	-8896.786312	0.278
116	37835.750	10417.836	-8823.991792	0.680
117	37835.145	10417.624	-10042.586256	0.383
118	37834.786	10417.464	-6125.468832	0.247
119	37834.557	10417.371	-9594.398891	0.732
120	37833.865	10417.121	-12010.955943	0.478
121	37833.494	10417.003	-9489.889733	0.481
122	37832.954	10416.902	-7729.341284	0.296
123	37832.682	10416.849	-8896.005550	0.683
124	37832.084	10416.762	-15671.228010	0.848
125	37831.157	10416.719	-16270.915079	0.715
126	37830.442	10416.742	-11645.917556	0.404
127	37830.039	10416.719	-10994.450454	0.550
128	37829.390	10416.674	-15333.630528	0.844
129	37828.567	10417.062	-13380.090548	0.480
130	37828.107	10417.202	-9125.469892	0.441
131	37827.681	10417.351	-6615.017985	0.235
132	37827.472	10417.438	-5375.398008	0.323
133	37827.175	10417.567	-3187.775002	0.009
134	37827.188	10417.571	-2125.184884	0.218
135	37826.971	10417.662	-25429.512942	2.518
136	37824.725	10418.801	-57084.610679	3.600
137	37821.482	10420.386	-55197.075036	5.544
138	37816.549	10422.897	-159417.520008	15.612
139	37802.628	10429.965	-235727.661566	9.747
140	37798.948	10434.402	-129209.199965	4.179
141	37790.245	10436.339	-114786.419963	8.273
142	37782.951	10440.244	-355608.150884	30.875
143	37786.184	10455.634	-325567.531482	5.126
144	37781.813	10458.312	-18188.802020	3.431
145	37748.899	10460.124	-58186.749544	3.125
146	37746.252	10461.788	-123794.337404	10.926
147	37737.086	10467.704	-219190.721760	14.071
148	37735.312	10475.441	-181729.325599	11.411
149	37721.627	10477.567	-69965.205994	3.468
150	37718.730	10479.775	-248664.101200	24.840
151	37697.899	10483.449	-533216.190496	25.897
152	37697.914	10513.229	-400668.133421	17.990
153	37697.901	10519.822	-302129.287840	22.392
154	37639.196	10532.133	-361515.465225	18.735
155	37623.575	10542.479	-243678.659656	8.888
156	37616.682	10547.442	-121569.816492	4.921
157	37612.000	10550.264	-126518.765889	9.868
		積 算	87740.868489	
		面 積	47870.48 ㎡	



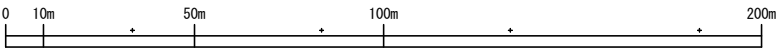
年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上毛工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上毛免
図面種類	開発区域求積図
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	5
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

造成計画平面図

S=1 : 1, 000 (A1)
S=1 : 2, 000 (A3)



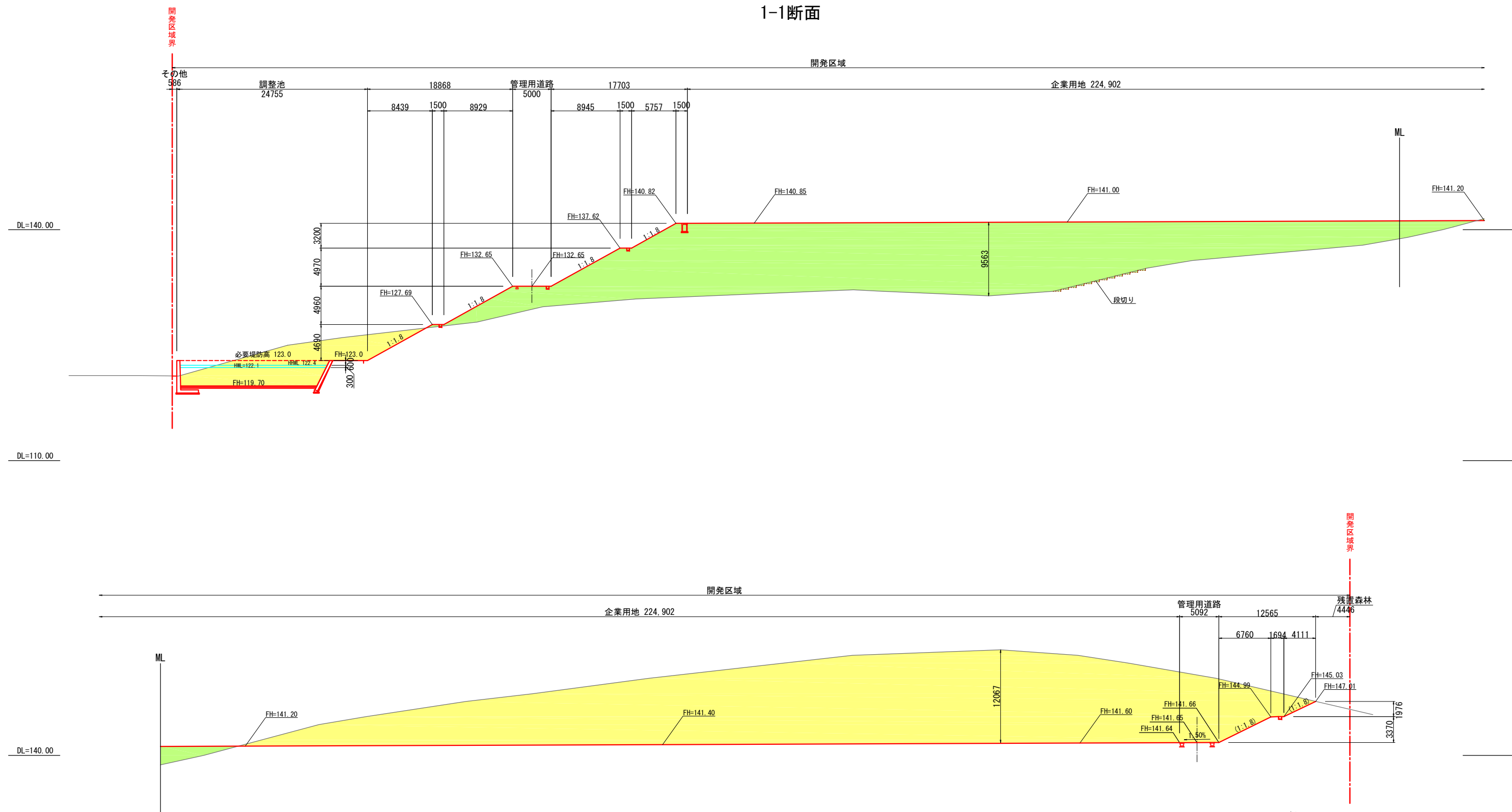
凡 例		
記 号	種 別	摘 要
—	開発区域	
—	切盛境界線	
	切土	A=19, 931. 0m ²
	盛土	A=18, 659. 8m ²
1 2 3 4 5	造成断面位置	



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	造成計画平面図
縮 尺	A1 : S=1/1, 000 A3 : S=1/2, 000
図面番号	6

造成計画断面図(1) S=1 : 250 (A1)
S=1 : 500 (A3)

1-1断面

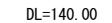


凡 例		
記 号	名 称	摘 要
	切 土	
	盛 土	

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	造成計画断面図(1)
縮 尺	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500
図面番号	7
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 250 (A1)
S=1 : 500 (A3)

2-2断面

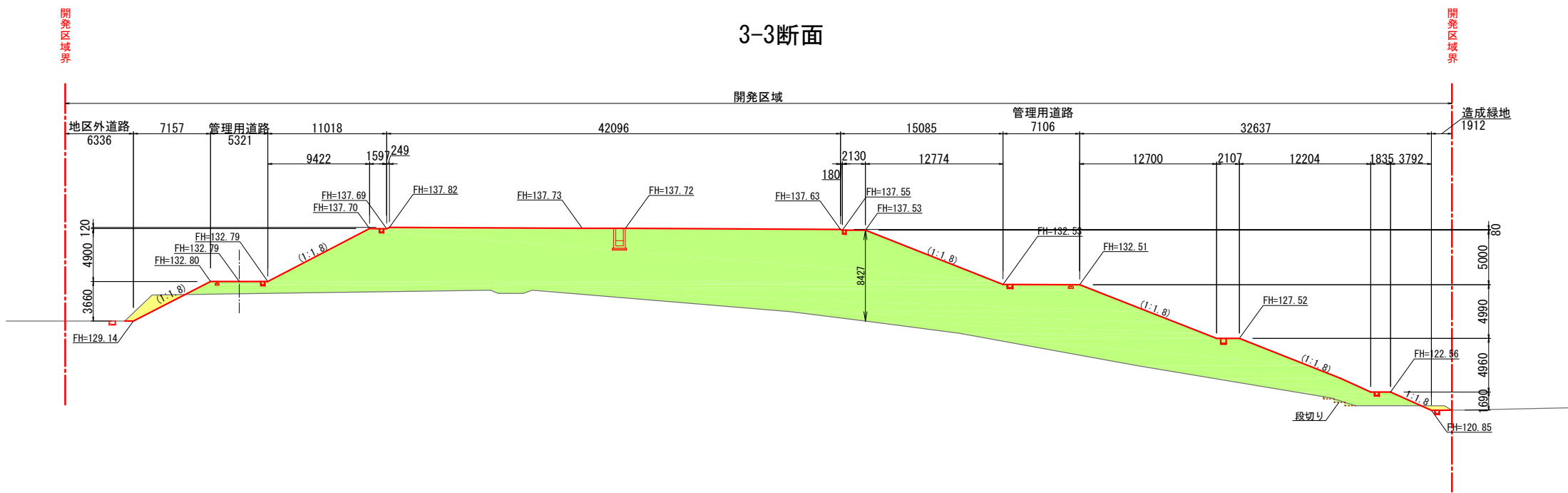


凡 例		
記 号	名 称	摘 要
	切 土	
	盛 土	

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平 戸 市 田 平 町 上 亀 免
図面種類	造成計断面図(2)
縮 尺	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500
図面番号	8
平戸市文化観光工商部 商工物産課	

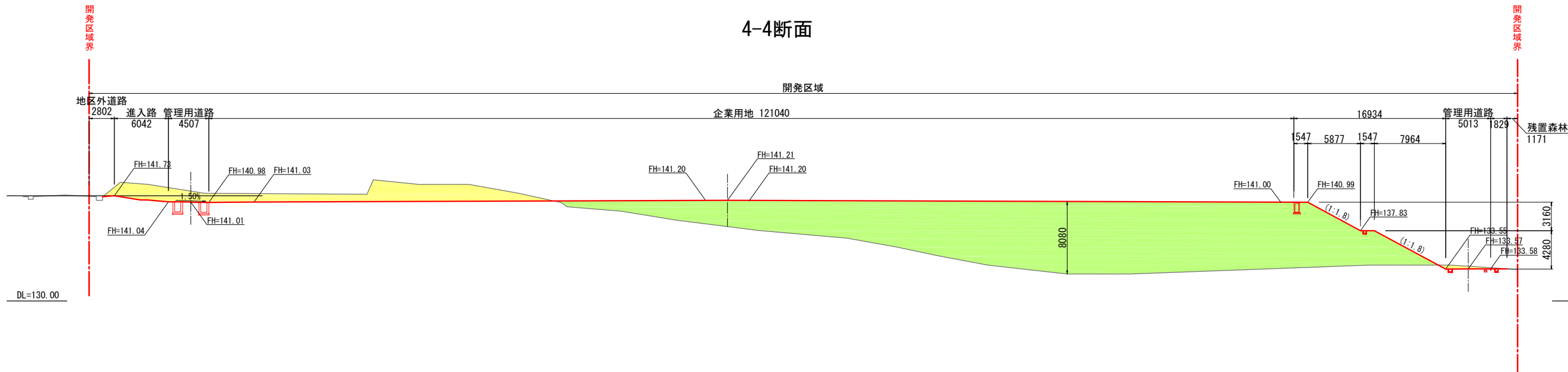
造成計画断面図(3) S=1 : 250 (A1)
S=1 : 500 (A3)

3-3断面



記号	名称	摘要
切土	切土	
盛土	盛土	

4-4断面

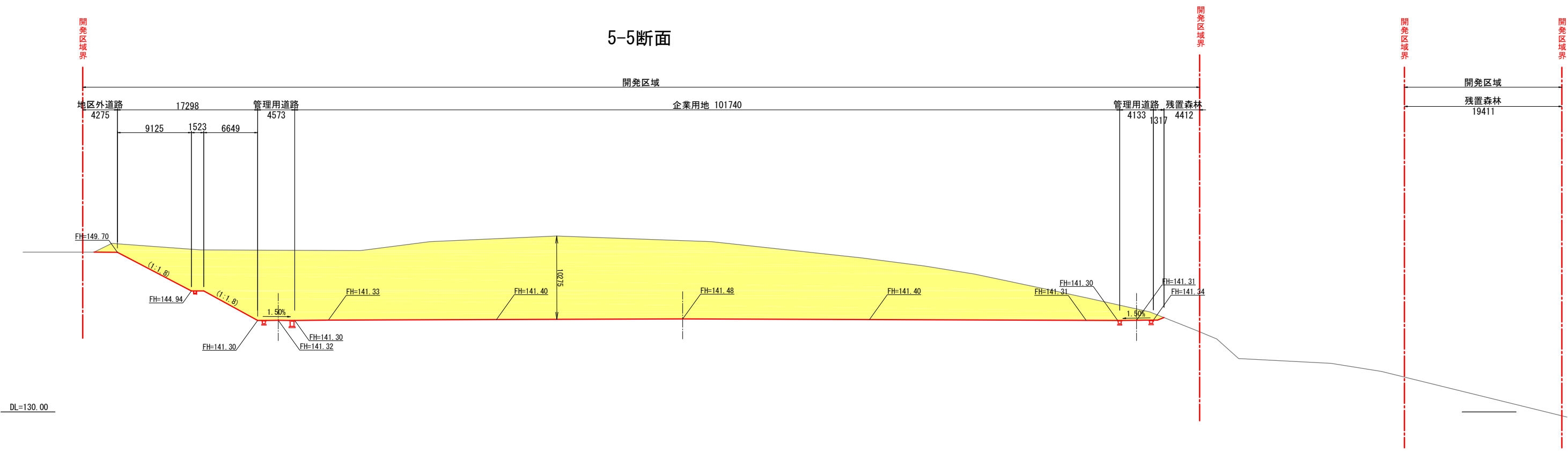


記号	名称	摘要
切土	切土	
盛土	盛土	

年度	令和7年度
工事名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	造成計画断面図(3)
縮尺	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500
図面番号	9

造成計画断面図(4) S=1 : 250 (A1)
S=1 : 500 (A3)

5-5断面

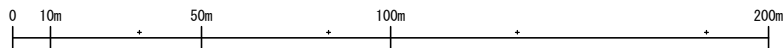


DL=130.00

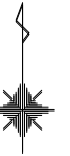
凡 例		
記 号	名 称	摘 要
	切 土	
	盛 土	

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	造成計画断面図(4)
縮 尺	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500
図面番号	10
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

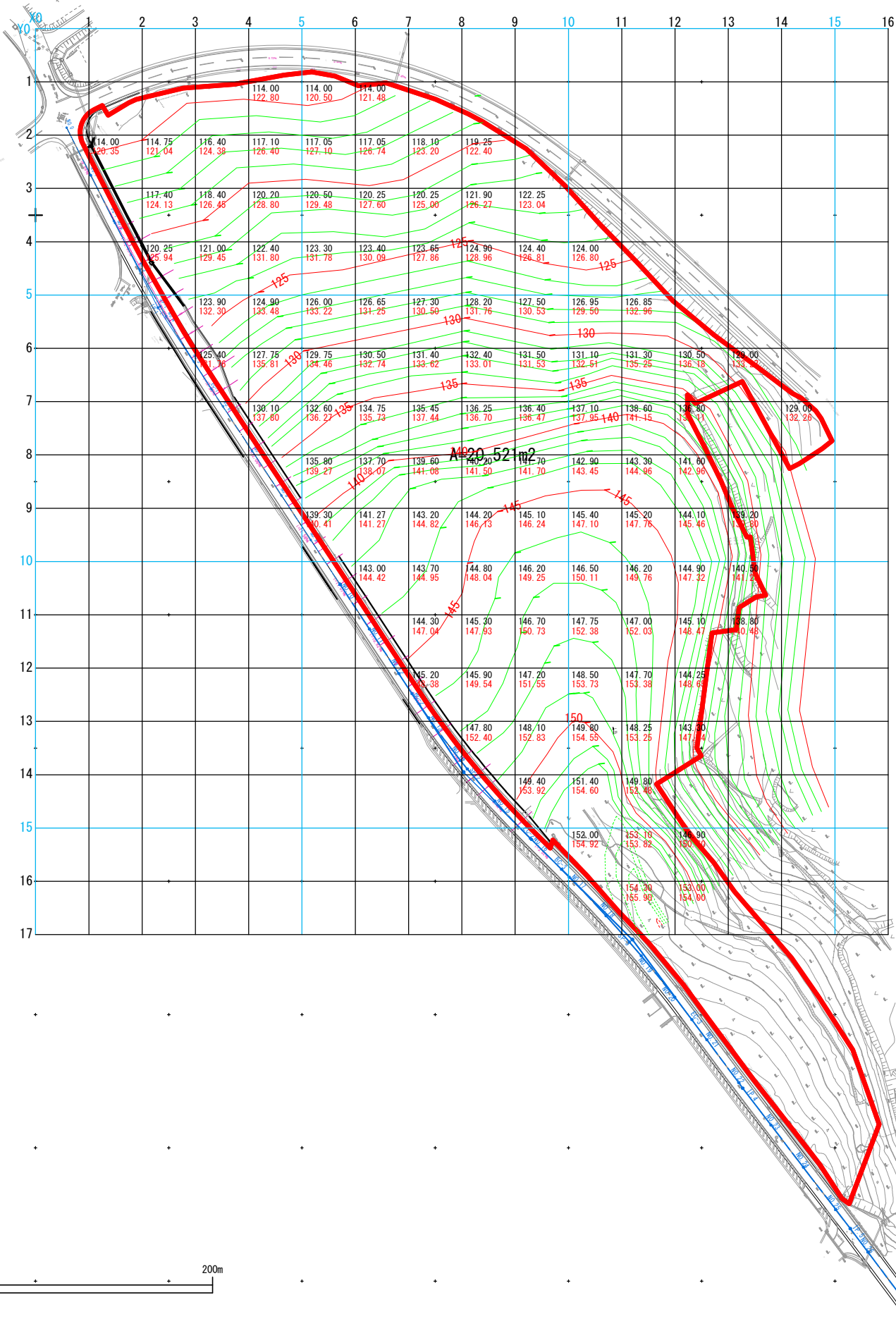
S=1 : 1, 000 (A1)
S=1 : 2, 000 (A3)



※踏込み沈下は $t=5\text{cm}$ とする。

平戸市文化観光商工部 商工物産課

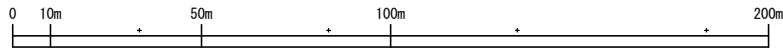
点高法計画平面図 S=1 : 1,000 (A1)
(軟岩 I) S=1 : 2,000 (A3)



凡 例

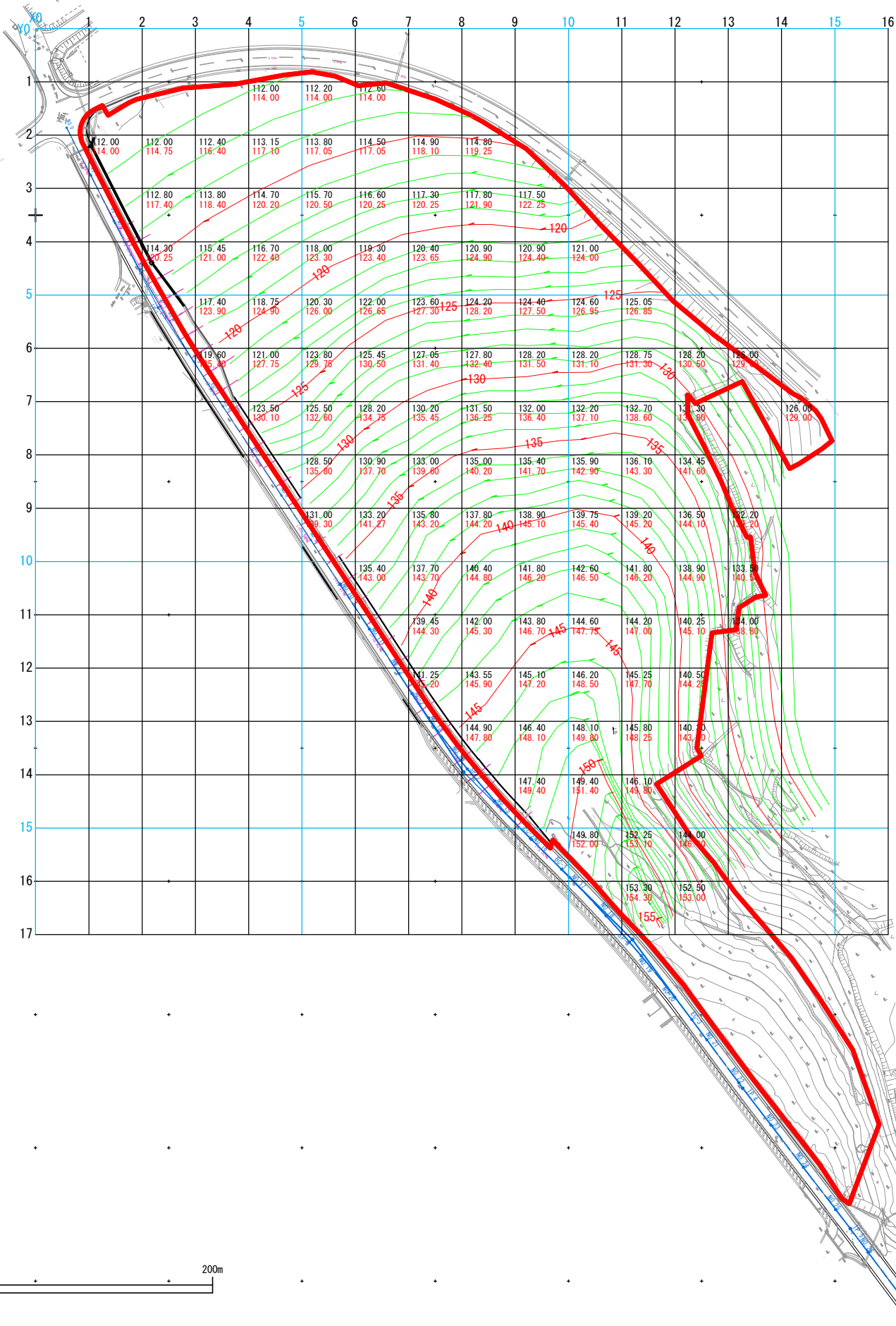
記 号	名 称	摘 要
	開発区域界	
	上段：現況高(軟岩 I) 下段：現況高(土砂)	

※踏込み沈下はt=5cmとする。



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	点高法計画平面図(軟岩 I)
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	12
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

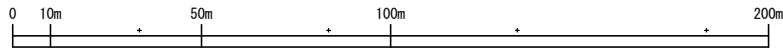
点高法計画平面図 S=1 : 1,000 (A1)
(軟岩Ⅱ) S=1 : 2,000 (A3)



凡 例

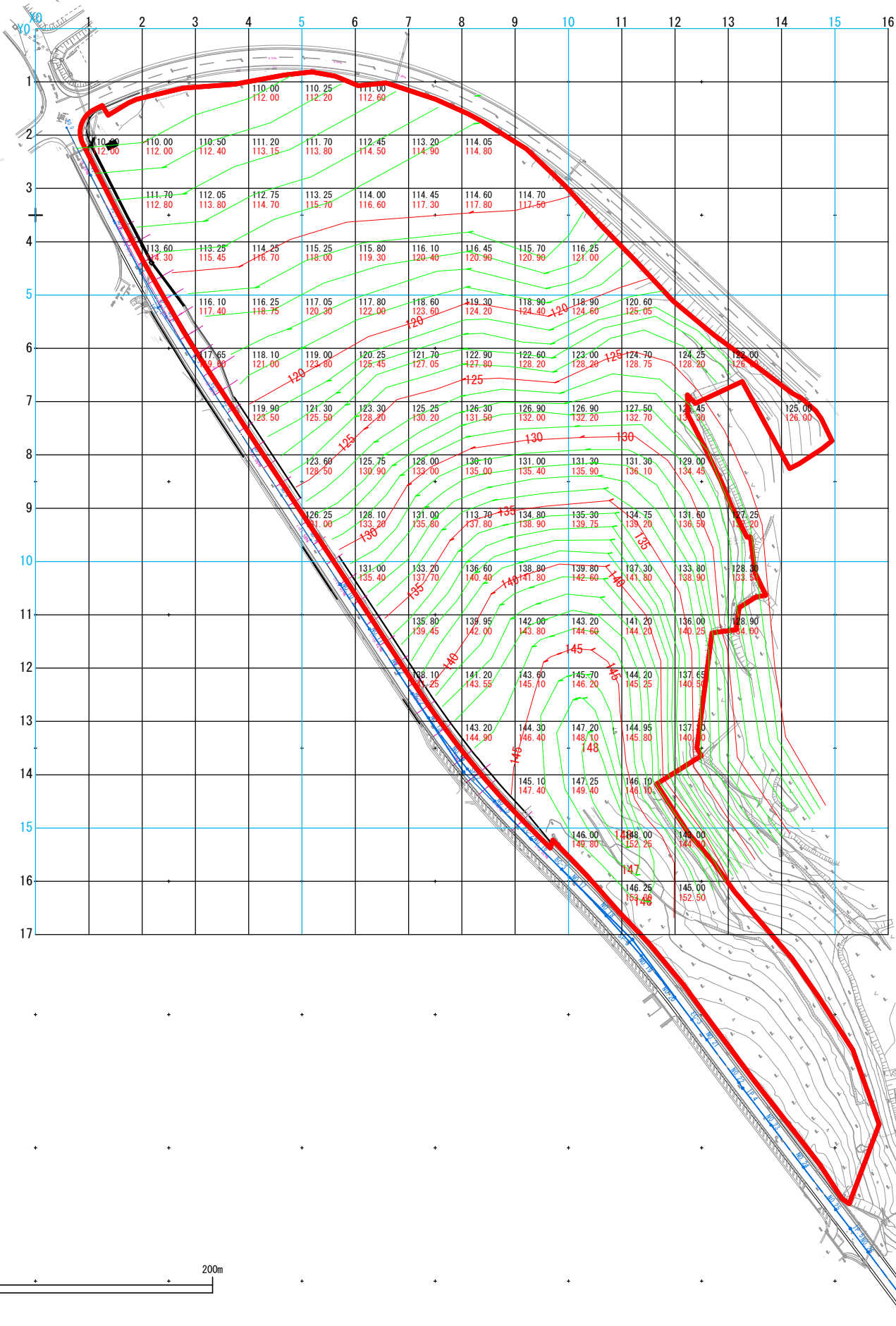
記 号	名 称	摘 要
	開発区域界	
	上段：現況高(軟岩Ⅱ) 下段：現況高(軟岩Ⅰ)	

※踏込み沈下はt=5cmとする。



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	点高法計画平面図(軟岩Ⅱ)
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	13
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

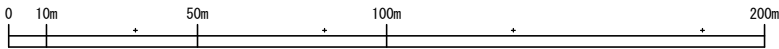
点高法計画平面図 S=1 : 1,000 (A1)
S=1 : 2,000 (A3)
(中硬岩)



凡例

記号	名称	摘要
	開発区域界	
	上段：現況高(中硬岩) 下段：現況高(軟岩Ⅱ)	

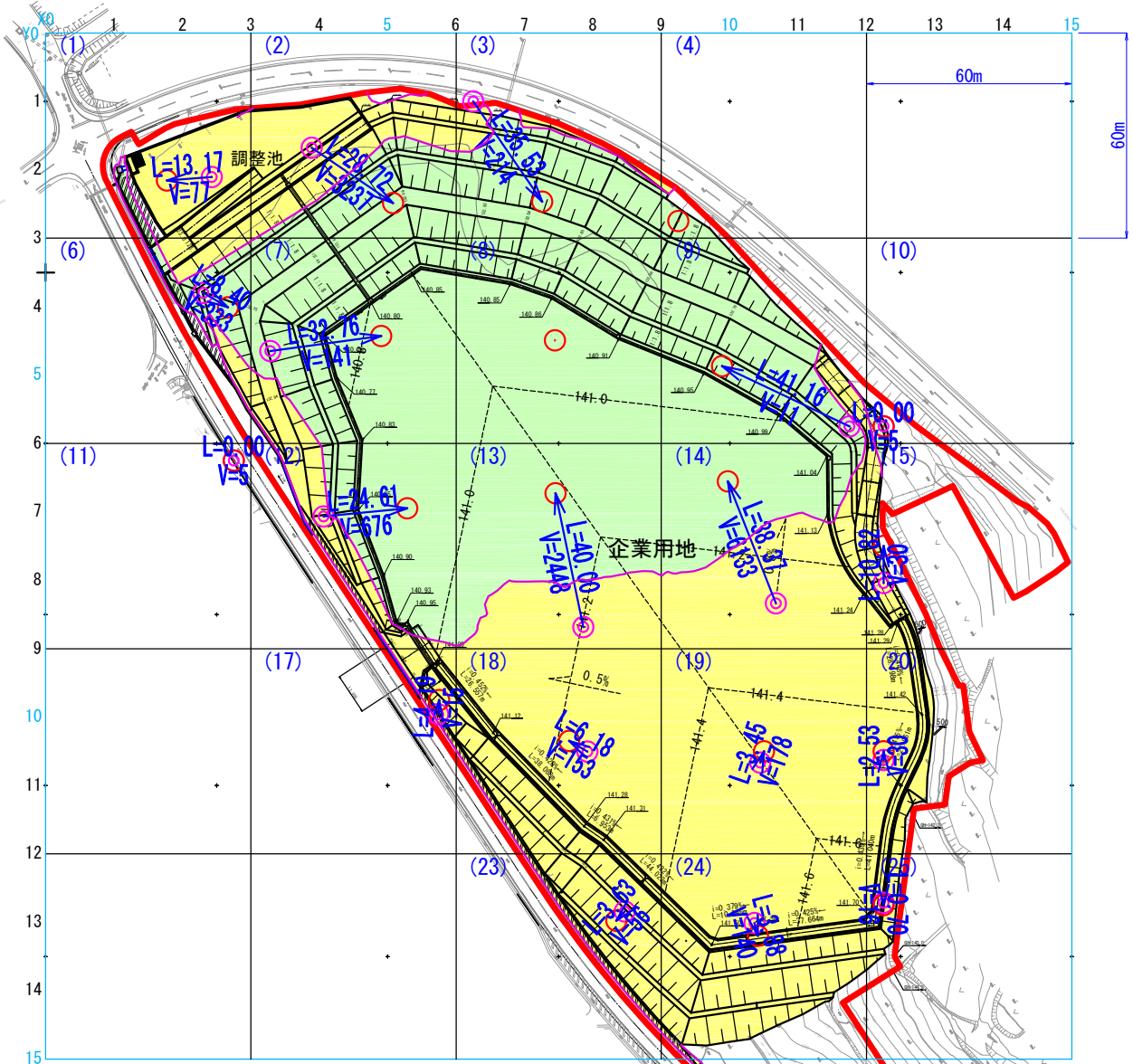
※踏込み沈下はt=5cmとする。



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	点高法計画平面図(中硬岩)
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	14

運土計画平面図
(ブロック内運土)

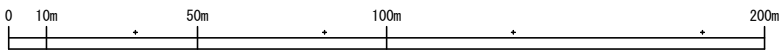
S=1 : 1,000 (A1)
S=1 : 2,000 (A3)



凡例

- 切土 (Cut Earth)
- 盛土 (Fill Earth)
- 運搬距離 (Transport Distance)
- 切土 切土量 盛土 (Cut Earth, Cut Earth Volume, Fill Earth)
- 運土 (切土) (Earthwork (Cut Earth))

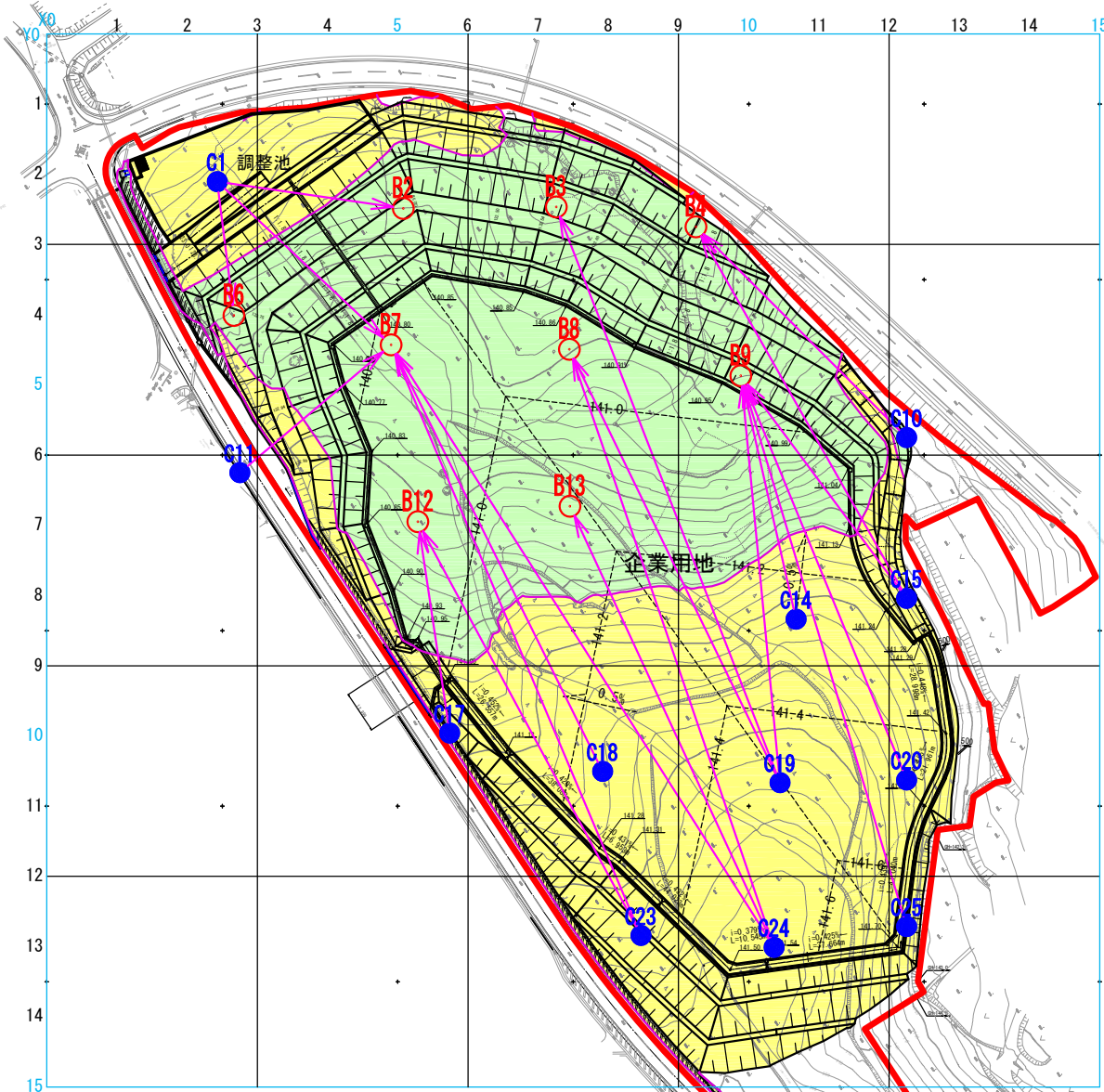
B. No.	土	砂	軟 岩 I	軟 岩 II	中 硬 岩	切 土	計	距離 (m)	仕事量
1	77		0	0		0	77	13.17	1014
2	3237		0	0	0	3237	28.72	92967	
3	214		0	0		0	214	35.53	7603
6	333		0	0		0	333	8.40	2797
7	141		0	0	0	0	141	32.76	4619
9	11	*	0	0	0	0	11	41.16	* 453
10	5		0	0	0	0	5	0	0
11	5		0	0	0	0	5	0	0
12	652		24	0		0	676	24.61	16637
13	944		1504	0		0	2448	40.00	97920
14	2337		3796	0		0	6133	38.37	235324
15	17		13	0		0	30	10.82	325
17	7		8	0		0	15	4.19	63
18	67	*	74	9		3	153	6.18	* 946
19	77		70	17		14	178	3.45	615
20	14		16	0		0	30	2.53	75
23	36		10	6		4	56	3.63	204
24	67		28	14		31	140	3.88	543
25	11		5	0		0	16	0.70	12
合計	8252		5548	46		52	13898	33.25	462117



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	運土計画平面図(ブロック内運土)
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	15

平戸市文化観光商工部 商工物産課

運土計画平面図 S=1 : 1,000 (A1)・
S=1 : 2,000 (A3)
(ブロック間運土)



凡例

切土

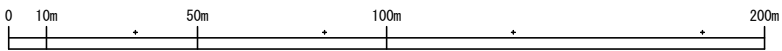
盛土

C1

B2

運土 (切土→盛土)

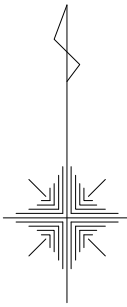
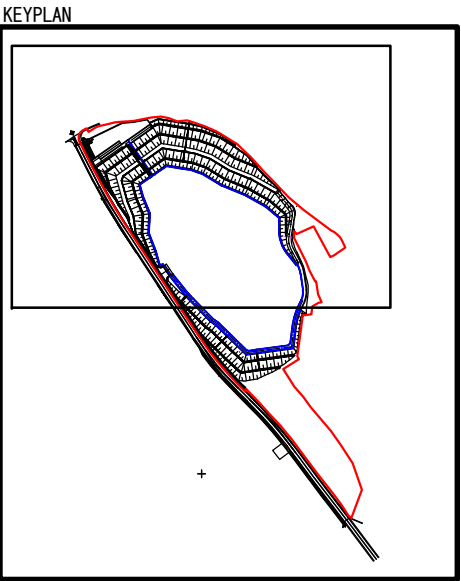
切土	盛土	土砂	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	切土計	距離(m)	仕引量
1	2	895	0	0	0	895	53.55	47927
1	6	484	0	0	0	484	38.44	18605
11	7	5	0	0	0	5	56.42	282
60.0m未満の合計								
小計		1384	0	0	0	1384	48.28	66814
1	7	249	0	0	0	249	67.99	16930
10	4	5	0	0	0	5	84.85	424
14	9	183	297	0	0	480	71.11	34133
15	4	260	214	0	0	474	121.65	57662
15	9	385	319	0	0	704	79.05	55651
17	12	284	292	0	0	576	60.87	35061
18	7	7563	8288	991	347	17189	135.65	2331688
19	3	628	571	147	113	1459	175.96	256725
19	8	8934	8122	2092	1601	20749	137.24	2847592
19	9	3826	3478	896	686	8886	116.38	1034153
20	9	1720	1941	0	0	3661	124.42	455501
23	7	520	135	90	59	804	182.71	146899
23	12	3349	875	577	379	5180	133.90	693601
24	7	1129	466	229	517	2341	203.34	476019
24	8	6624	2730	1341	3029	13724	180.05	2471005
24	13	4054	1671	821	1853	8399	138.44	1162757
25	9	1258	581	0	0	1839	163.83	301283
60.0m以上の合計								
小計		40971	29980	7184	8584	86719	142.73	12377084
合計		42355	29980	7184	8584	88103	141.24	12443898



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	運土計画平面図(ブロック間運土)
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	16

管理用道路計画平面図(1)

S=1 : 500 (A1)
S=1 : 1,000 (A3)



記号	種別	摘要
	開発区域	
	アスファルト舗装	(管理用道路)
	アスファルト舗装	(進入路)
	張コンクリート(路肩部)	(厚=5cm)
	張ブロック(路肩斜面部)	(厚=7cm)
	車止め	H=650 W=700

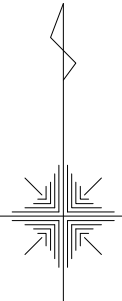
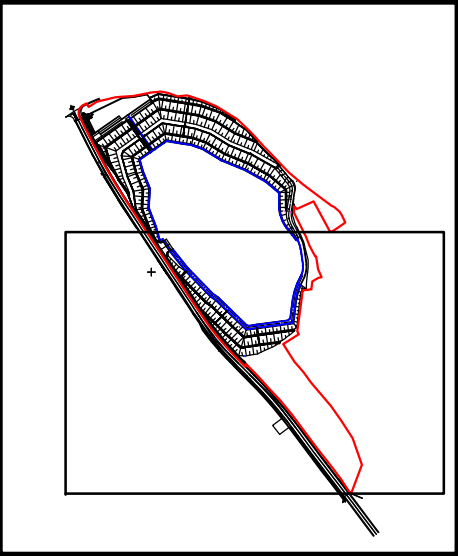
年度	令和7年度
工事名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	管理用道路計画平面図(1)
縮尺	A1 : S=1/500 A3 : S=1/1,000
図面番号	17

平戸市文化観光商工部 商工物産課

管理用道路計画平面図(2)

S=1 : 500 (A1)
S=1 : 1,000 (A3)

KEYPLAN



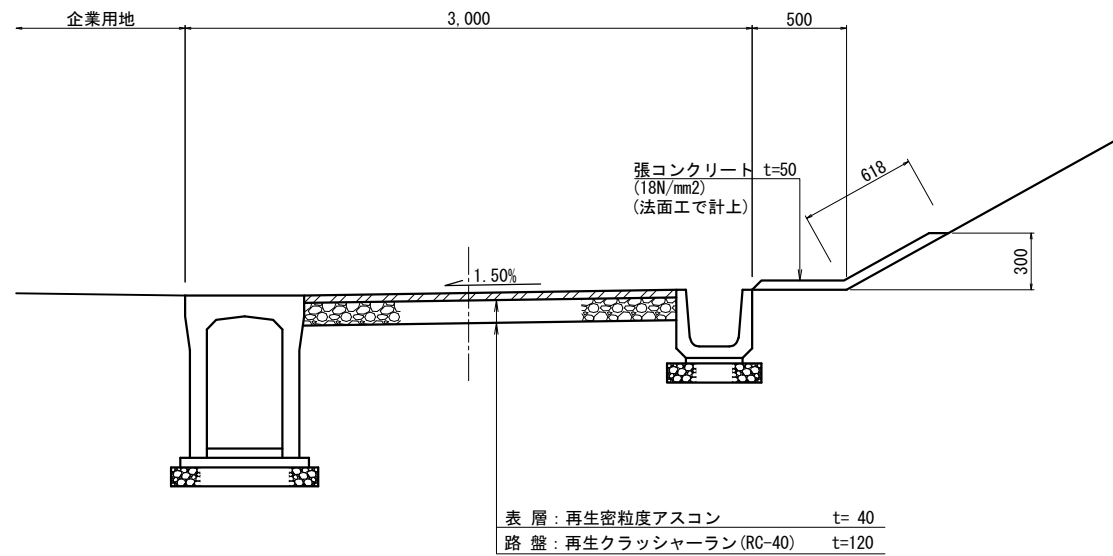
凡 例

記 号	種 別	摘 要
	開発区域	
	アスファルト舗装	(管理用道路)
	アスファルト舗装	(進入路)
	張コンクリート(路肩部)	(厚=5cm)
	張ブロック(路肩斜面部)	(厚=7cm)
	車止め	H=650 W=700

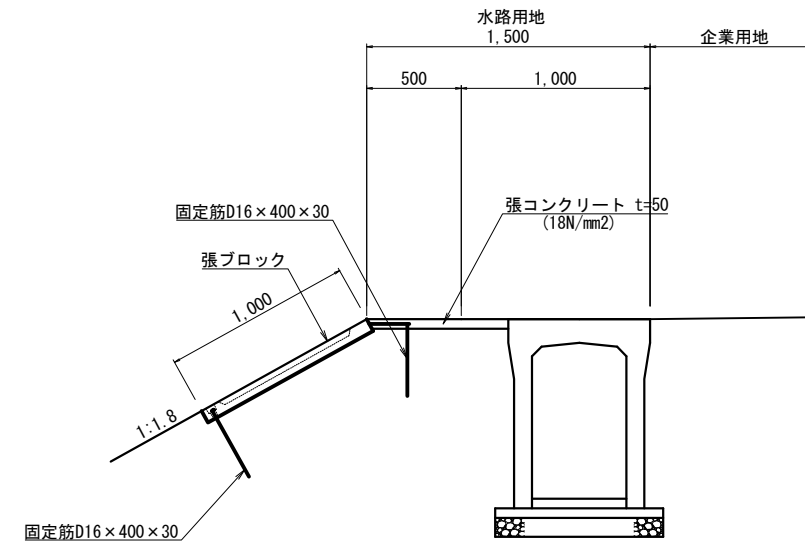
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	管理用道路計画平面図(2)
縮 尺	A1 : S=1/500 A3 : S=1/1,000
図面番号	18

管理用道路施設構造図

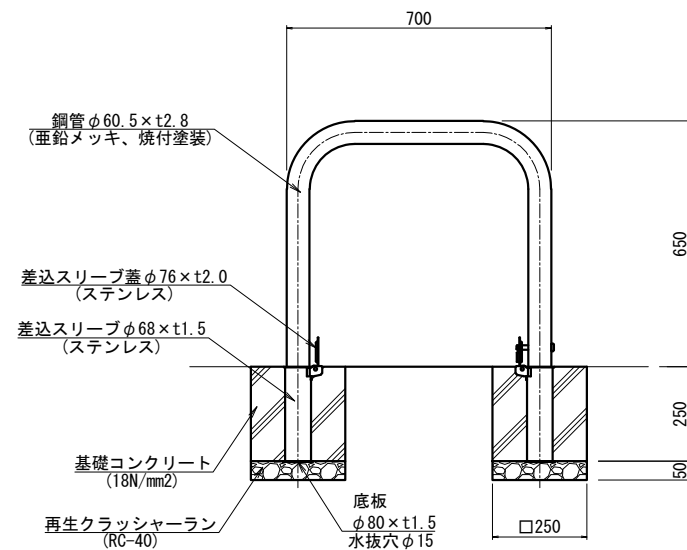
管理用道路標準断面図 $S=1:20(A1)$
 $S=1:40(A3)$
 幅員 $W=3.0m$ 部



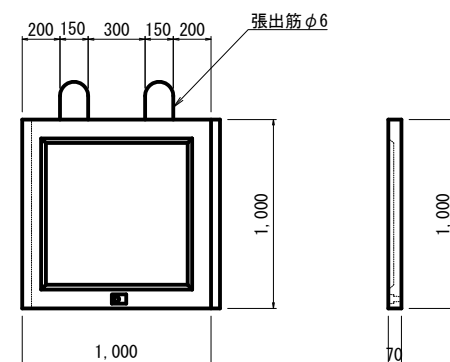
水路用地標準断面図 $S=1:20$ (A1)
 $S=1:40$ (A3)



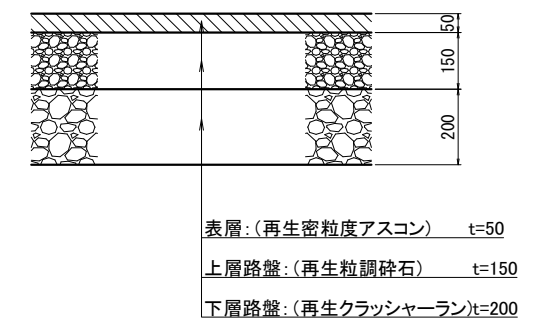
車止め	S=1:10(A1)
	S=1:20(A3)



張りブロック S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

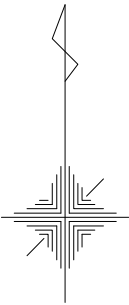
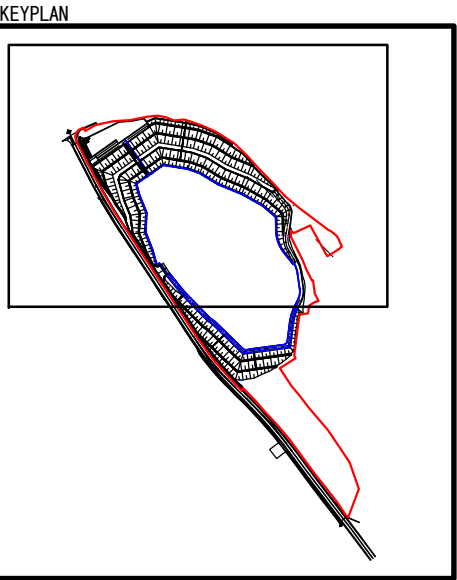


アスファルト舗装 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)
(進入路部)



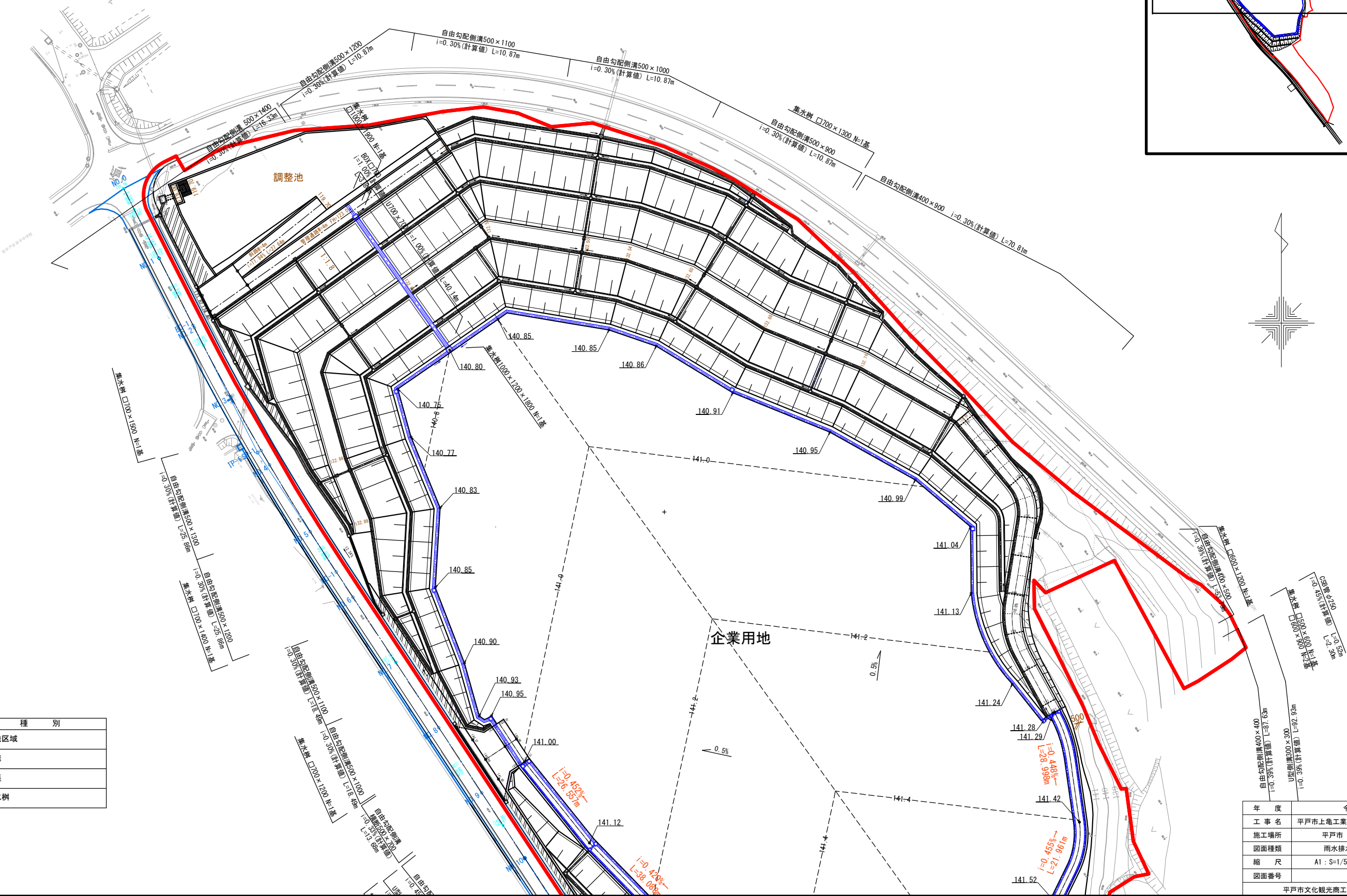
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工集団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	管理用道路施設構造図
縮 尺	図 示
図面番号	20
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

雨水排水計画平面図(1) S=1 : 500 (A1)
S=1 : 1,000 (A3)



凡 例

記 号	種 別
—	開発区域
—	側溝
—	暗渠
□	集水樹



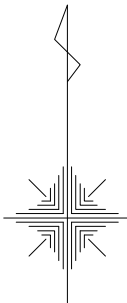
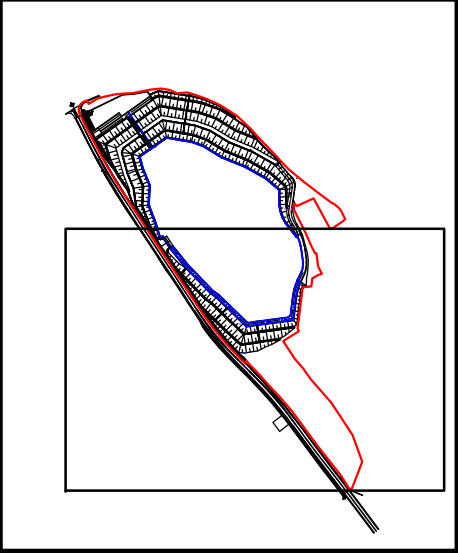
年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	雨水排水計画平面図(1)
縮 尺	A1 : S=1/500 A3 : S=1/1,000
図面番号	21

平戸市文化観光商工部 商工物産課

雨水排水計画平面図(2)

S=1 : 500 (A1)
S=1 : 1,000 (A3)

KEYPLAN

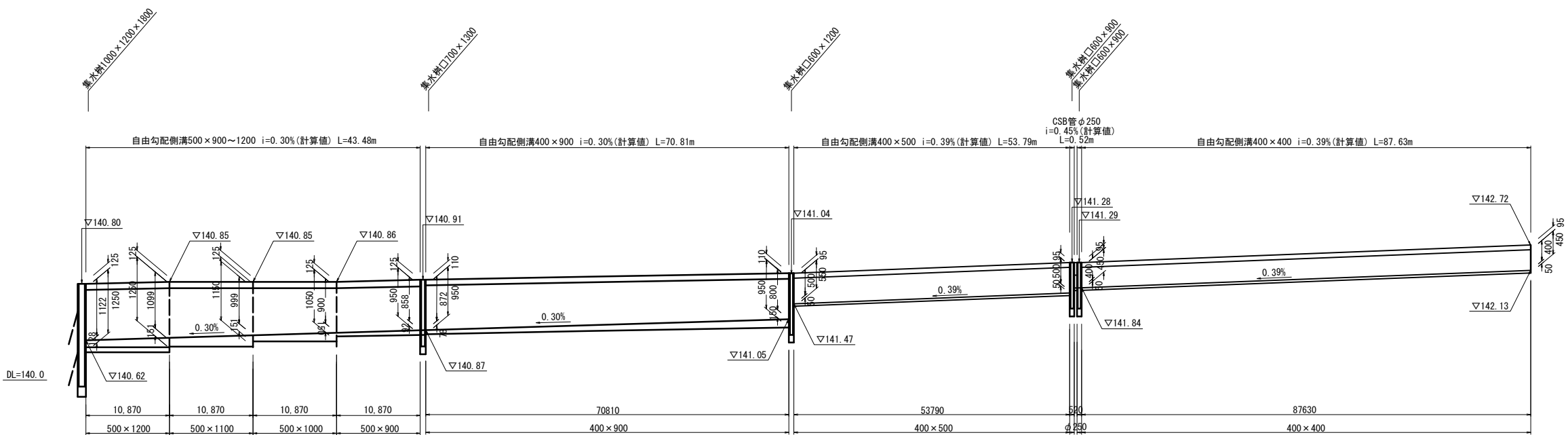


凡 例	
記 号	種 別
	開発区域
	側溝
	暗渠
	集水樹

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	雨水排水計画平面図(2)
縮 尺	A1 : S=1/500 A3 : S=1/1,000
図面番号	22

自由勾配側溝展開図

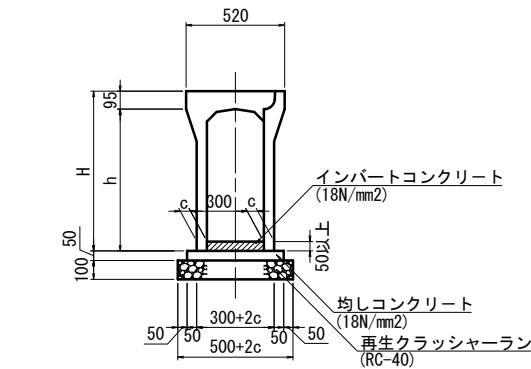
SH=1: 500 SV=1: 50 (A1)
SH=1: 1,000 SV=1: 100 (A3)



雨水排水施設構造図(1) S=1 : 20 (A1)
S=1 : 40 (A3)

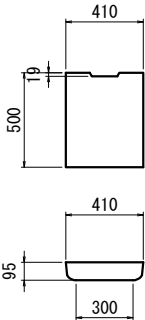
自由勾配側溝 S=1 : 20

自由勾配側溝300

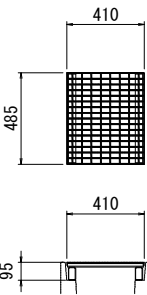


寸法表 (2m当り)				
呼び名	H	h	c	参考重量 (kg)
300 × 300	445	350	55	404

コンクリート蓋

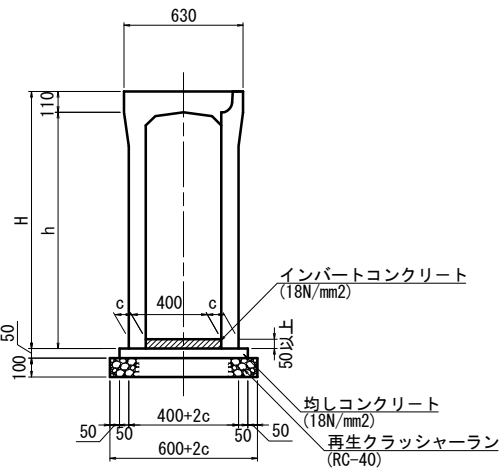


グレーチング蓋



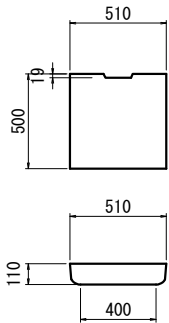
※10mにつき1箇所設置。

自由勾配側溝400

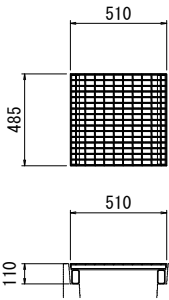


寸法表 (2m当り)				
呼び名	H	h	c	参考重量 (kg)
400 × 400	560	450	60	535
400 × 500	660	550	60	594
400 × 700	860	750	80	836
400 × 900	1060	950	80	992

コンクリート蓋

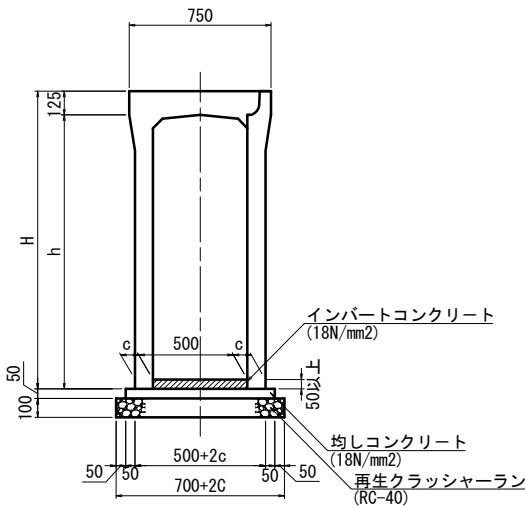


グレーチング蓋



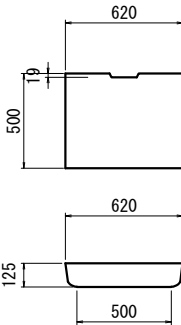
※10mにつき1箇所設置。

自由勾配側溝500

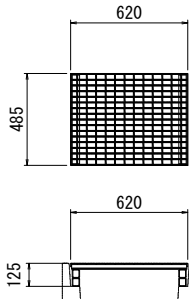


寸法表 (2m当り)				
呼び名	H	h	c	参考重量 (kg)
500 × 700	875	750	70	822
500 × 900	1075	950	85	1083
500 × 1000	1175	1050	85	1166
500 × 1100	1275	1150	85	1250
500 × 1200	1375	1250	95	1440
500 × 1300	1475	1350	95	1530
500 × 1400	1575	1450	95	1620

コンクリート蓋

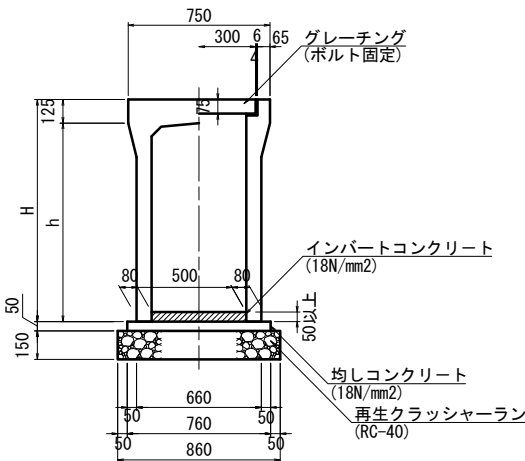


グレーチング蓋



※10mにつき1箇所設置。

自由勾配側溝500 (横断用)

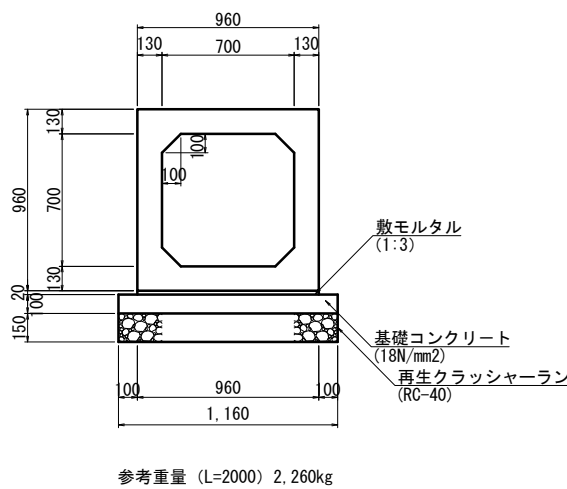


寸法表 (2m当り)			
呼び名	H	h	参考重量 (kg)
500 × 700	875	750	944

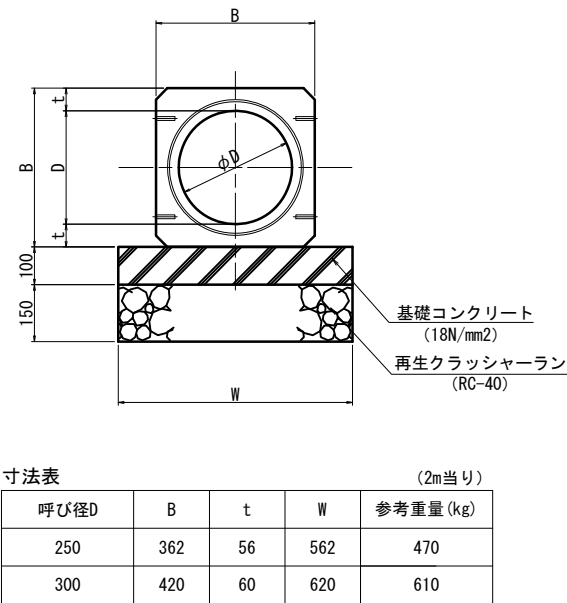
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	雨水排水施設構造図(1)
縮 尺	A1 : S=1/20 A3 : S=1/40
図面番号	24
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

雨水排水施設構造図(2)

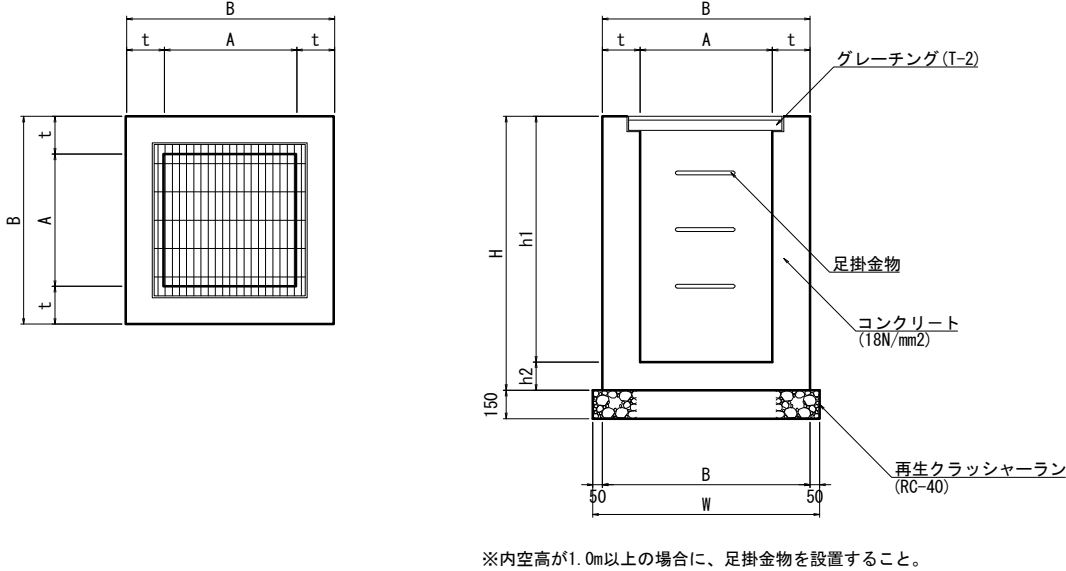
ボックスカルバート S=1:20



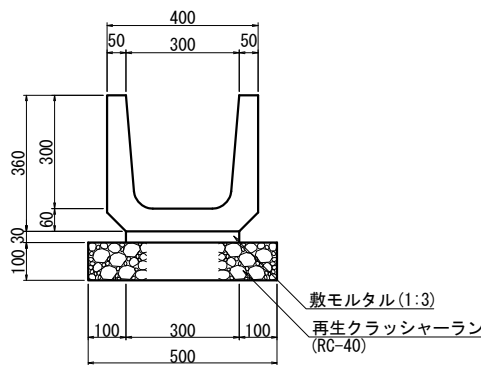
C S B管 S=1:10



接続柵工 S=1:20



U型側溝 S=1:10 (A1) S=1:20 (A3)

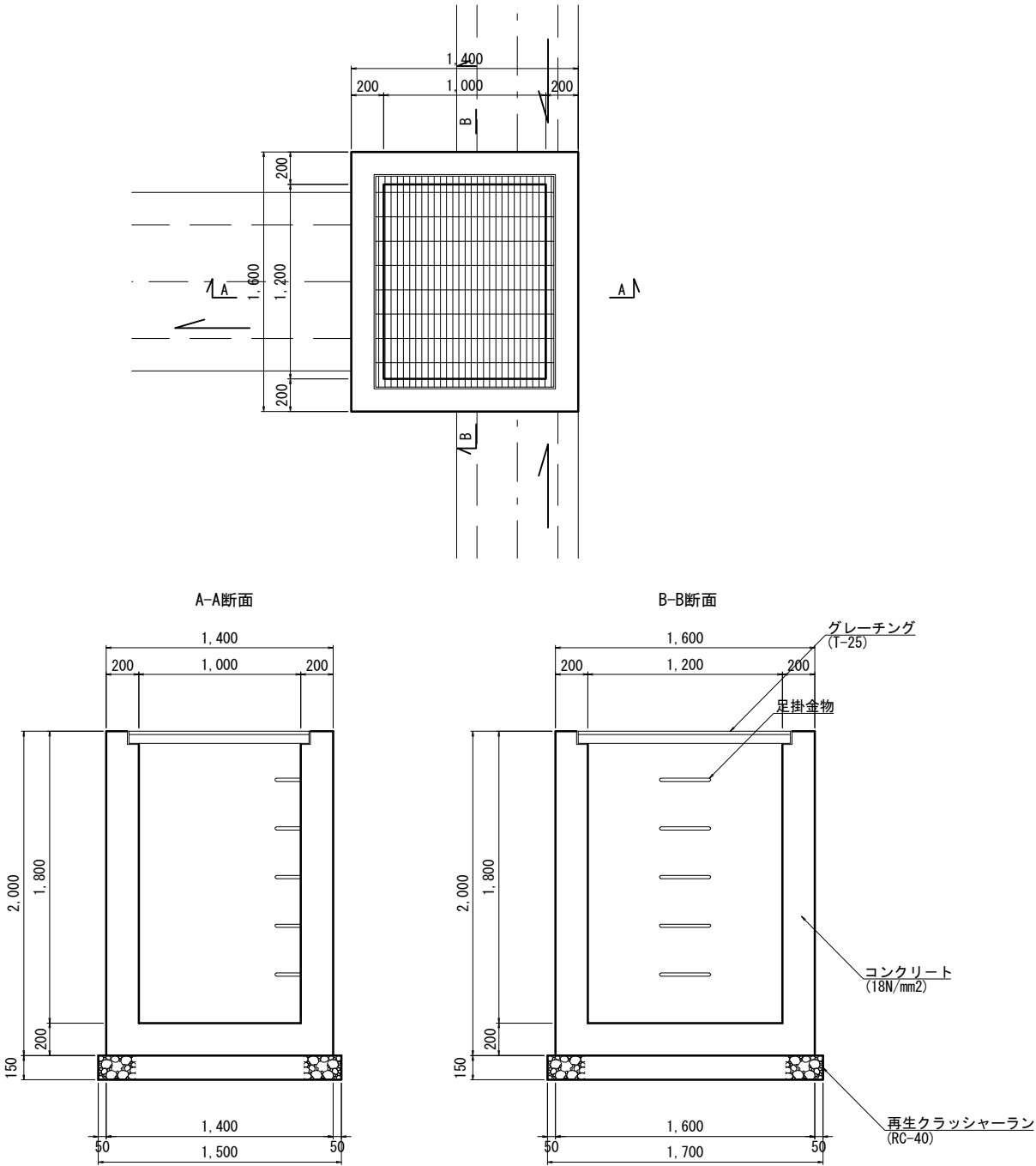


呼び名	A	t	B	h1	h2	H	W	グレーチング	荷重	参考重量 (kg/組)
□500×600	500	150	800	600	150	750	900	600×600×65	T-2	28.4
□600×700	600	150	900	700	150	850	1000	700×700×75	T-2	35.1
□600×900	600	150	900	900	150	1050	1000	700×700×75	T-2	35.1
□600×1100	600	200	1000	1100	150	1250	1100	700×700×75	T-2	35.1
□600×1200	600	200	1000	1200	150	1350	1100	700×700×75	T-2	35.1
□700×1000	700	200	1100	1000	150	1150	1200	800×800×75	T-2	49.9
□700×1100	700	200	1100	1100	150	1250	1200	800×800×75	T-2	49.9
□700×1200	700	200	1100	1200	150	1350	1200	800×800×75	T-2	49.9
□700×1300	700	200	1100	1300	150	1450	1200	800×800×75	T-2	49.9
□700×1400	700	200	1100	1400	150	1550	1200	800×800×75	T-2	49.9
□700×1500	700	200	1100	1500	150	1650	1200	800×800×75	T-2	49.9
□1000×1900	1000	200	1400	1900	150	2050	1500	(537+556)×1100×100	T-2	105.5

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	雨水排水施設構造図(2)
縮 尺	A1 : S=1/20 A3 : S=1/40
図面番号	25
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

雨水排水施設構造図(3)

接続柵工 S=1:20

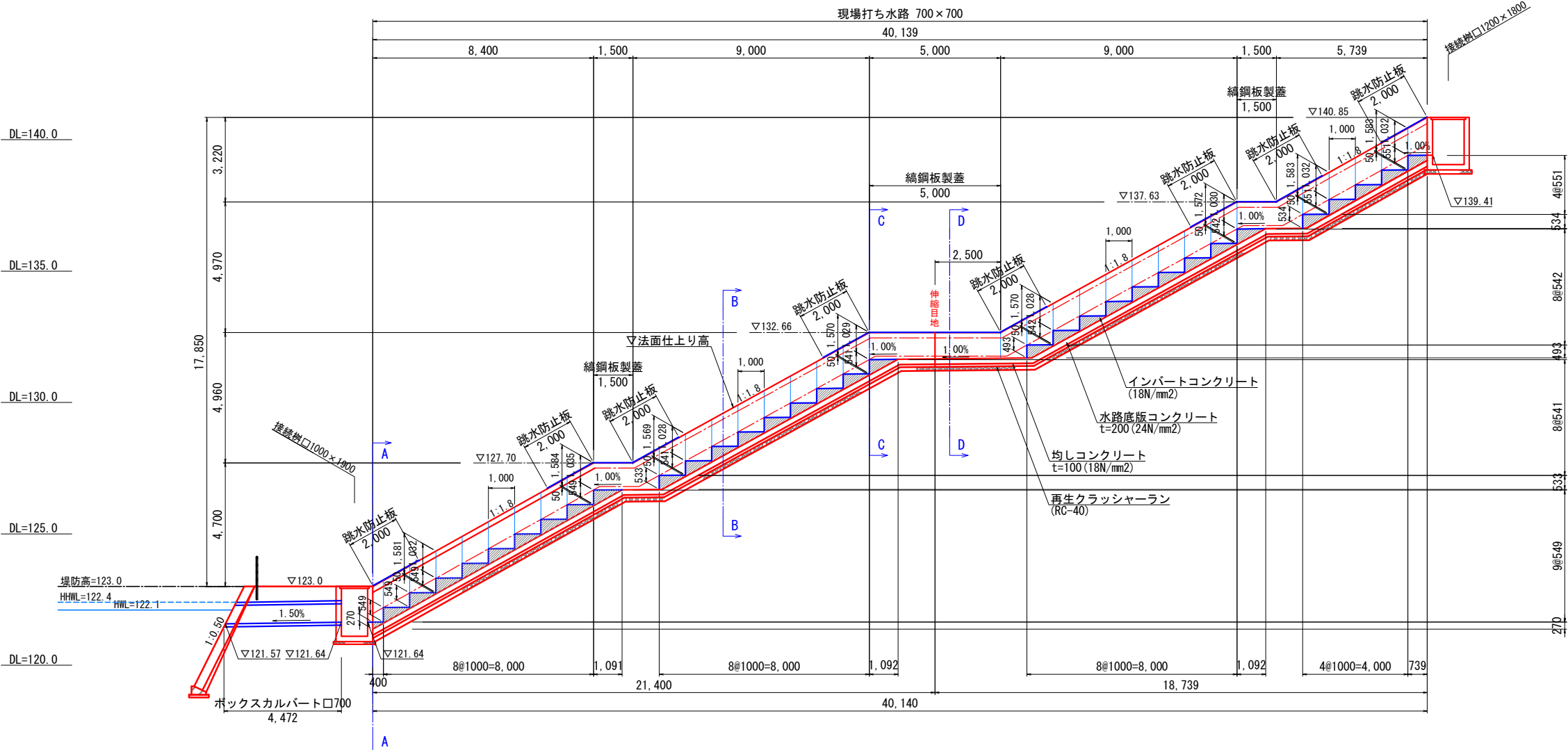
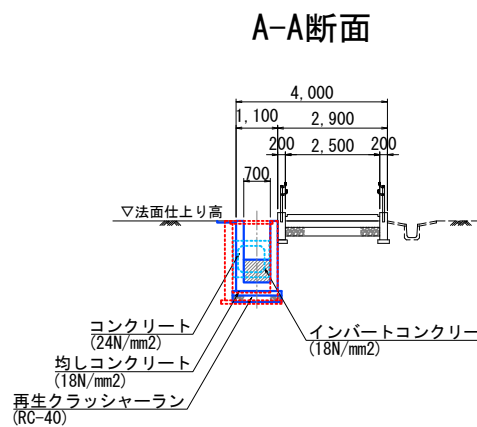
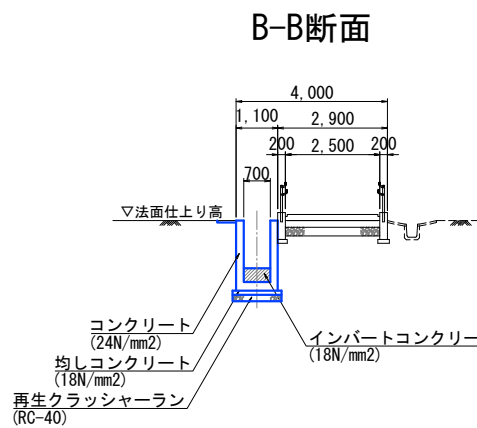
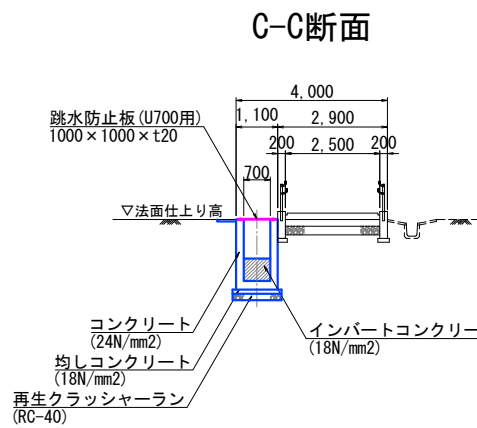
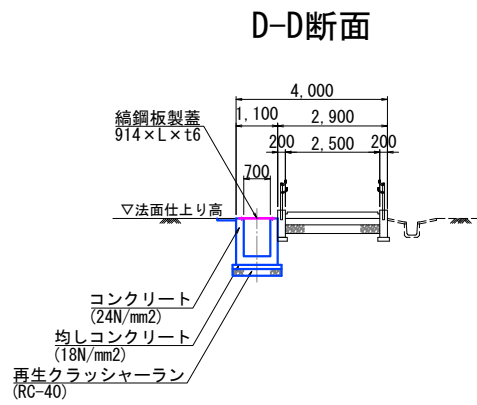
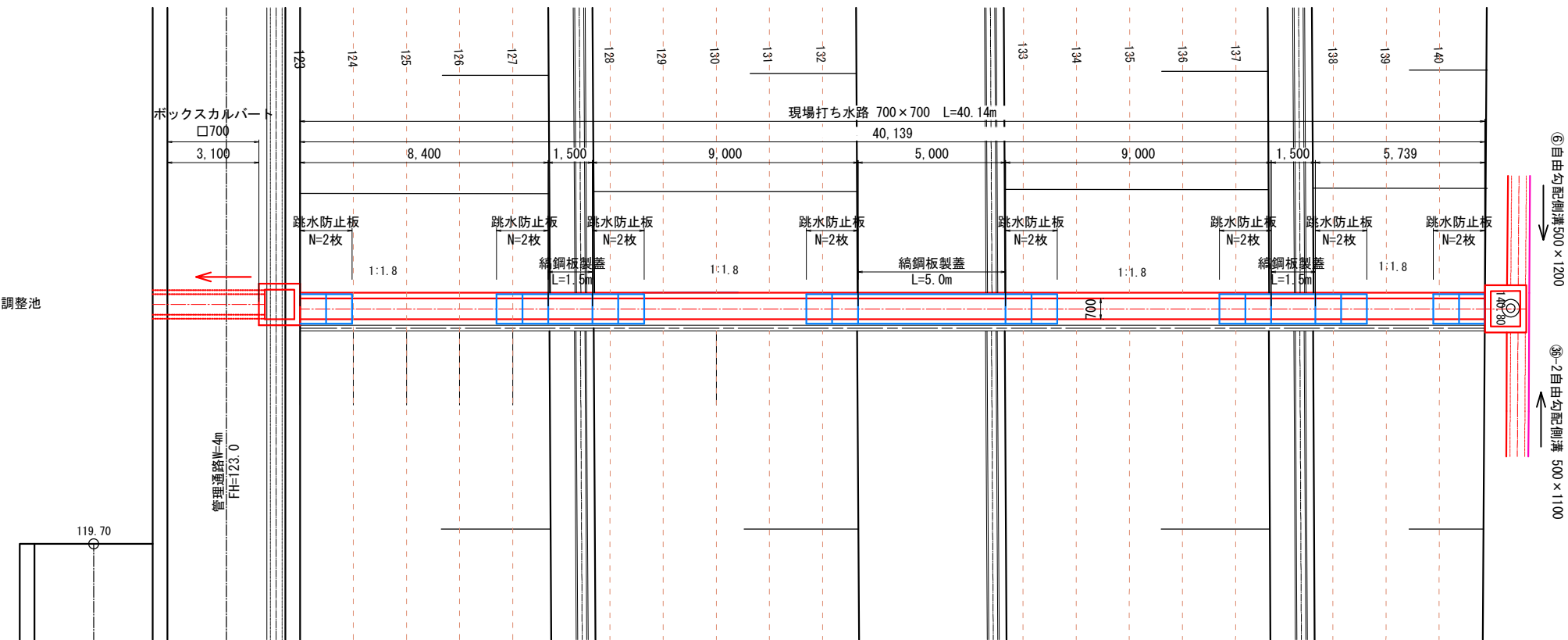


※内空高が1.0m以上の場合に、足掛金物を設置すること。

寸法表			
呼び名	グレーチング	荷重	参考重量 (kg/組)
1000×1200×1800	649×1100×150 (2枚割)	T-25	198.6

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	雨水排水施設構造図(3)
縮 尺	A1 : S=1/20 A3 : S=1/40
図面番号	26
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

階段水路計画図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

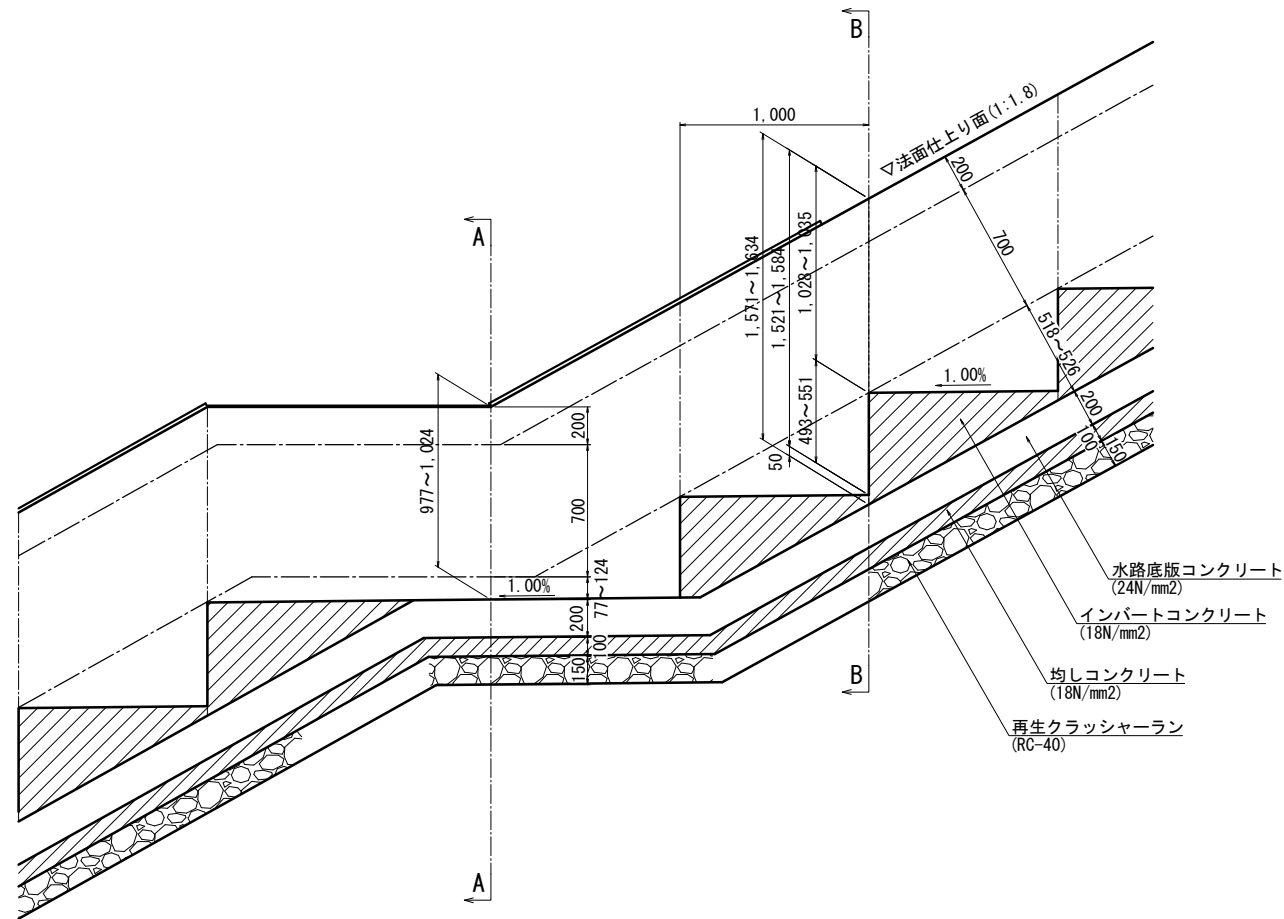


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	階段水路計画図
縮 尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	27

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

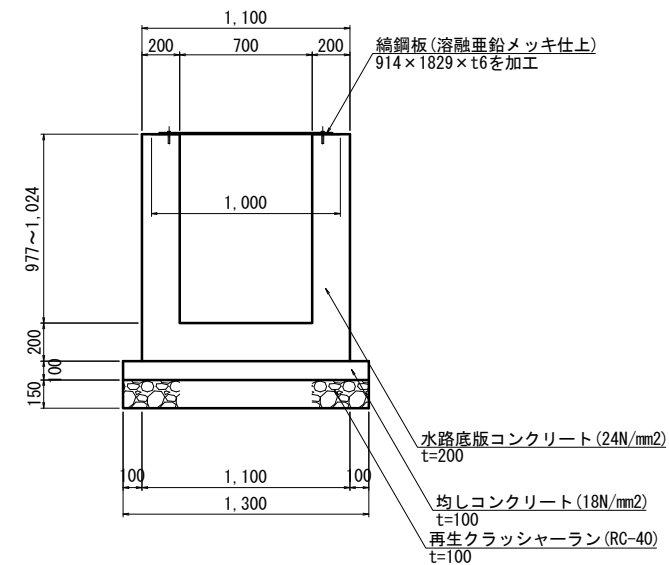
階段水路詳細図

側 面 図

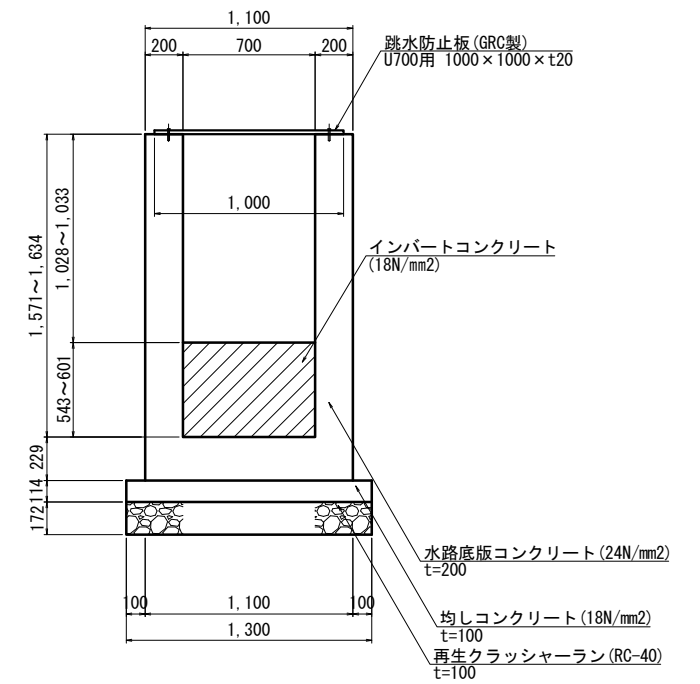


正 面 圖

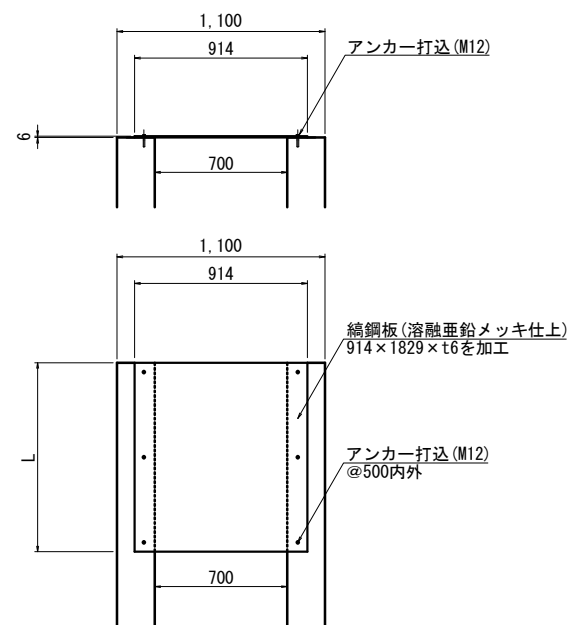
A-A 断面



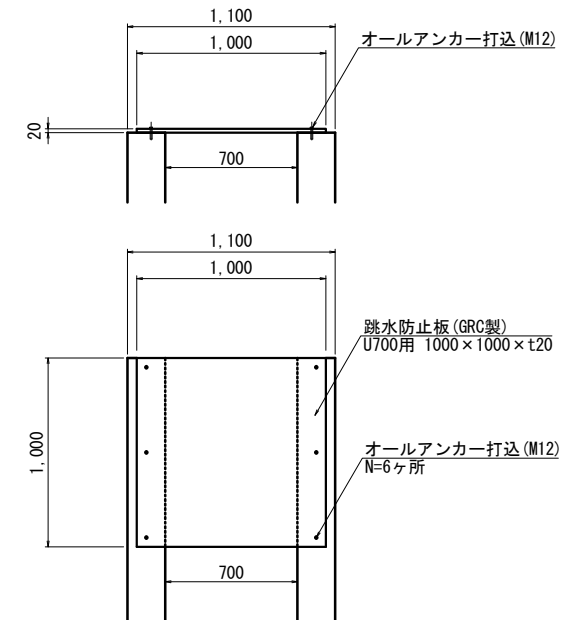
B-B 断面



綢鋼板製蓋



跳水防止板



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	階段水路構造図(1)
縮 尺	A1 : S=1/20 A3 : S=1/40
図面番号	28
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

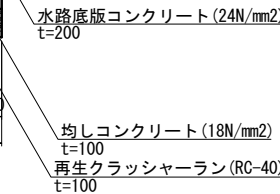
階段水路詳細図

側 面 図

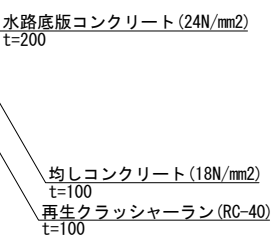


正面图

A-A 断面

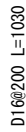


B-B 断面

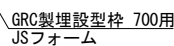


現場打床版

平面配置図



標準施工図



標準構造図



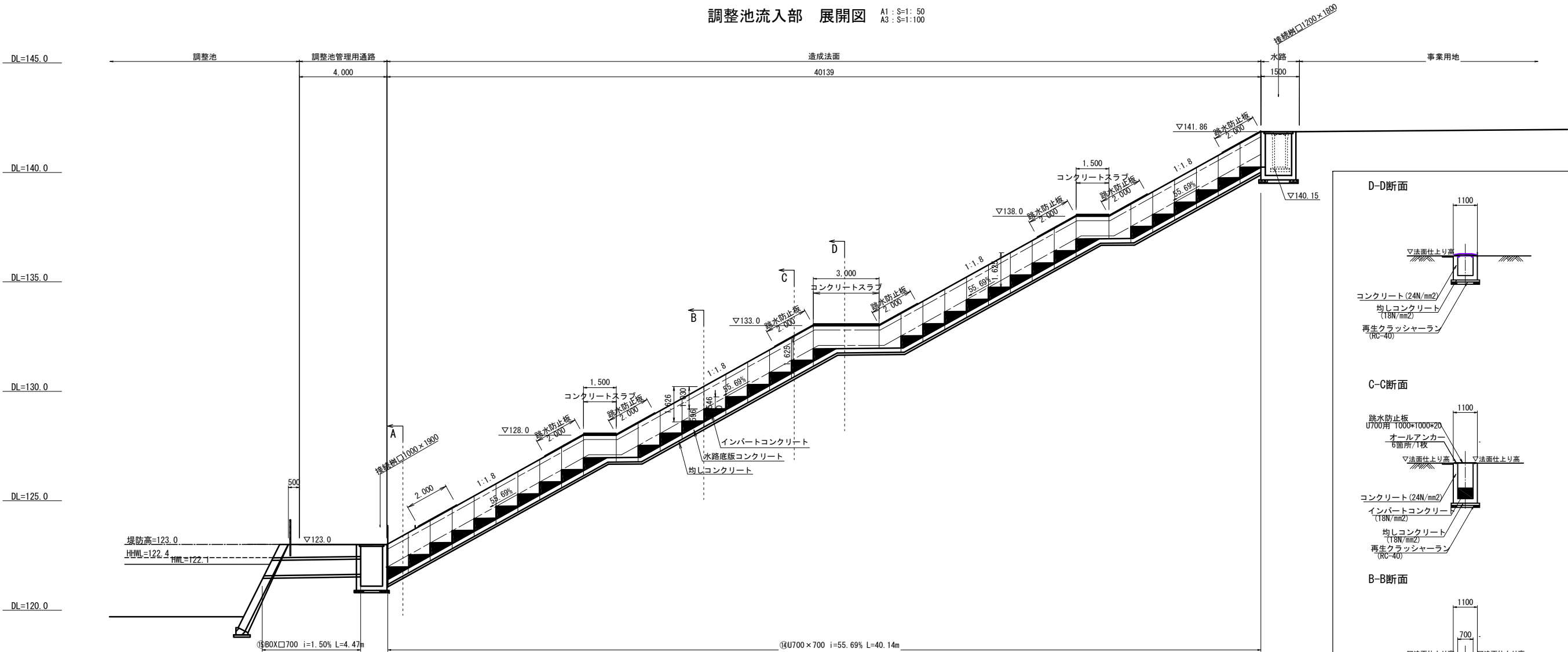
GRC側溝用埋設型枠工 数量表

5.00m当り

平戸市文化観光商工部 商工物産課

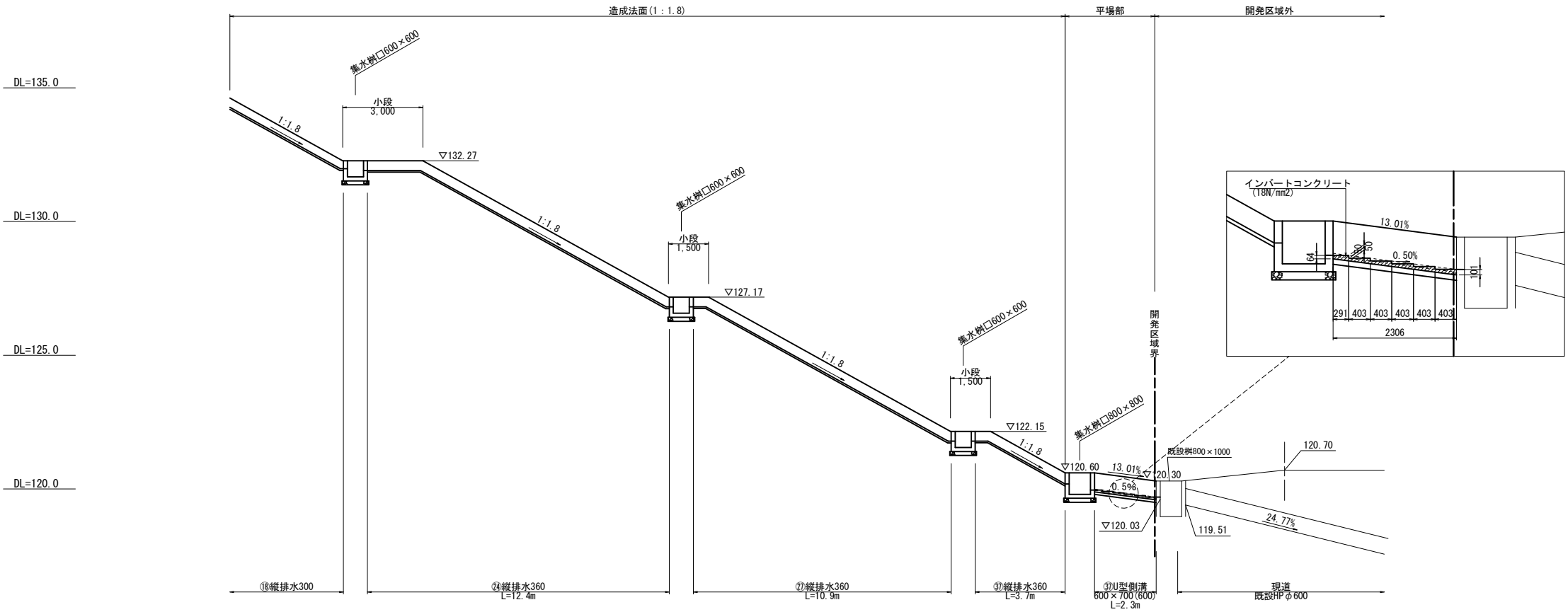
調整池流入部 展開図

A1 : S=1: 50
A3 : S=1:100

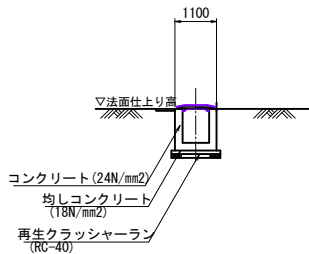


直接放流 既設接続部 展開図

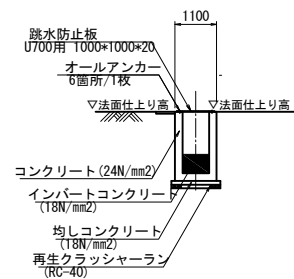
S=1:100



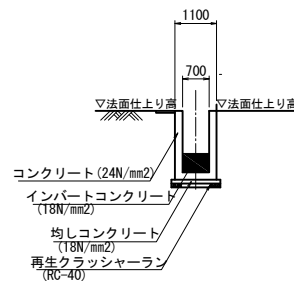
D-D断面



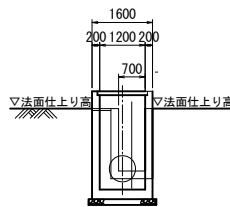
C-C断面



B-B断面



A-A断面

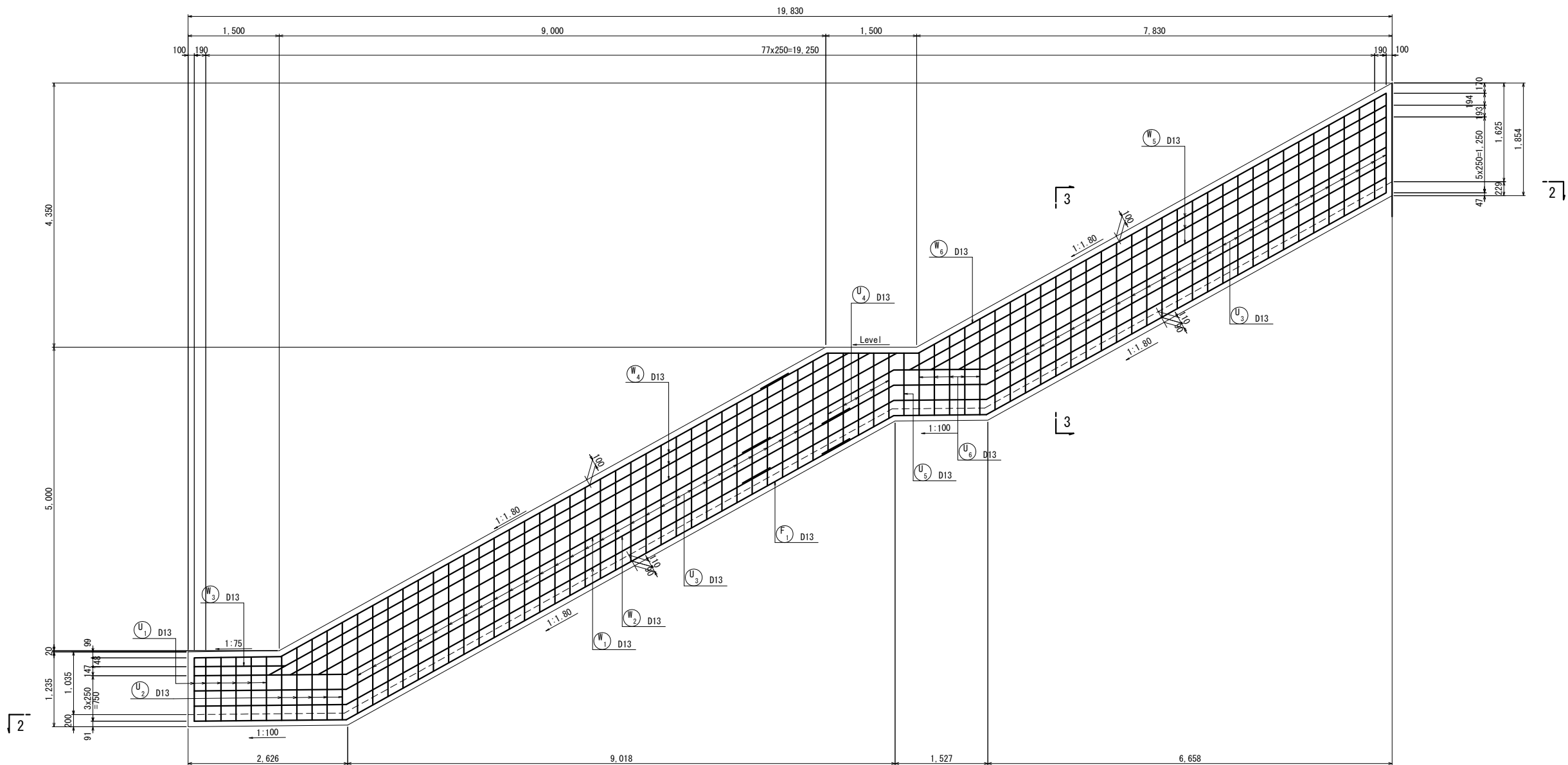


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池流入部展開図
縮 尺	A1 : S=1/50 A3 : S=1/100
図面番号	30
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

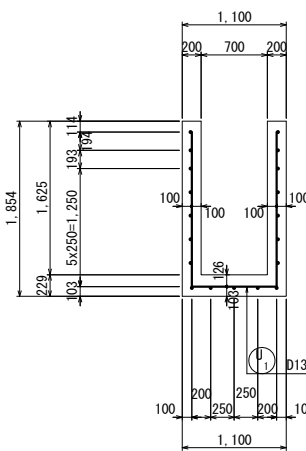
階段水路配筋図(1)
(上段側)

S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)

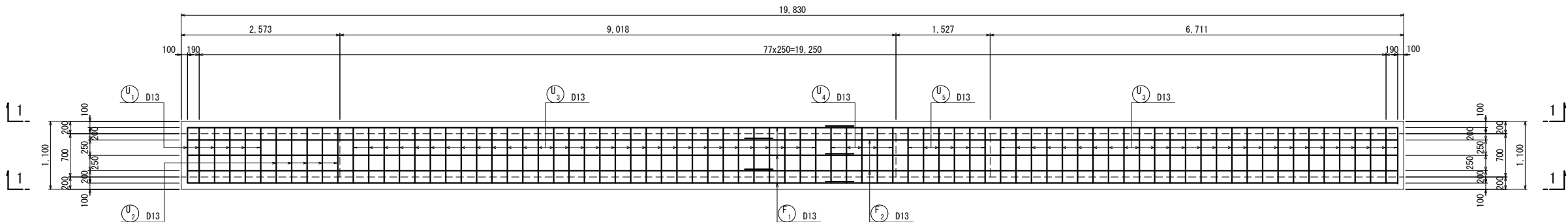
側壁正面図(1-1)



断面図(3-3)

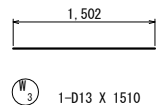


底板平面図(2-2)



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	階段水路配筋図(1)
縮 尺	A1: S=1/40 A3: S=1/80
図面番号	31
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 40 (A1)
S=1 : 80 (A3)



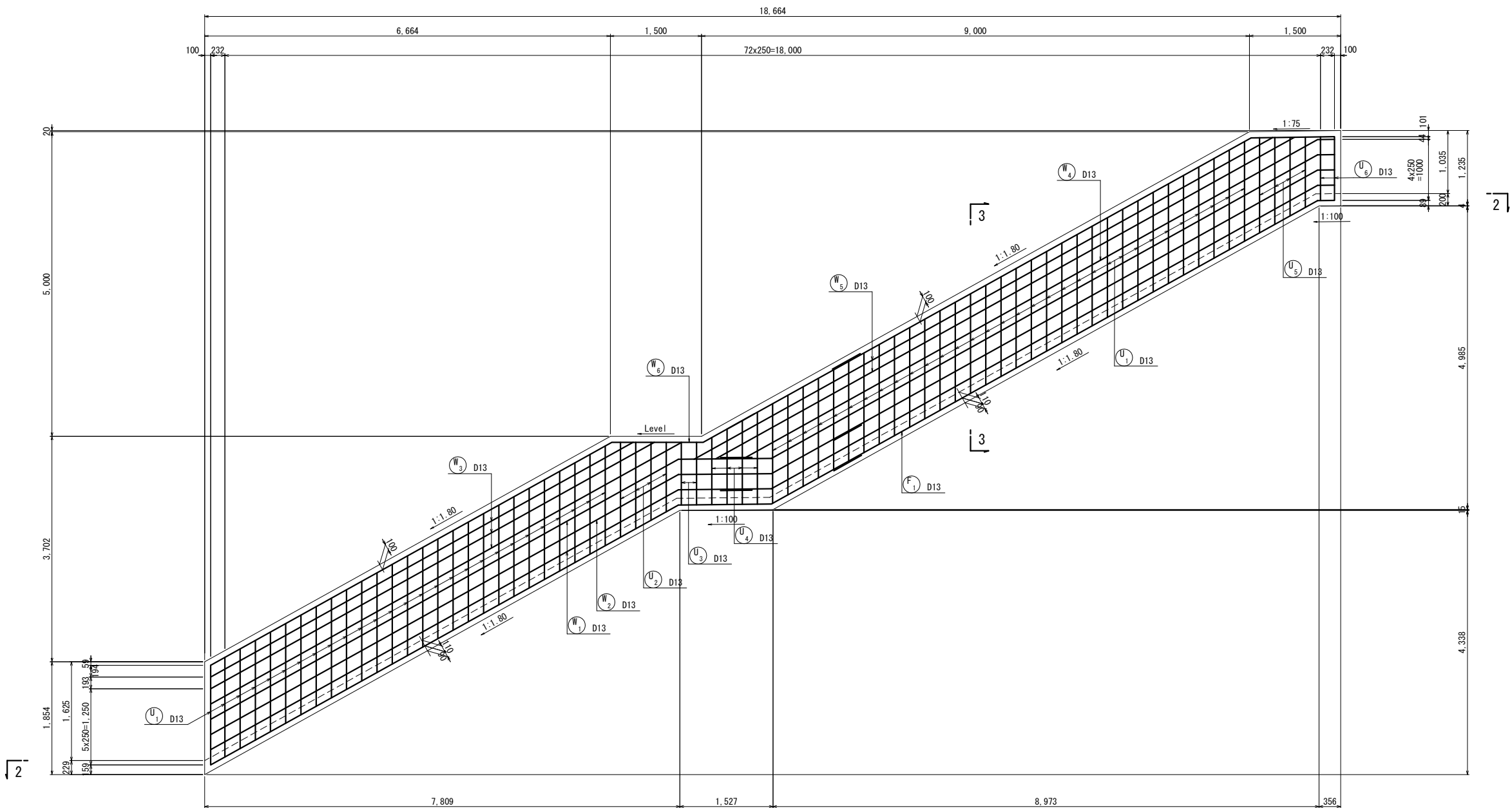
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
U 1	D13	3000	6	0.995	2.985	17.9	□ (平均長)
U 2	D13	3560	5	0.995	3.542	17.7	□ (平均長)
U 3	D13	4180	58	0.995	4.159	241.2	□ (平均長)
U 4	D13	3610	5	0.995	3.592	18.0	□ (平均長)
U 5	D13	2960	1	0.995	2.945	2.9	□ (平均長)
U 6	D13	3510	5	0.995	3.492	17.5	□ (平均長)
315.2 kg							
W 1-1	D13	10500	4	0.995	10.448	41.8	／
W 1-2	D13	10400	4	0.995	10.348	41.4	／
W 2-1	D13	12000	2	0.995	11.940	23.9	／
W 2-2	D13	10400	2	0.995	10.348	20.7	／
W 3	D13	1510	1	0.995	1.502	1.5	／
W 4	D13	10910	6	0.995	10.855	65.1	／ (平均長)
W 5	D13	8520	6	0.995	8.477	50.9	／ (平均長)
W 6-1	D13	11000	2	0.995	10.945	21.9	／
W 6-2	D13	11560	2	0.995	11.502	23.0	／
290.2 kg							
F 1-1	D13	12000	3	0.995	11.940	35.8	／
F 1-2	D13	10400	3	0.995	10.348	31.0	／
F 2-1	D13	10500	2	0.995	10.448	20.9	／
F 2-2	D13	10400	2	0.995	10.348	20.7	／
108.4 kg							
合 計 D13				713.8 kg			
総質量				713.8 kg			

平戸市文化観光商工部 商工物産課

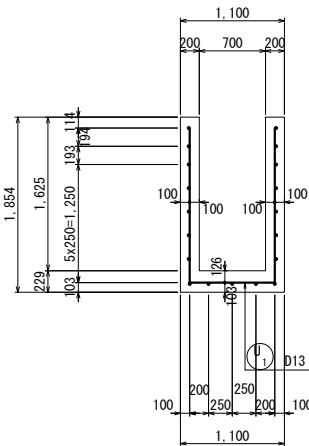
階段水路配筋図(3)
(下段側)

S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)

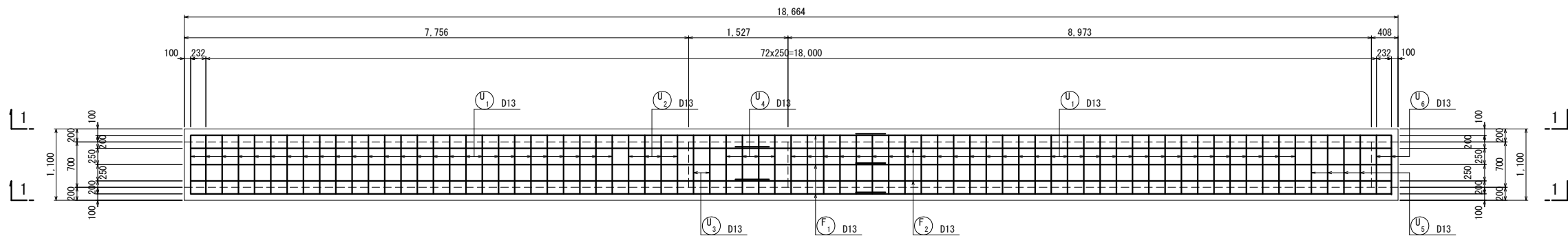
側壁正面図(1-1)



断面図(3-3)



底板平面図(2-2)



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	階段水路配筋図(3)
縮 尺	A1: S=1/40 A3: S=1/80
図面番号	33
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

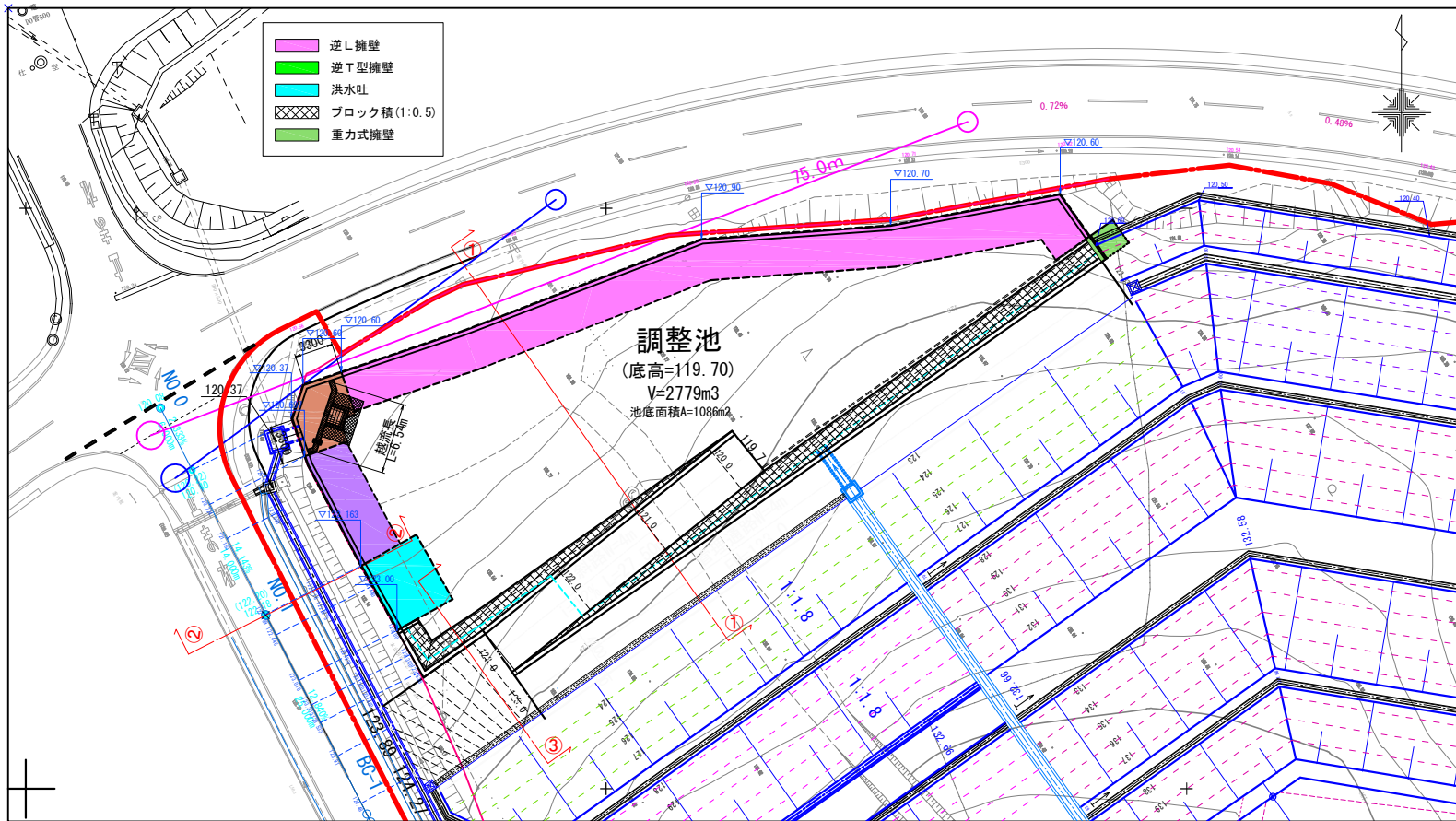
S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平 戸 市 田 平 町 上 亀 免
図面種類	階段水路配筋図 (4)
縮 尺	A1 : S=1/40 A3 : S=1/80
図面番号	34
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

調整池概要図

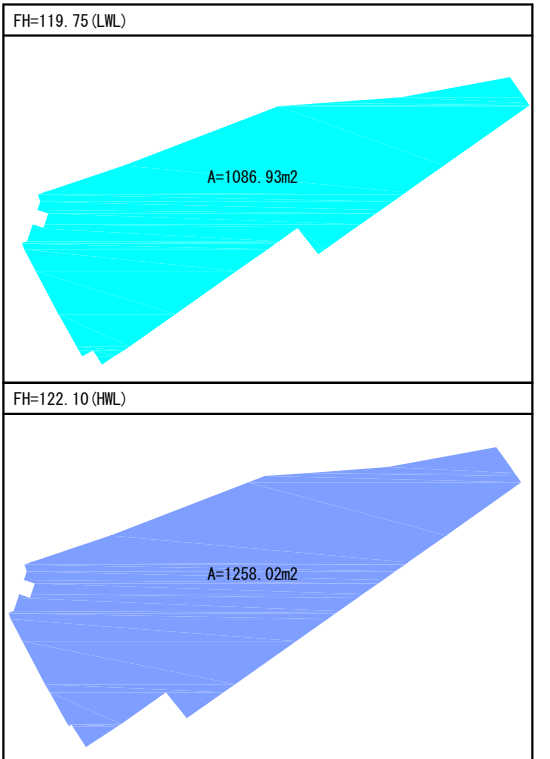
平面图 S=1:300



調整池計画条件

河川降雨強度式 $1/30$ 年確率
調整池流域面積 $A=3.18\text{ha}$
許容放流量 $Q_{pc}=0.4175\text{m}^3/\text{s}$
調整池必要容量 $V=2,717.60\text{m}^3$ (厳密法)
計画堤防高 $FH=123.00$
余裕高 $h=0.60\text{m}$
 $HHWL=122.40$
 $HWL=122.10$
 $LWL=119.75$
貯留深 $H=2.35\text{m}$ (堆砂深 0.05m)
堆砂量 $V=48.0\text{m}^3$ ($48.0 \div 1086.93 = 0.044 \div 0.05\text{m}$)
洪水吐越流深・越流長 $h=0.3\text{m}$ $L=6.5\text{m}$
池底高 $FH=119.70$
オリフィスサイズ $\square 310 \times 310$ $FH=119.20$

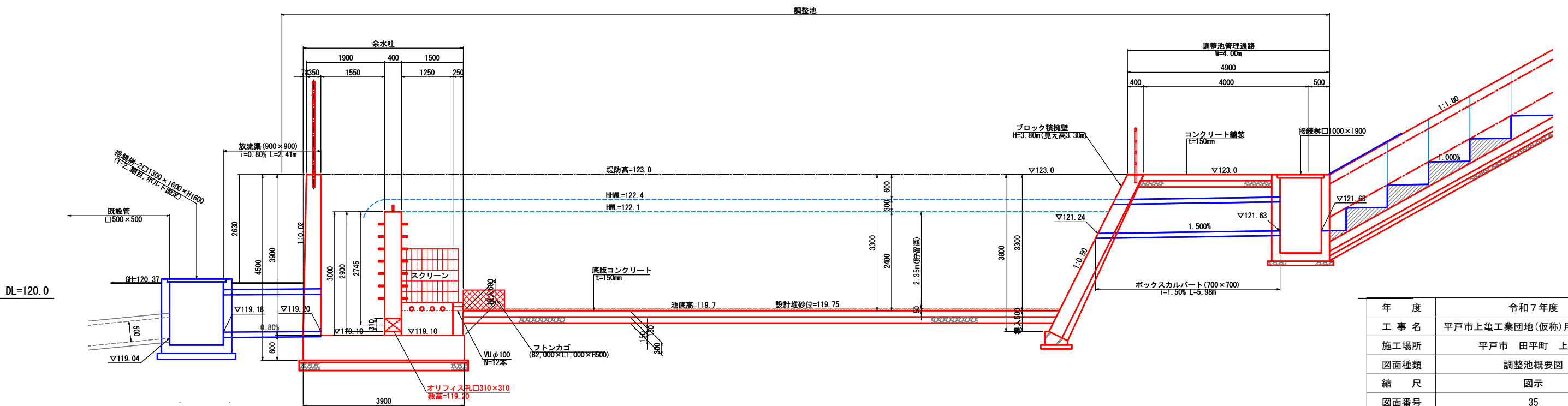
調整池概算容量算定用求積図



調整池容量

標 高	高 さ (m)	面 積 (m2)	平均面積 (m2)	容 量 (m3)	備 考
【調整池容量】					
FH=119.75		1086.93			
FH=122.10	2.35	1258.02	1172.47	2755.30	> 2710.89m3 OK

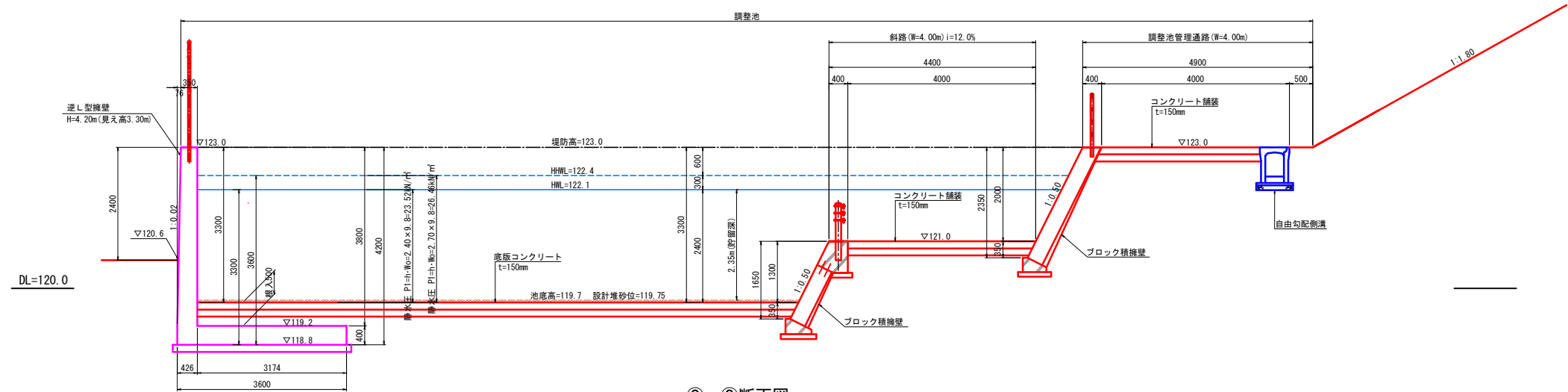
調整池標準断面図 S=1:50



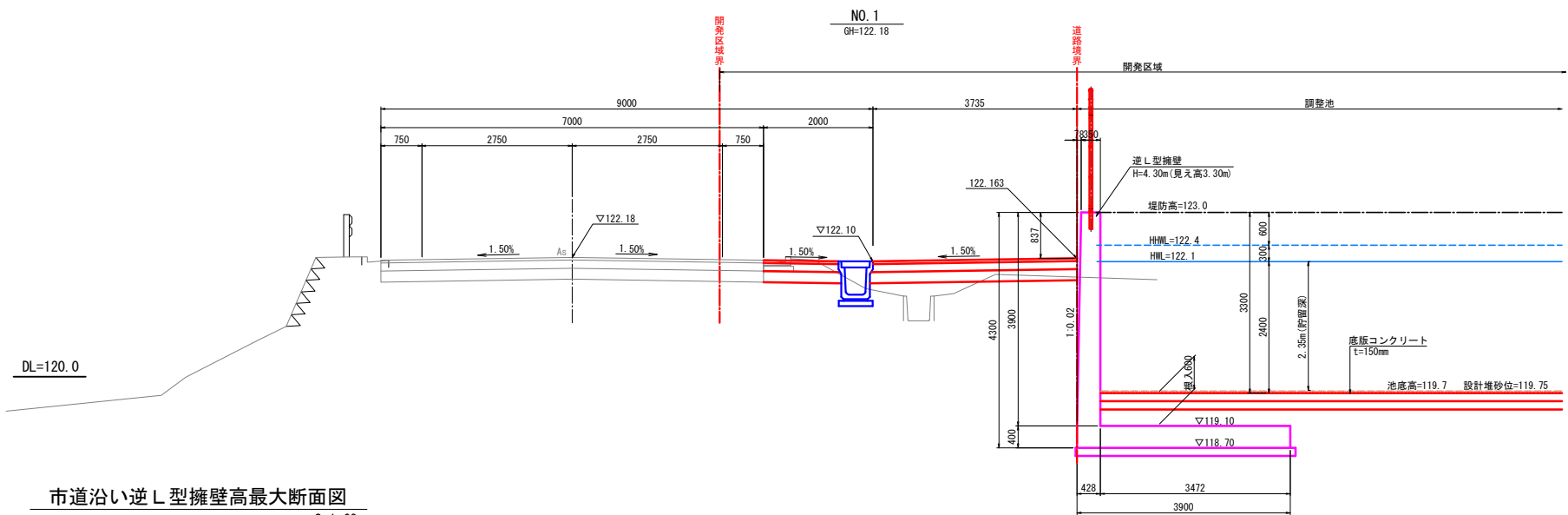
年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池概要図
縮 尺	図示
図面番号	35
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

調整池断面図

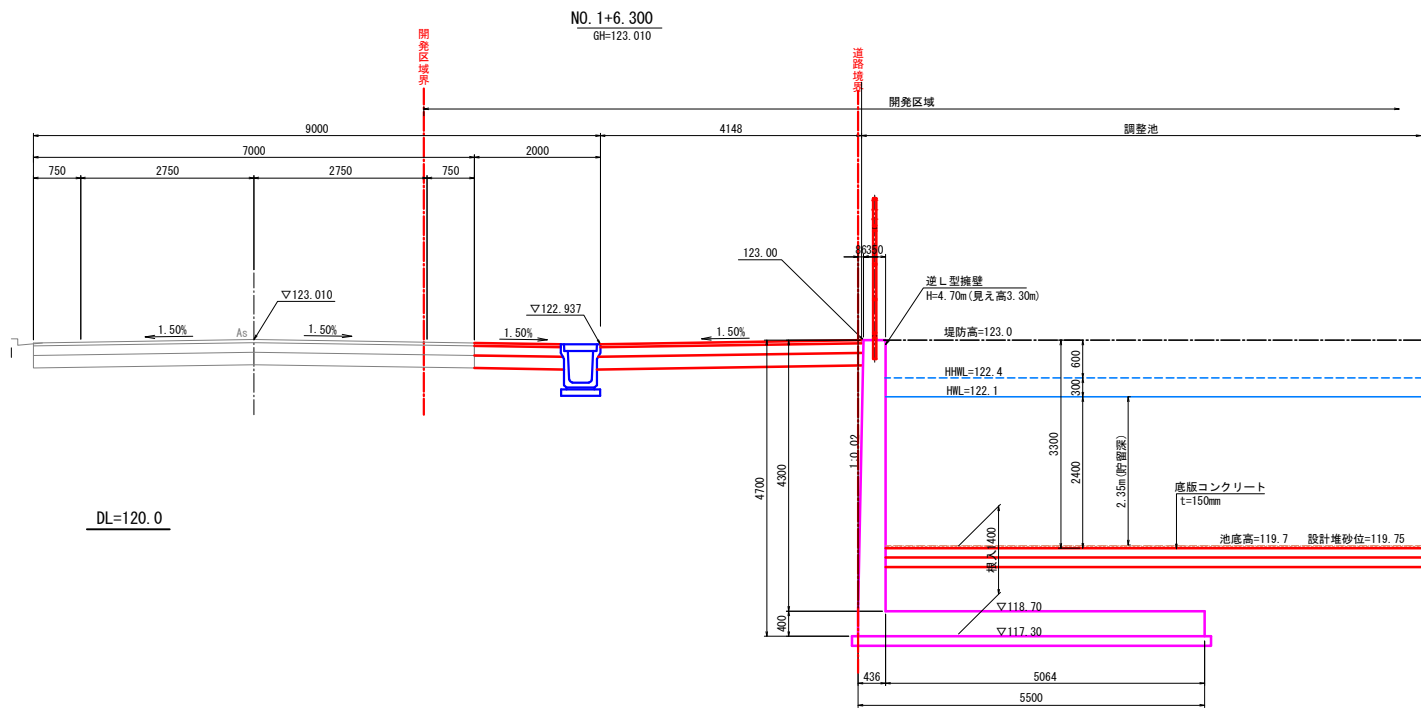
①-①断面図
S=1:60



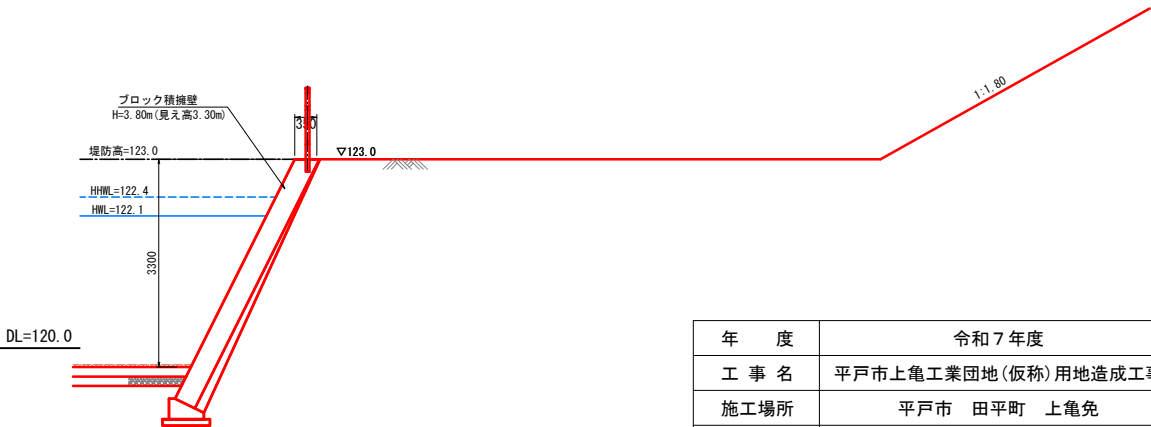
②-②断面図
S=1:60



市道沿い逆L型擁壁高最大断面図
S=1:60



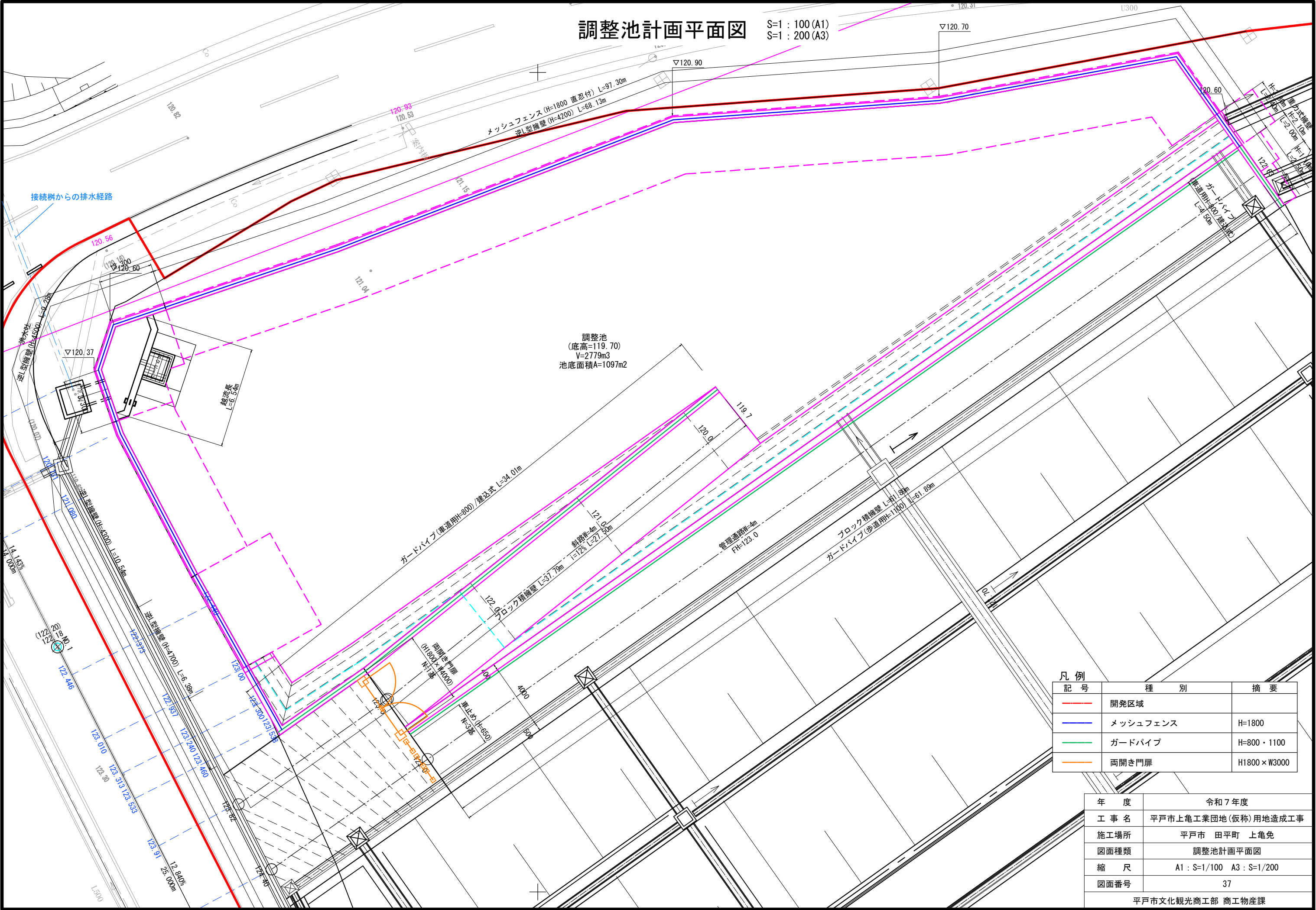
③-③断面図
S=1:50



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池断面図
縮 尺	図示
図面番号	36
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

調整池計画平面図

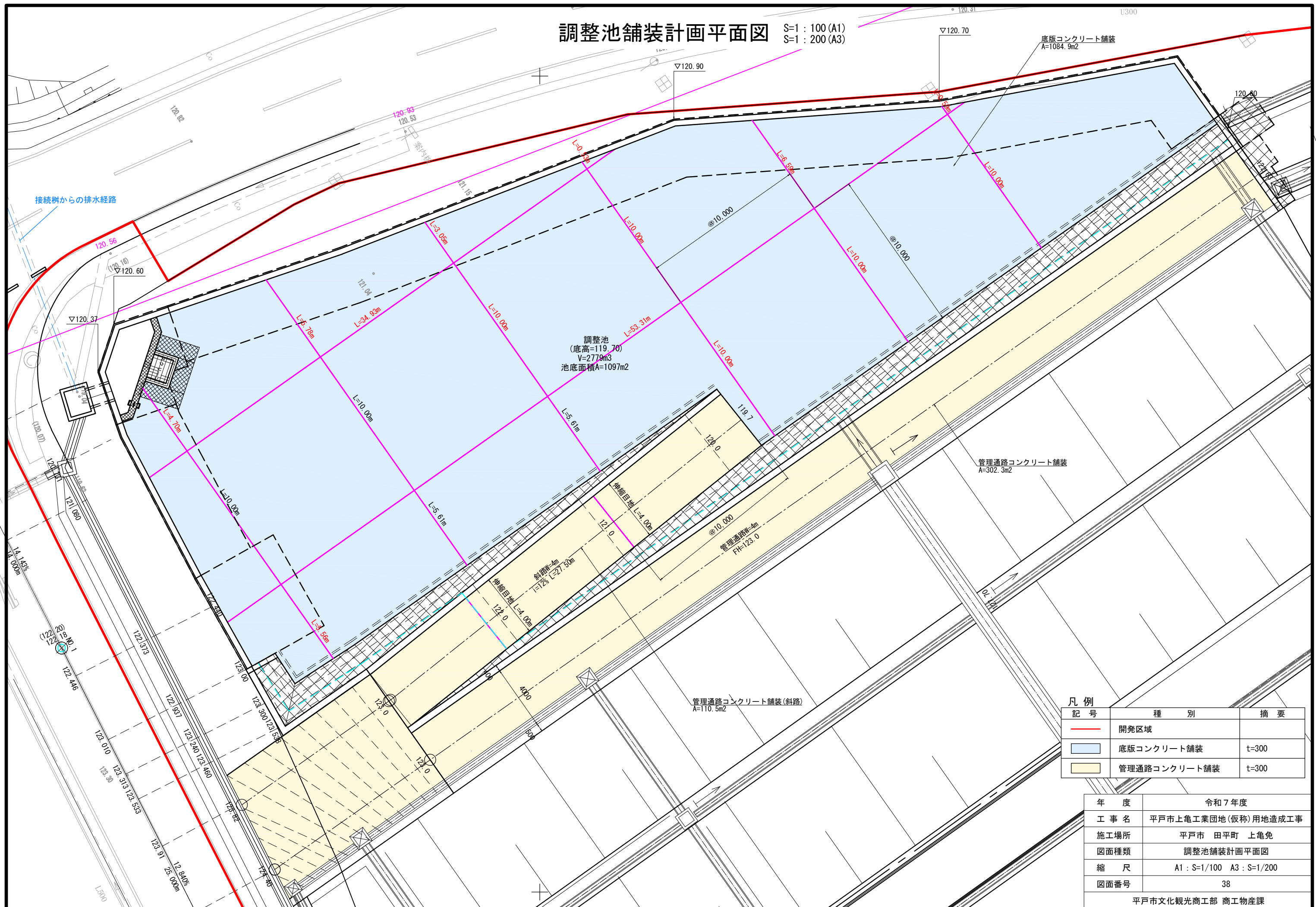
S=1 : 100 (A1)
S=1 : 200 (A3)






記号	種別	摘要
—	開発区域	
—	メッシュフェンス	H=1800
—	ガードパイプ	H=800・1100
—	両開き門扉	H1800×W3000

年度	令和7年度
工事名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池計画平面図
縮尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	37
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 100 (A1)
S=1 : 200 (A3)

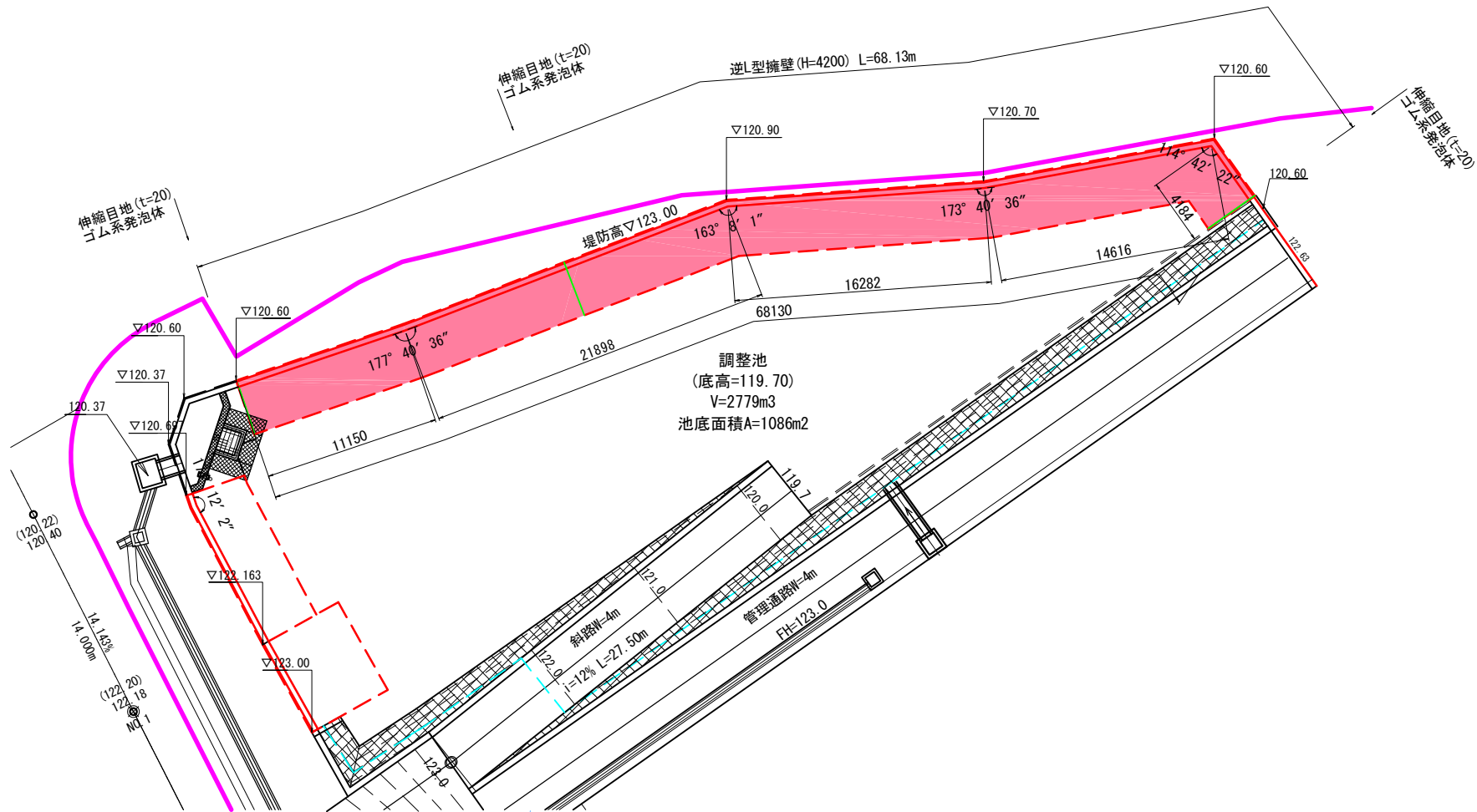


凡 例		
記 号	種 別	摘 要
	開発区域	
	底版コンクリート舗装	t=300
	管理通路コンクリート舗装	t=300

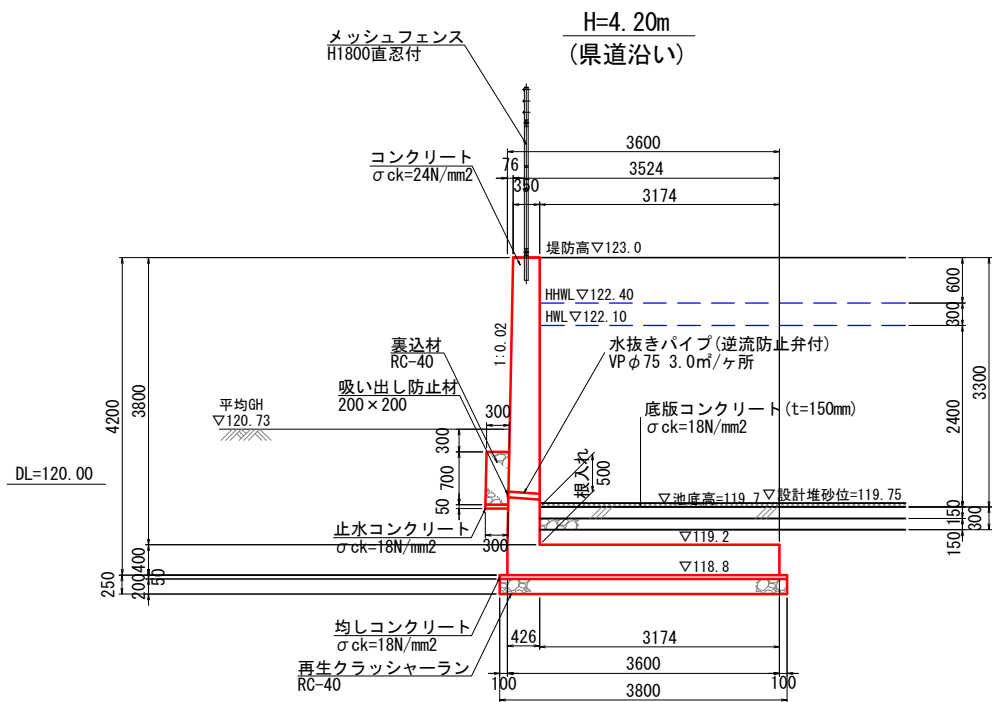
年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池舗装計画平面図
縮 尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	38
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

逆L型擁壁詳細図(1)
(H=4200)

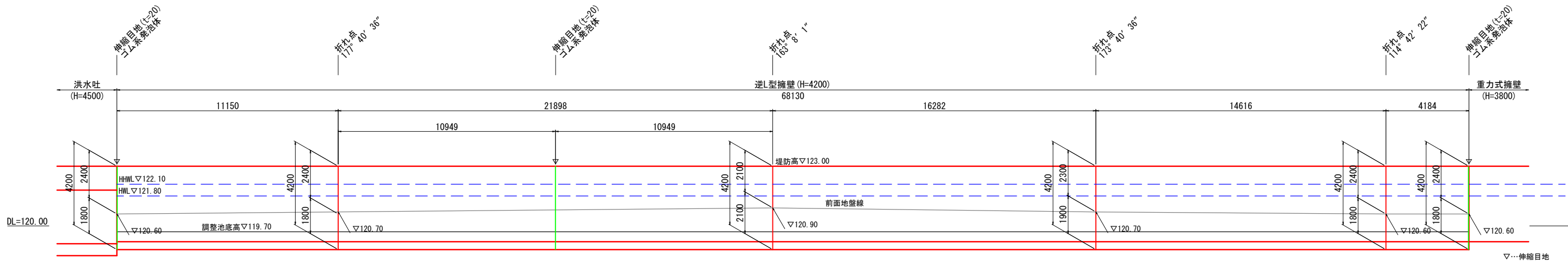
平面図 S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



標準断面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



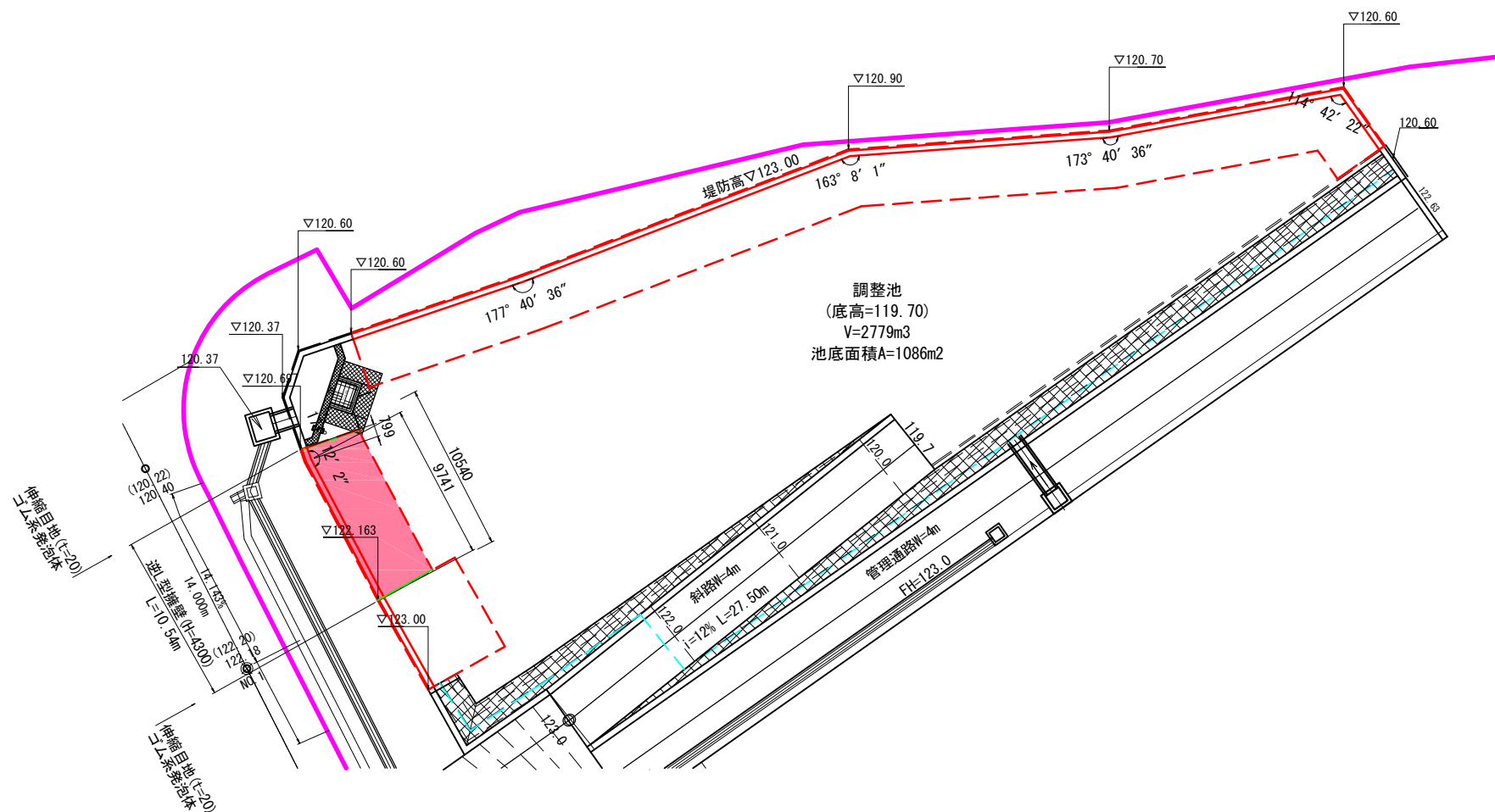
展開図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



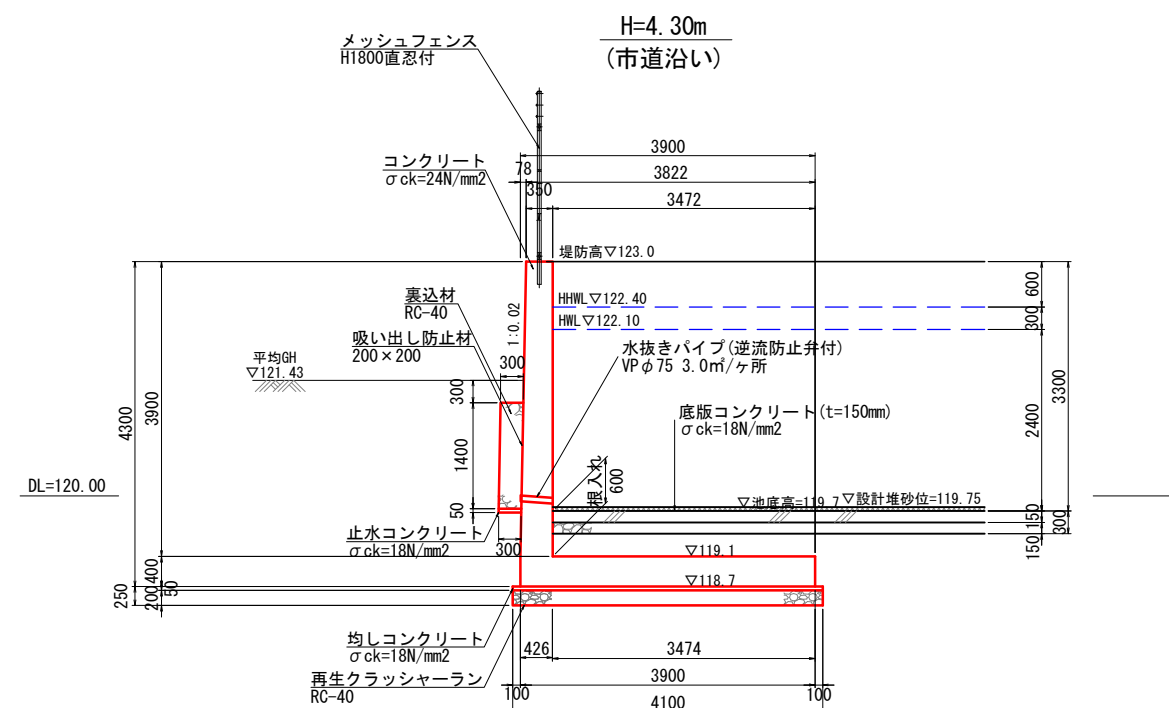
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	逆L型擁壁詳細図(1)
縮 尺	図示
図面番号	39

逆L型擁壁詳細図(2)
(H=4300)

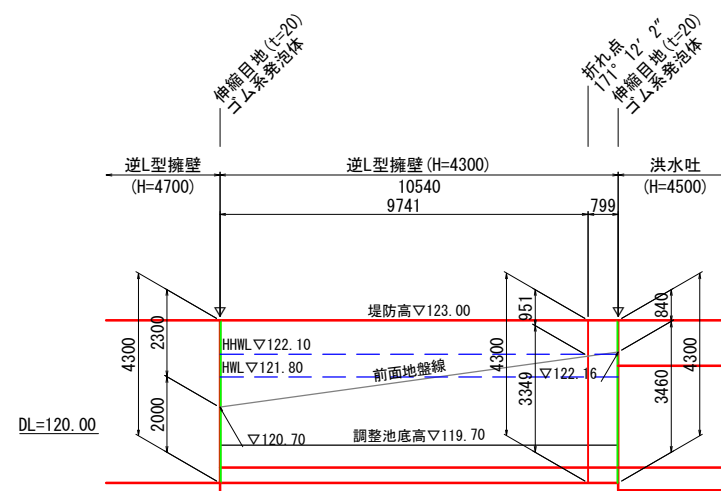
平面图 S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



標準断面図 S=1: 50 (A1)
S=1: 100 (A3)

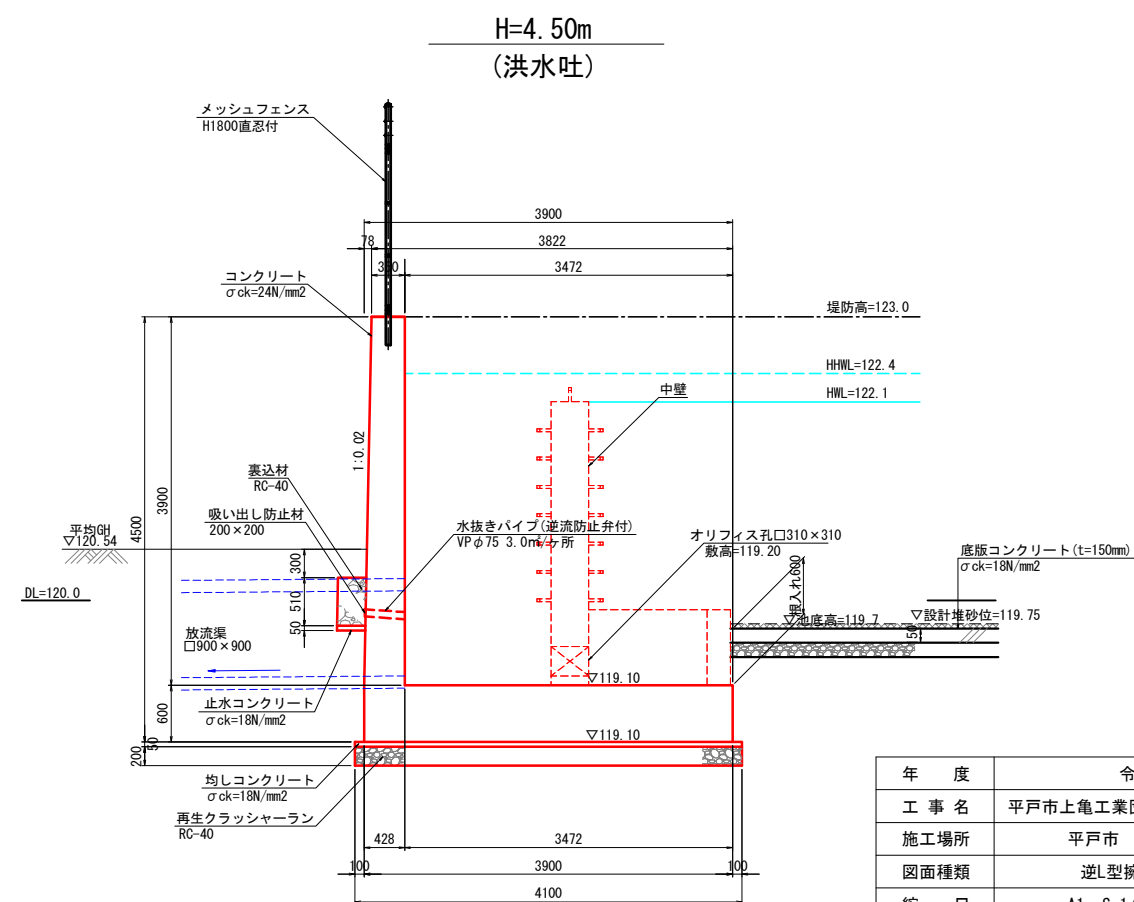
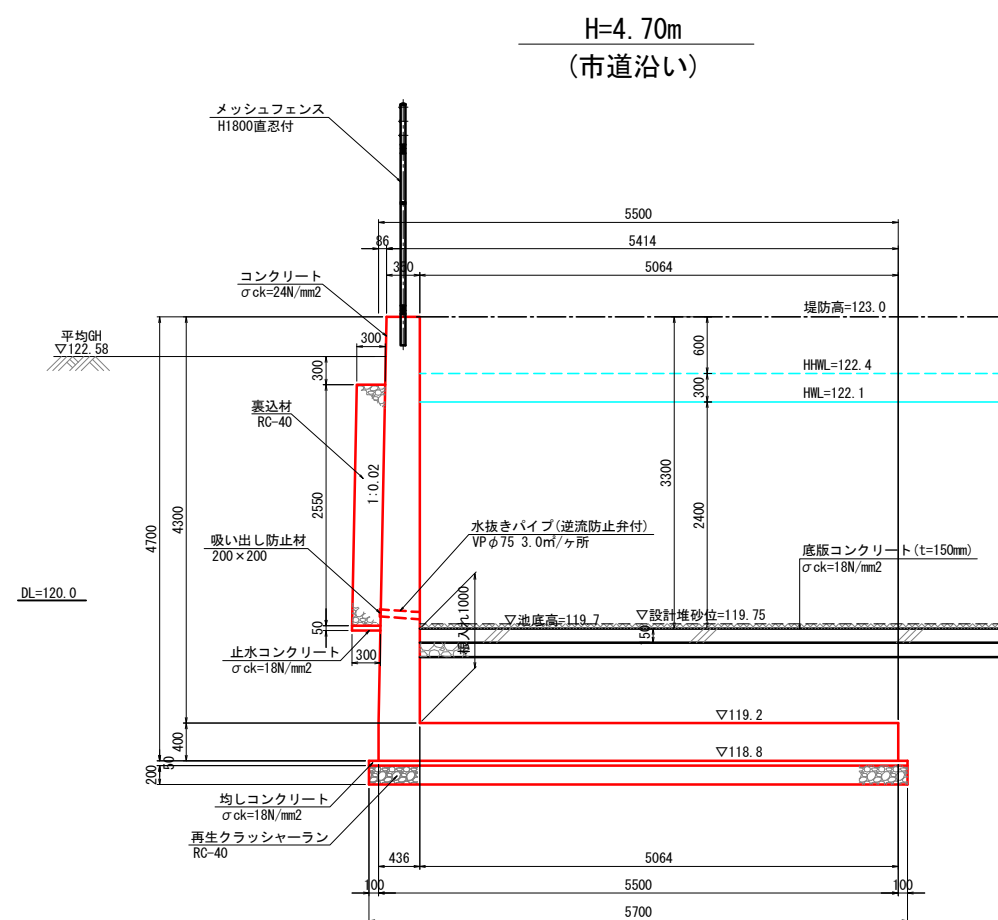
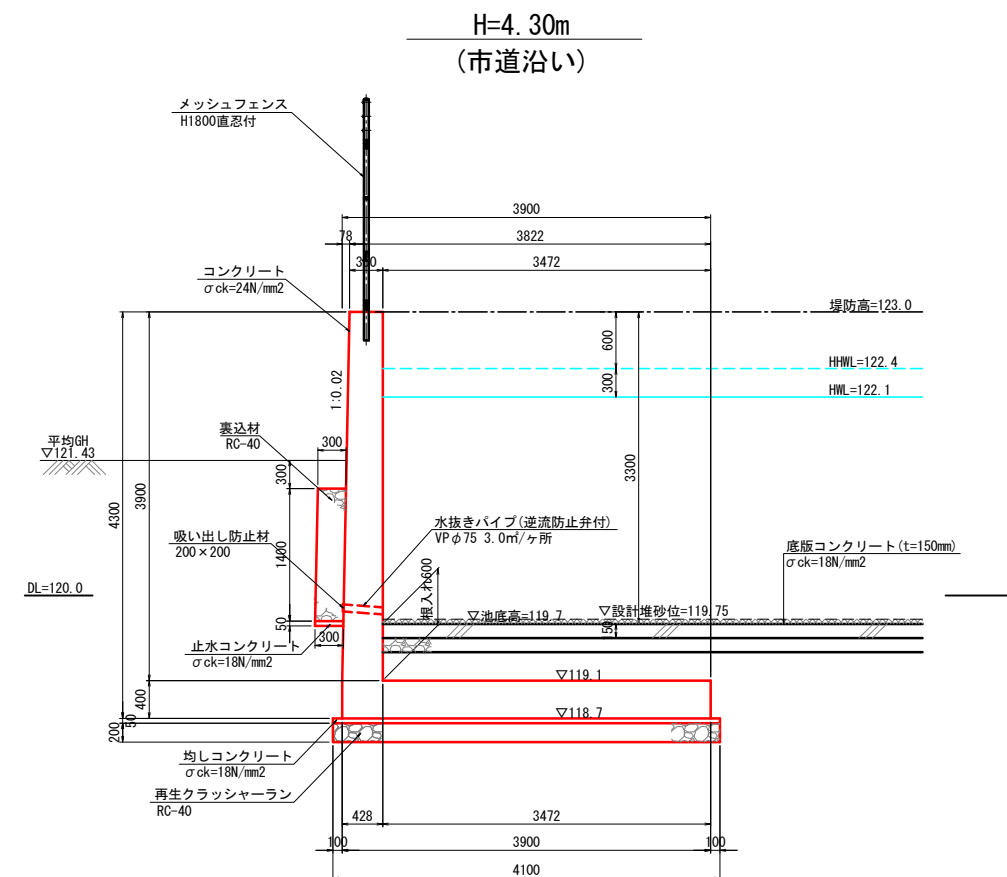
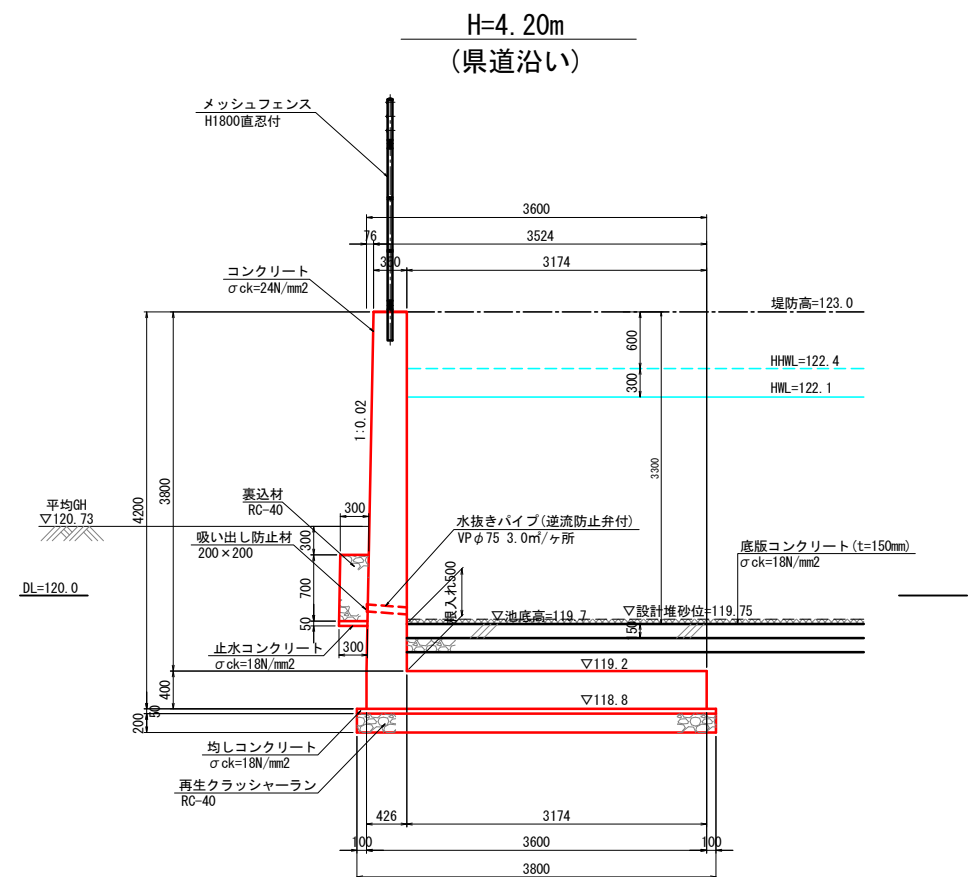


展開図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平 戸 市 田 平 町 上 亀 免
図面種類	逆L型擁壁詳細図 (2)
縮 尺	図示
図面番号	40
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

逆L型擁壁標準断面図 S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)



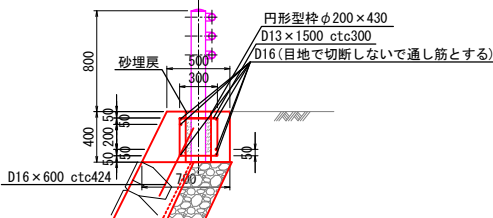
年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	逆L型擁壁標準断面図
縮 尺	A1 : S=1/40 A3 : S=1/80
図面番号	42
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

ブロック積擁壁詳細図

標準断面図

(A1) S=1:30
(A3) S=1:60

ガードパイプ基礎天端



寸法表

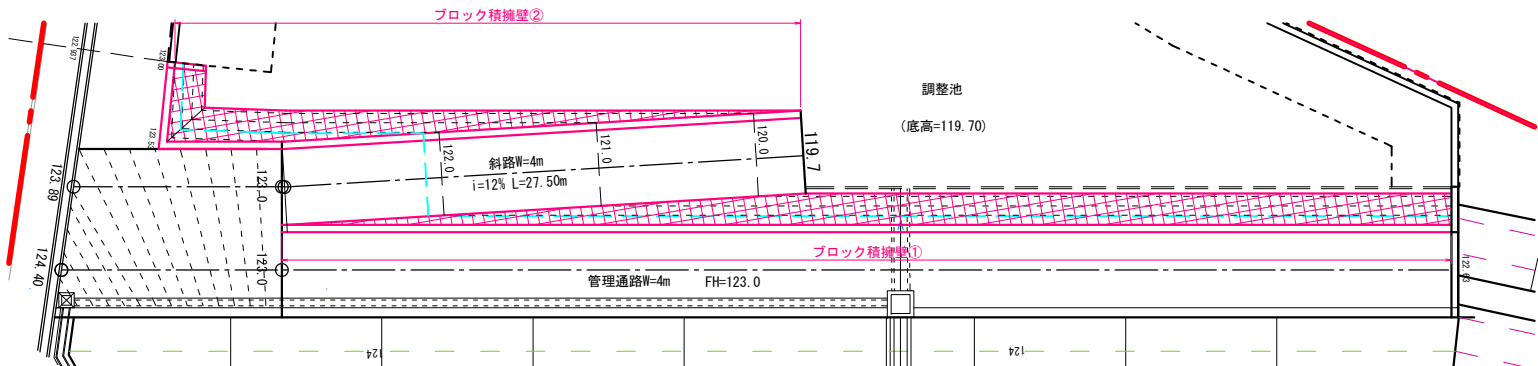
タイプ	H	h0	h1	B1	B2	B3	地耐力
H=4.0m以下	4000~3000	600~450	390	650	300	770	100KN/m ²
H=3.0m以下	3000~2000	450~350	310	500	300	620	75KN/m ²
H=2.0m以下	~2000	350	260	400	300	520	75KN/m ²

- ・埋入れ h0は、Hの15/100以上かつ350以上
- ・施工時には、基面の現況地盤を調査し土質試験を実施して、地耐力の確認を行う事。
- ・現況地盤の地耐力が擁壁の地盤反力に満たない場合は、必要な深さまで地盤改良を行う事。

- (留意事項)ブロック積擁壁
- 伸縮目地は原則として擁壁長さ10m以内ごとに一箇所設け、特に地盤の変化する箇所、擁壁高さが著しく異なる箇所、擁壁の構造を異にする所は有効に伸縮目地を設け、基礎地盤まで切断すること。また、擁壁の屈曲部は隅角部から擁壁高の分だけ避けて設置すること。
 - 擁壁の屈曲する箇所は隅角をはさむ二等辺三角形の部分をコンクリートで補強すること。二等辺の辺の長さは擁壁の高さの3m以下で50cm、3mを超えるものは60cmとする。
 - 胴込め及び裏込めのコンクリート打設はコンクリートが間知石と一体になるように十分突き固めること。なお、コンクリートの強度は18N/mm²以上すること。
 - 擁壁の背面排水をよくするため水抜穴を設け、湧水箇所は集水しやすい所に有効に設置し、最下段はなるべく下部地表面近くに設けること。また、水抜穴の配置は平行に配置するのを避け、手前側に配置し、排水方向に勾配をとって配置すること。なお、水抜パイプはL、W、L以上にてφ75mmを3m2に1箇所以上配置すること。
 - 練積みブロックは圧縮強度18N/mm²以上のものとする。施工においては、原則として谷積みとする。

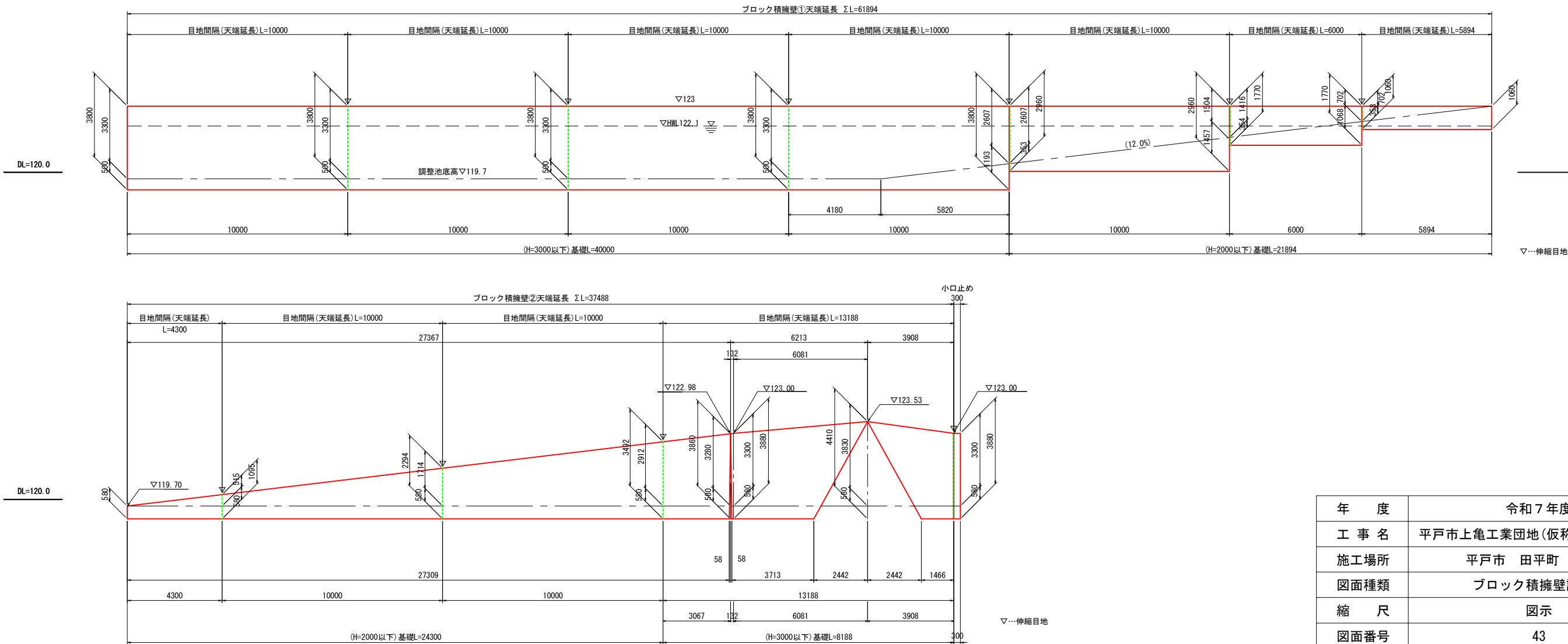
平面図

(A1) S=1:200
(A3) S=1:400



擁壁展開図

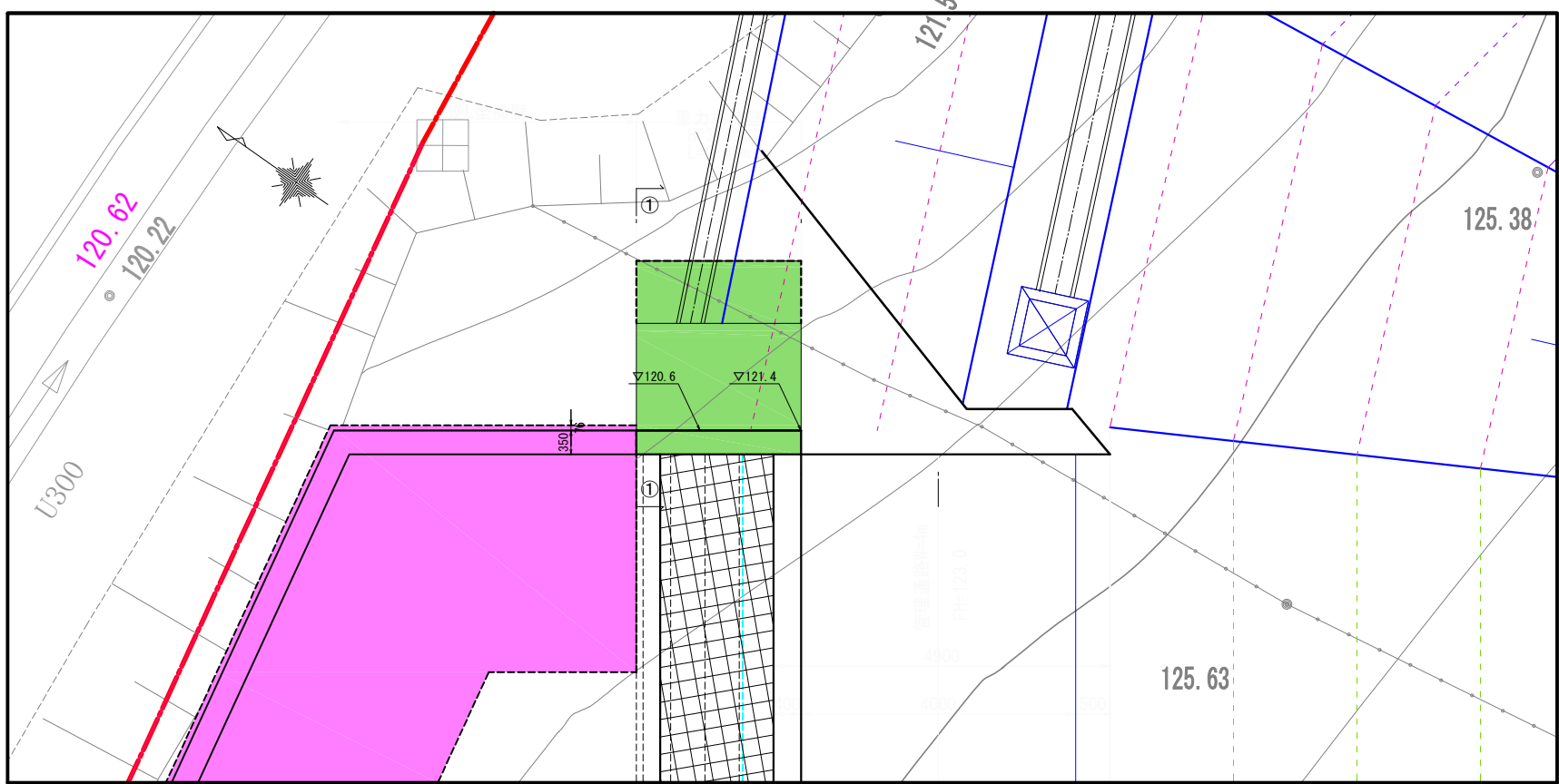
(A1) S=1:100
(A3) S=1:200



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	ブロック積擁壁詳細図
縮 尺	図示
図面番号	43
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

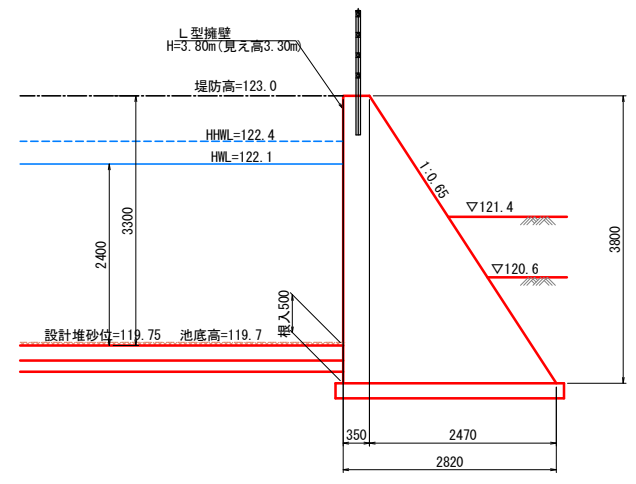
東側擁壁計画図 S=1:50

平面図



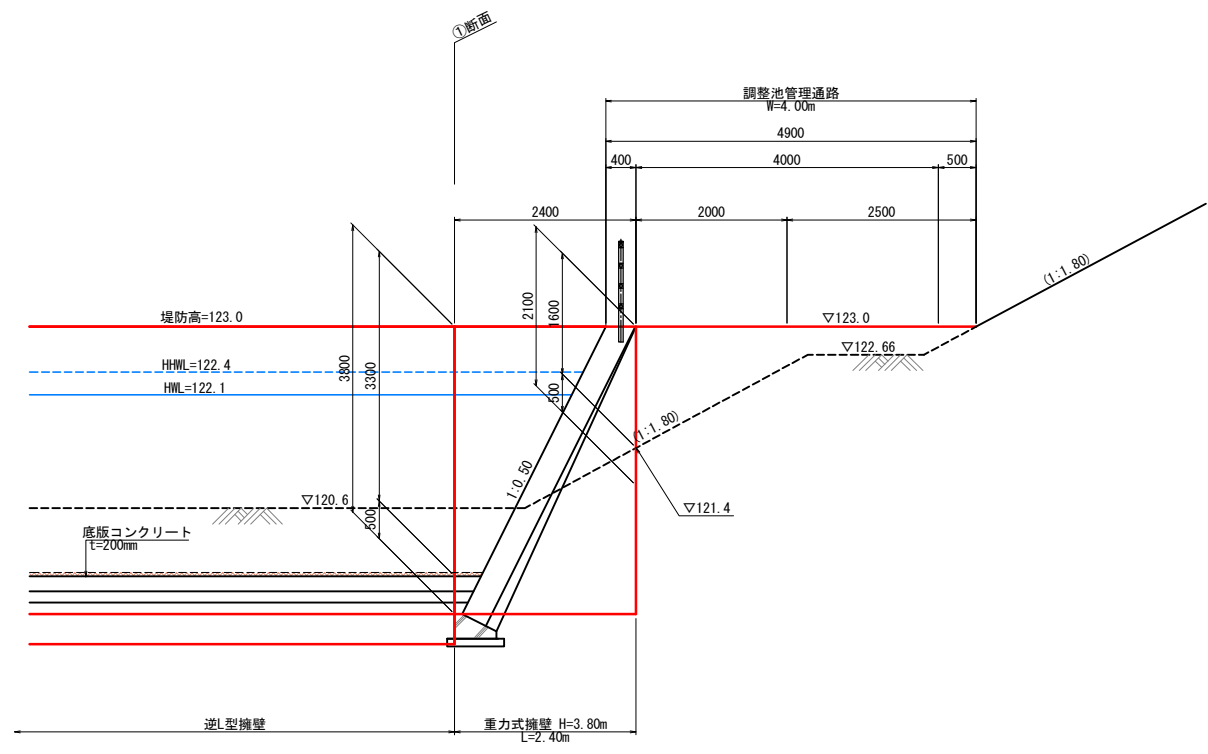
①-①断面

DL=120.0



正面図

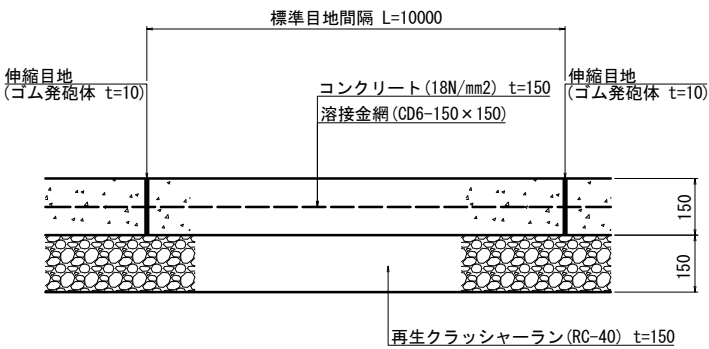
DL=120.0



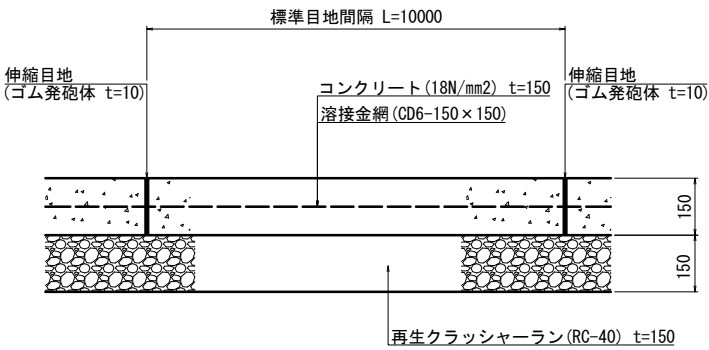
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	東側擁壁計画図
縮 尺	S=1/50
図面番号	44
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

調整池施設構造図

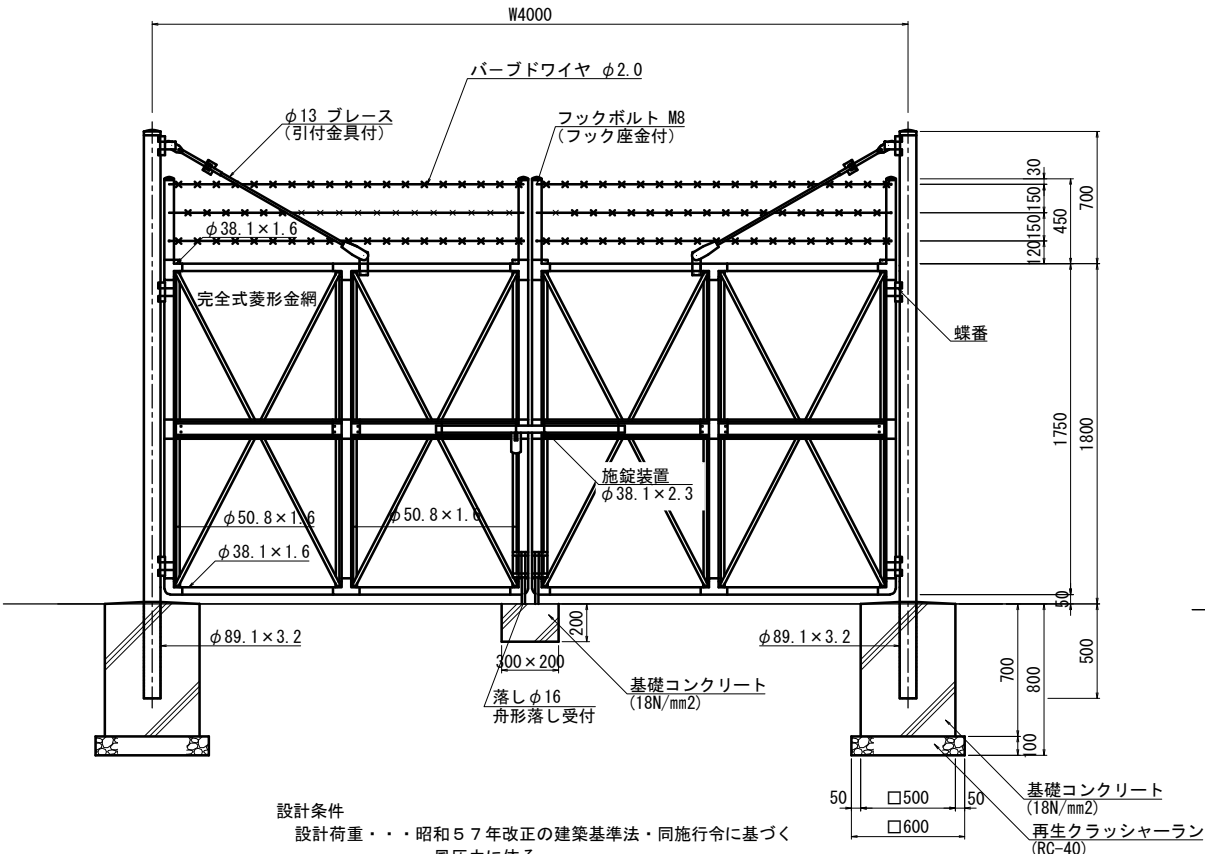
管理通路コンクリート舗装 S=1:10



底版コンクリート舗装 S=1:10

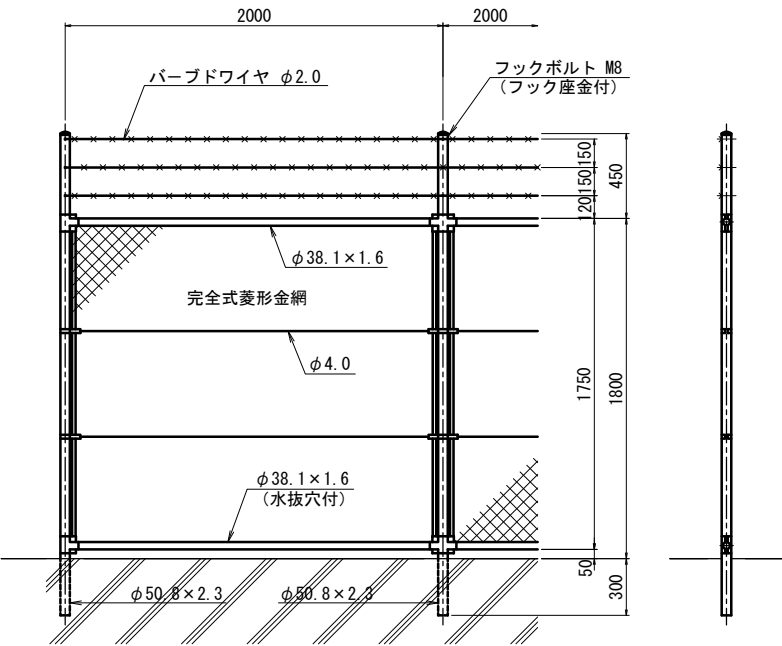


両開き門扉 S=1:20
(H1800×W4000 直忍付)

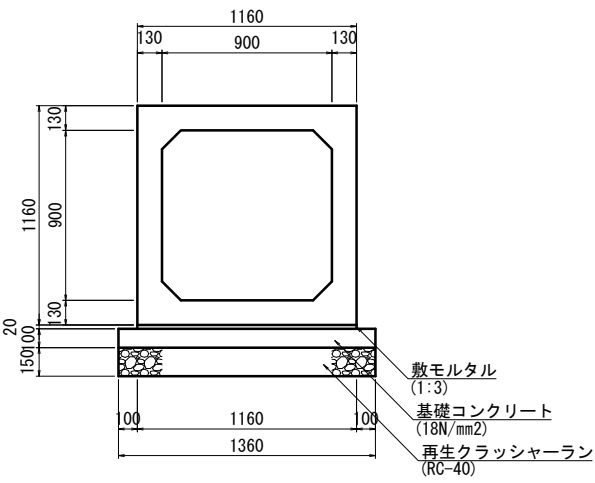


- 設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)
- 備考
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2. 本図門扉は施錠側180°開き、施錠側落としとする。

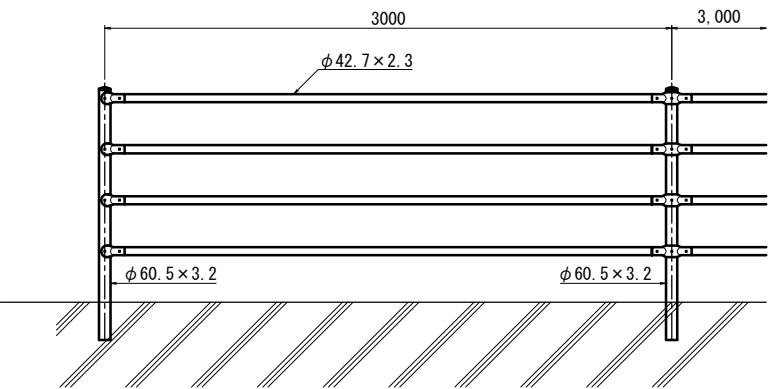
メッシュフェンス S=1:20
(H1800 直忍付 擁壁建込)



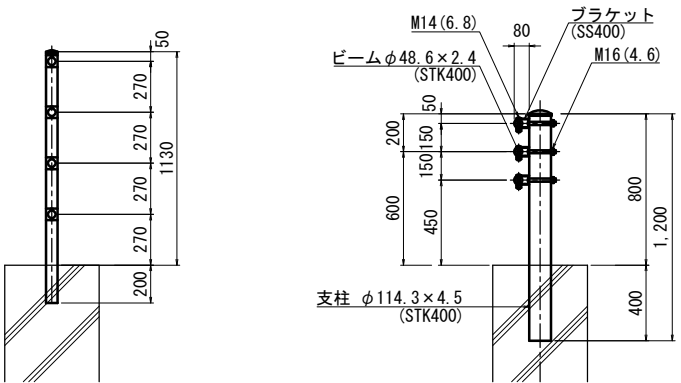
放流渠 S=1:20
(□900×900)



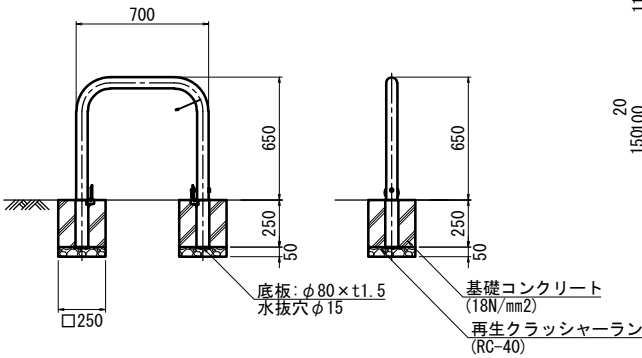
ガードパイプ S=1:20
(歩道用H=1100 擁壁建込)



ガードパイプ S=1:20
(車両用H=800 擁壁建込)



車止め S=1:20
(H=650)

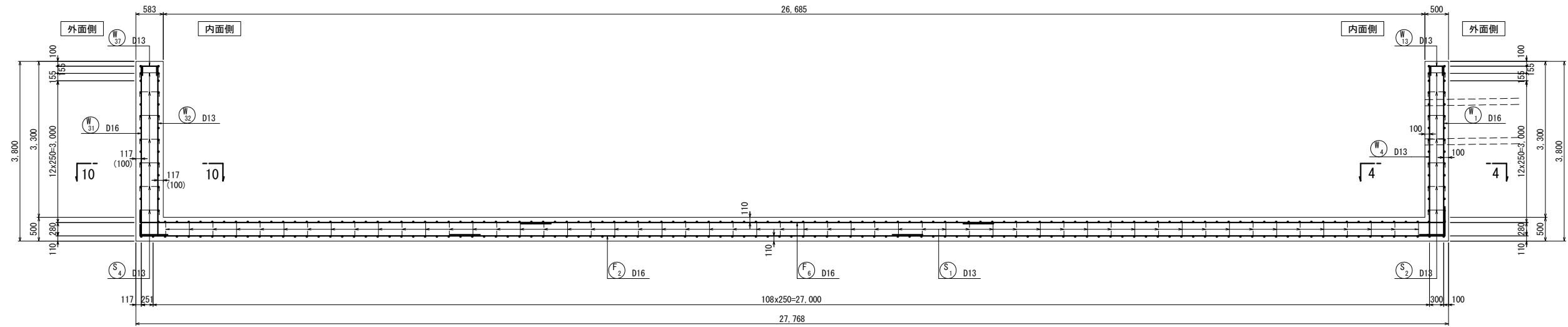


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池施設構造図
縮 尺	図示
図面番号	45
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

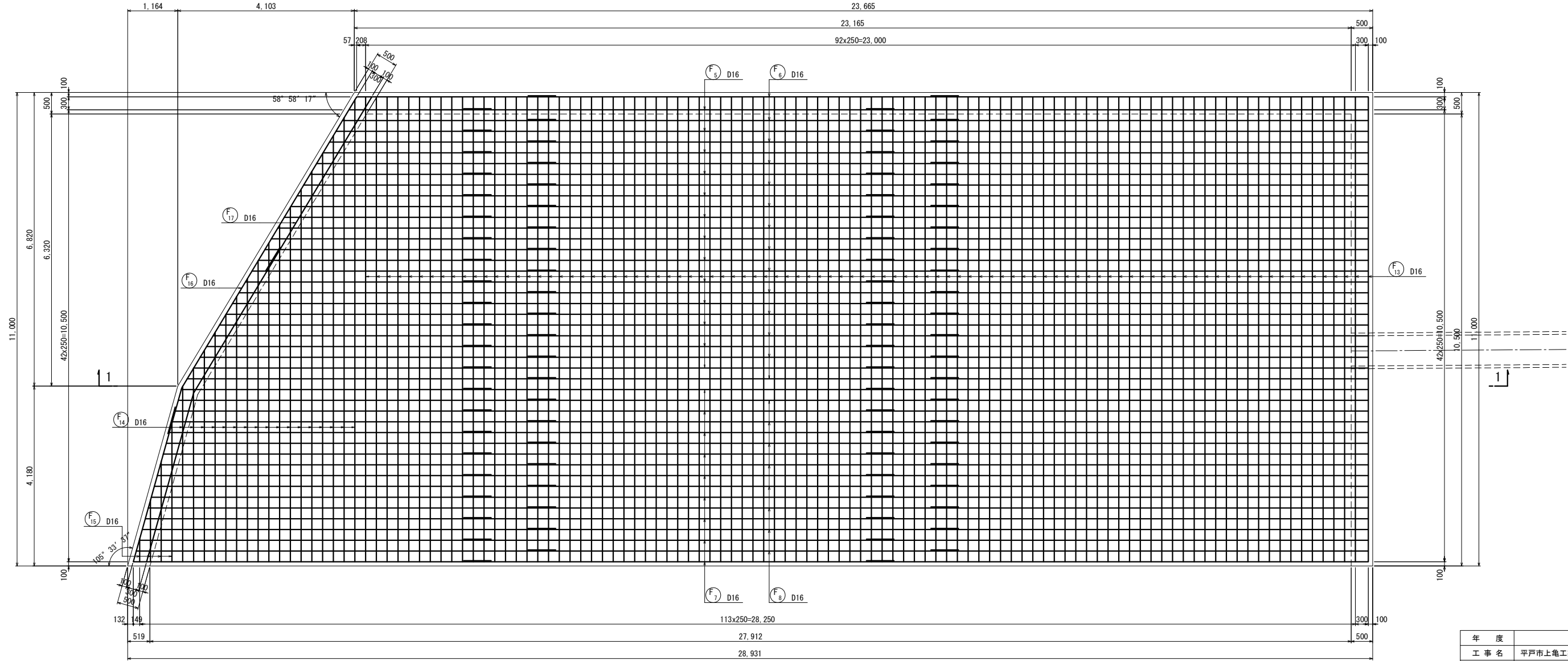
調整池擁壁U1ブロック配筋図(1)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

断面図(1-1)



底版上面図

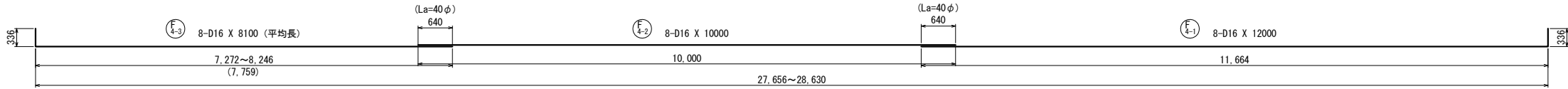
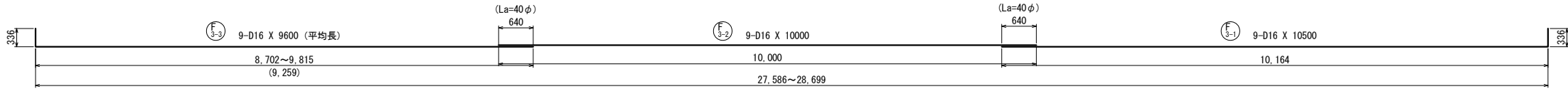
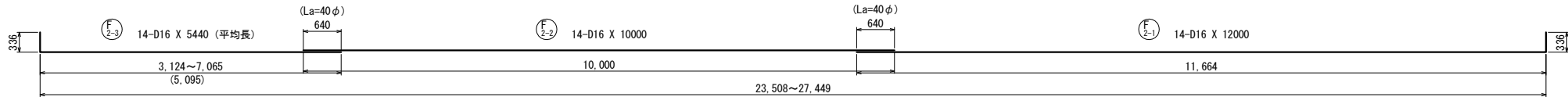
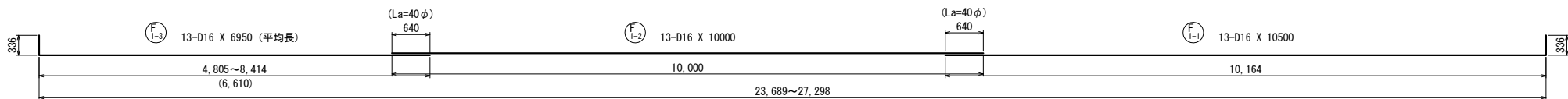
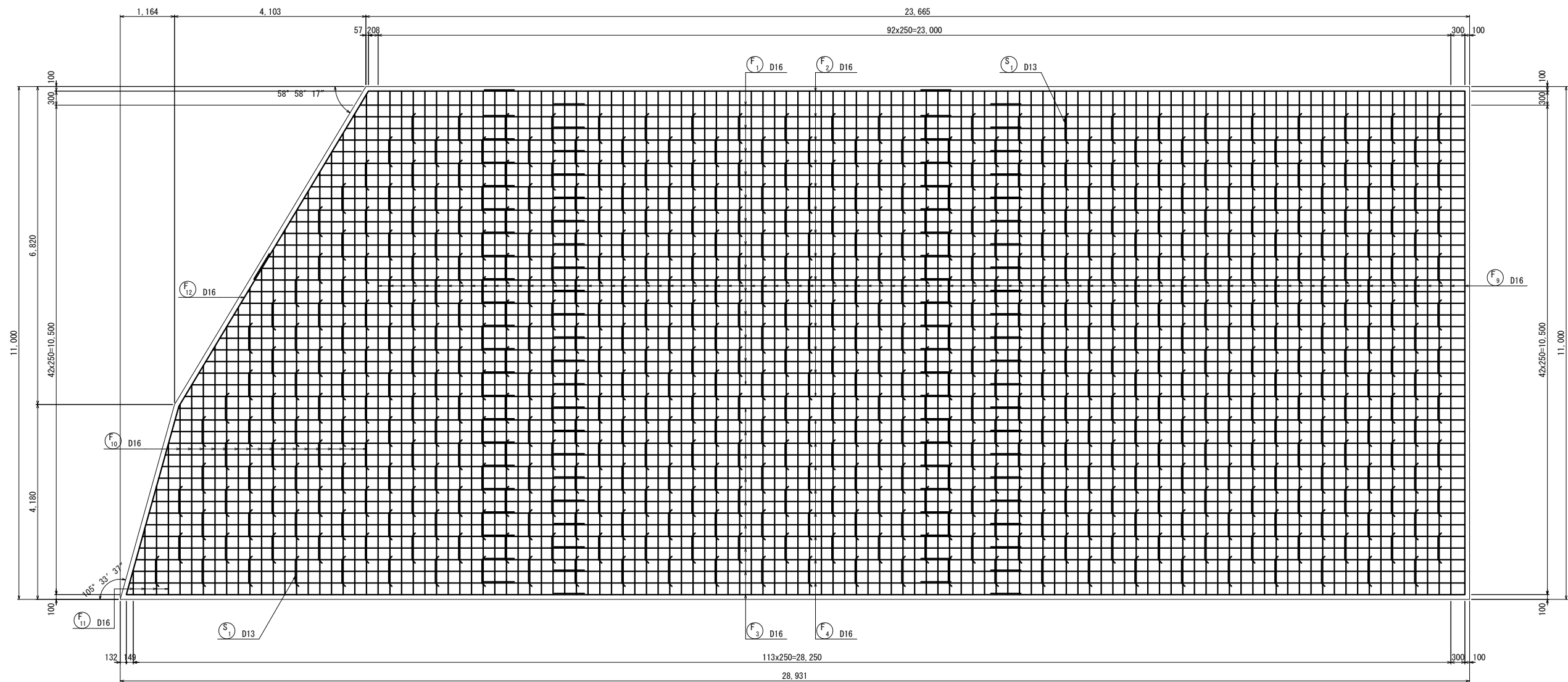


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U1ブロック配筋図(1)
縮 尺	図示
図面番号	46

調整池擁壁U1ブロック配筋図(2)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

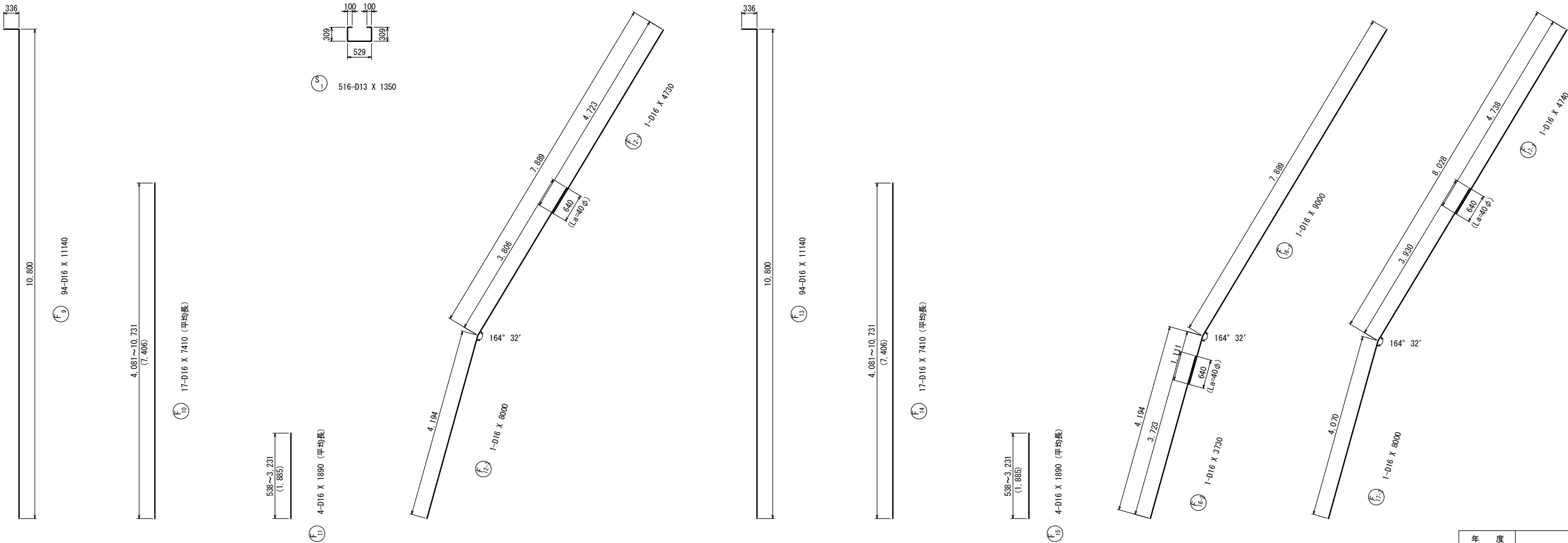
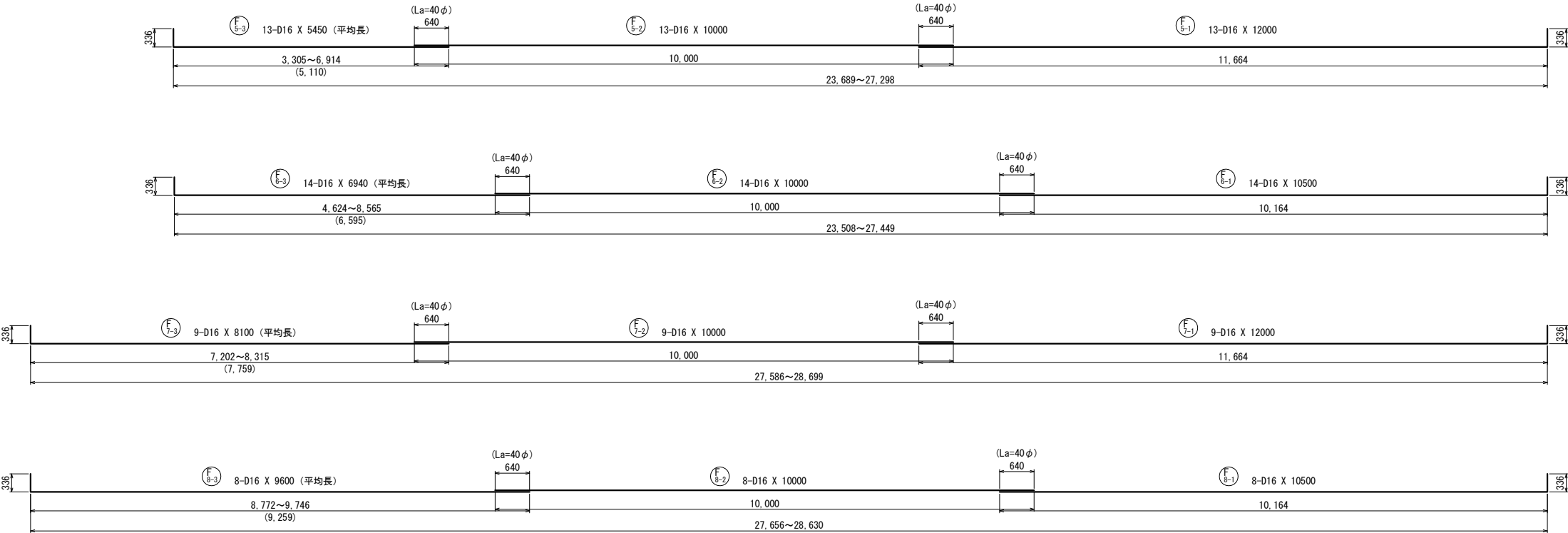
底版下面図



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U1ブロック配筋図 (2)
縮 尺	図示
図面番号	47
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

調整池擁壁U1ブロック配筋図(3)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

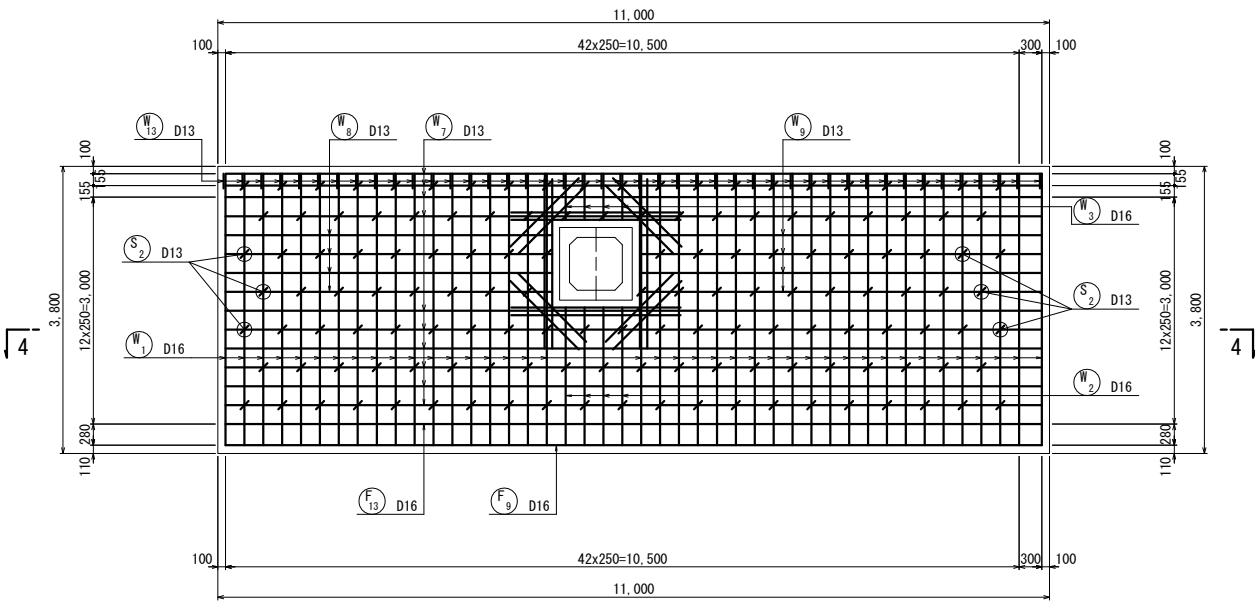


年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U1ブロック配筋図 (3)
縮 尺	図示
図面番号	48

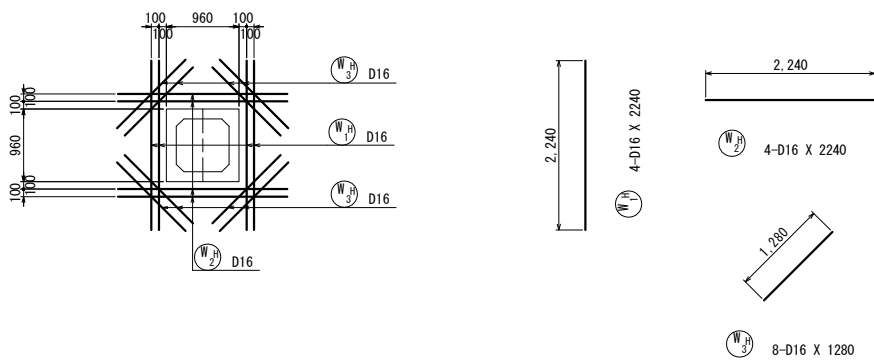
調整池擁壁U1ブロック配筋図(4)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

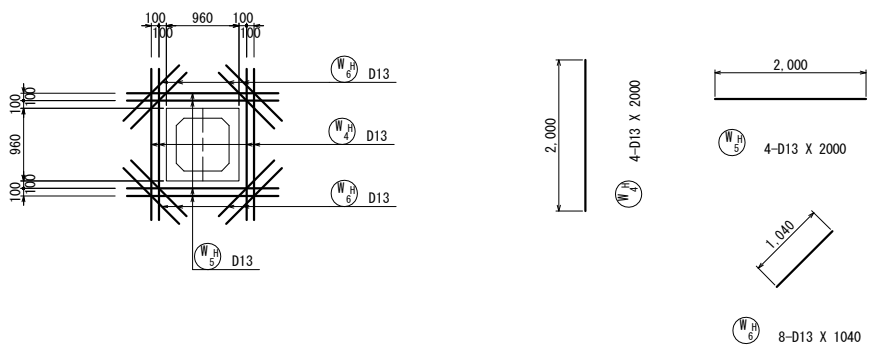
側壁外面図(2-2)



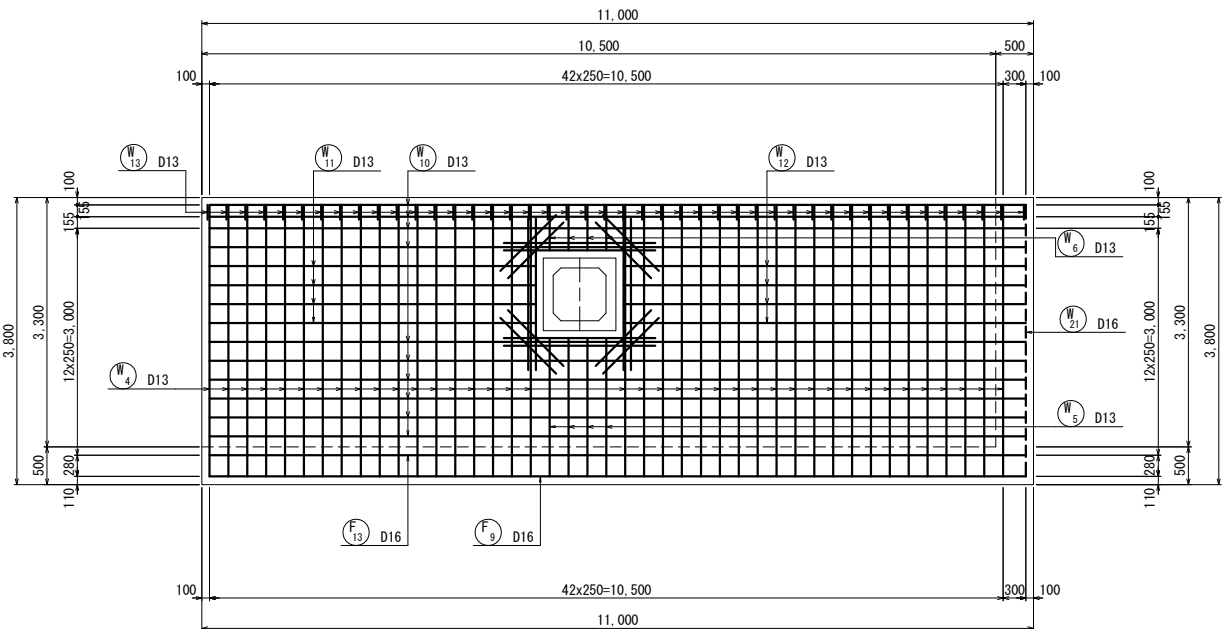
開口部補強筋図
(外面側)



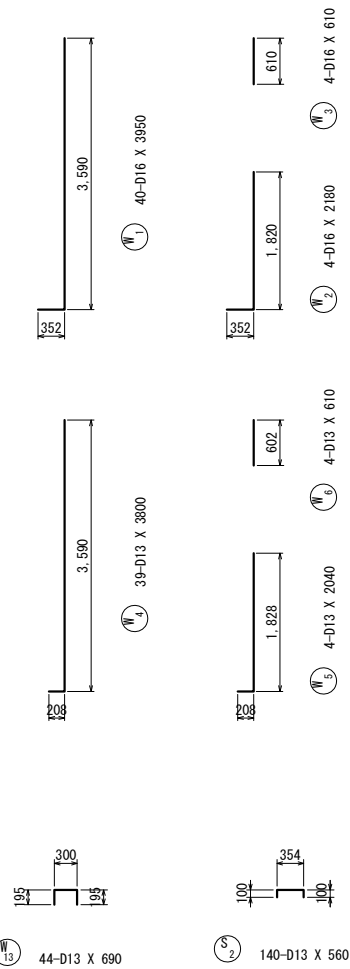
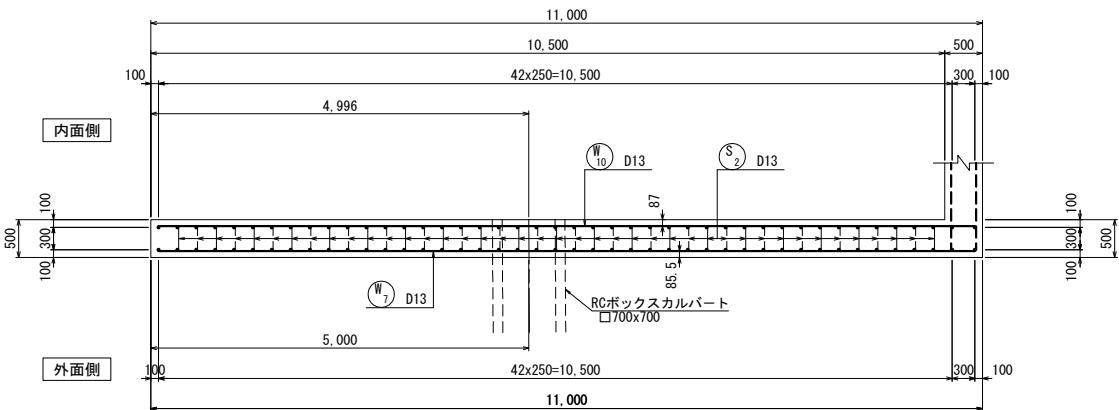
(内面側)



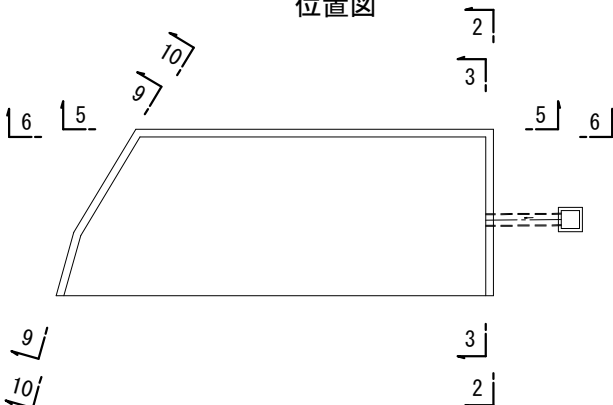
側壁内面図(3-3)



断面図(4-4)



位置図

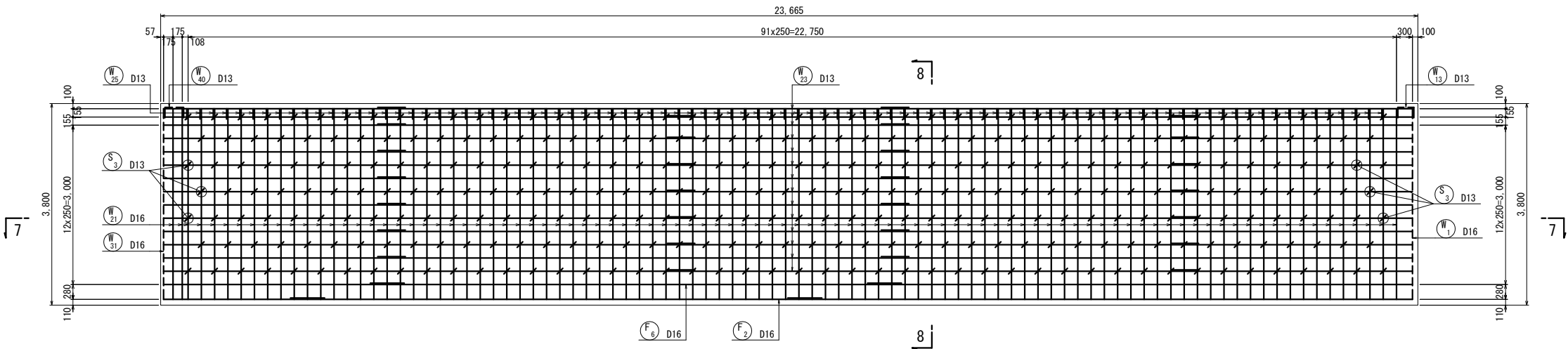


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U1ブロック配筋図(4)
縮 尺	図示
図面番号	49

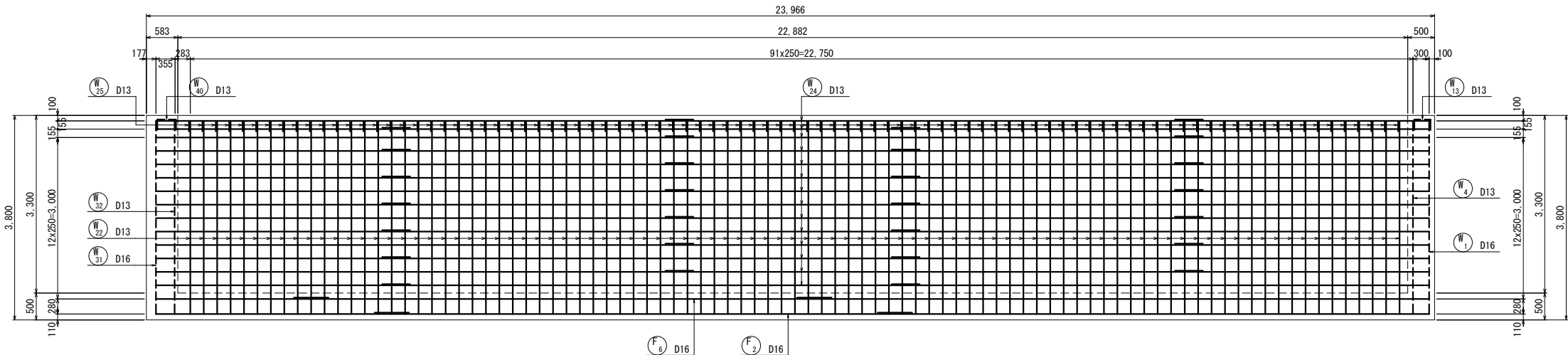
調整池擁壁U1ブロック配筋図(5)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

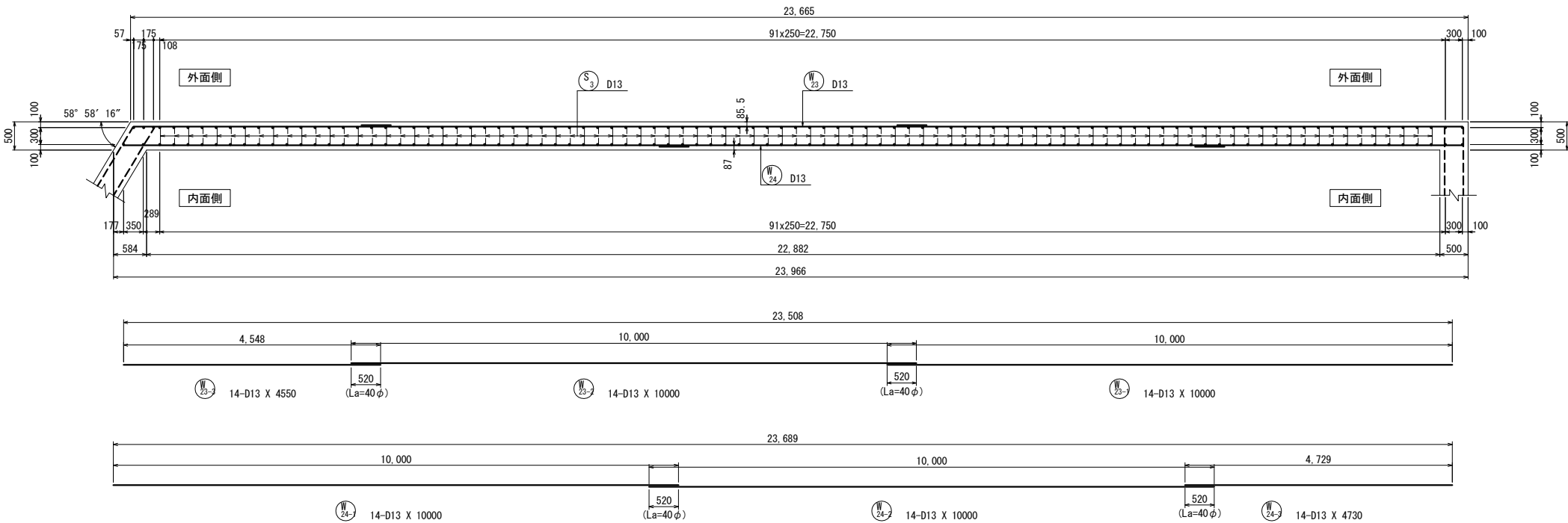
側壁外面図(5-5)



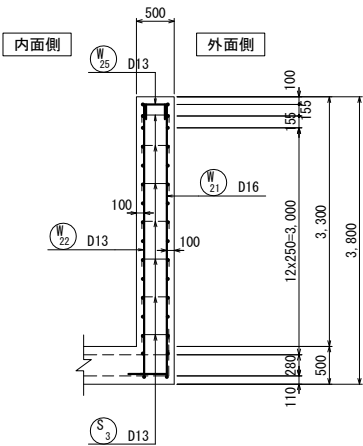
側壁内面図(6-6)



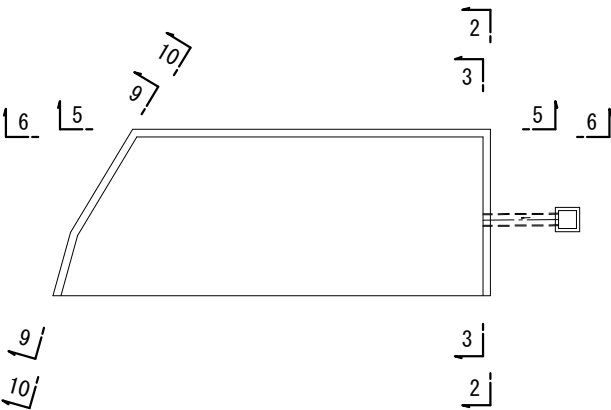
断面図(7-7)



断面図(8-8)



位置図



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U1ブロック配筋図(5)
縮 尺	図示
図面番号	50
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

Technical drawing of a wall section showing dimensions and reinforcement details.

Dimensions:

- Overall height: 3,800
- Section height: 3,590
- Section width: 352
- Section width: 208

Reinforcement Details:

- Top bars: W31, W32, W33, W37, W38, W39, W40
- Bottom bars: W34, W35, W36
- Stirrups: D13, D16

Labels:

- 外面側 (Outer side)
- 内面側 (Inner side)

[illegible]

Technical drawing of a mechanical part. The part is a rectangular block with a slanted top surface on the left side. Dimensions are indicated by arrows and numbers: 6 (width), 5 (height), 9 (slant height), 10 (slant height), 3 (width), 2 (height), 5 (width), 6 (height), 9 (slant height), 10 (slant height). A section line is shown on the right side, indicating a cut through the part.

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工葉団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整地擁壁U1ブロック配筋図 (6)
縮 尺	図示
図面番号	51
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

調整池擁壁U1ブロック配筋図(7)

S=1：50(A1)
S=1：100(A3)

鉄筋質量表

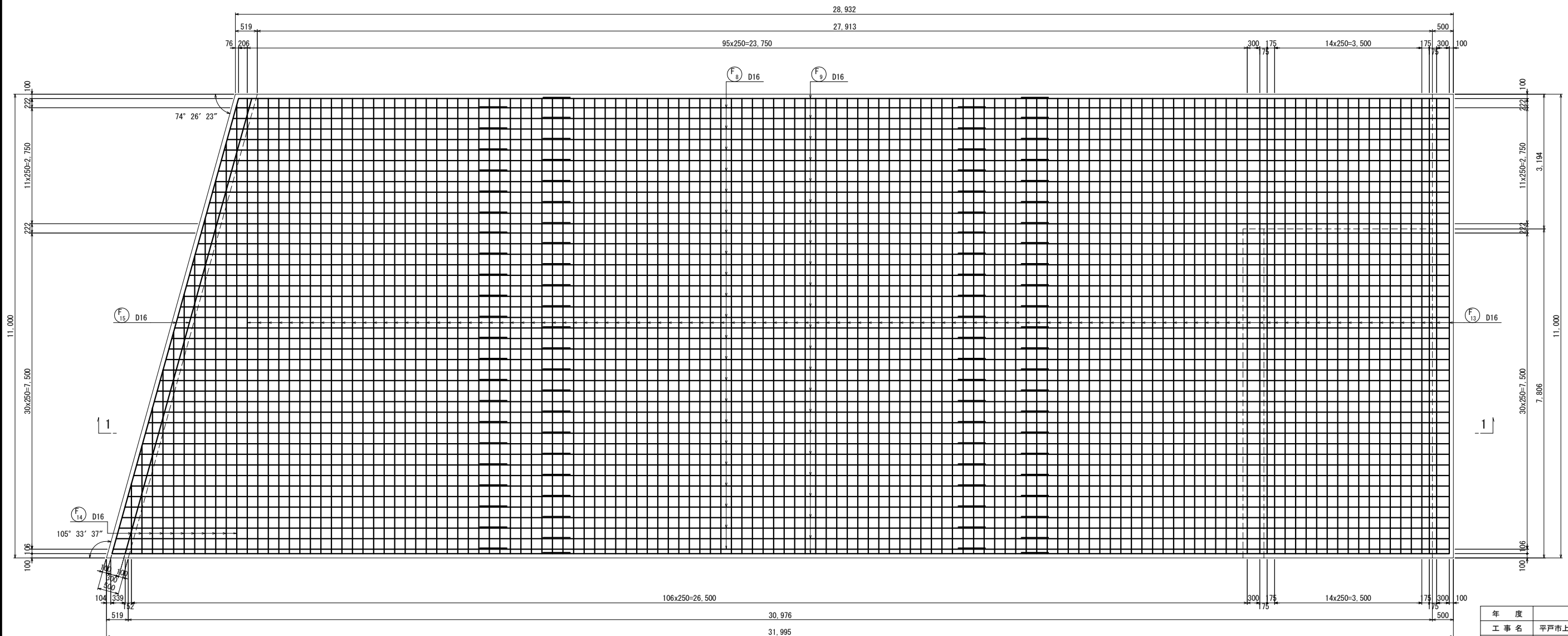
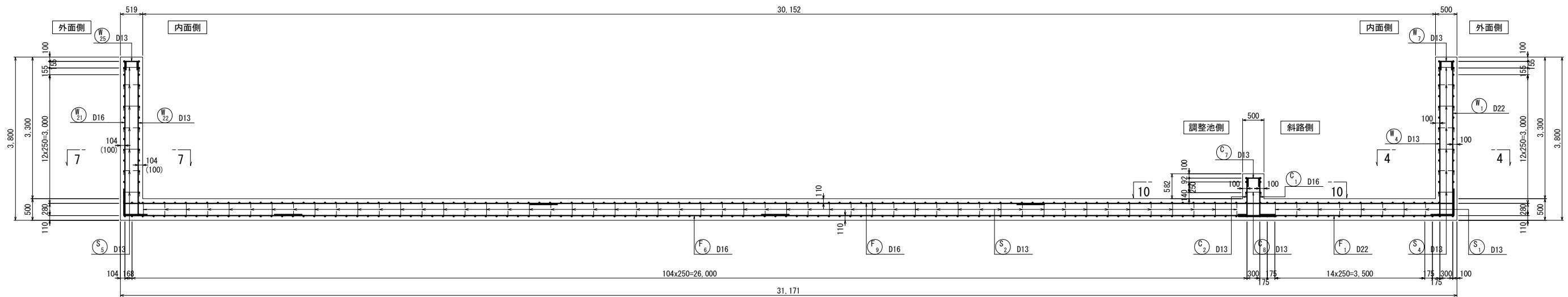
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
W 1	D16	3950	40	1.56	6.162	246.5	┘
W 2	D16	2180	4	1.56	3.401	13.6	┘
W 3	D16	610	4	1.56	0.952	3.8	┘
W 4	D13	3800	39	0.995	3.781	147.5	┘
W 5	D13	2040	4	0.995	2.030	8.1	┘
W 6	D13	610	4	0.995	0.607	2.4	┘
W 7	D13	10800	10	0.995	10.746	107.5	――
W 8	D13	4320	4	0.995	4.298	17.2	――
W 9	D13	5320	4	0.995	5.293	21.2	――
W 10	D13	10800	10	0.995	10.746	107.5	――
W 11	D13	4320	4	0.995	4.298	17.2	――
W 12	D13	5330	4	0.995	5.303	21.2	――
W 13	D13	690	44	0.995	0.687	30.2	┘┘
743.9 kg							
W 21	D16	3950	94	1.56	6.162	579.2	┘
W 22	D13	3800	91	0.995	3.781	344.1	┘
W 23-1	D13	10000	14	0.995	9.950	139.3	――
W 23-2	D13	10000	14	0.995	9.950	139.3	――
W 23-3	D13	4550	14	0.995	4.527	63.4	――
W 24-1	D13	10000	14	0.995	9.950	139.3	――
W 24-2	D13	10000	14	0.995	9.950	139.3	――
W 24-3	D13	4730	14	0.995	4.706	65.9	――
W 25	D13	690	91	0.995	0.687	62.5	┘┘
1672.3 kg							
W 31	D16	3950	50	1.56	6.162	308.1	┘
W 32	D13	3800	49	0.995	3.781	185.3	┘
W 33-1	D13	3610	7	0.995	3.592	25.1	┘
W 33-2	D13	9000	7	0.995	8.955	62.7	――
W 34-1	D13	9000	7	0.995	8.955	62.7	――
W 34-2	D13	3610	7	0.995	3.592	25.1	――
W 35-1	D13	9000	7	0.995	8.955	62.7	――
W 35-2	D13	3620	7	0.995	3.602	25.2	――
W 36-1	D13	9000	7	0.995	8.955	62.7	――
W 36-2	D13	3620	7	0.995	3.602	25.2	――
W 37	D13	690	45	0.995	0.687	30.9	┘
W 38	D13	710	1	0.995	0.706	0.7	┘
W 39	D13	700	1	0.995	0.697	0.7	┘
W 40	D13	740	2	0.995	0.736	1.5	┘
878.6 kg							
W ^H 1	D16	2240	4	1.56	3.494	14.0	┘
W ^H 2	D16	2240	4	1.56	3.494	14.0	――
W ^H 3	D16	1280	8	1.56	1.997	16.0	┘
W ^H 4	D13	2000	4	0.995	1.990	8.0	┘
W ^H 5	D13	2000	4	0.995	1.990	8.0	――
W ^H 6	D13	1040	8	0.995	1.035	8.3	┘
68.3 kg							

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
F 1-1	D16	10500	13	1.56	16.380	212.9	――
F 1-2	D16	10000	13	1.56	15.600	202.8	――
F 1-3	D16	6950	13	1.56	10.842	140.9	―― (平均長)
F 2-1	D16	12000	14	1.56	18.720	262.1	――
F 2-2	D16	10000	14	1.56	15.600	218.4	――
F 2-3	D16	5440	14	1.56	8.486	118.8	―― (平均長)
F 3-1	D16	10500	9	1.56	16.380	147.4	――
F 3-2	D16	10000	9	1.56	15.600	140.4	――
F 3-3	D16	9600	9	1.56	14.976	134.8	―― (平均長)
F 4-1	D16	12000	8	1.56	18.720	149.8	――
F 4-2	D16	10000	8	1.56	15.600	124.8	――
F 4-3	D16	8100	8	1.56	12.636	101.1	―― (平均長)
F 5-1	D16	12000	13	1.56	18.720	243.4	――
F 5-2	D16	10000	13	1.56	15.600	202.8	――
F 5-3	D16	5450	13	1.56	8.502	110.5	―― (平均長)
F 6-1	D16	10500	14	1.56	16.380	229.3	――
F 6-2	D16	10000	14	1.56	15.600	218.4	――
F 6-3	D16	6940	14	1.56	10.826	151.6	―― (平均長)
F 7-1	D16	12000	9	1.56	18.720	168.5	――
F 7-2	D16	10000	9	1.56	15.600	140.4	――
F 7-3	D16	8100	9	1.56	12.636	113.7	―― (平均長)
F 8-1	D16	10500	8	1.56	16.380	131.0	――
F 8-2	D16	10000	8	1.56	15.600	124.8	――
F 8-3	D16	9600	8	1.56	14.976	119.8	―― (平均長)
F 9	D16	11140	94	1.56	17.378	1633.5	
F 10	D16	7410	17	1.56	11.560	196.5	(平均長)
F 11	D16	1890	4	1.56	2.948	11.8	(平均長)
F 12-1	D16	4730	1	1.56	7.379	7.4	/
F 12-2	D16	8000	1	1.56	12.480	12.5	/
F 13	D16	11140	94	1.56	17.378	1633.5	
F 14	D16	7410	17	1.56	11.560	196.5	(平均長)
F 15	D16	1890	4	1.56	2.948	11.8	(平均長)
F 16-1	D16	9000	1	1.56	14.040	14.0	/
F 16-2	D16	3730	1	1.56	5.819	5.8	/
F 17-1	D16	4740	1	1.56	7.394	7.4	/
F 17-2	D16	8000	1	1.56	12.480	12.5	/
7651.6 kg							
S 1	D13	1350	516	0.995	1.343	693.0	□
S 2	D13	560	140	0.995	0.557	78.0	□
S 3	D13	560	319	0.995	0.557	177.7	□
S 4	D13	560	158	0.995	0.557	88.0	□
1036.7 kg							
合 計 D16				8846.8 kg			
D13				3204.6 kg			
総質量				12051.4 kg			

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U1ブロック配筋図 (7)
縮 尺	図示
図面番号	52
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

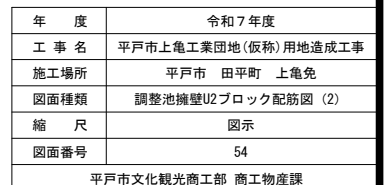
30. 152



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上竜工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上竜免
図面種類	調整池擁壁U2ブロック配筋図 (1)
縮 尺	図示
図面番号	53
平戸市文化観光工商部 商工物産課	

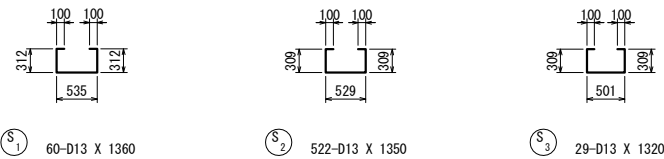
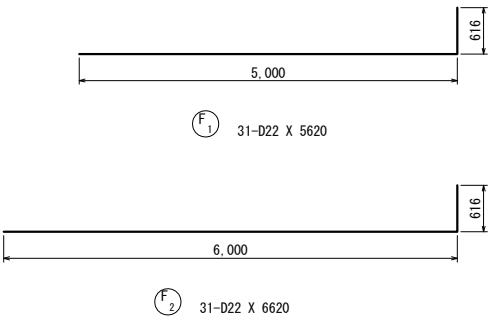
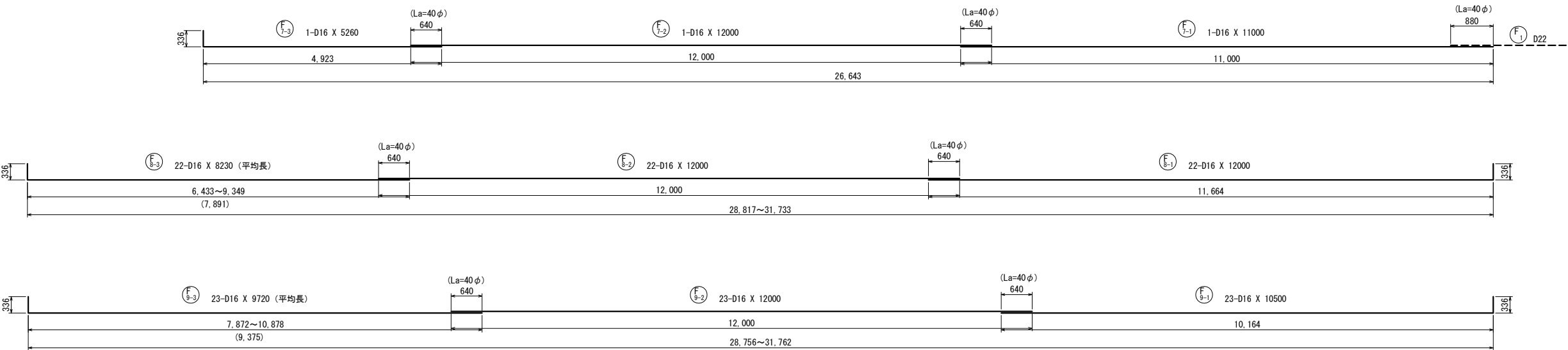
S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

28,932

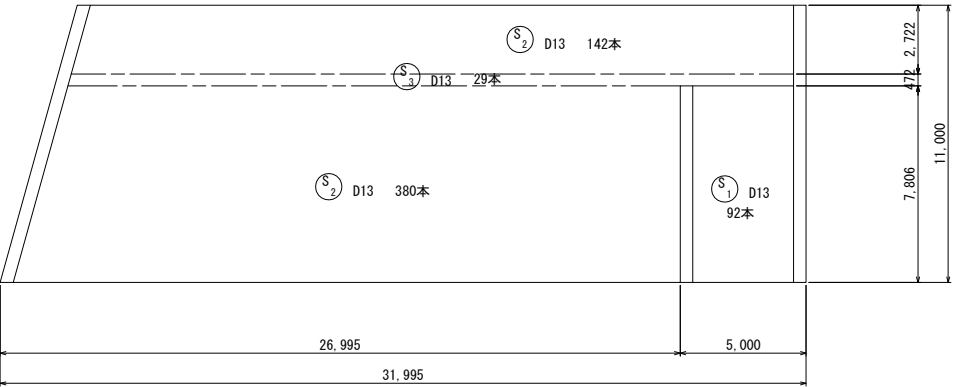


調整池擁壁U2ブロック配筋図(3)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



組立筋配置図

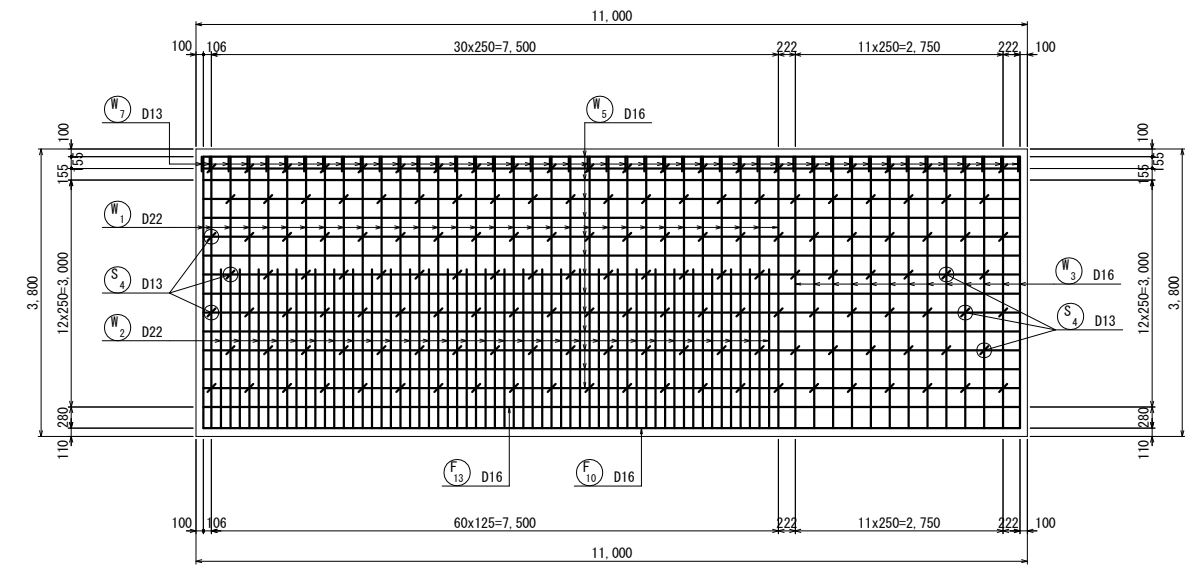


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U2ブロック配筋図(3)
縮 尺	図示
図面番号	55
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

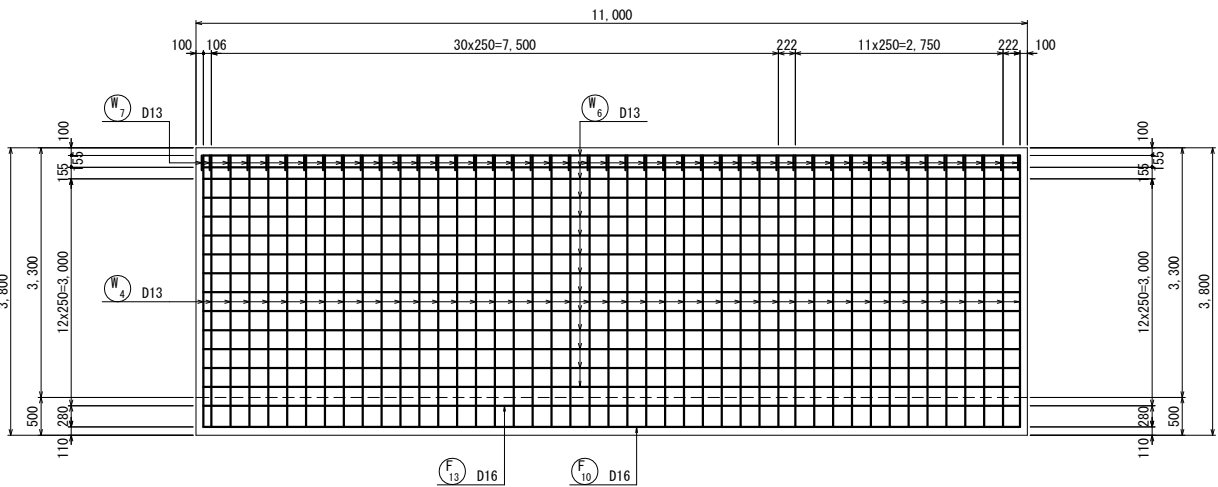
調整池U型擁壁U2ブロック配筋図(4)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

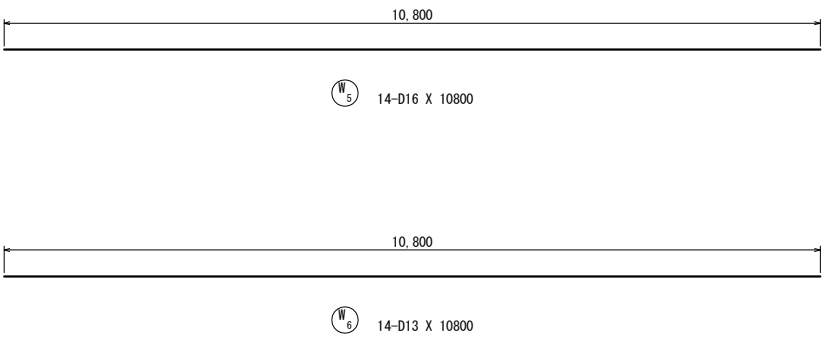
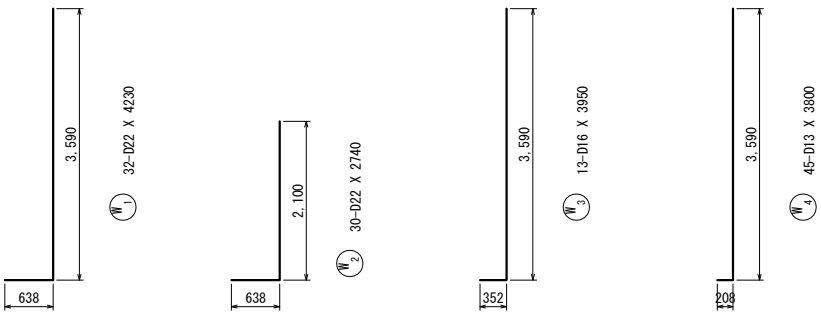
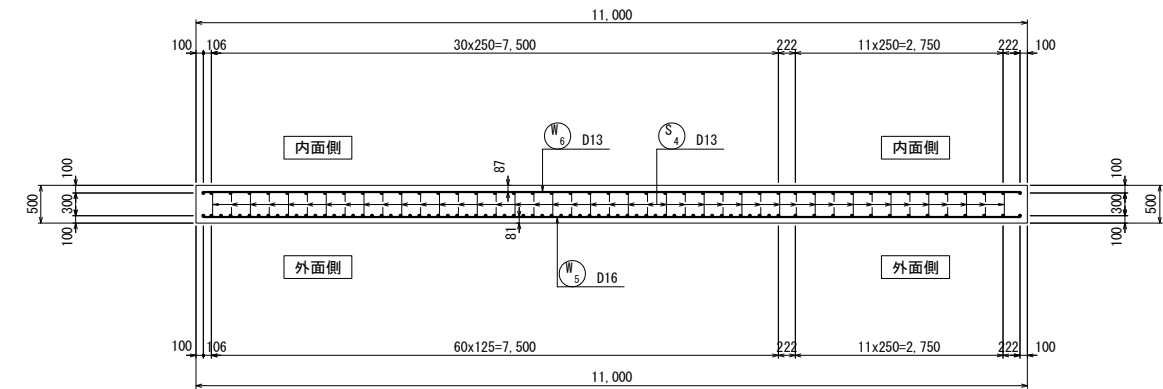
側壁外面図(2-2)



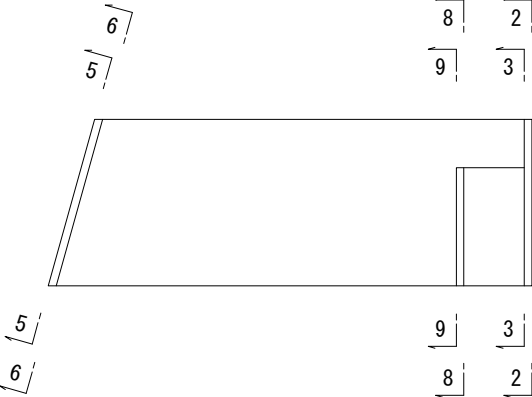
側壁内面図(3-3)



断面図(4-4)



位置図

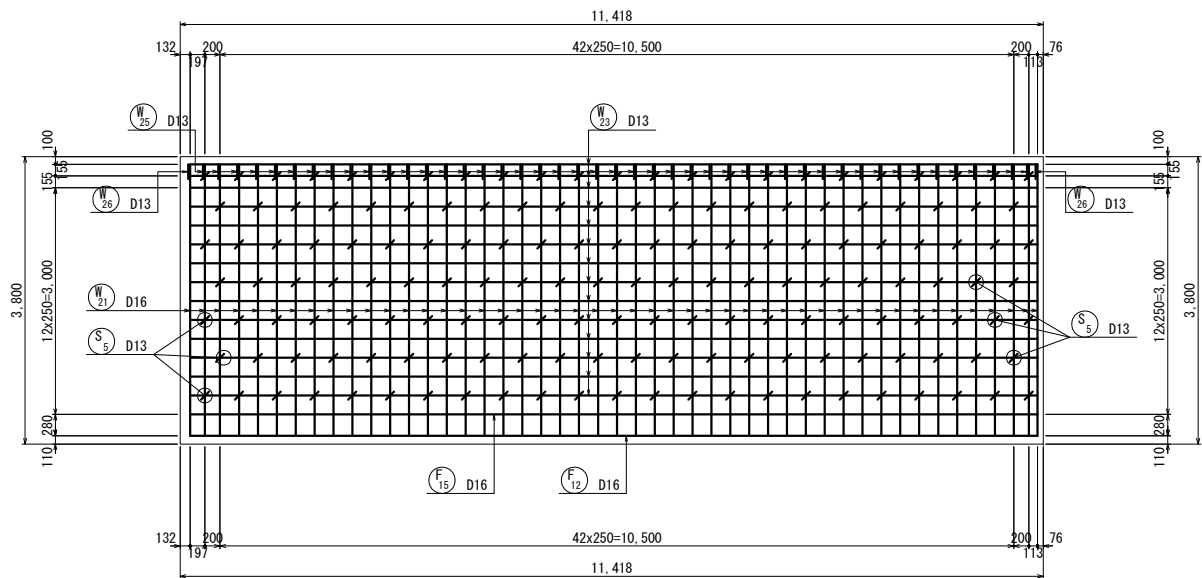


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U2ブロック配筋図(4)
縮 尺	図示
図面番号	56

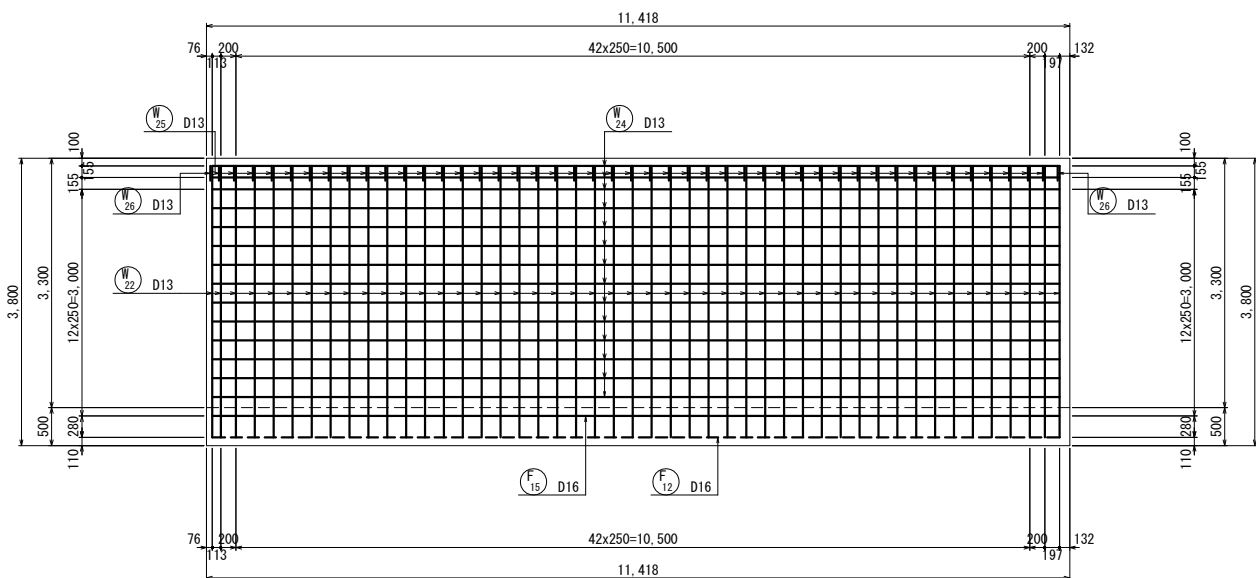
調整池擁壁U2ブロック配筋図(5)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

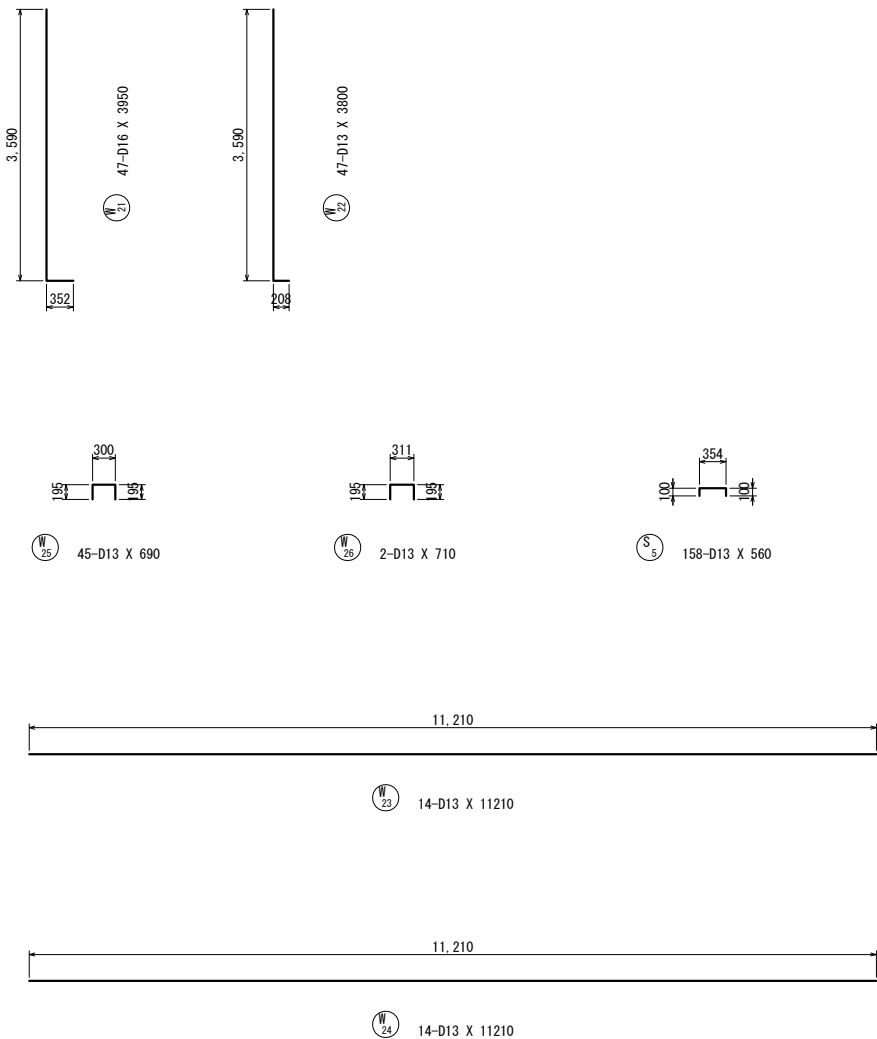
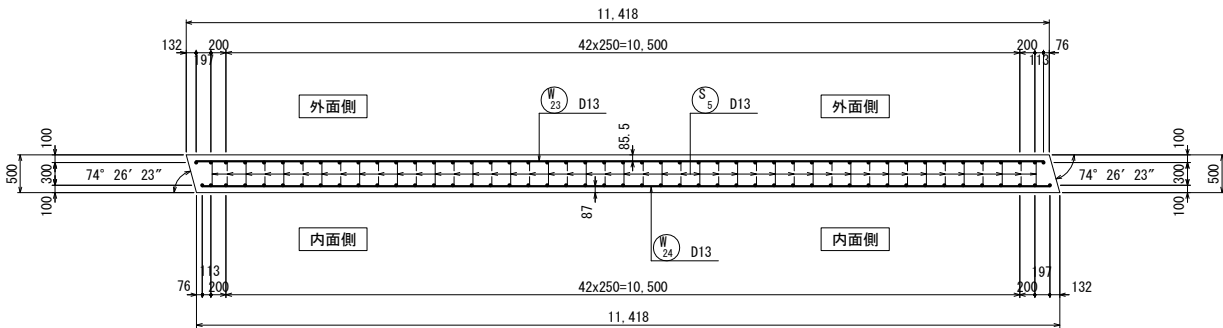
側壁外面図(5-5)



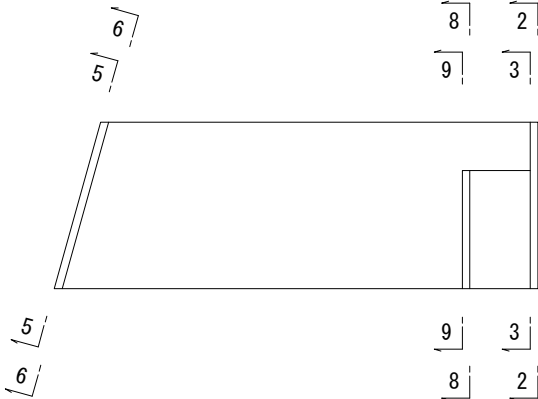
側壁内面図(6-6)



断面図(7-7)



位置図



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U2ブロック配筋図 (5)
縮 尺	図示
図面番号	57
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

Technical drawing of a roof structure, showing a cross-section and plan view.

Cross-section dimensions (left side):

- Total height: 1.437
- Height segments: 500, 937, 110, 280, 3,250, 186, 112
- Horizontal offset: 1750

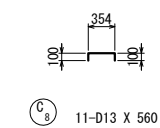
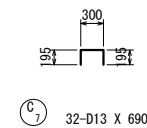
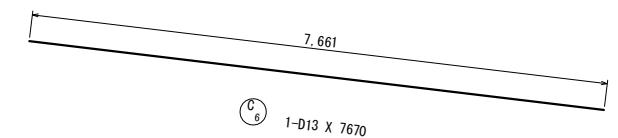
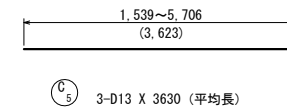
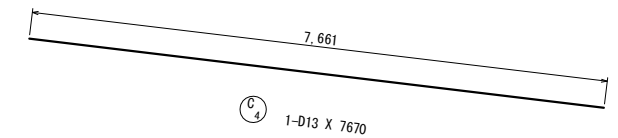
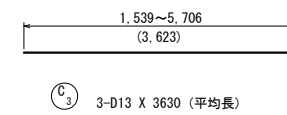
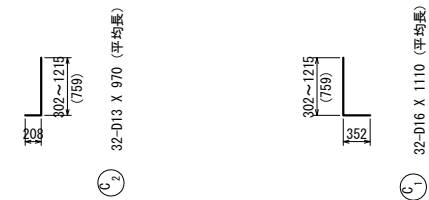
Plan view dimensions (bottom):

- Width: 7.806
- Length: 30x250=7.500

Roof Slope: 12.000%

Labels and Points:

- Circular labels:** C₇ D13, C₈ D13, C₉ D13, C₄ D13, C₁ D16, F₁₃ D16, F₁₀ D16
- Rectangular labels:** D13, D16



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工集団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整地擁壁U2ブロック配筋図 (6)
縮 尺	図示
図面番号	58
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

調整池擁壁U2ブロック配筋図(7)

S=1：50(A1)
S=1：100(A3)

鉄筋質量表

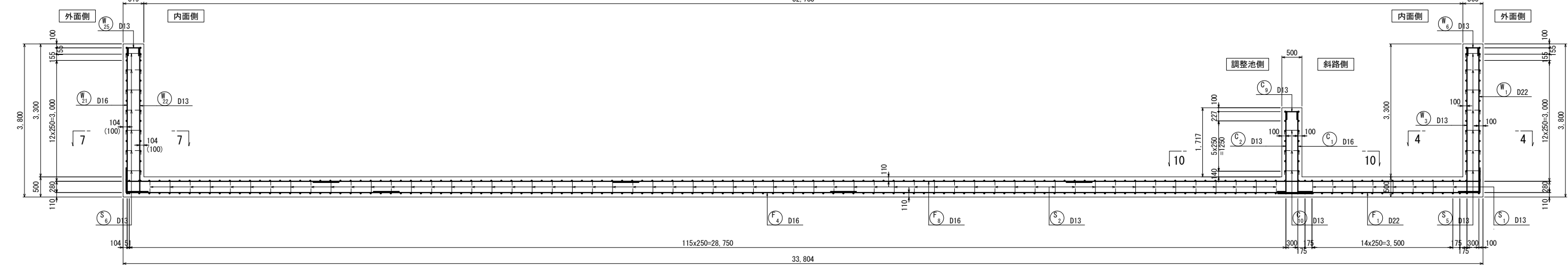
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
W 1	D22	4230	32	3.04	12.859	411.5	┘
W 2	D22	2740	30	3.04	8.330	249.9	┘
W 3	D16	3950	13	1.56	6.162	80.1	┘
W 4	D13	3800	45	0.995	3.781	170.1	┘
W 5	D16	10800	14	1.56	16.848	235.9	──
W 6	D13	10800	14	0.995	10.746	150.4	──
W 7	D13	690	45	0.995	0.687	30.9	┐
1328.8 kg							
W 21	D16	3950	47	1.56	6.162	289.6	┘
W 22	D13	3800	47	0.995	3.781	177.7	┘
W 23	D13	11210	14	0.995	11.154	156.2	──
W 24	D13	11210	14	0.995	11.154	156.2	──
W 25	D13	690	45	0.995	0.687	30.9	┐
W 26	D13	710	2	0.995	0.706	1.4	┐
812.0 kg							
C 1	D16	1110	32	1.56	1.732	55.4	┘ (平均長)
C 2	D13	970	32	0.995	0.965	30.9	┘ (平均長)
C 3	D13	3630	3	0.995	3.612	10.8	── (平均長)
C 4	D13	7670	1	0.995	7.632	7.6	──
C 5	D13	3630	3	0.995	3.612	10.8	── (平均長)
C 6	D13	7670	1	0.995	7.632	7.6	──
C 7	D13	690	32	0.995	0.687	22.0	┐
C 8	D13	560	11	0.995	0.557	6.1	┐
151.2 kg							
F 1	D22	5620	31	3.04	17.085	529.6	──
F 2	D22	6620	31	3.04	20.125	623.9	──
F 3-1	D16	10500	6	1.56	16.380	98.3	──
F 3-2	D16	12000	6	1.56	18.720	112.3	──
F 3-3	D16	8620	6	1.56	13.447	80.7	── (平均長)
F 4-1	D16	12000	7	1.56	18.720	131.0	──
F 4-2	D16	12000	7	1.56	18.720	131.0	──
F 4-3	D16	7130	7	1.56	11.123	77.9	── (平均長)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F 5-1	D16	10500	16	1.56	16.380	262.1	──
F 5-2	D16	12000	16	1.56	18.720	299.5	──
F 5-3	D16	5690	16	1.56	8.876	142.0	── (平均長)
F 6-1	D16	12000	15	1.56	18.720	280.8	──
F 6-2	D16	12000	15	1.56	18.720	280.8	──
F 6-3	D16	4190	15	1.56	6.536	98.0	── (平均長)
F 7-1	D16	11000	1	1.56	17.160	17.2	──
F 7-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 7-3	D16	5260	1	1.56	8.206	8.2	──
F 8-1	D16	12000	22	1.56	18.720	411.8	──
F 8-2	D16	12000	22	1.56	18.720	411.8	──
F 8-3	D16	8230	22	1.56	12.839	282.5	── (平均長)
F 9-1	D16	10500	23	1.56	16.380	376.7	──
F 9-2	D16	12000	23	1.56	18.720	430.6	──
F 9-3	D16	9720	23	1.56	15.163	348.7	── (平均長)
F 10	D16	10800	116	1.56	16.848	1954.4	┘
F 11	D16	5710	12	1.56	8.908	106.9	┘ (平均長)
F 12	D16	11220	1	1.56	17.503	17.5	/
F 13	D16	10800	116	1.56	16.848	1954.4	┘
F 14	D16	6160	11	1.56	9.610	105.7	┘ (平均長)
F 15	D16	11220	2	1.56	17.503	35.0	/
9628.0 kg							
S 1	D13	1360	60	0.995	1.353	81.2	┐
S 2	D13	1350	522	0.995	1.343	701.0	┐
S 3	D13	1320	29	0.995	1.313	38.1	┐
S 4	D13	560	151	0.995	0.557	84.1	┐
S 5	D13	560	158	0.995	0.557	88.0	┐
992.4 kg							
合 計 D22 1814.9 kg							
D16				9135.5 kg			
D13				1962.0 kg			
総質量				12912.4 kg			

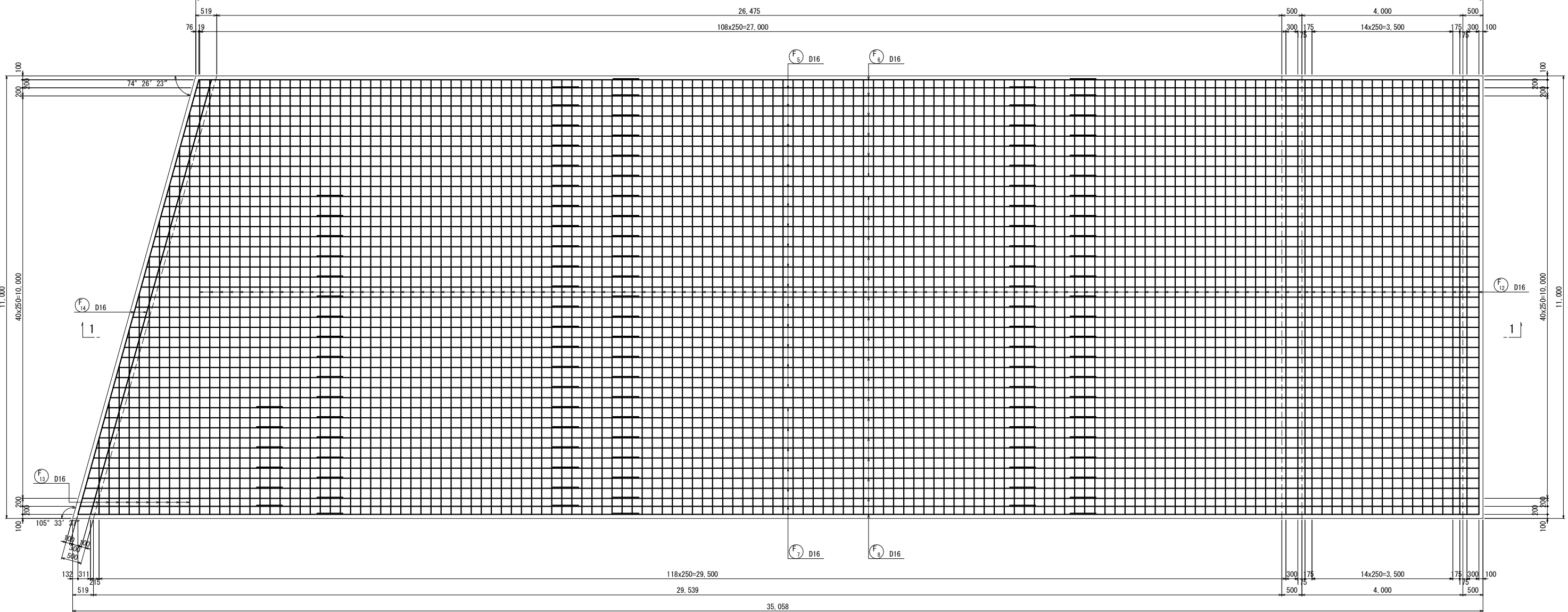
調整池擁壁U3ブロック配筋図(1)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

断面図(1-1)



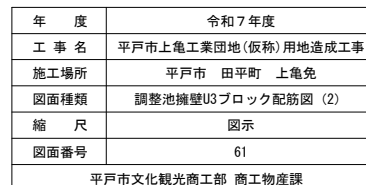
底版上面図



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U3ブロック配筋図 (1)
縮 尺	図示
図面番号	60

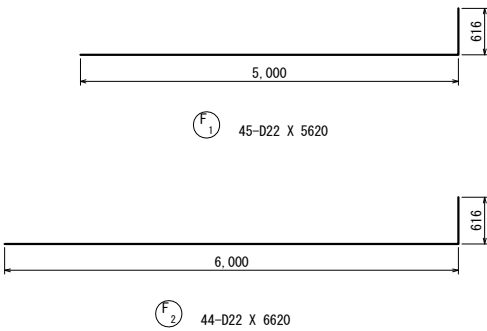
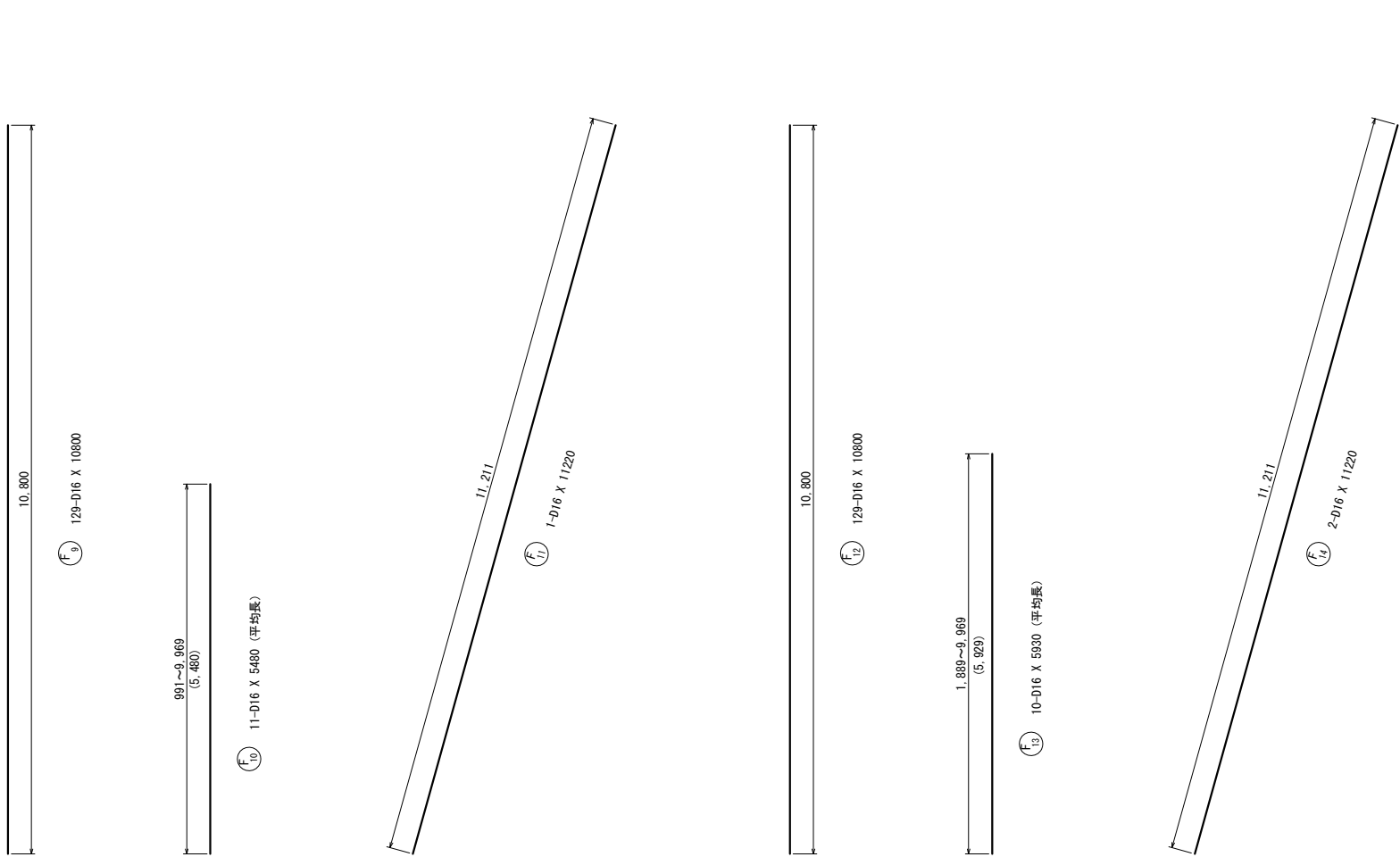
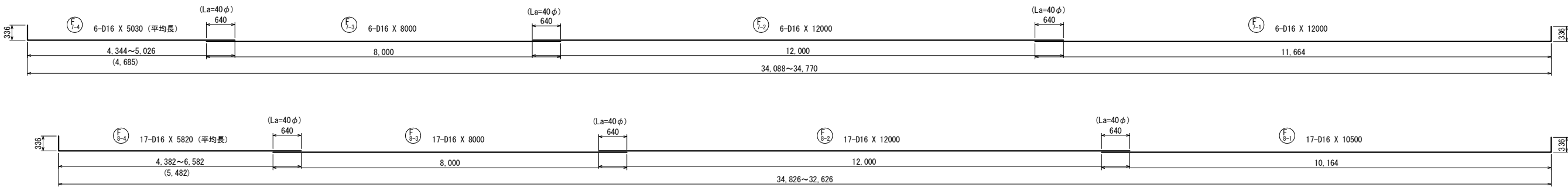
S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

31.995

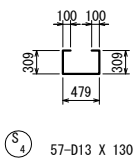
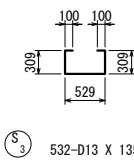
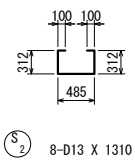
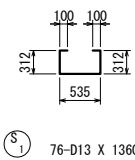
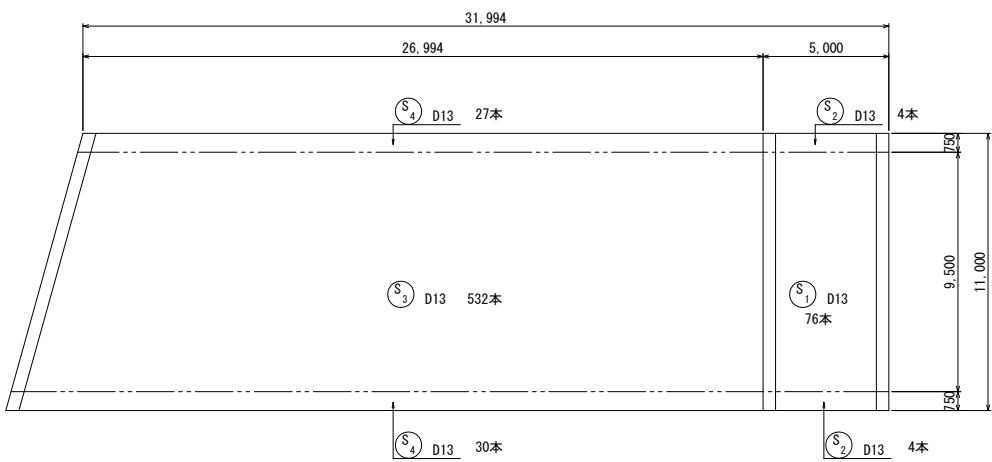


調整池擁壁U3ブロック配筋図(3)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



せん断補強筋配置図



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U3ブロック配筋図 (3)
縮 尺	図示
図面番号	62
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

Technical drawing of a rectangular reinforced concrete slab (D22) with dimensions and reinforcement details.

Dimensions:

- Overall width: 11,000
- Overall height: 3,800
- Slab thickness: 150
- Reinforcement spacing: 40x250=10,000 (horizontal), 80x125=10,000 (vertical)

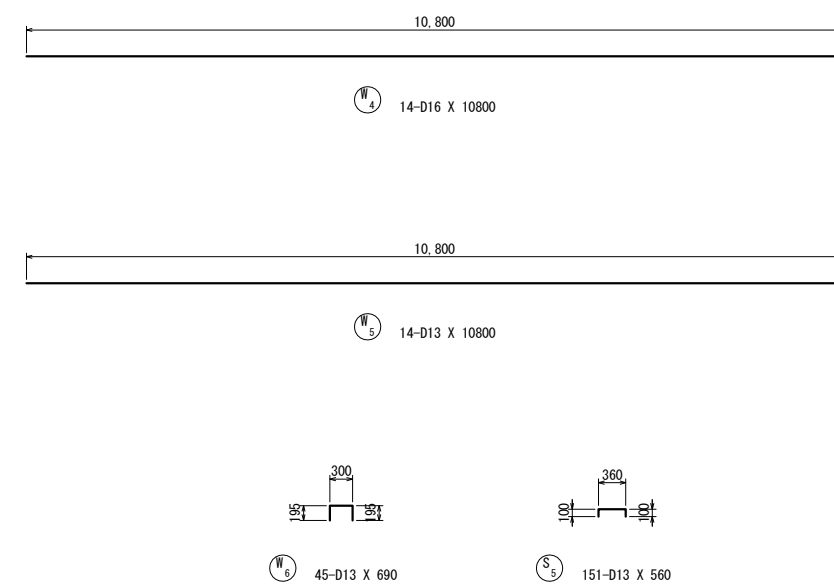
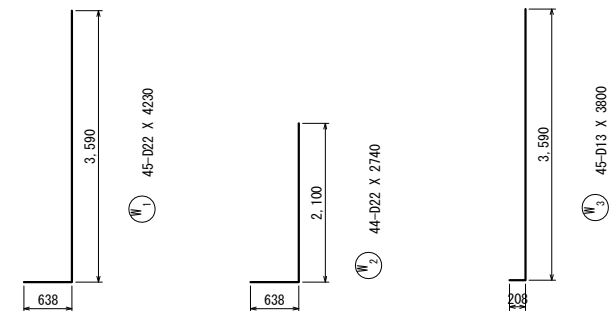
Reinforcement Details:

- Top reinforcement: W₁ D22 (bottom left), W₂ D22 (bottom left), W₃ D16 (top center), W₄ D16 (top center)
- Bottom reinforcement: F₁₂ D16 (bottom center), F₉ D16 (bottom center)
- Side reinforcement: S₅ D13 (left side), S₅ D13 (right side)

Other Details:

- Reinforcement bars are shown with cross-sections and labels (W, F, S).
- Reinforcement bars are spaced at 40x250=10,000 (horizontal) and 80x125=10,000 (vertical).
- Reinforcement bars are labeled with diameter and grade (e.g., W₁ D22, F₁₂ D16).

Figure 1.10 is a technical drawing of a bridge deck cross-section. The drawing shows a symmetrical cross-section with a total width of 11,000 mm. The top flange has a width of 40x250=10,000 mm. The bottom flange has a width of 80x125=10,000 mm. The central web has a height of 1,000 mm. The drawing includes labels for "内面側" (inner side) and "外面側" (outer side). It also shows reinforcement details: W5 D13 for the top and W5 D16 for the bottom. Dimensions for the reinforcement bars are given as 87 and 81. The drawing is labeled "Figure 1.10" and "Figure 1.10".

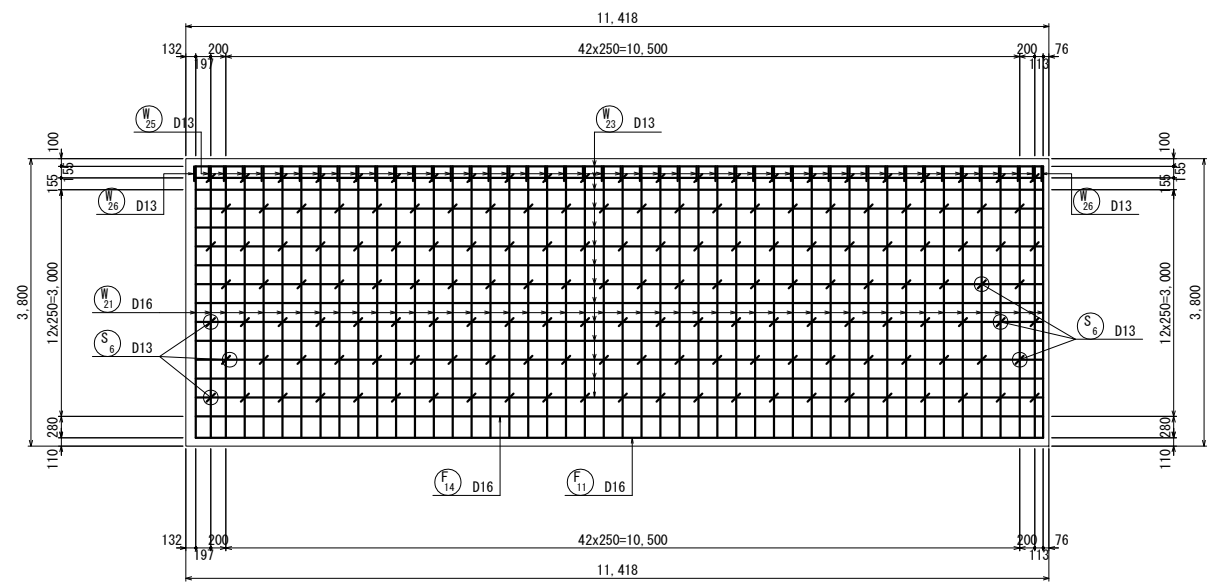


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上竜工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 平平町 上竜免
図面種類	調整池擁壁U3ブロック配筋図 (4)
縮 尺	図示
図面番号	63
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

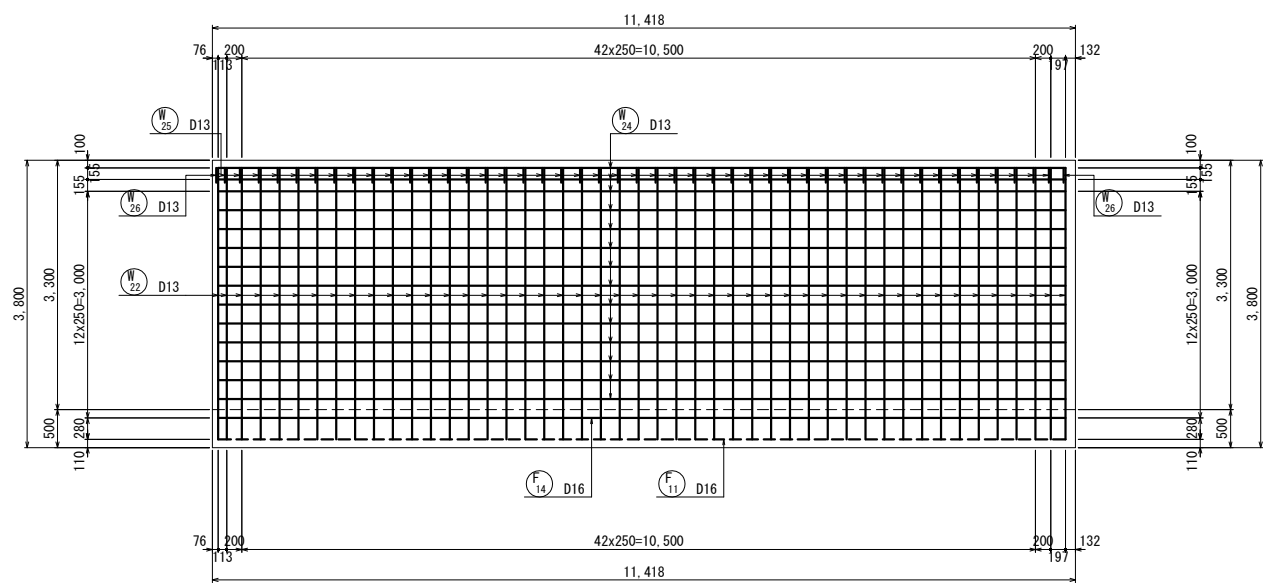
調整池擁壁U3ブロック配筋図(5)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

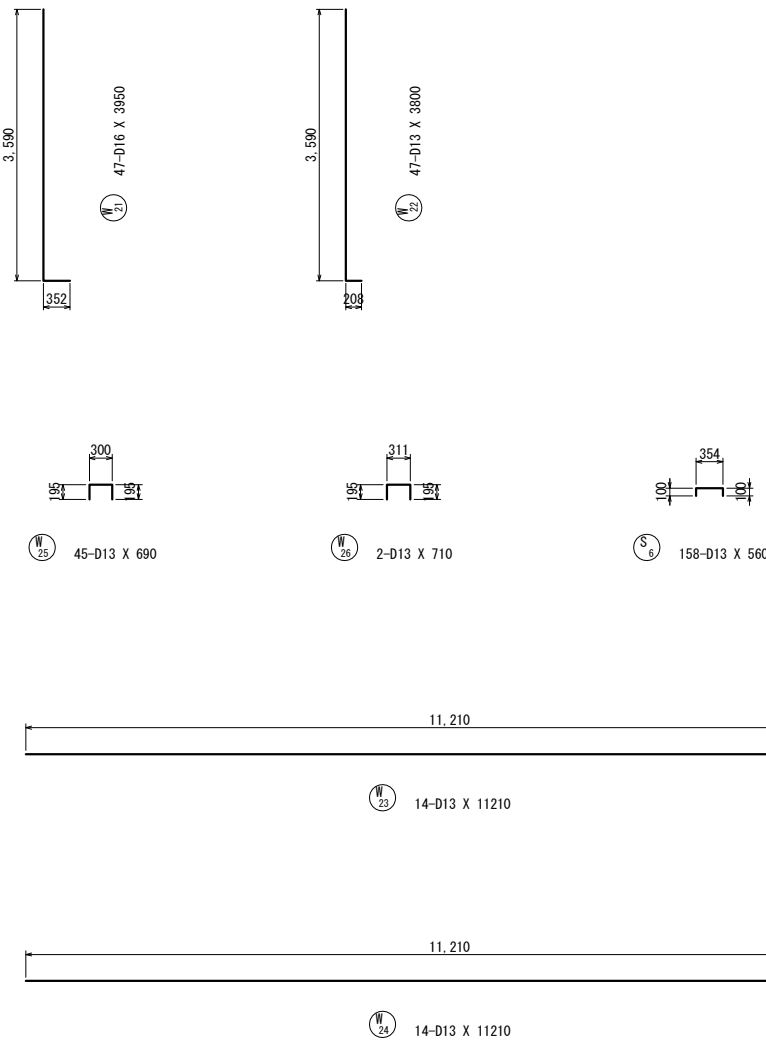
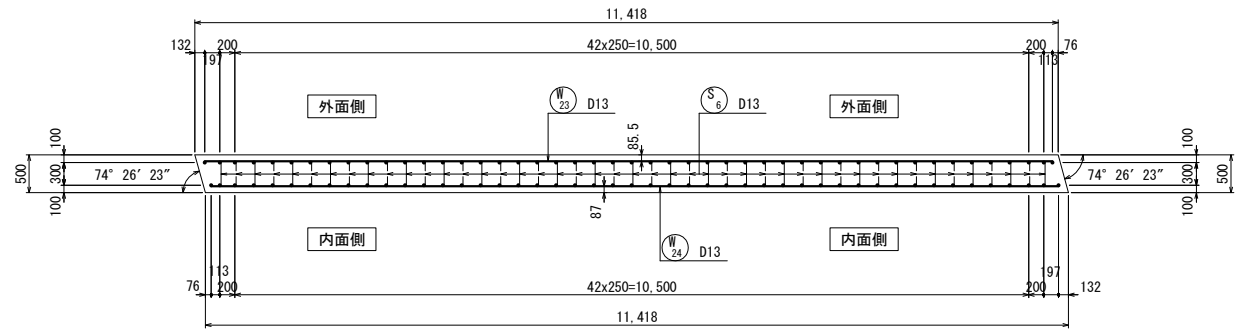
側壁外面図(5-5)



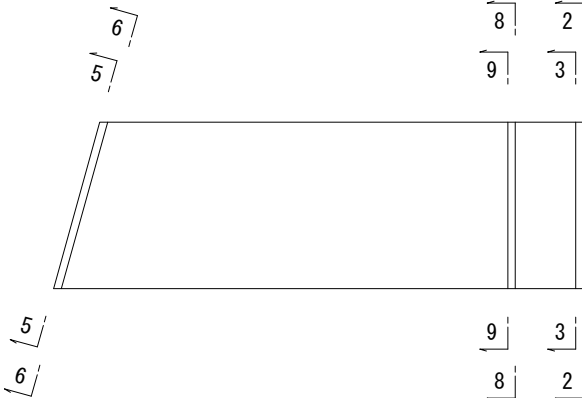
側壁内面図(6-6)



断面図(7-7)

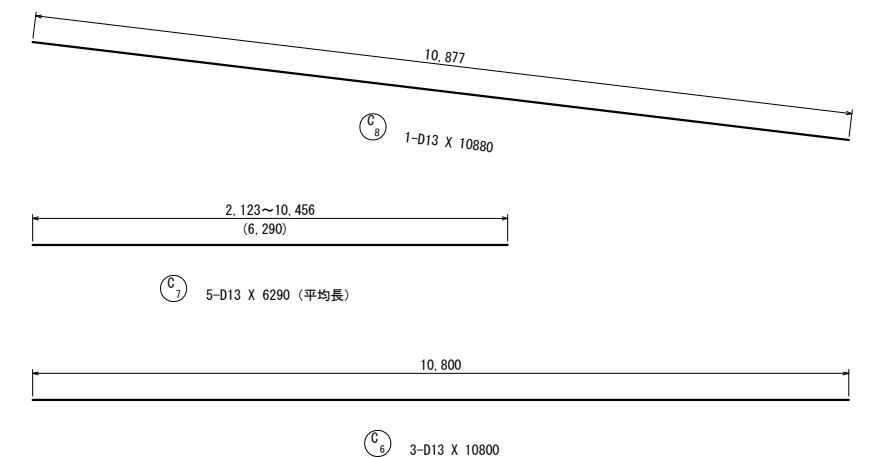
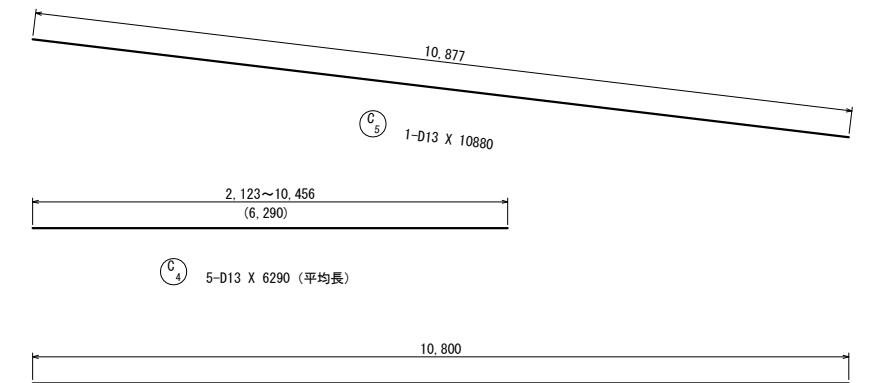
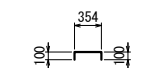
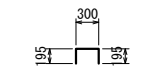
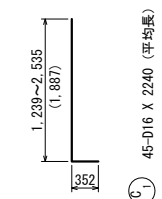
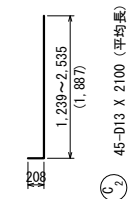


位置図



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U3ブロック配筋図(5)
縮 尺	図示
図面番号	64
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平 戸 市 田 平 町 上 亀 免
図面種類	調整池擁壁U3ブロック配筋図 (6)
縮 尺	図示
図面番号	65
平戸市文化観光工商部 商工物産課	

調整池擁壁U3ブロック配筋図(7)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

鉄筋質量表

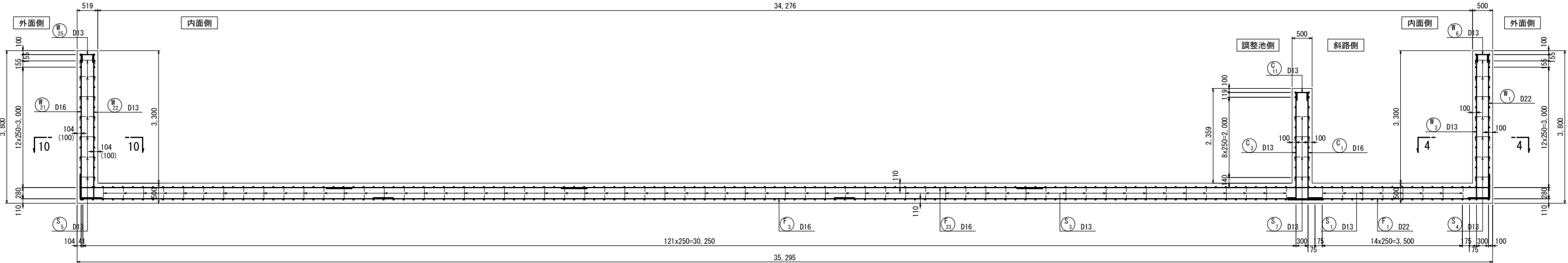
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
W 1	D22	4230	45	3. 04	12. 859	578. 7	┘
W 2	D22	2740	44	3. 04	8. 330	366. 5	┘
W 3	D13	3800	45	0. 995	3. 781	170. 1	┘
W 4	D16	10800	14	1. 56	16. 848	235. 9	——
W 5	D13	10800	14	0. 995	10. 746	150. 4	——
W 6	D13	690	45	0. 995	0. 687	30. 9	┘
1532. 5 kg							
W 21	D16	3950	47	1. 56	6. 162	289. 6	┘
W 22	D13	3800	47	0. 995	3. 781	177. 7	┘
W 23	D13	11210	14	0. 995	11. 154	156. 2	——
W 24	D13	11210	14	0. 995	11. 154	156. 2	——
W 25	D13	690	45	0. 995	0. 687	30. 9	┘
W 26	D13	710	2	0. 995	0. 706	1. 4	┘
812. 0 kg							
F 1	D22	5620	45	3. 04	17. 085	768. 8	——┘
F 2	D22	6620	44	3. 04	20. 125	885. 5	——┘
F 3-1	D16	10500	22	1. 56	16. 380	360. 4	——
F 3-2	D16	12000	22	1. 56	18. 720	411. 8	——
F 3-3	D16	8320	22	1. 56	12. 979	285. 5	—— (平均長)
F 4-1	D16	12000	23	1. 56	18. 720	430. 6	——
F 4-2	D16	12000	23	1. 56	18. 720	430. 6	——
F 4-3	D16	6820	23	1. 56	10. 639	244. 7	—— (平均長)
F 5-1	D16	12000	16	1. 56	18. 720	299. 5	——
F 5-2	D16	12000	16	1. 56	18. 720	299. 5	——
F 5-3	D16	10870	16	1. 56	16. 957	271. 3	—— (平均長)
F 6-1	D16	10500	6	1. 56	16. 380	98. 3	——
F 6-2	D16	12000	6	1. 56	18. 720	112. 3	——
F 6-3	D16	11610	6	1. 56	18. 112	108. 7	—— (平均長)
F 7-1	D16	12000	6	1. 56	18. 720	112. 3	——
F 7-2	D16	12000	6	1. 56	18. 720	112. 3	——
F 7-3	D16	8000	6	1. 56	12. 480	74. 9	——
F 7-4	D16	5030	6	1. 56	7. 847	47. 1	—— (平均長)
F 8-1	D16	10500	17	1. 56	16. 380	278. 5	——
F 8-2	D16	12000	17	1. 56	18. 720	318. 2	——
F 8-3	D16	8000	17	1. 56	12. 480	212. 2	——
F 8-4	D16	5820	17	1. 56	9. 079	154. 3	—— (平均長)
F 9	D16	10800	129	1. 56	16. 848	2173. 4	┘
F 10	D16	5480	11	1. 56	8. 549	94. 0	┘ (平均長)
F 11	D16	11220	1	1. 56	17. 503	17. 5	/
F 12	D16	10800	129	1. 56	16. 848	2173. 4	┘
F 13	D16	5930	10	1. 56	9. 251	92. 5	┘ (平均長)
F 14	D16	11220	2	1. 56	17. 503	35. 0	/
10903. 1 kg							

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
S 1	D13	1360	76	0.995	1.353	102.8	□
S 2	D13	1310	8	0.995	1.303	10.4	□
S 3	D13	1350	532	0.995	1.343	714.5	□
S 4	D13	1300	57	0.995	1.294	73.8	□
S 5	D13	560	151	0.995	0.557	84.1	□
S 6	D13	560	158	0.995	0.557	88.0	□
1073.6 kg							
C 1	D16	2240	45	1.56	3.494	157.2	└ (平均長)
C 2	D13	2100	45	0.995	2.090	94.1	└ (平均長)
C 3	D13	10800	3	0.995	10.746	32.2	——
C 4	D13	6290	5	0.995	6.259	31.3	—— (平均長)
C 5	D13	10880	1	0.995	10.826	10.8	——
C 6	D13	10800	3	0.995	10.746	32.2	——
C 7	D13	6290	5	0.995	6.259	31.3	—— (平均長)
C 8	D13	10880	1	0.995	10.826	10.8	——
C 9	D13	690	45	0.995	0.687	30.9	□
C 10	D13	560	64	0.995	0.557	35.6	□
466.4 kg							
合 計 D22				2599.5 kg			
D16				9931.5 kg			
D13				2256.6 kg			
総質量				14787.6 kg			

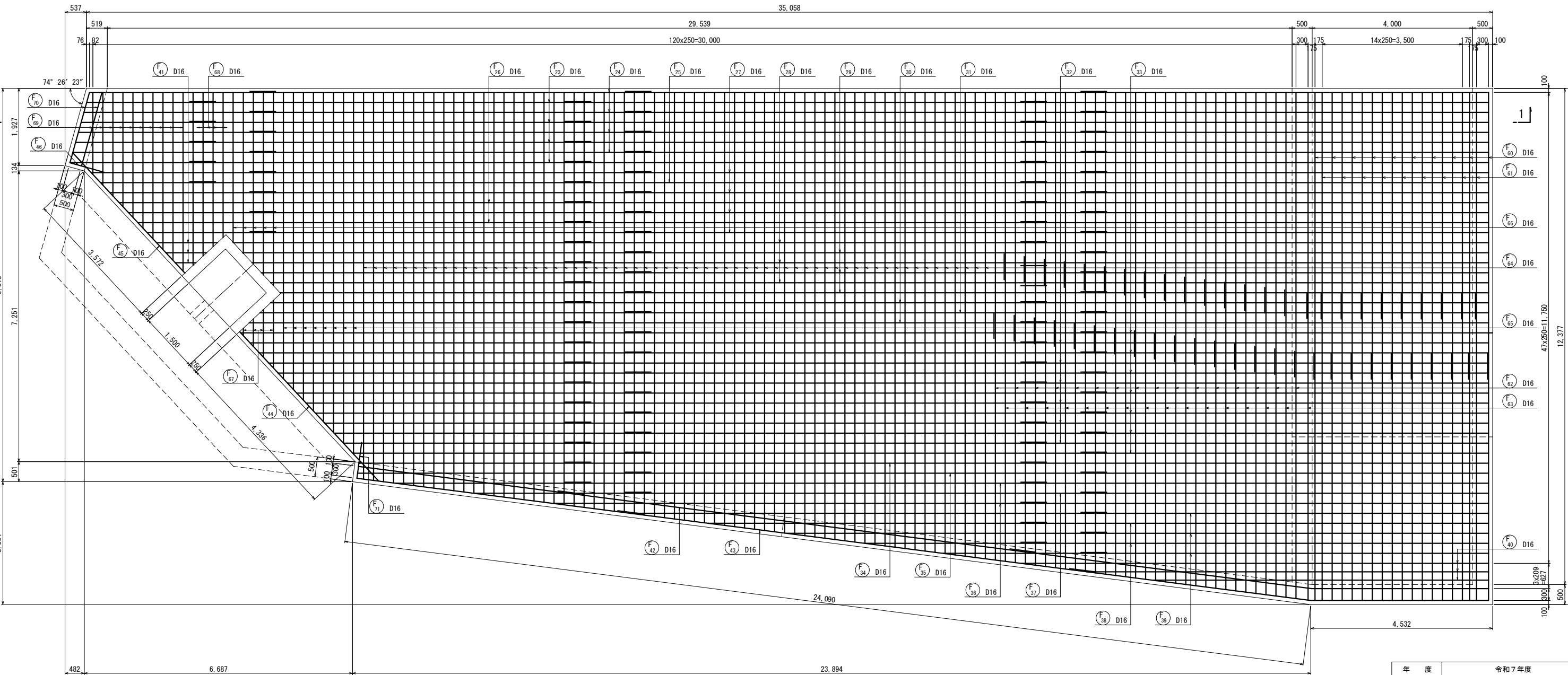
調整池擁壁U4ブロック配筋図(1)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

断面図(1-1)



底版上面図

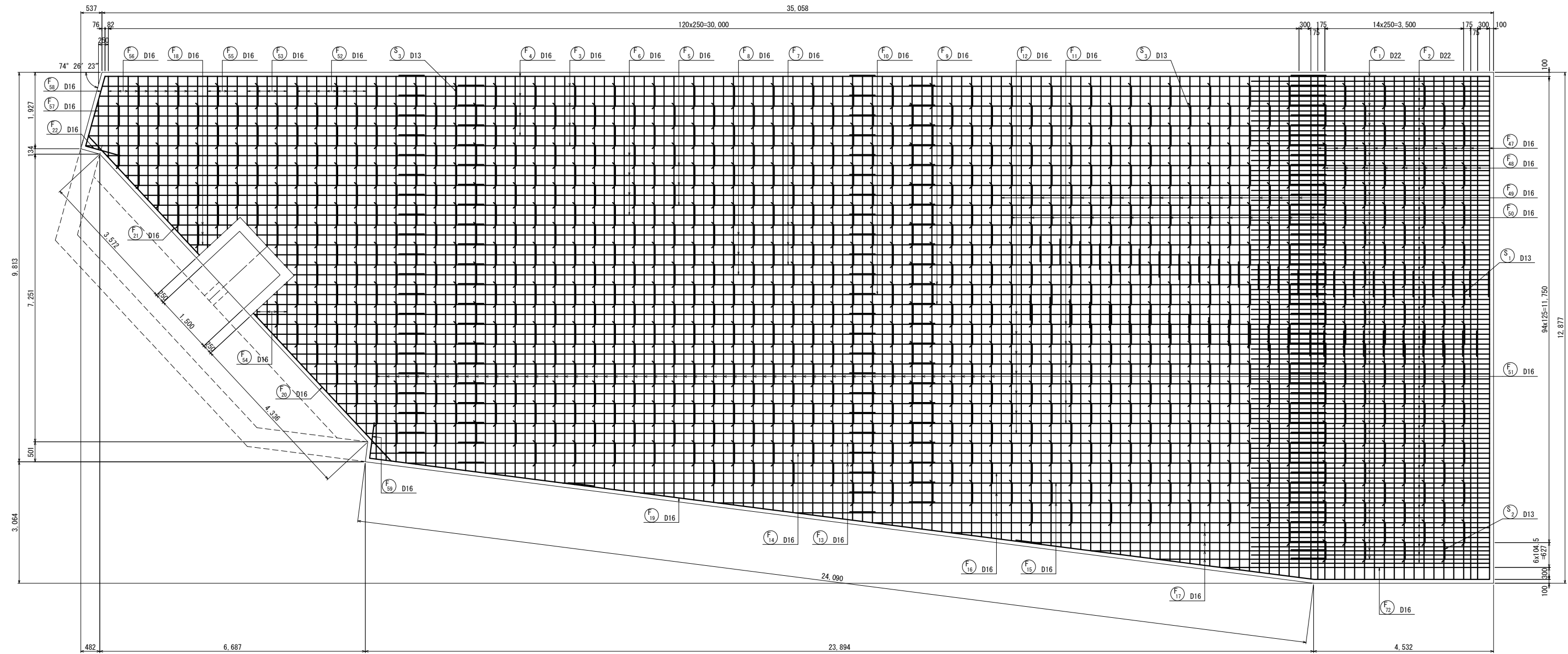


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図(1)
縮 尺	図示
図面番号	67

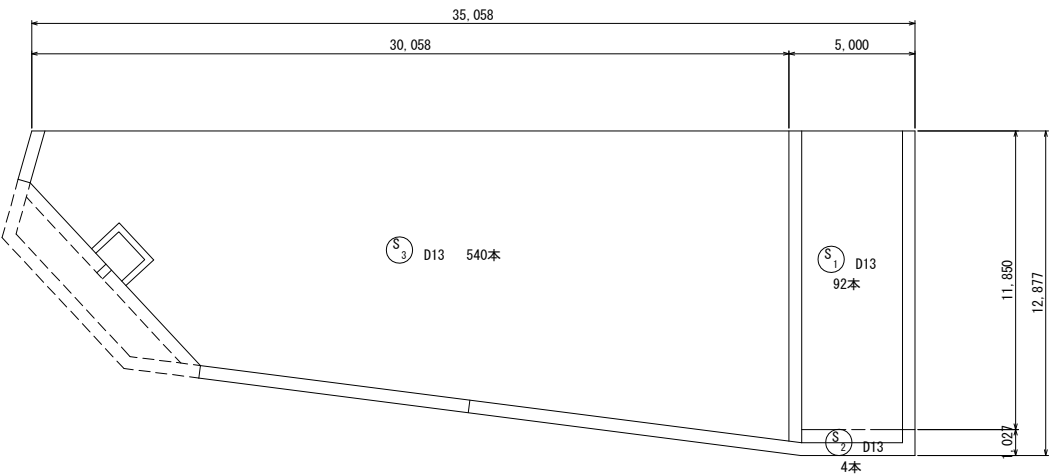
調整池擁壁U4ブロック配筋図(2)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

底板下面図



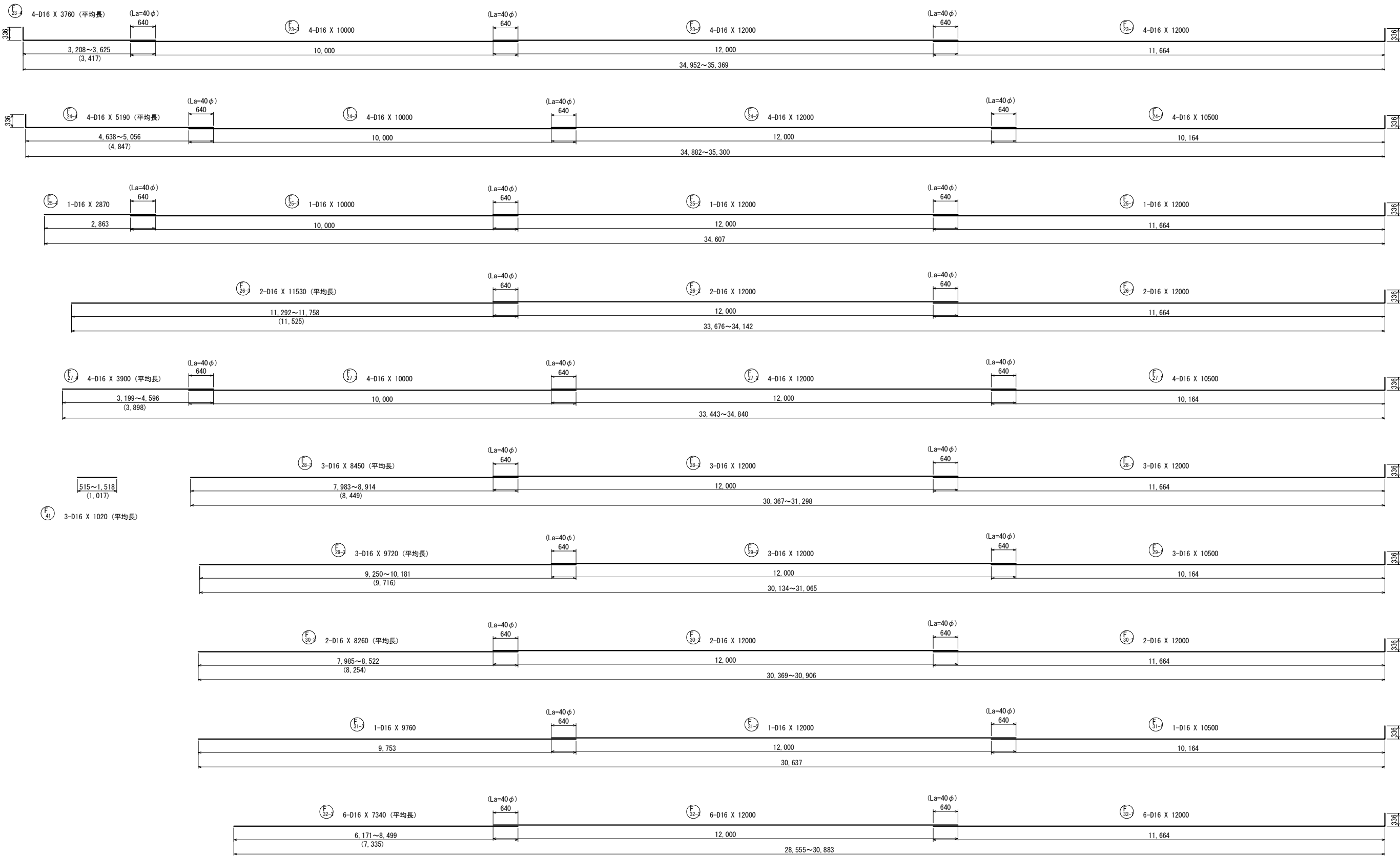
組立筋配置図



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図 (2)
縮 尺	図示
図面番号	68

調整池擁壁U4ブロック配筋図(3)

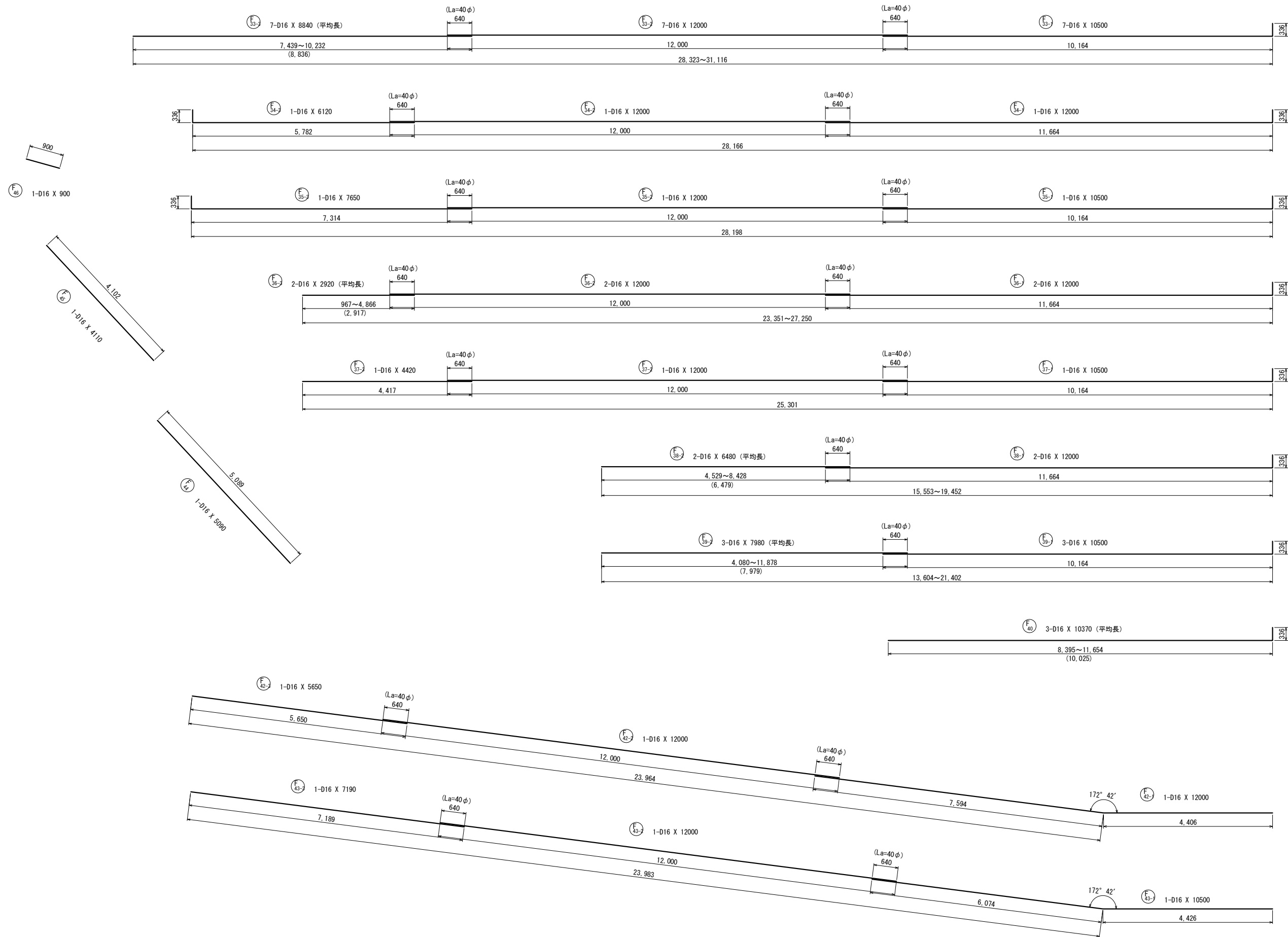
S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図 (3)
縮 尺	図示
図面番号	69
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

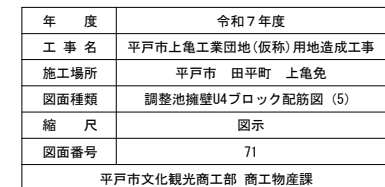
調整池U型擁壁U4ブロック配筋図(4)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



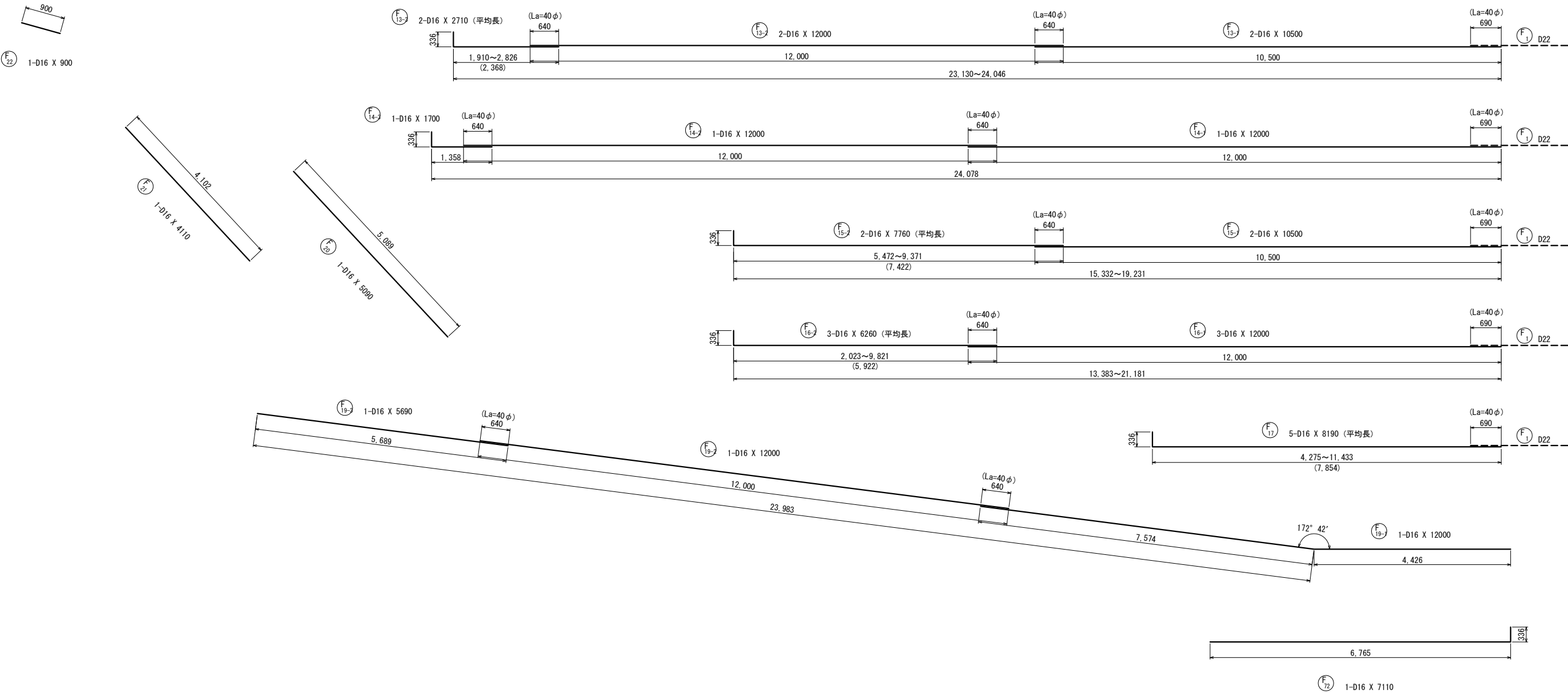
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図(4)
縮 尺	図示
図面番号	70
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



調整池擁壁U4ブロック配筋図(6)

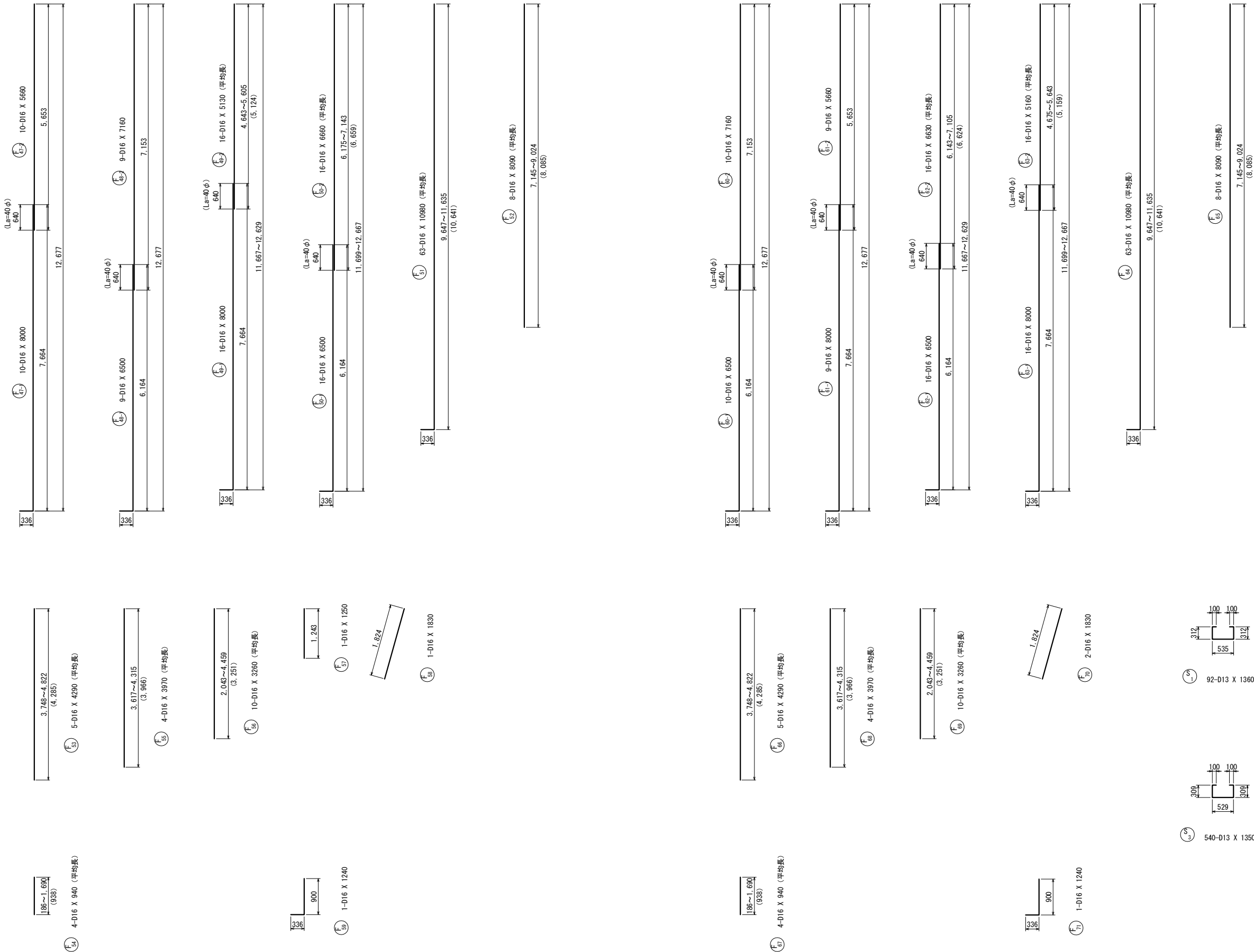
S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図 (6)
縮 尺	図示
図面番号	72

調整池擁壁U4ブロック配筋図(7)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

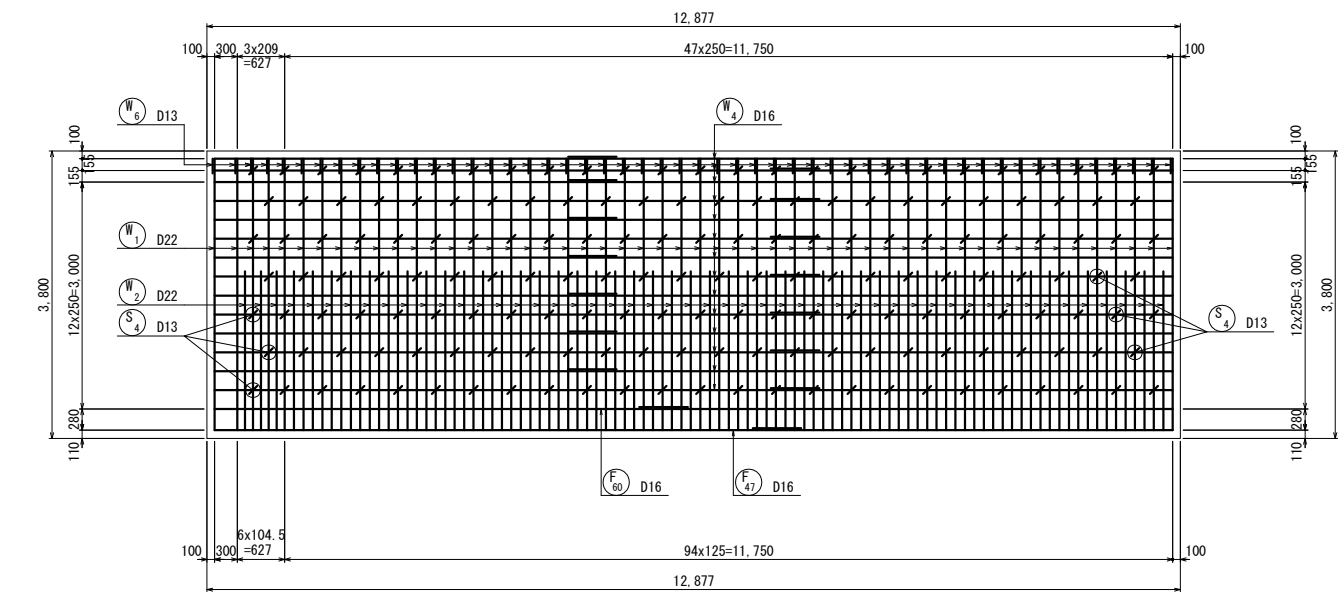


年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図 (7)
縮 尺	図示
図面番号	73

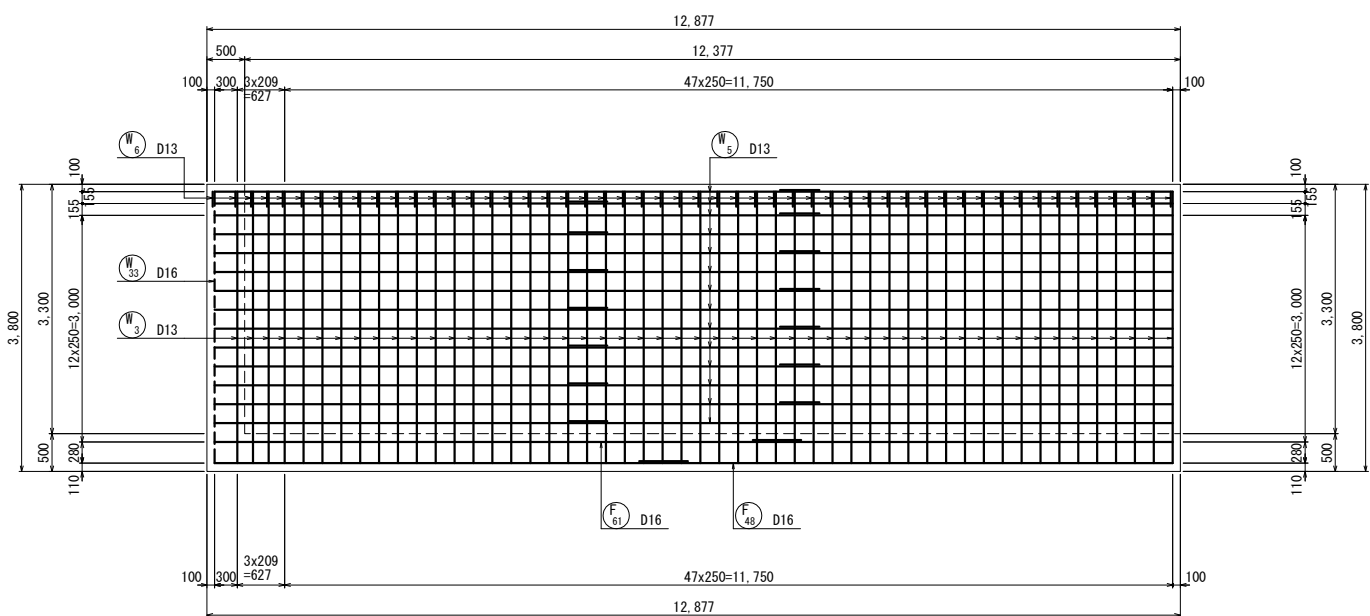
調整池擁壁U4ブロック配筋図(8)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

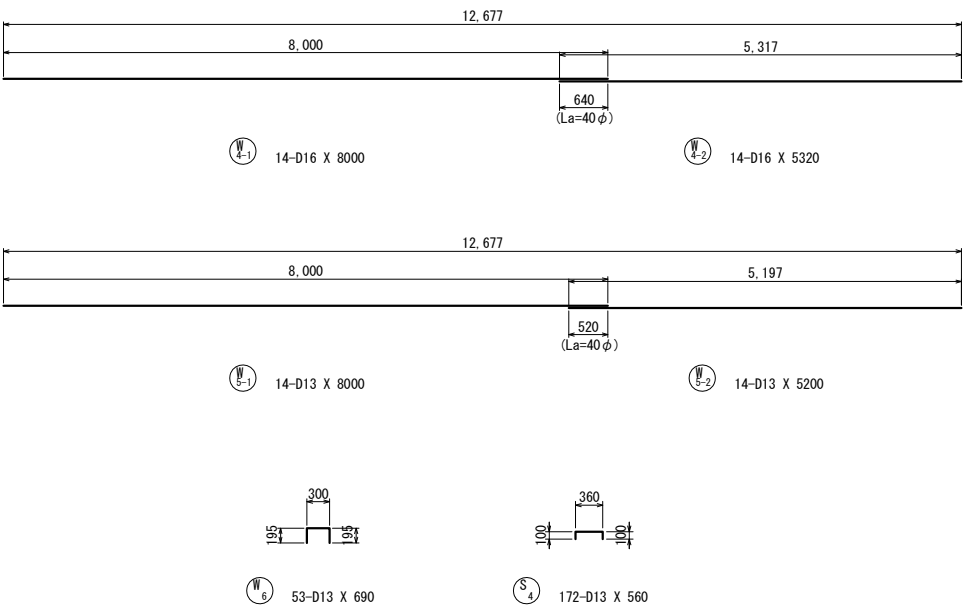
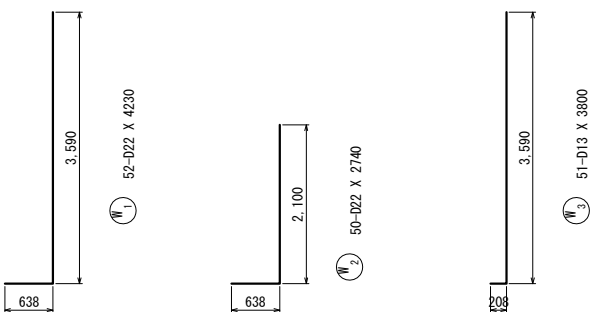
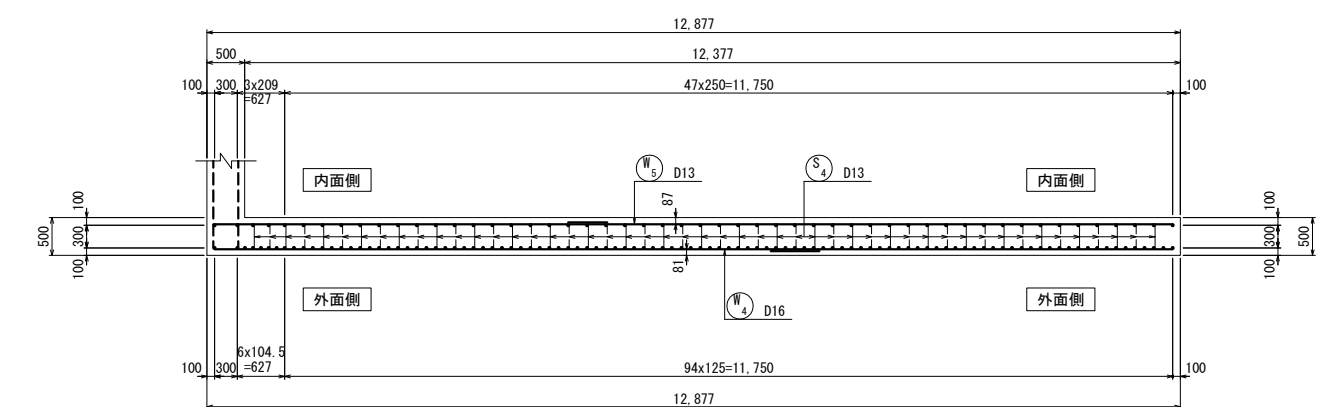
側壁外面図(2-2)



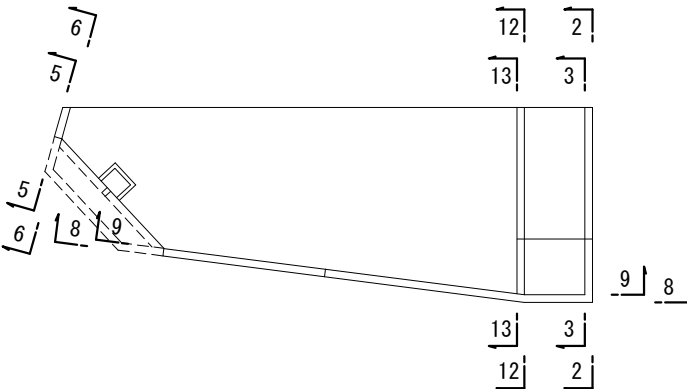
側壁内面図(3-3)



断面図(4-4)



位置図

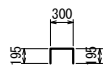
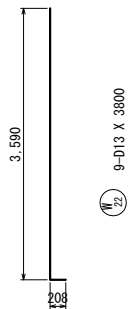
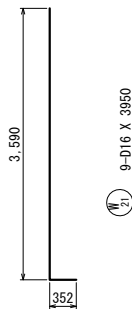
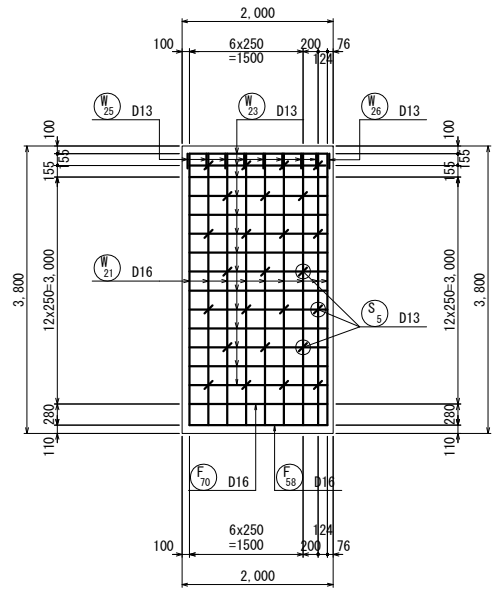


年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図 (8)
縮 尺	図示
図面番号	74
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

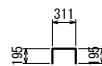
調整池擁壁U4ブロック配筋図(9)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

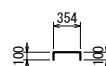
側壁外面図(5-5)



W25 8-D13 X 690

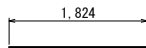
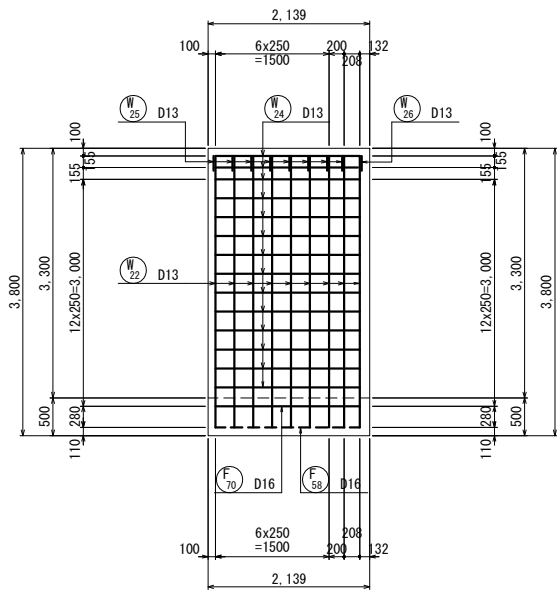


W26 1-D13 X 710

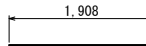


S5 25-D13 X 560

側壁内面図(6-6)

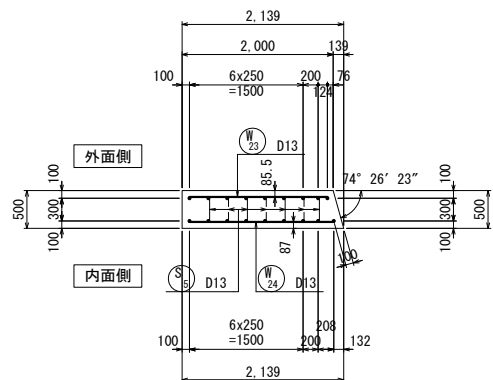


W23 14-D13 X 1830

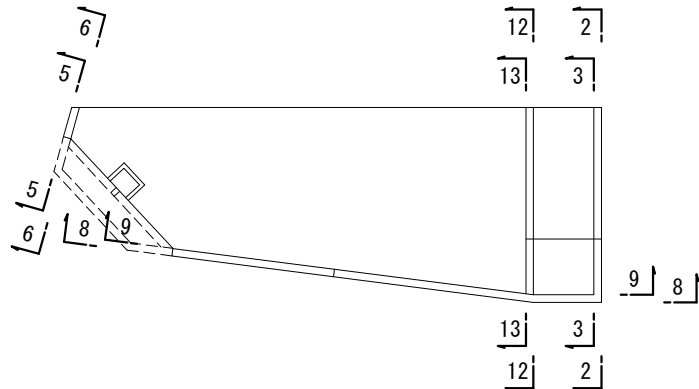


W24 14-D13 X 1910

断面図(7-7)



位置図

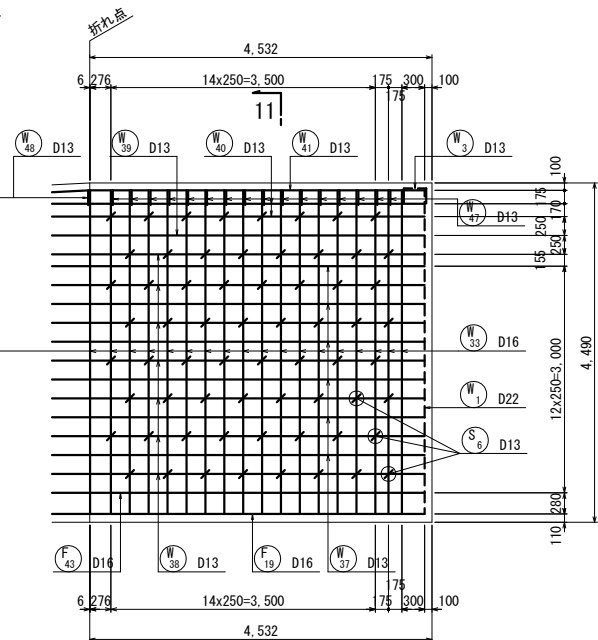
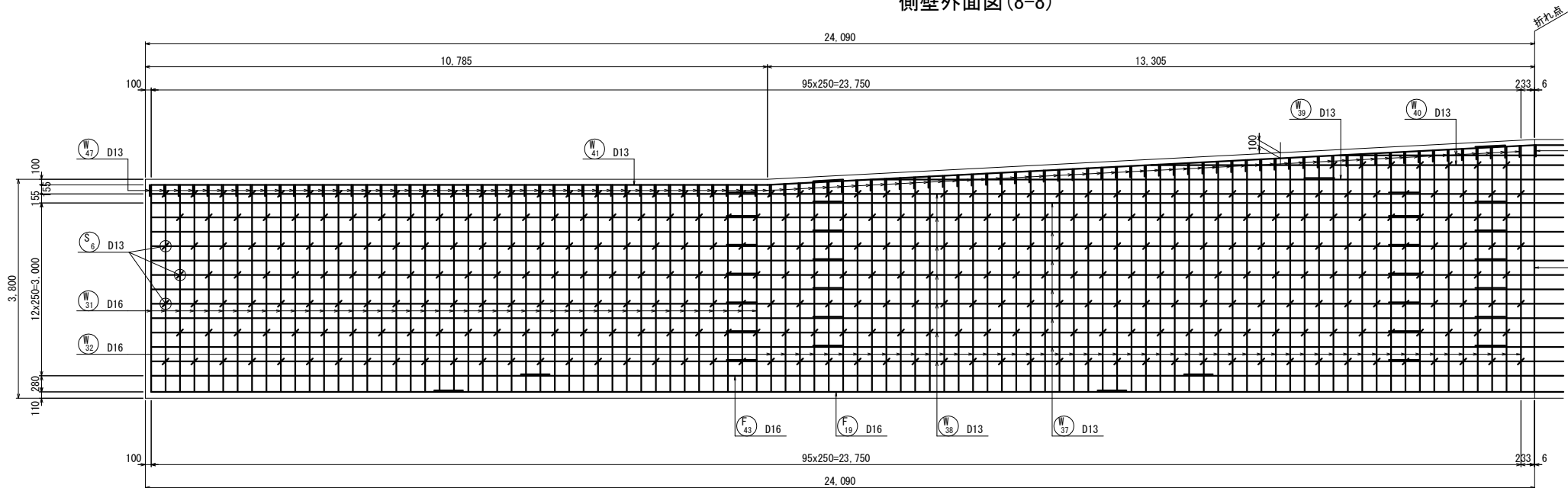


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図(9)
縮 尺	図示
図面番号	75
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

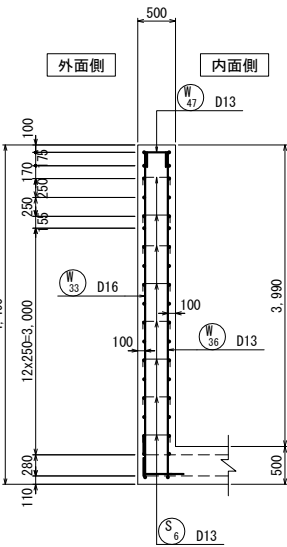
調整池擁壁U4ブロック配筋図(10)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

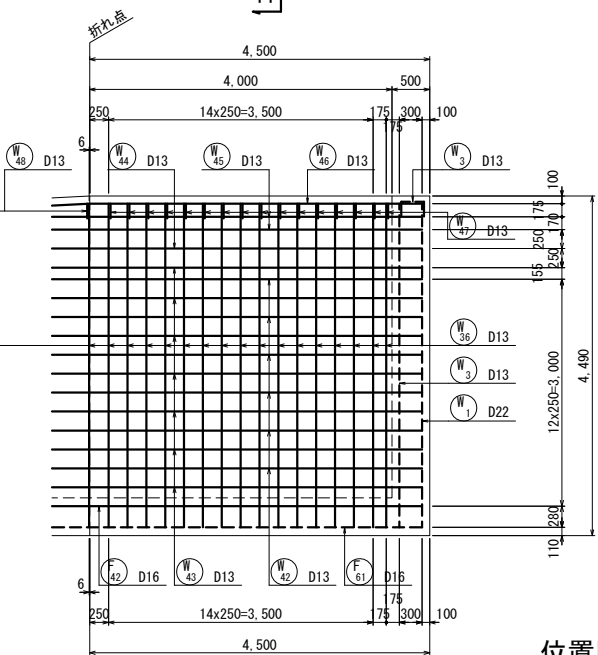
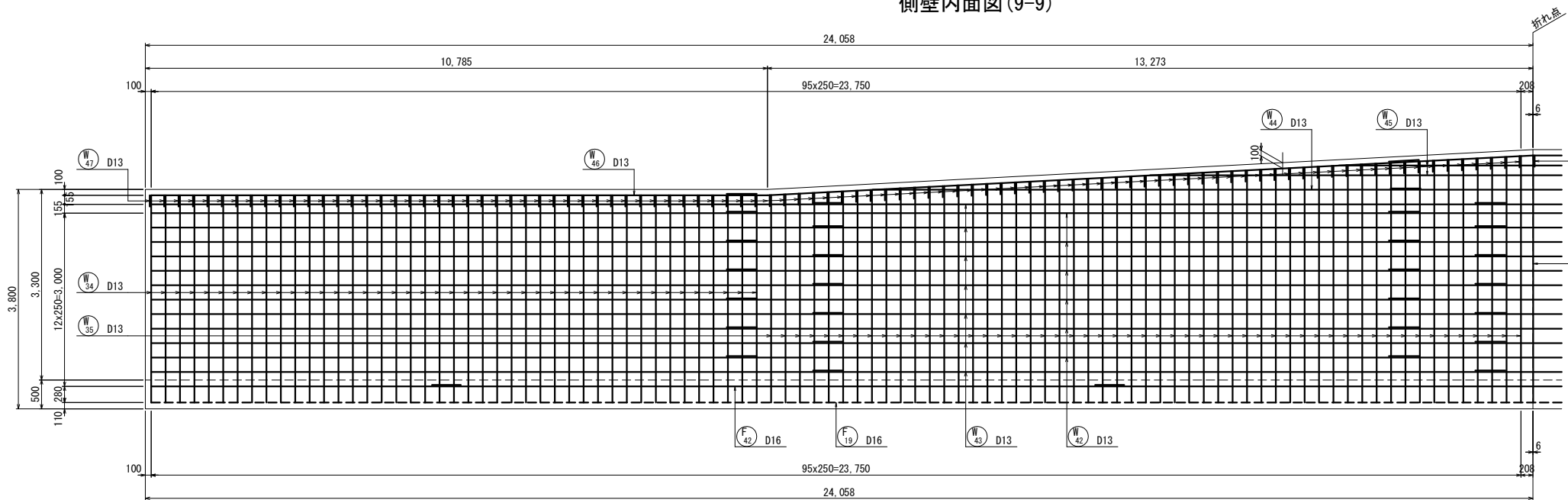
側壁外面図(8-8)



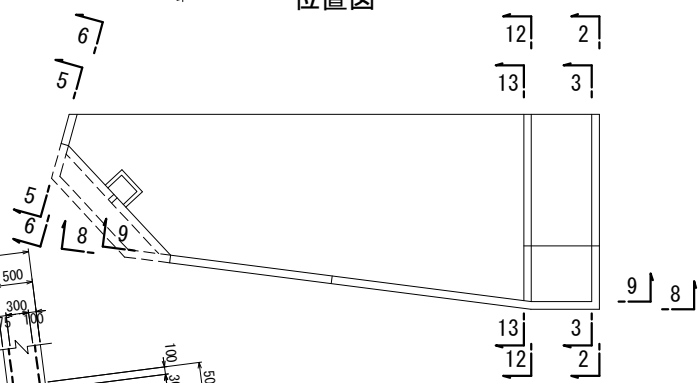
断面図(11-11)



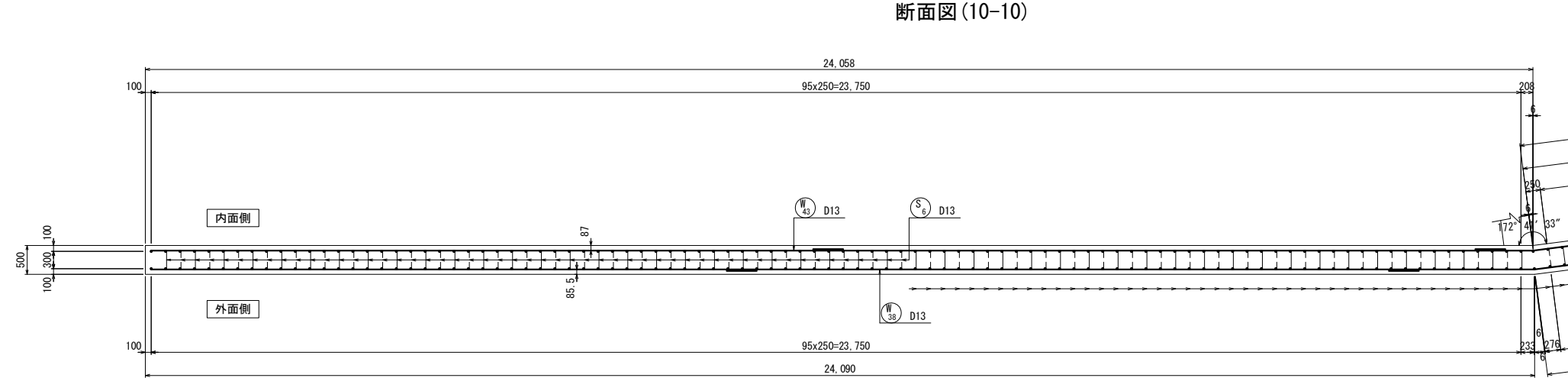
側壁内面図(9-9)



位置図

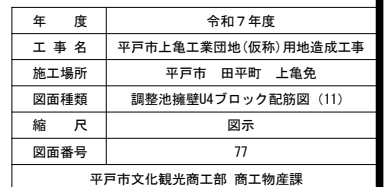


断面図(10-10)



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池擁壁U4ブロック配筋図 (10)
縮 尺	図示
図面番号	76

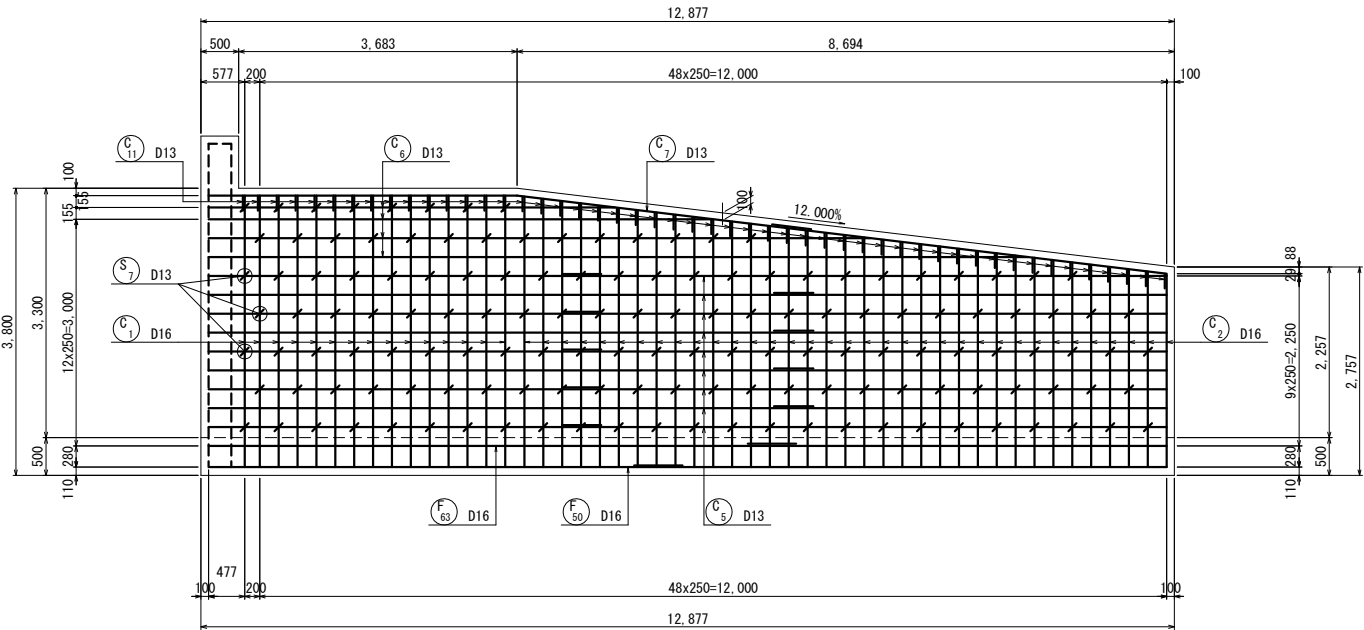
S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



調整池擁壁U4ブロック配筋図(12)

S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

斜路側側面図(12-12)



調整池擁壁U4ブロック配筋図(13)

S=1：50(A1)
S=1：100(A3)

鉄筋質量表

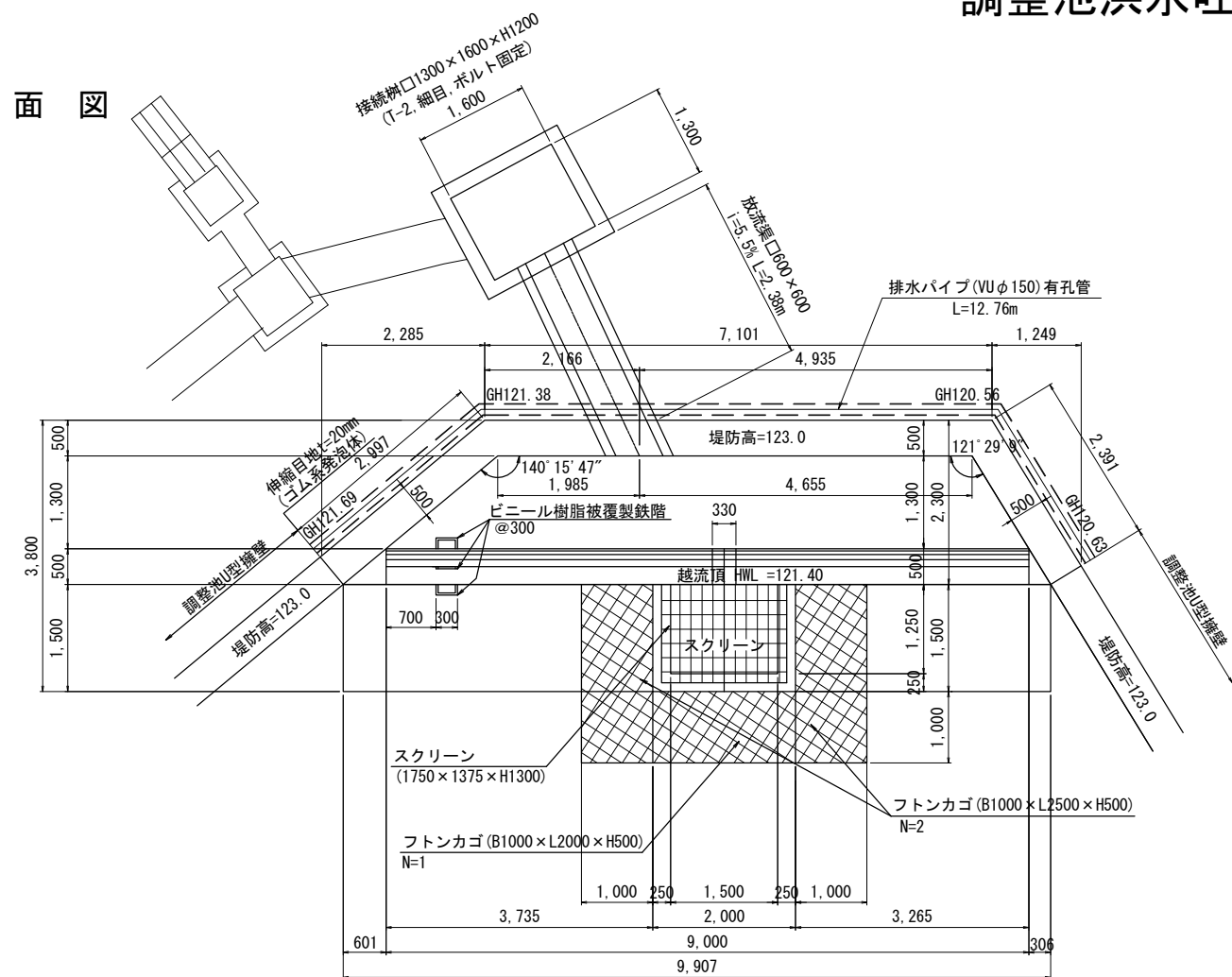
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
W 1	D22	4230	52	3.04	12.859	668.7	┘
W 2	D22	2740	50	3.04	8.330	416.5	┘
W 3	D13	3800	51	0.995	3.781	192.8	┘
W 4-1	D16	8000	14	1.56	12.480	174.7	──
W 4-2	D16	5320	14	1.56	8.299	116.2	──
W 5-1	D13	8000	14	0.995	7.960	111.4	──
W 5-2	D13	5200	14	0.995	5.174	72.4	──
W 6	D13	690	53	0.995	0.687	36.4	┐
1789.1 kg							
W 21	D16	3950	9	1.56	6.162	55.5	┘
W 22	D13	3800	9	0.995	3.781	34.0	┘
W 23	D13	1830	14	0.995	1.821	25.5	──
W 24	D13	1910	14	0.995	1.900	26.6	──
W 25	D13	690	8	0.995	0.687	5.5	┐
W 26	D13	710	1	0.995	0.706	0.7	┐
147.8 kg							
W 31	D16	3950	43	1.56	6.162	265.0	┘
W 32	D16	4290	53	1.56	6.692	354.7	┘ (平均長)
W 33	D16	4640	18	1.56	7.238	130.3	┘
W 34	D13	3800	43	0.995	3.781	162.6	┘
W 35	D13	4140	53	0.995	4.119	218.3	┘ (平均長)
W 36	D13	4490	17	0.995	4.468	76.0	┘
W 37-1	D13	12000	6	0.995	11.940	71.6	──
W 37-2	D13	12000	6	0.995	11.940	71.6	──
W 37-3	D13	5450	6	0.995	5.423	32.5	──
W 38-1	D13	10500	7	0.995	10.448	73.1	──
W 38-2	D13	12000	7	0.995	11.940	83.6	──
W 38-3	D13	6950	7	0.995	6.915	48.4	──
W 39-1	D13	8000	1	0.995	7.960	8.0	──
W 39-4	D13	8420	1	0.995	8.378	8.4	──
W 40	D13	9440	2	0.995	9.393	18.8	── (平均長)
W 41-1	D13	12000	1	0.995	11.940	11.9	──
W 41-2	D13	12000	1	0.995	11.940	11.9	──
W 41-3	D13	5470	1	0.995	5.443	5.4	──
W 42-1	D13	10500	6	0.995	10.448	62.7	──
W 42-2	D13	12000	6	0.995	11.940	71.6	──
W 42-3	D13	6910	6	0.995	6.875	41.3	──
W 43-1	D13	12000	7	0.995	11.940	83.6	──
W 43-2	D13	12000	7	0.995	11.940	83.6	──
W 43-3	D13	5410	7	0.995	5.383	37.7	──
W 44-1	D13	9500	1	0.995	9.453	9.5	──
W 44-2	D13	6880	1	0.995	6.846	6.8	──
W 45	D13	9420	2	0.995	9.373	18.7	── (平均長)
W 46-1	D13	10500	1	0.995	10.448	10.4	──
W 46-2	D13	12000	1	0.995	11.940	11.9	──
W 46-3	D13	6930	1	0.995	6.895	6.9	──
W 47	D13	690	112	0.995	0.687	76.9	┐
W 48	D13	700	1	0.995	0.697	0.7	┐
2174.4 kg							
C 1	D16	3950	15	1.56	6.162	92.4	┘
C 2	D16	3430	35	1.56	5.351	187.3	┘ (平均長)
C 3	D13	3800	15	0.995	3.781	56.7	┘
C 4	D13	3280	35	0.995	3.264	114.2	┘ (平均長)
C 5-1	D13	8000	9	0.995	7.960	71.6	──
C 5-2	D13	5200	9	0.995	5.174	46.6	──
C 6	D13	8110	4	0.995	8.069	32.3	── (平均長)
C 7-1	D13	8000	1	0.995	7.960	8.0	──
C 7-2	D13	5260	1	0.995	5.234	5.2	──
C 8-1	D13	8000	9	0.995	7.960	71.6	──
C 8-2	D13	5090	9	0.995	5.065	45.6	──
C 9	D13	8000	4	0.995	7.960	31.8	── (平均長)
C 10-1	D13	8000	1	0.995	7.960	8.0	──
C 10-2	D13	5160	1	0.995	5.134	5.1	──
C 11	D13	690	50	0.995	0.687	34.4	┐
810.8 kg							

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
F 1	D22	5620	50	3.04	17.085	854.3	┘
F 2	D22	6620	50	3.04	20.125	1006.3	┘
F 3-1	D16	10500	4	1.56	16.380	65.5	──
F 3-2	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 3-3	D16	10160	4	1.56	15.850	63.4	── (平均長)
F 4-1	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 4-2	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 4-3	D16	8590	4	1.56	13.400	53.6	── (平均長)
F 5-1	D16	10500	3	1.56	16.380	49.1	──
F 5-2	D16	12000	3	1.56	18.720	56.2	──
F 5-3	D16	8810	3	1.56	13.744	41.2	── (平均長)
F 6-1	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 6-2	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 6-3	D16	7310	4	1.56	11.404	45.6	── (平均長)
F 7-1	D16	10500	3	1.56	16.380	49.1	──
F 7-2	D16	12000	3	1.56	18.720	56.2	──
F 7-3	D16	5500	3	1.56	8.580	25.7	── (平均長)
F 8-1	D16	12000	3	1.56	18.720	56.2	──
F 8-2	D16	12000	3	1.56	18.720	56.2	──
F 8-3	D16	3760	3	1.56	5.866	17.6	── (平均長)
F 9-1	D16	10500	2	1.56	16.380	32.8	──
F 9-2	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	──
F 9-3	D16	5300	2	1.56	8.268	16.5	── (平均長)
F 10-1	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 10-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 10-3	D16	3800	1	1.56	5.928	5.9	──
F 11-1	D16	10500	6	1.56	16.380	98.3	──
F 11-2	D16	12000	6	1.56	18.720	112.3	──
F 11-3	D16	4380	6	1.56	6.833	41.0	── (平均長)
F 12-1	D16	12000	7	1.56	18.720	131.0	──
F 12-2	D16	12000	7	1.56	18.720	131.0	──
F 12-3	D16	2880	7	1.56	4.493	31.5	── (平均長)
F 13-1	D16	10500	2	1.56	16.380	32.8	──
F 13-2	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	──
F 13-3	D16	2710	2	1.56	4.228	8.5	── (平均長)
F 14-1	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 14-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 14-3	D16	1700	1	1.56	2.652	2.7	┘
F 15-1	D16	10500	2	1.56	16.380	32.8	──
F 15-2	D16	7760	2	1.56	12.106	24.2	── (平均長)
F 16-1	D16	12000	3	1.56	18.720	56.2	──
F 16-2	D16	6260	3	1.56	9.766	29.3	── (平均長)
F 17	D16	8190	5	1.56	12.776	63.9	── (平均長)
F 18	D16	1020	3	1.56	1.591	4.8	── (平均長)
F 19-1	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 19-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 19-3	D16	5690	1	1.56	8.876	8.9	──
F 20	D16	5090	1	1.56	7.940	7.9	┘
F 21	D16	4110	1	1.56	6.412	6.4	┘
F 22	D16	900	1	1.56	1.404	1.4	┘
F 23-1	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 23-2	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 23-3	D16	10000	4	1.56	15.600	62.4	──
F 23-4	D16	3760	4	1.56	5.866	23.5	── (平均長)
F 24-1	D16	10500	4	1.56	16.380	65.5	──
F 24-2	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 24-3	D16	10000	4	1.56	15.600	62.4	──
F 24-4	D16	5190	4	1.56	8.096	32.4	── (平均長)
F 25-1	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 25-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	──
F 25-3	D16	10000	1	1.56	15.600	15.6	──
F 25-4	D16	2870	1	1.56	4.477	4.5	──
F 26-1	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	──
F 26-2	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	──
F 26-3	D16	11530	2	1.56	17.987	36.0	── (平均長)
F 27-1	D16	10500	4	1.56	16.380	65.5	──
F 27-2	D16	12000	4	1.56	18.720	74.9	──
F 27-3	D16	10000	4	1.56	15.600	62.4	──
F 27-4	D16	3900	4	1.56	6.084	24.3	── (平均長)
4804.1 kg							

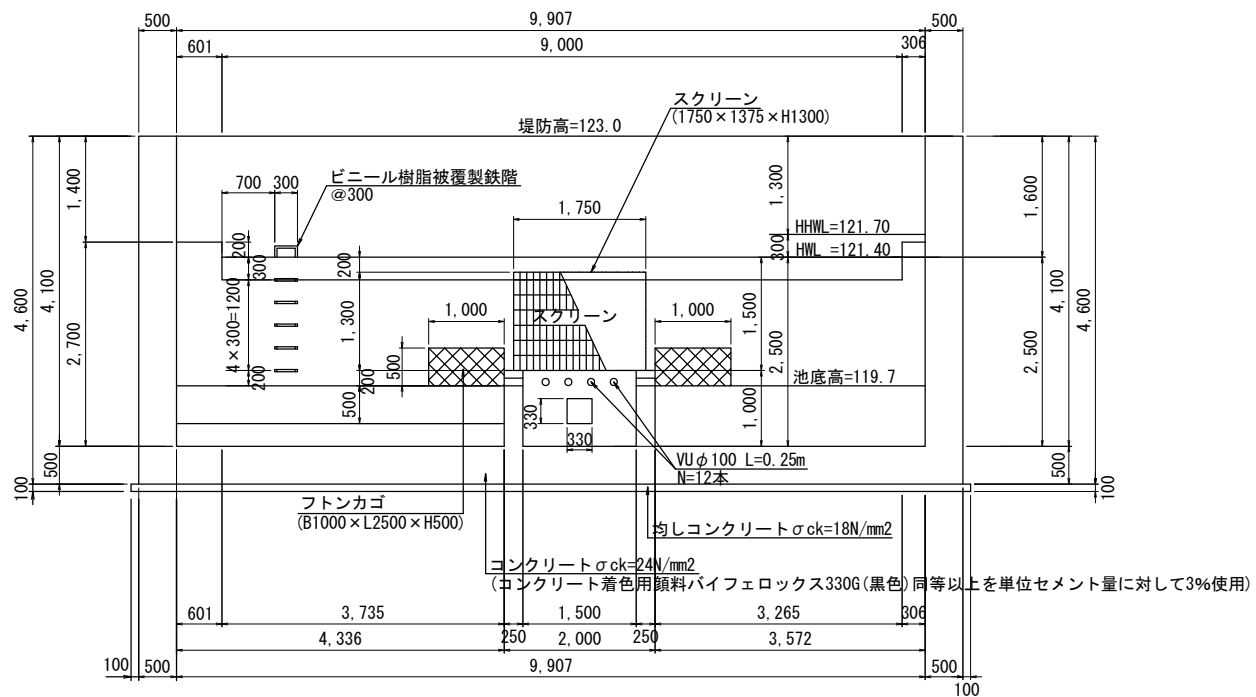
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
F 28-1	D16	12000	3	1.56	18.720	56.2	――
F 28-2	D16	12000	3	1.56	18.720	56.2	――
F 28-3	D16	8450	3	1.56	13.182	39.5	―― (平均長)
F 29-1	D16	10500	3	1.56	16.380	49.1	――
F 29-2	D16	12000	3	1.56	18.720	56.2	――
F 29-3	D16	9720	3	1.56	15.163	45.5	―― (平均長)
F 30-1	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	――
F 30-2	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	――
F 30-3	D16	8260	2	1.56	12.886	25.8	―― (平均長)
F 31-1	D16	10500	1	1.56	16.380	16.4	――
F 31-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	――
F 31-3	D16	9760	1	1.56	15.226	15.2	――
F 32-1	D16	12000	6	1.56	18.720	112.3	――
F 32-2	D16	12000	6	1.56	18.720	112.3	――
F 32-3	D16	7340	6	1.56	11.450	68.7	―― (平均長)
F 33-1	D16	10500	7	1.56	16.380	114.7	――
F 33-2	D16	12000	7	1.56	18.720	131.0	――
F 33-3	D16	8840	7	1.56	13.790	96.5	―― (平均長)
F 34-1	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	――
F 34-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	――
F 34-3	D16	6120	1	1.56	9.547	9.5	――
F 35-1	D16	10500	1	1.56	16.380	16.4	――
F 35-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	――
F 35-3	D16	7650	1	1.56	11.934	11.9	――
F 36-1	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	――
F 36-2	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	――
F 36-3	D16	2920	2	1.56	4.555	9.1	―― (平均長)
F 37-1	D16	10500	1	1.56	16.380	16.4	――
F 37-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	――
F 37-3	D16	4420	1	1.56	6.895	6.9	――
F 38-1	D16	12000	2	1.56	18.720	37.4	――
F 38-2	D16	6480	2	1.56	10.109	20.2	―― (平均長)
F 39-1	D16	10500	3	1.56	16.380	49.1	――
F 39-2	D16	7980	3	1.56	12.449	37.3	―― (平均長)
F 40	D16	10370	3	1.56	16.177	48.5	―― (平均長)
F 41	D16	1020	3	1.56	1.591	4.8	―― (平均長)
F 42-1	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	――
F 42-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	――
F 42-3	D16	5650	1	1.56	8.814	8.8	――
F 43-1	D16	10500	1	1.56	16.380	16.4	――
F 43-2	D16	12000	1	1.56	18.720	18.7	――
F 43-3	D16	7190	1	1.56	11.216	11.2	――
F 44	D16	5090	1	1.56	7.940	7.9	――
F 45	D16	4110	1	1.56	6.412	6.4	――
F 46	D16	900	1	1.56	1.404	1.4	――
F 47-1	D16	8000	10	1.56	12.480	124.8	
F 47-2	D16	5660	10	1.56	8.830	88.3	
F 48-1	D16	6500	9	1.56	10.140	91.3	
F 48-2	D16	7160	9	1.56	11.170	100.5	
F 49-1	D16	8000	16	1.56	12.480	199.7	
F 49-2	D16	5130	16	1.56	8.003	128.0	(平均長)
F 50-1	D16	6500	16	1.56	10.140	162.2	
F 50-2	D16	6660	16	1.56	10.390	166.2	(平均長)
F 51	D16	10980	63	1.56	17.129	1079.1	(平均長)
F 52	D16	8090	8	1.56	12.620	101.0	(平均長)
F 53	D16	4290	5	1.56	6.692	33.5	(平均長)
F 54	D16	940	4	1.56	1.466	5.9	(平均長)
F 55	D16	3970	4	1.56	6.193	24.8	(平均長)
F 56	D16	3260	10	1.56	5.086	50.9	(平均長)
3970.6 kg							

調整池洪水吐構造図 S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

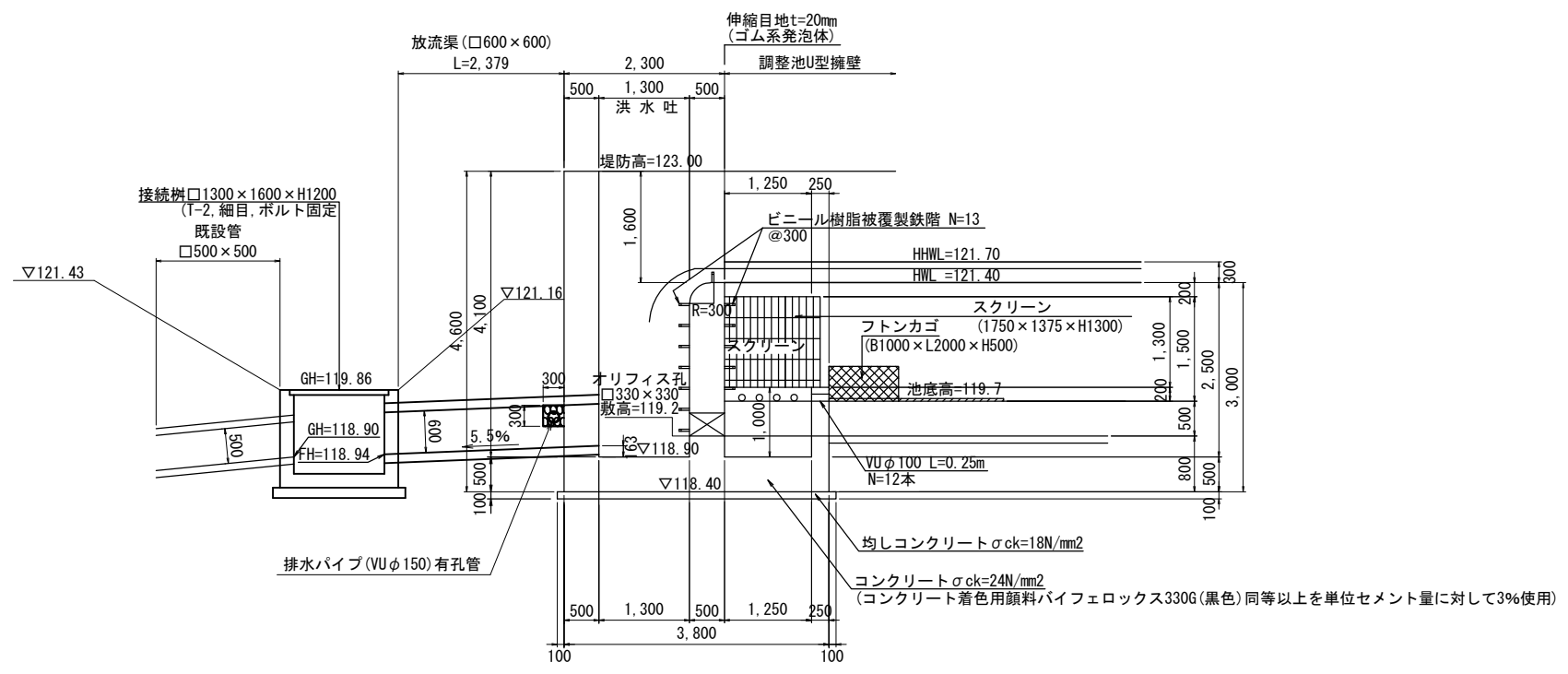
平面図



正面図



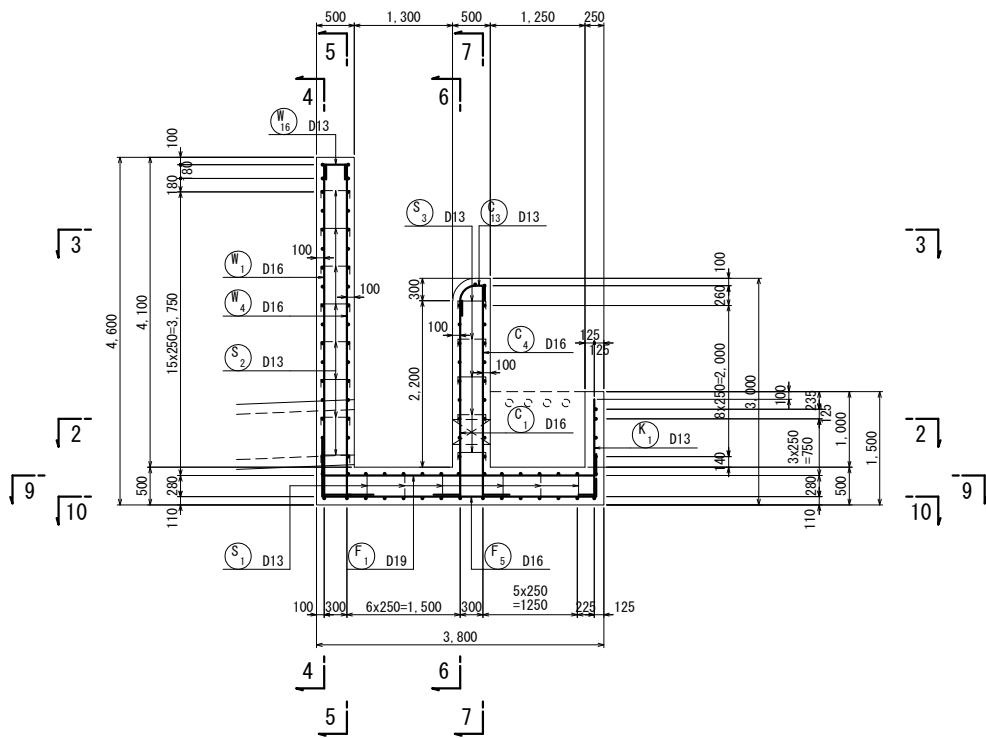
洪水吐標準断面図



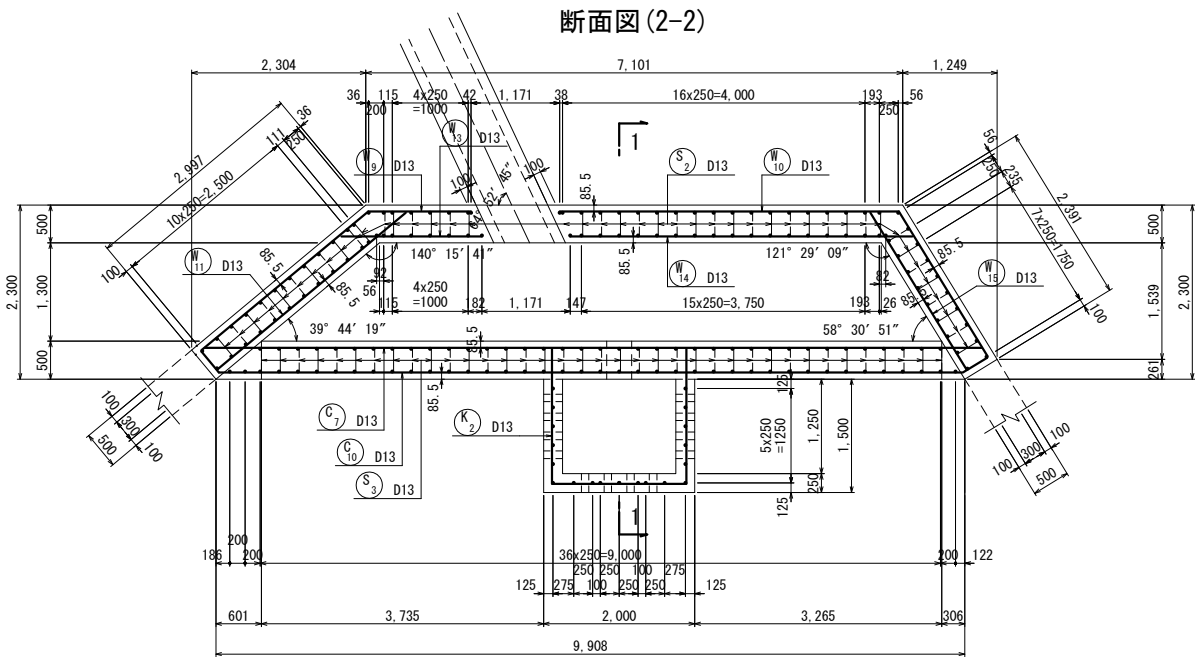
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池洪水吐構造図
縮 尺	A1 : S=1/50 A3 : S=1/100
図面番号	80

調整池洪水吐配筋図(1) S=1 : 50(A1)
S=1 : 100(A3)

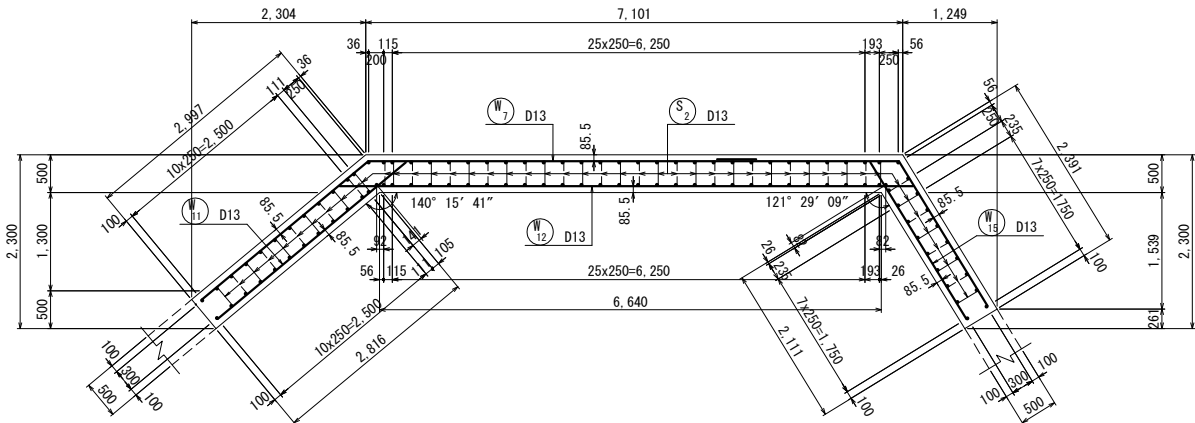
断面図(1-1)



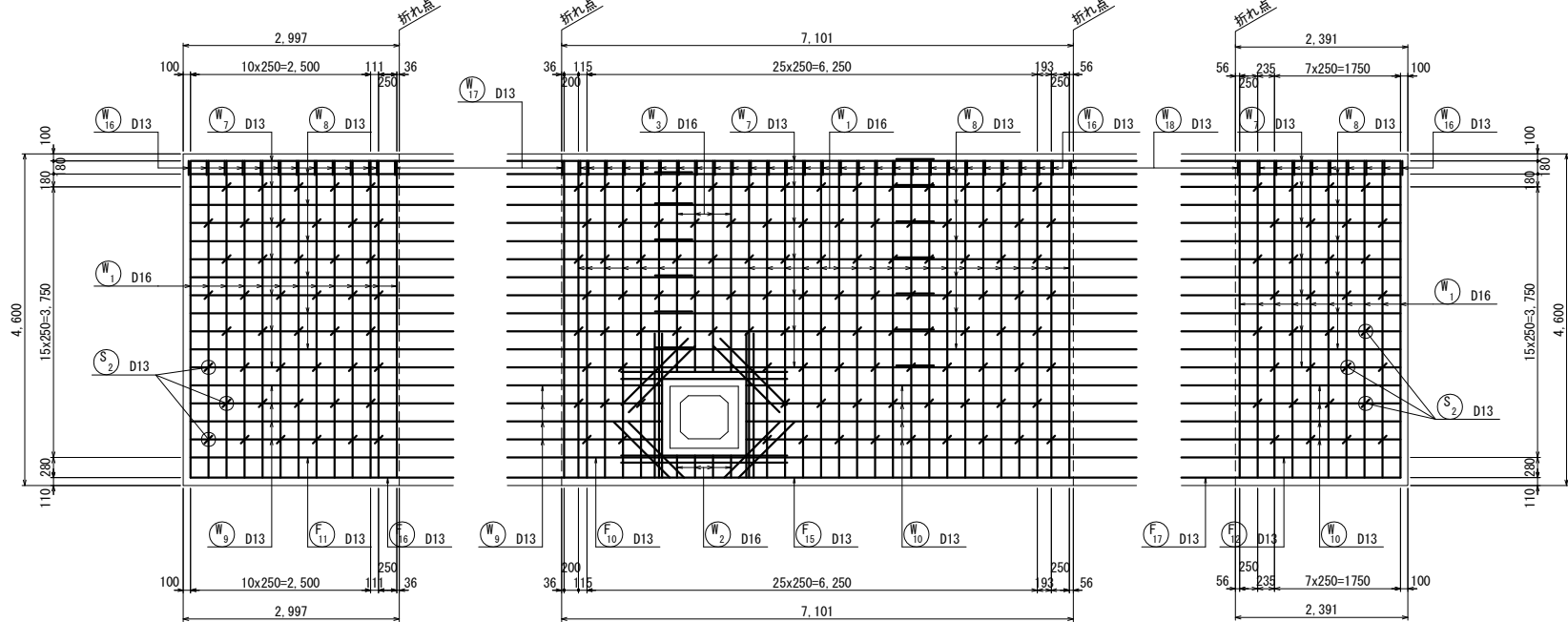
断面図(2-2)



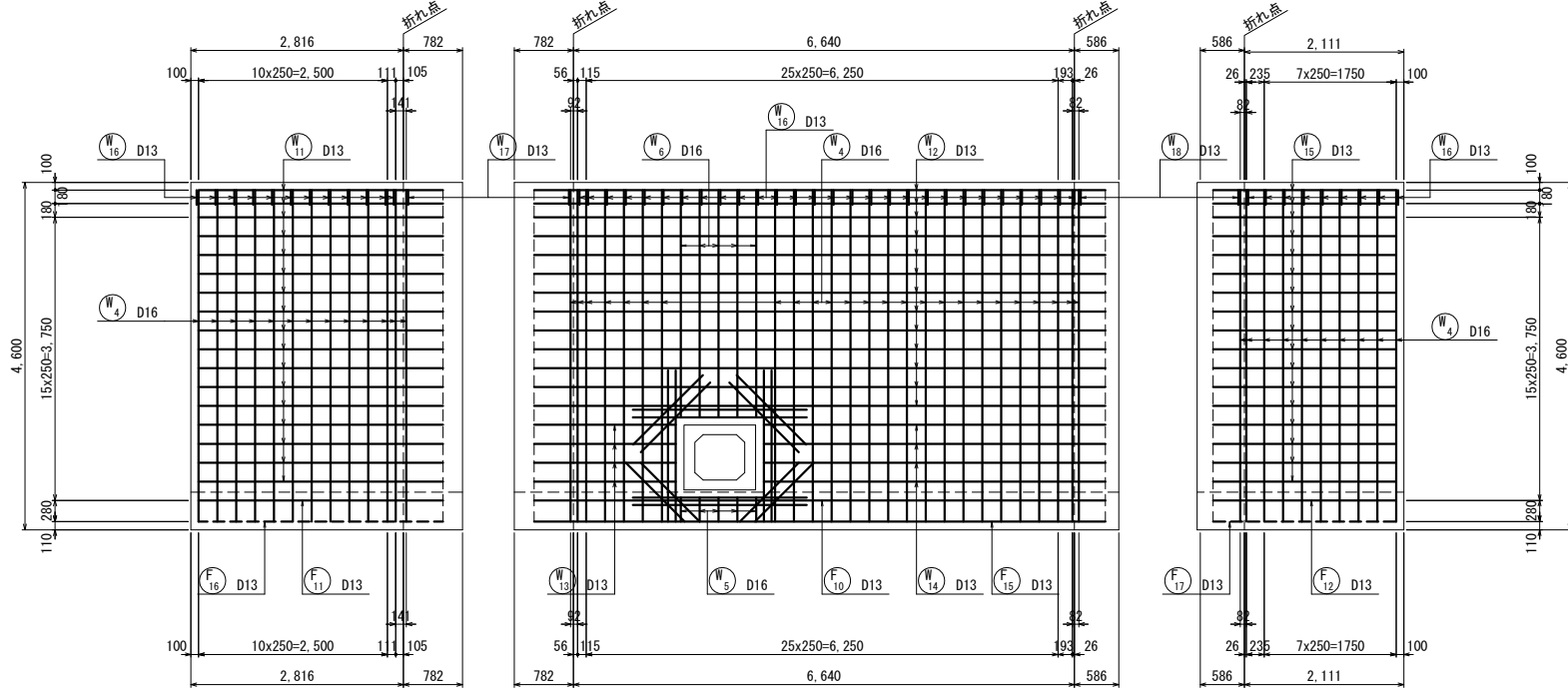
断面図(3-3)



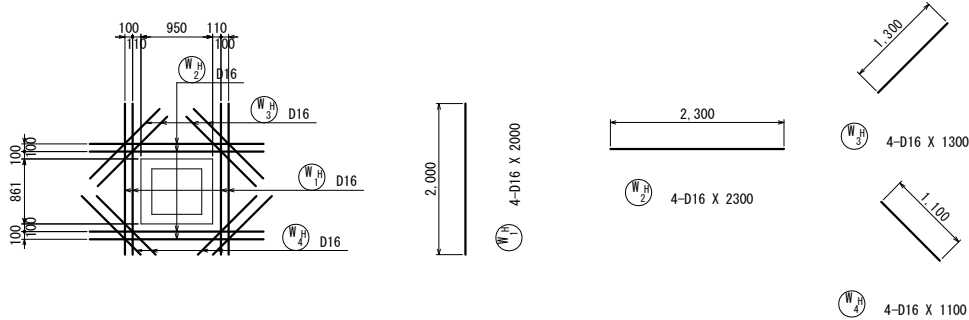
側壁外面図(4-4)



側壁内面図(5-5)



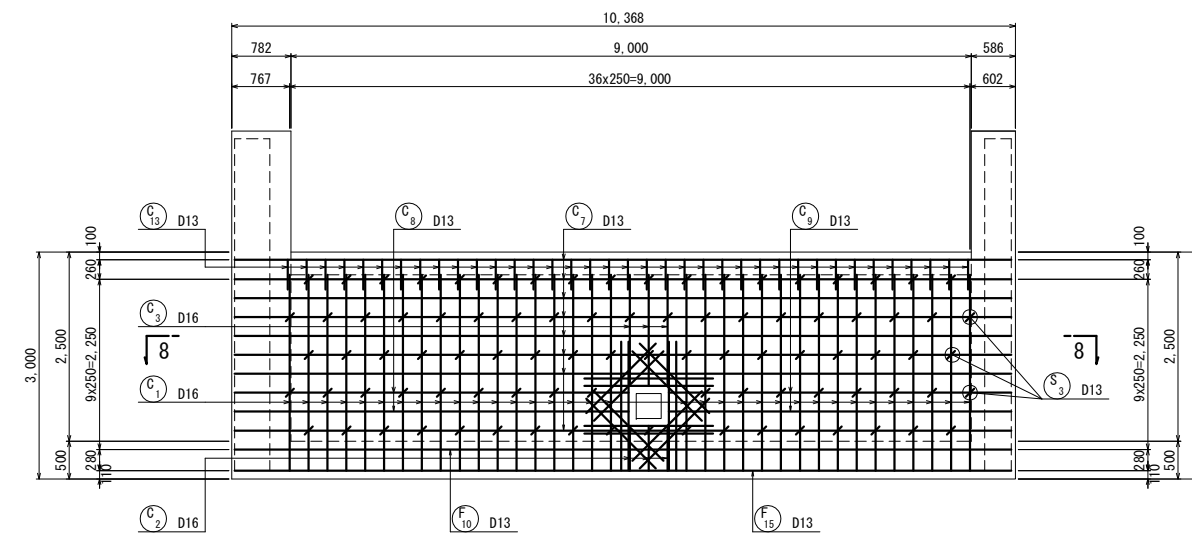
開口部補強筋図
(内外面側共通)



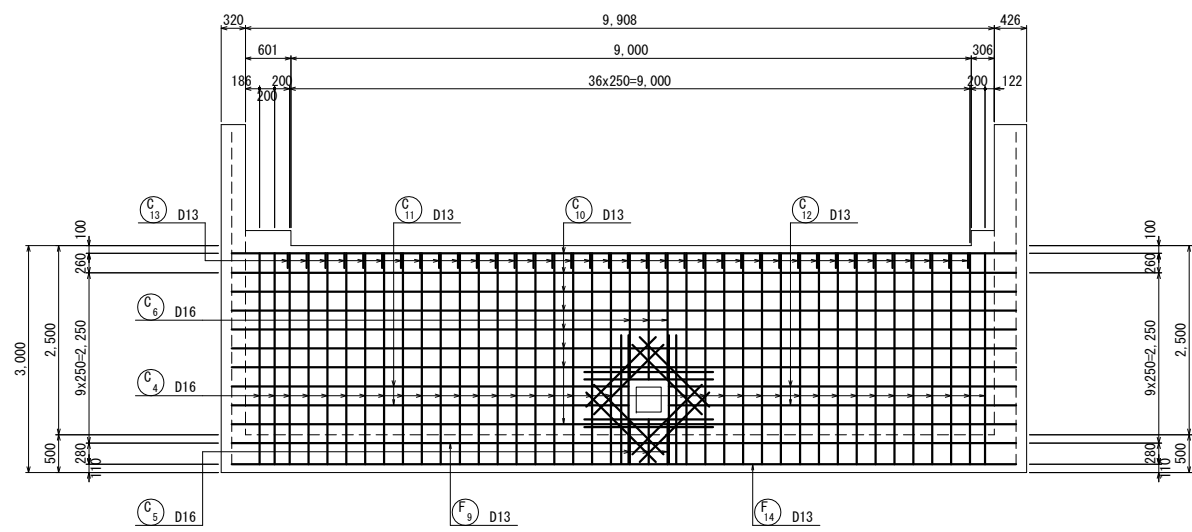
年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池洪水吐配筋図(1)
縮 尺	A1 : S=1/ 50 A3 : S=1/100
図面番号	81

調整池洪水吐配筋図(2) S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

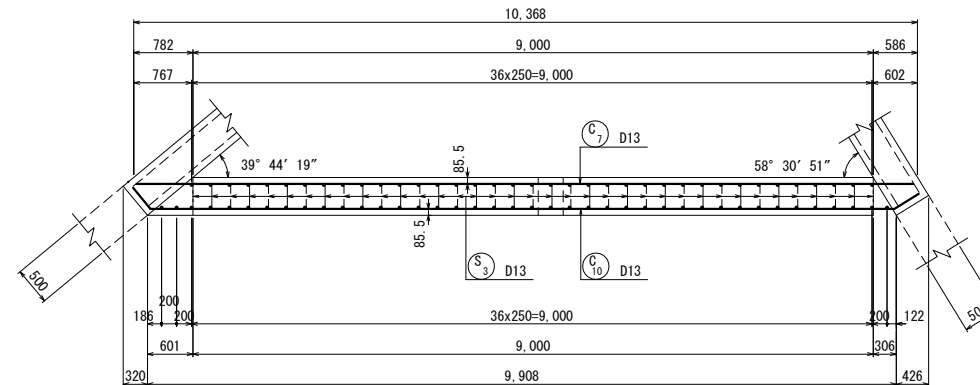
側壁正面図(6-6)



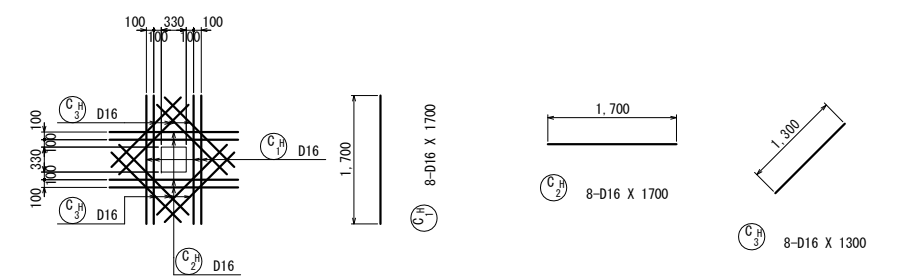
側壁正面図(7-7)



断面図 (8-8)



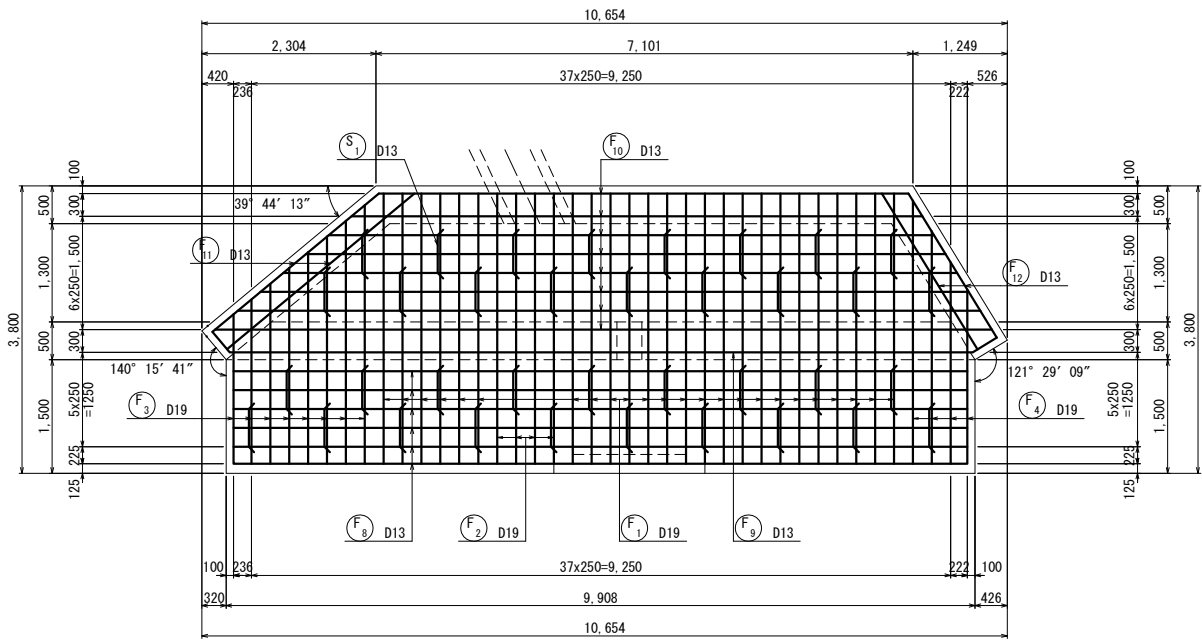
開口部補強筋図
(共通)



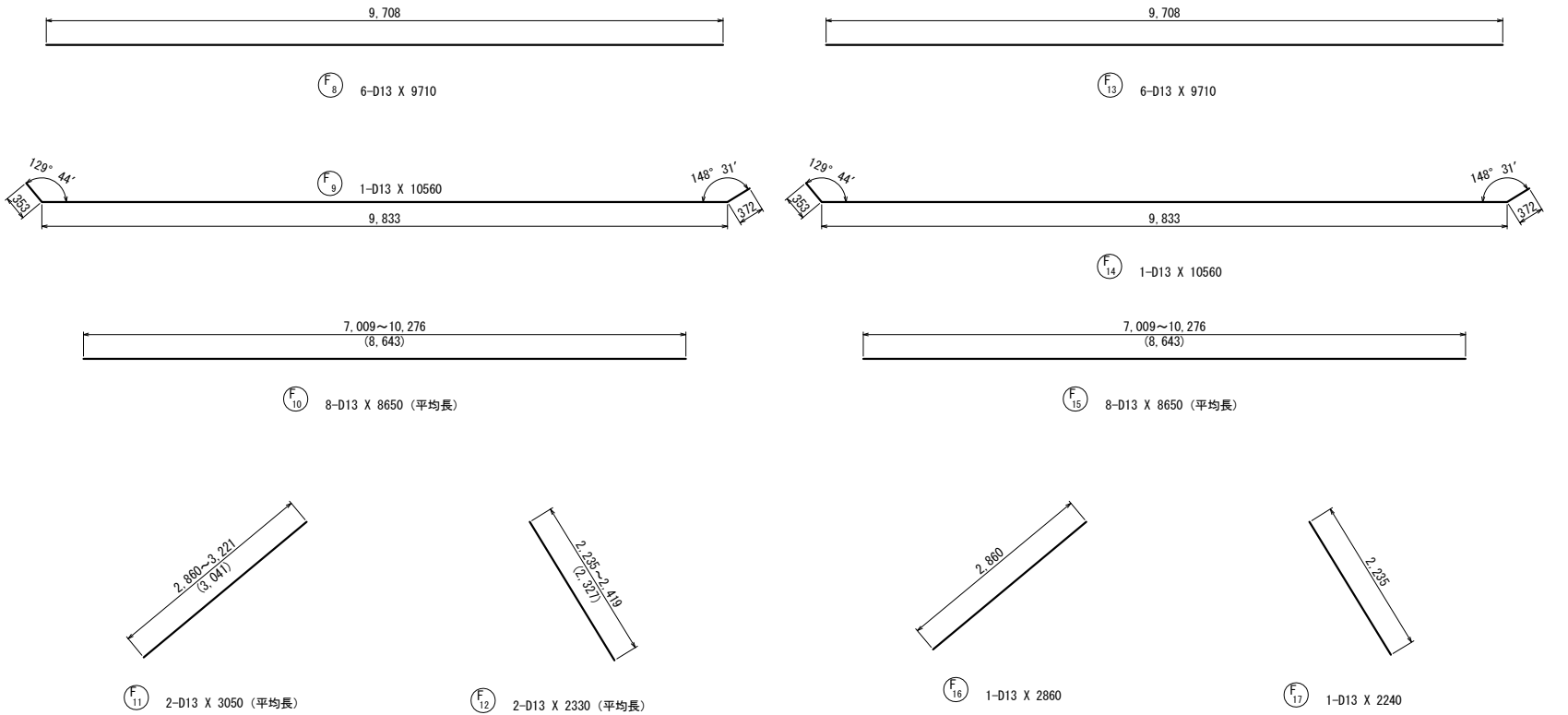
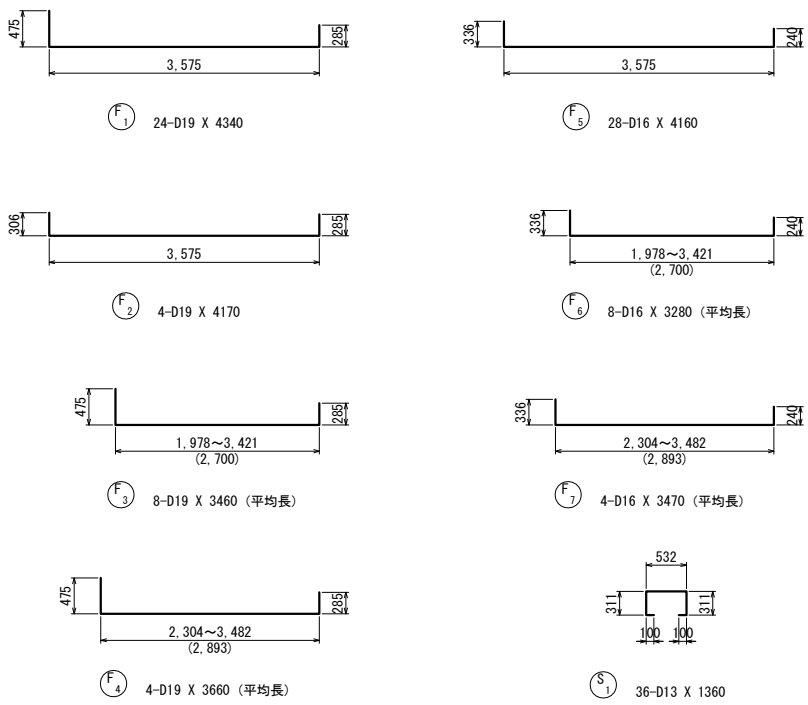
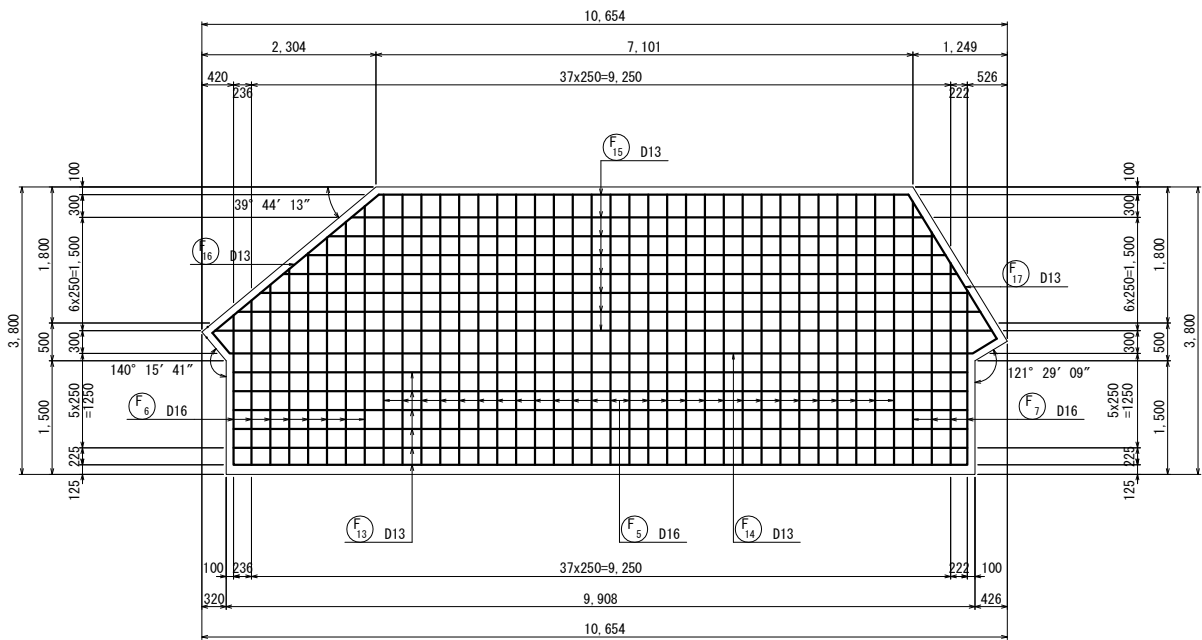
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工集団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池洪水吐配筋図(2)
縮 尺	A1 : S=1/ 50 A3 : S=1/100
図面番号	82
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

調整池洪水吐配筋図(3) S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

底版上面図(9-9)



底版下面図(10-10)



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池洪水吐配筋図(3)
縮 尺	A1 : S=1/ 50 A3 : S=1/100
図面番号	83
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

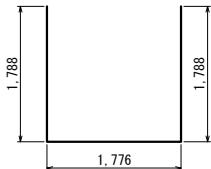
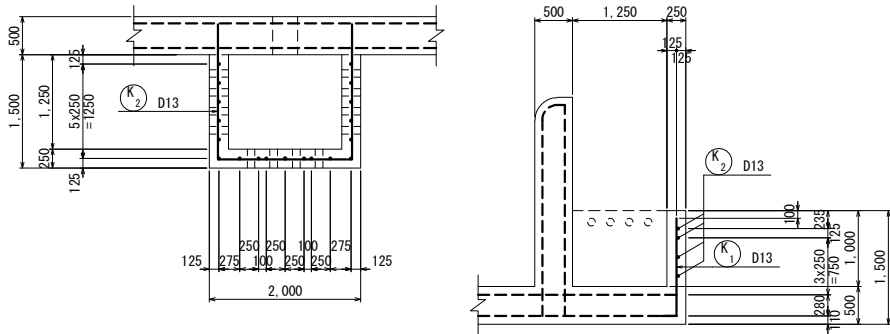
調整池洪水吐配筋図(4)

S=1 : 50(A1)
S=1 : 100(A3)

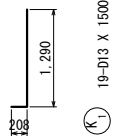
スクリーン受台

平面図

断面図



4-D13 X 5360



19-D13 X 1500

鉄筋質量表

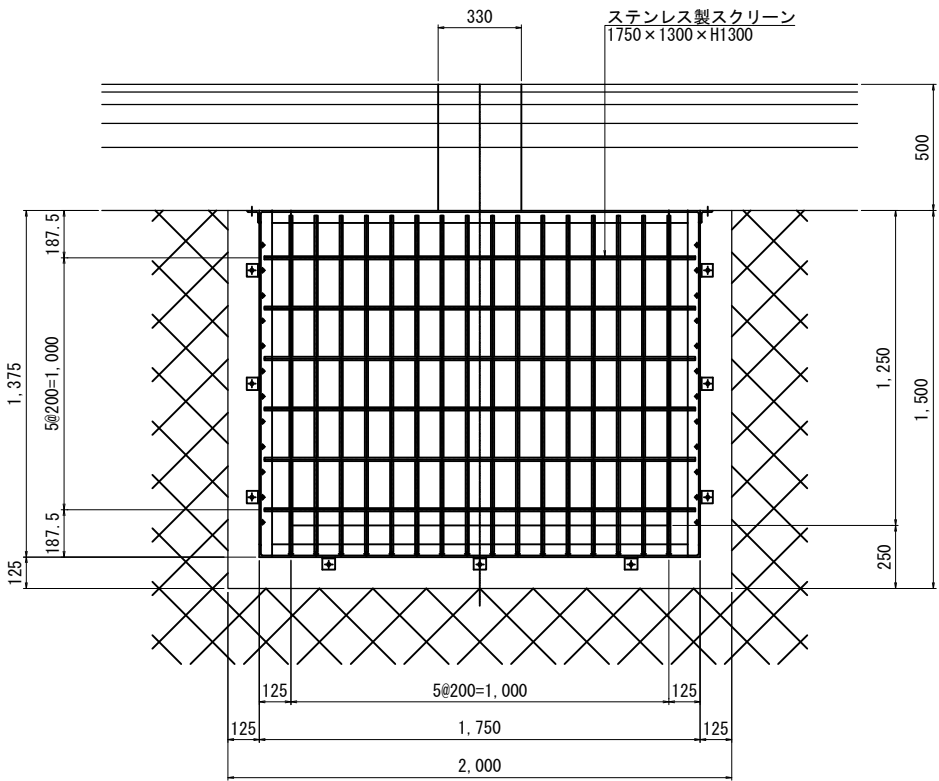
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
W 1	D16	4750	47	1.56	7.410	348.3	┆
W 2	D16	660	4	1.56	1.030	4.1	┆
W 3	D16	2930	4	1.56	4.571	18.3	┆
W 4	D16	4750	46	1.56	7.410	340.9	┆
W 5	D16	680	5	1.56	1.061	5.3	┆
W 6	D16	3020	5	1.56	4.711	23.6	┆
W 7-1	D13	8000	7	0.995	7.960	55.7	┆
W 7-2	D13	4660	7	0.995	4.637	32.5	┆
W 8-1	D13	8000	6	0.995	7.960	47.8	┆
W 8-2	D13	4660	6	0.995	4.637	27.8	┆
W 9	D13	4230	4	0.995	4.209	16.8	┆
W 10	D13	6740	4	0.995	6.706	26.8	┆
W 11	D13	3240	17	0.995	3.224	54.8	┆
W 12	D13	7580	13	0.995	7.542	98.0	┆
W 13	D13	1880	4	0.995	1.871	7.5	┆
W 14	D13	4530	4	0.995	4.507	18.0	┆
W 15	D13	2430	17	0.995	2.418	41.1	┆
W 16	D13	690	49	0.995	0.687	33.7	┆
W 17	D13	710	1	0.995	0.706	0.7	┆
W 18	D13	740	1	0.995	0.736	0.7	┆
1202.4 kg							
W H 1	D16	2000	4	1.56	3.120	12.5	┆
W H 2	D16	2300	4	1.56	3.588	14.4	┆
W H 3	D16	1300	4	1.56	2.028	8.1	┆
W H 4	D16	1100	4	1.56	1.716	6.9	┆
41.9 kg							
C 1	D16	2950	34	1.56	4.602	156.5	┆
C 2	D16	950	3	1.56	1.482	4.4	┆
C 3	D16	1470	3	1.56	2.293	6.9	┆
C 4	D16	3150	37	1.56	4.914	181.8	┆
C 5	D16	950	3	1.56	1.482	4.4	┆
C 6	D16	1670	3	1.56	2.605	7.8	┆
C 7	D13	10280	8	0.995	10.229	81.8	┆
C 8	D13	5220	2	0.995	5.194	10.4	┆
C 9	D13	4540	2	0.995	4.517	9.0	┆
C 10	D13	10580	8	0.995	10.527	84.2	┆
C 11	D13	5400	2	0.995	5.373	10.7	┆
C 12	D13	4660	2	0.995	4.637	9.3	┆
C 13	D13	810	37	0.995	0.806	29.8	┆
597.0 kg							
C H 1	D16	1700	8	1.56	2.652	21.2	┆
C H 2	D16	1700	8	1.56	2.652	21.2	┆
C H 3	D16	1300	8	1.56	2.028	16.2	┆
58.6 kg							

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F 1	D19	4340	24	2.25	9.765	234.4	┆
F 2	D19	4170	4	2.25	9.383	37.5	┆
F 3	D19	3460	8	2.25	7.785	62.3	┆ (平均長)
F 4	D19	3660	4	2.25	8.235	32.9	┆ (平均長)
F 5	D16	4160	28	1.56	6.490	181.7	┆
F 6	D16	3280	8	1.56	5.117	40.9	┆ (平均長)
F 7	D16	3470	4	1.56	5.413	21.7	┆ (平均長)
F 8	D13	9710	6	0.995	9.661	58.0	┆
F 9	D13	10560	1	0.995	10.507	10.5	┆
F 10	D13	8650	8	0.995	8.607	68.9	┆ (平均長)
F 11	D13	3050	2	0.995	3.035	6.1	┆ (平均長)
F 12	D13	2330	2	0.995	2.318	4.6	┆ (平均長)
F 13	D13	9710	6	0.995	9.661	58.0	┆
F 14	D13	10560	1	0.995	10.507	10.5	┆
F 15	D13	8650	8	0.995	8.607	68.9	┆ (平均長)
F 16	D13	2860	1	0.995	2.846	2.8	┆
F 17	D13	2240	1	0.995	2.229	2.2	┆
901.9 kg							
S 1	D13	1360	36	0.995	1.353	48.7	┆
S 2	D13	560	179	0.995	0.557	99.7	┆
S 3	D13	560	90	0.995	0.557	50.1	┆
198.5 kg							
K 1	D13	1500	19	0.995	1.493	28.4	┆
K 2	D13	5360	4	0.995	5.333	21.3	┆
49.7 kg							
合 計 D19							367.1 kg
D16							1447.1 kg
D13							1235.8 kg
総質量							3050.0 kg

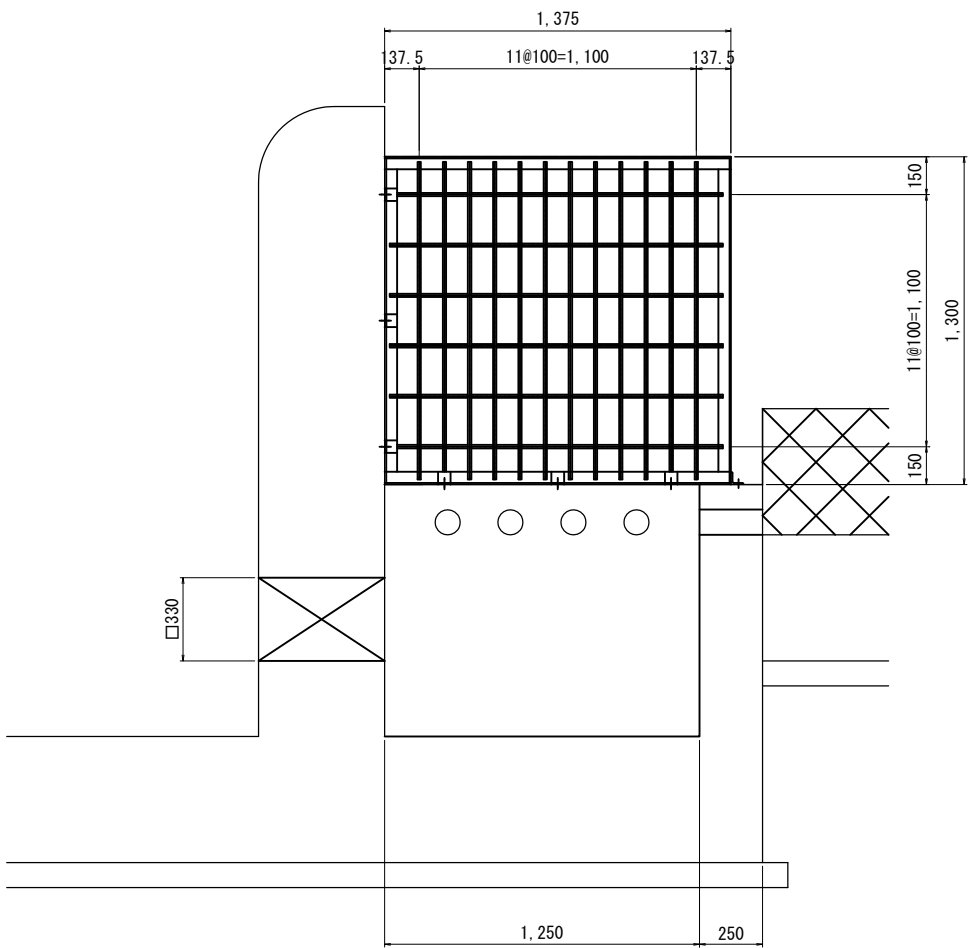
調整池スクリーン構造図

S=1 : 15 (A1)
S=1 : 30 (A3)

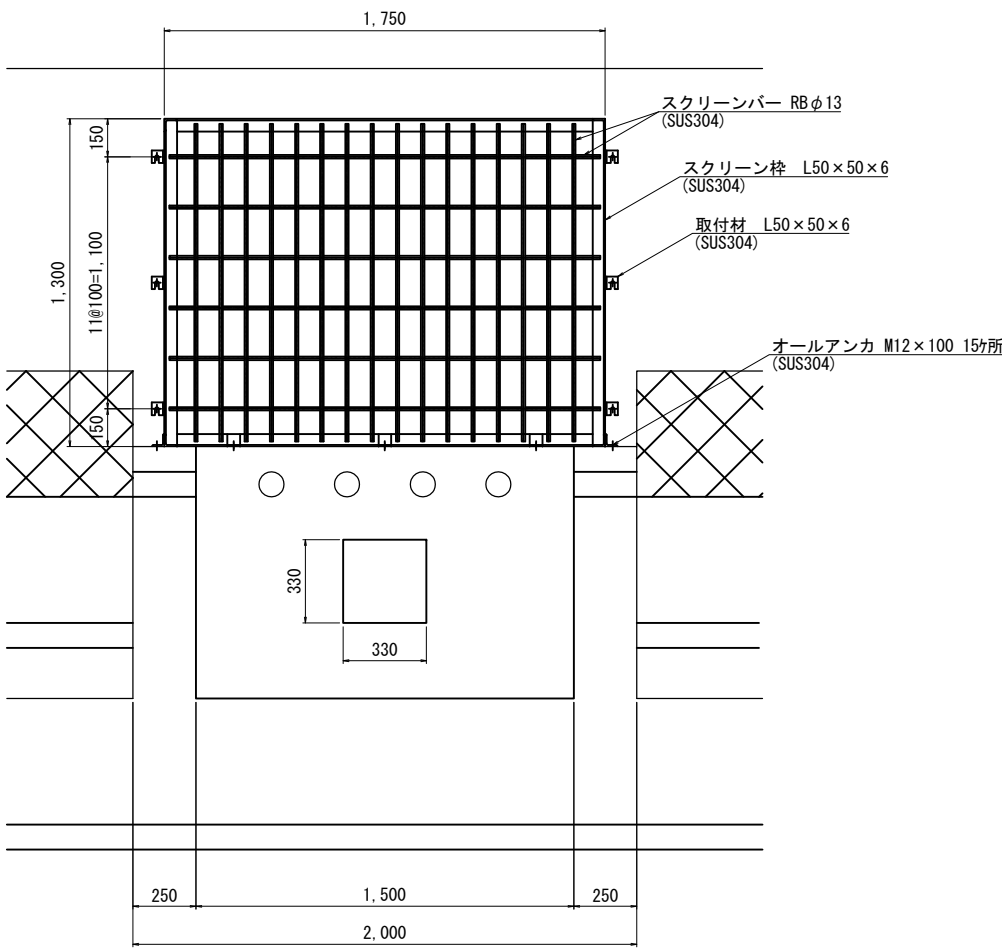
平面図



側面図



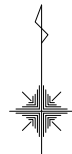
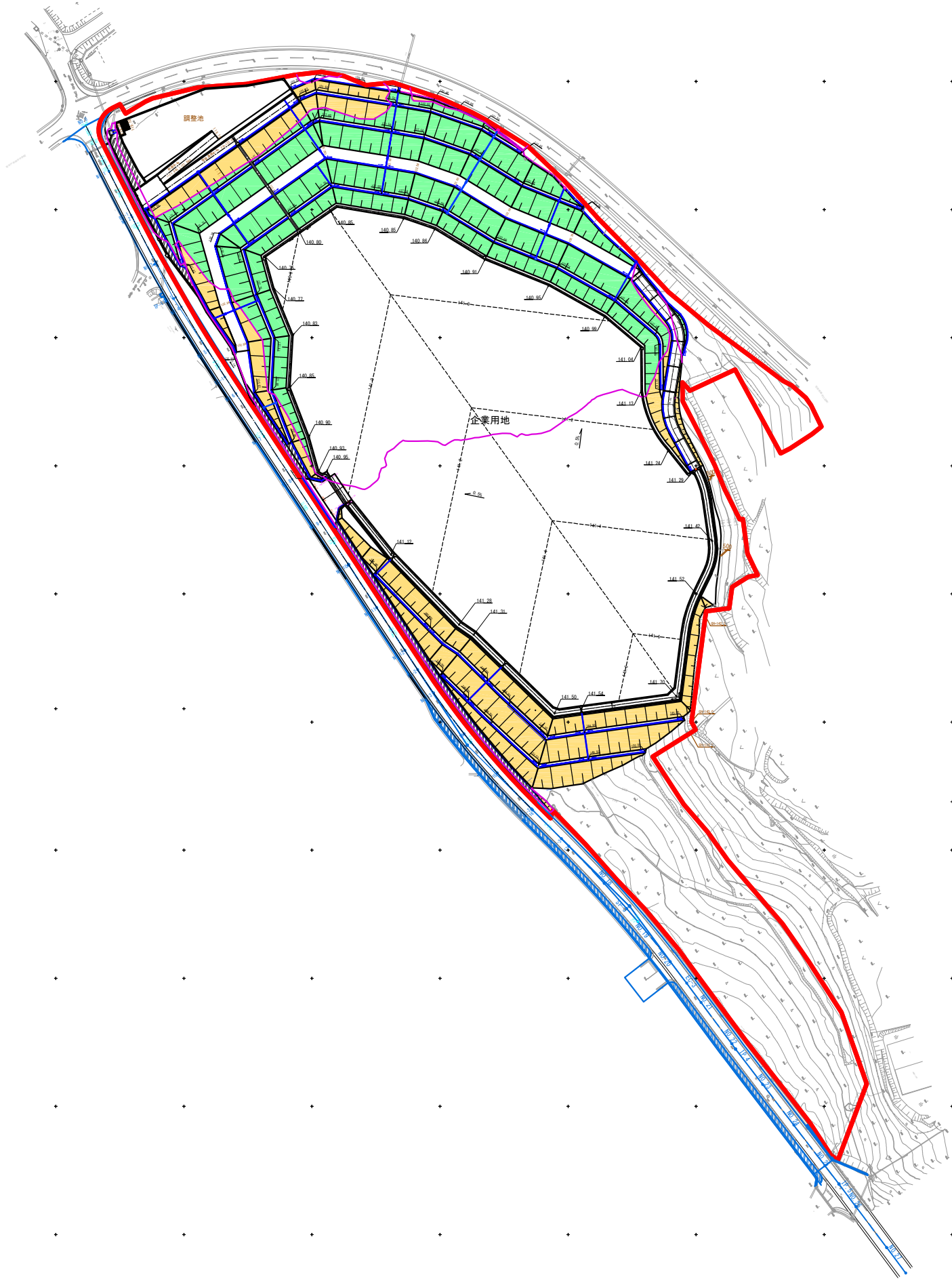
正面図



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	調整池スクリーン構造図
縮 尺	A1 : S=1/15 A3 : S=1/30
図面番号	85
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

法面計画平面図

S=1 : 1,000 (A1)
S=1 : 2,000 (A3)

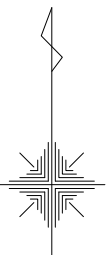


凡 例

記 号	種 別	面 積	摘 要
—	開発区域		
—	切盛境界線		
 	切土法面	A=4,268.7m ²	法勾配 1:1.8
 	盛土法面	A=6,341.3m ²	法勾配 1:1.8

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	法面計画平面図
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	86
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

法面工詳細全体図 S=1 : 600 (A1)
S=1 : 1,200 (A3)



凡 例	種 別	摘 要
—	開発区域	
—	切盛境界線	
■	養生シート (盛土部)	
■	厚層基材吹付 (切土部)	(厚-5cm)
■	厚層基材吹付 (切土部)	(厚-6cm)
■	養生マット (切土部)	
■	強コンクリート (平場部)	(厚-5cm)
■	強コンクリート (斜面部)	(厚-5cm)
■	コンクリート舗装 (管理用道路部)	
—	小段側溝	U-300B
—	法面縦排水	U-300B
—	小段樹	A・B
■	集水樹	

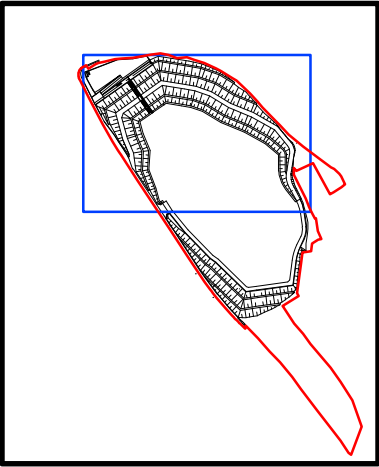
※南側法面部：ヤシヤシ植栽 2000本/ha

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	法面工詳細全体図
縮 尺	A1 : S=1/600 A3 : S=1/1,200
図面番号	87
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

法面工詳細図(1)

S=1 : 400 (A1)
S=1 : 800 (A3)

KEYPLAN



記号	種別	摘要
—	開発区域	
—	切盛境界線	
■	植生シート (盛土部)	
■	厚層基材吹付 (切土部)	(厚=5cm)
■	厚層基材吹付 (切土部)	(厚=6cm)
■	植生マット (切土部)	
■	張コンクリート (平場部)	(厚=5cm)
■	張コンクリート (斜面部)	(厚=5cm)
■	コンクリート舗装 (管理用道路部)	
—	小段側溝	U-300B
—	法面縦排水	U-300B
□	小段樹	A・B
■	集水樹	

※南側法面部：ヤシヤブシ植栽 2000本/ha

年度	令和7年度
工事名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	法面工詳細図(1)
縮尺	A1 : S=1/400 A3 : S=1/800
図面番号	88

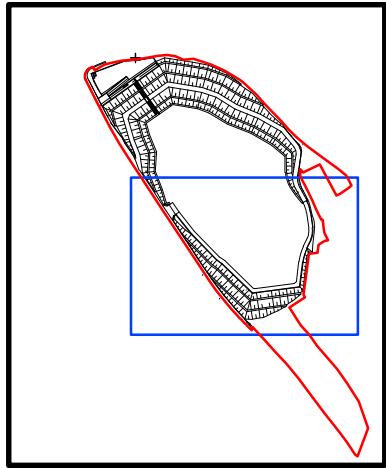
平戸市文化観光商工部 商工物産課

法面工詳細図(2)

S=1 : 400 (A1)
S=1 : 800 (A3)

企業用地

KEYPLAN



凡 例

記 号	種 別	摘 要
—	開発区域	
—	切盛境界線	
	植生シート (盛土部)	
	厚層基材吹付 (切土部)	(厚=5cm)
	厚層基材吹付 (切土部)	(厚=6cm)
	植生マット (切土部)	
	張コンクリート (平場部)	(厚=5cm)
	張コンクリート (斜面部)	(厚=5cm)
	コンクリート舗装 (管理用道路部)	
	小段側溝	U-300B
	法面縦排水	U-300B
	小段樹	A・B
	集水樹	

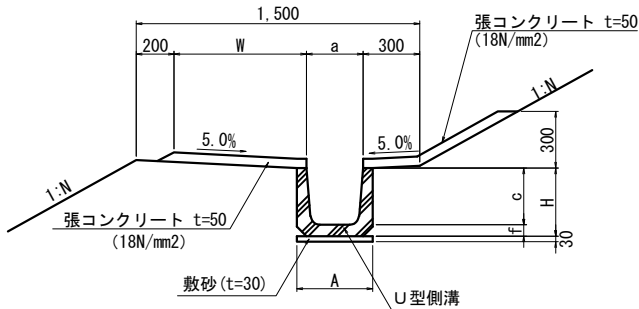
※南側法面部：ヤシヤブシ植栽 2000本/ha

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	法面工詳細図(2)
縮 尺	A1 : S=1/400 A3 : S=1/800
図面番号	89

法面施設構造図(1)

小段側溝

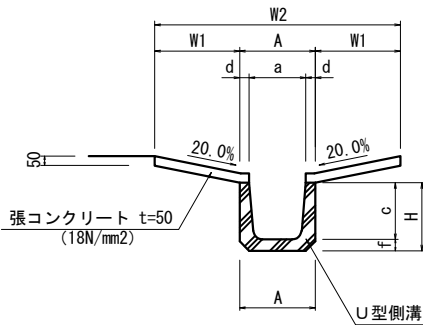
S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



種 別	a	c	f	A	H	W	備 考
U-300B	300	300	60	400	360	700	

縦排水工

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



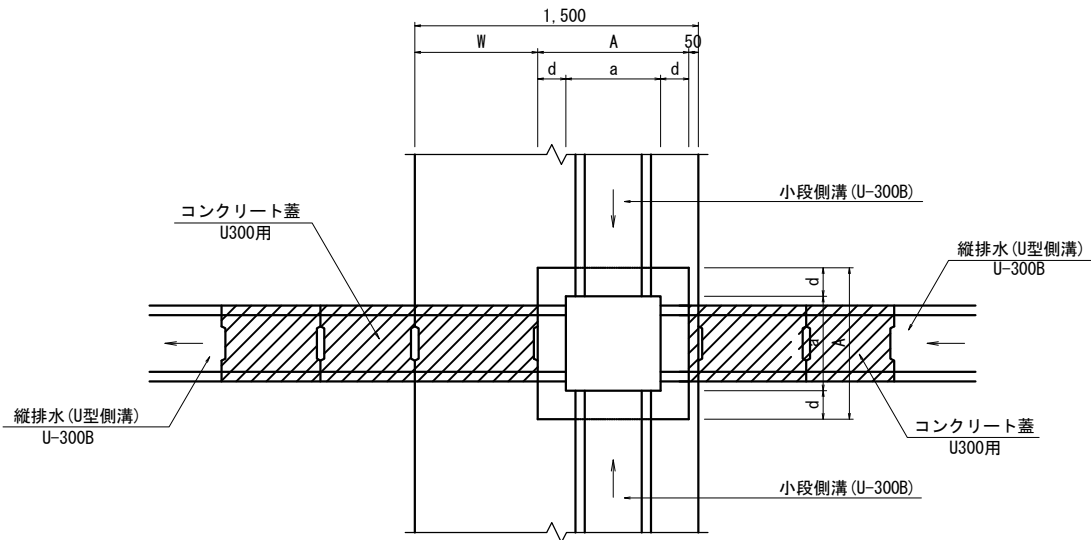
※ U型側溝は滑り止め付き仕様とする。

種 別	a	c	d	f	A	H	W1	W2	備 考
U-300B	300	300	50	60	400	360	450	1300	

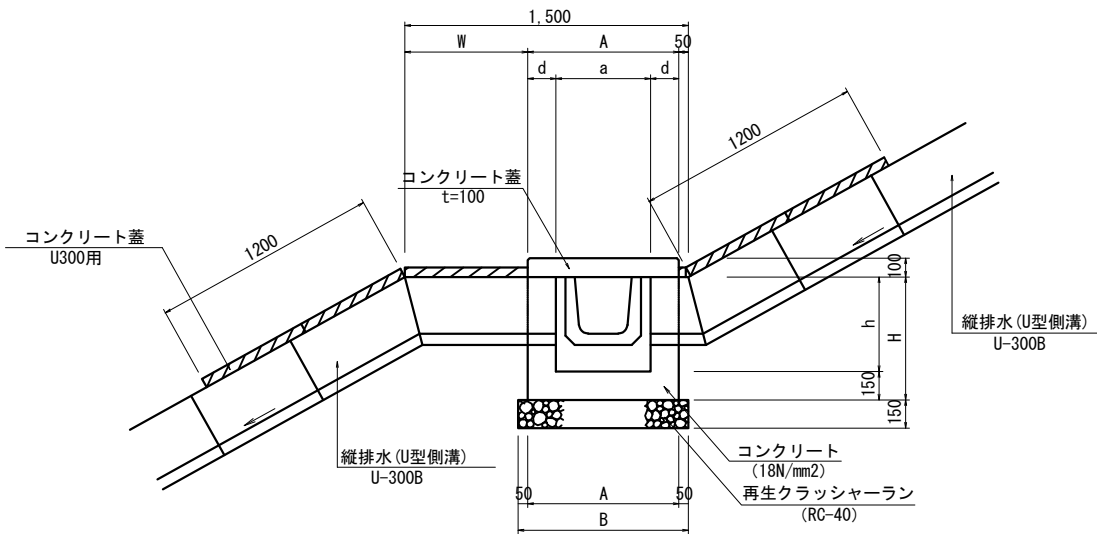
小段集水樹

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

平面図



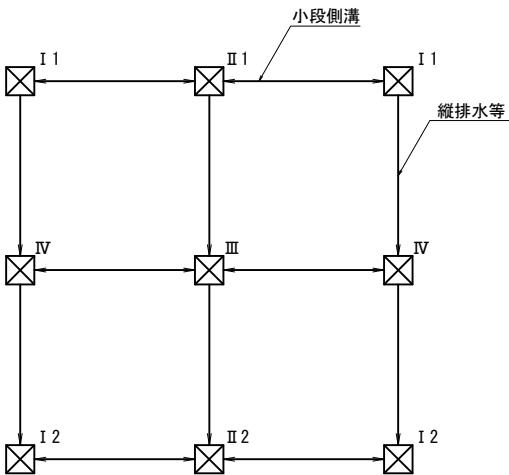
縦断面図



種 別	a	h	d	A	H	B	W	備 考
A	500	500	150	800	650	900	650	
B	700	600	150	1000	750	1100	450	

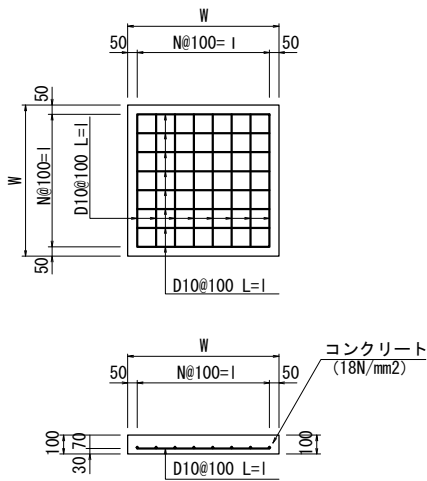
小段集水樹位置図

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



コンクリート蓋

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

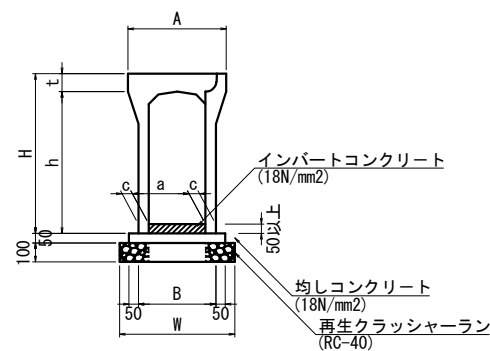


種 別	W	N	I	備 考
A	800	7	700	
B	1000	9	900	

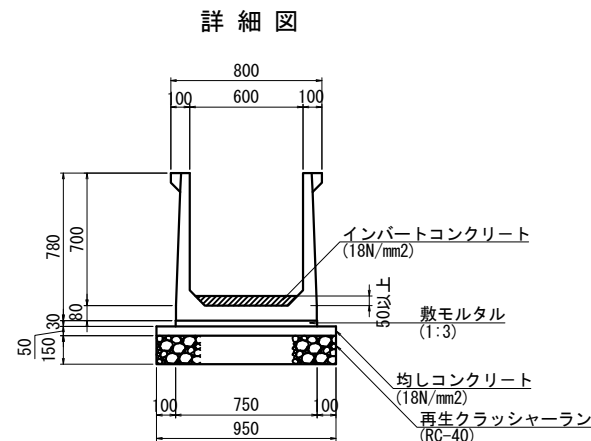
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	法面施設構造図(1)
縮 尺	A1 : S=1/20 A3 : S=1/40
図面番号	90
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

法面施設構造図(2)

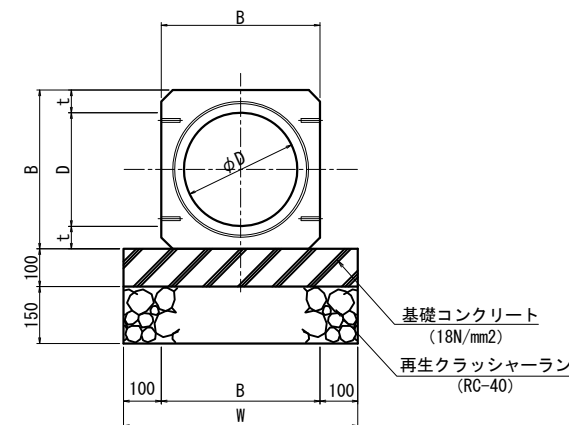
自由勾配側溝 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



U型側溝 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)
U600×700

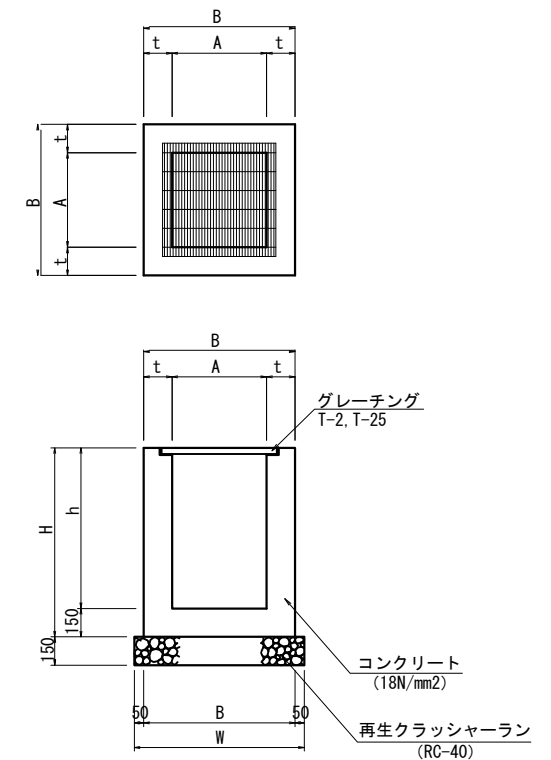


C S B管 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)

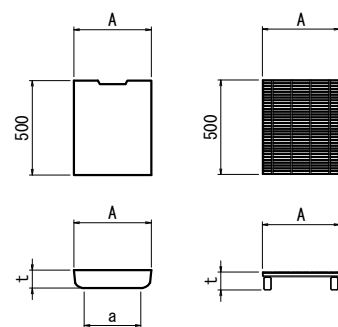


種 別	D	B	t	W	備 考
φ 450	450	604	77	804	

集水枋 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



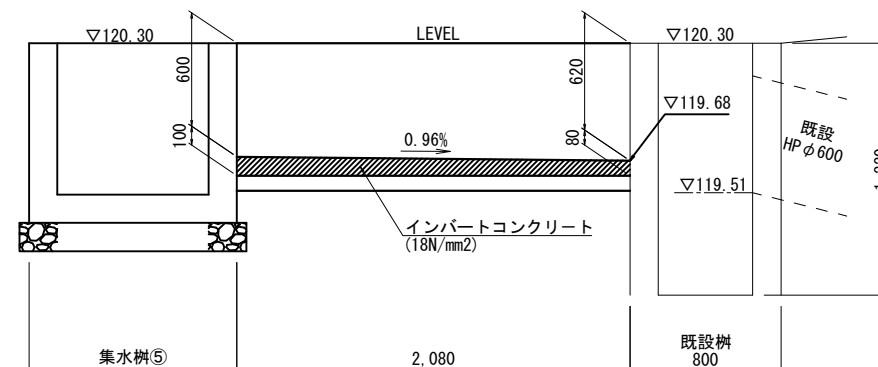
コンクリート蓋 グレーチング蓋



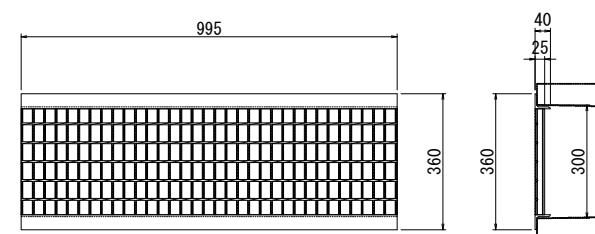
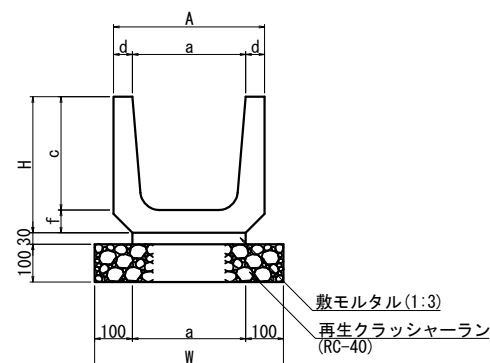
呼び名	A	a	t
300	410	300	95
500	620	500	125

※10mにつき1箇所設置。

断面図



U型側溝 S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



※管理通路内(小段5.0m部)のU300にはグレーチングを設置すること。

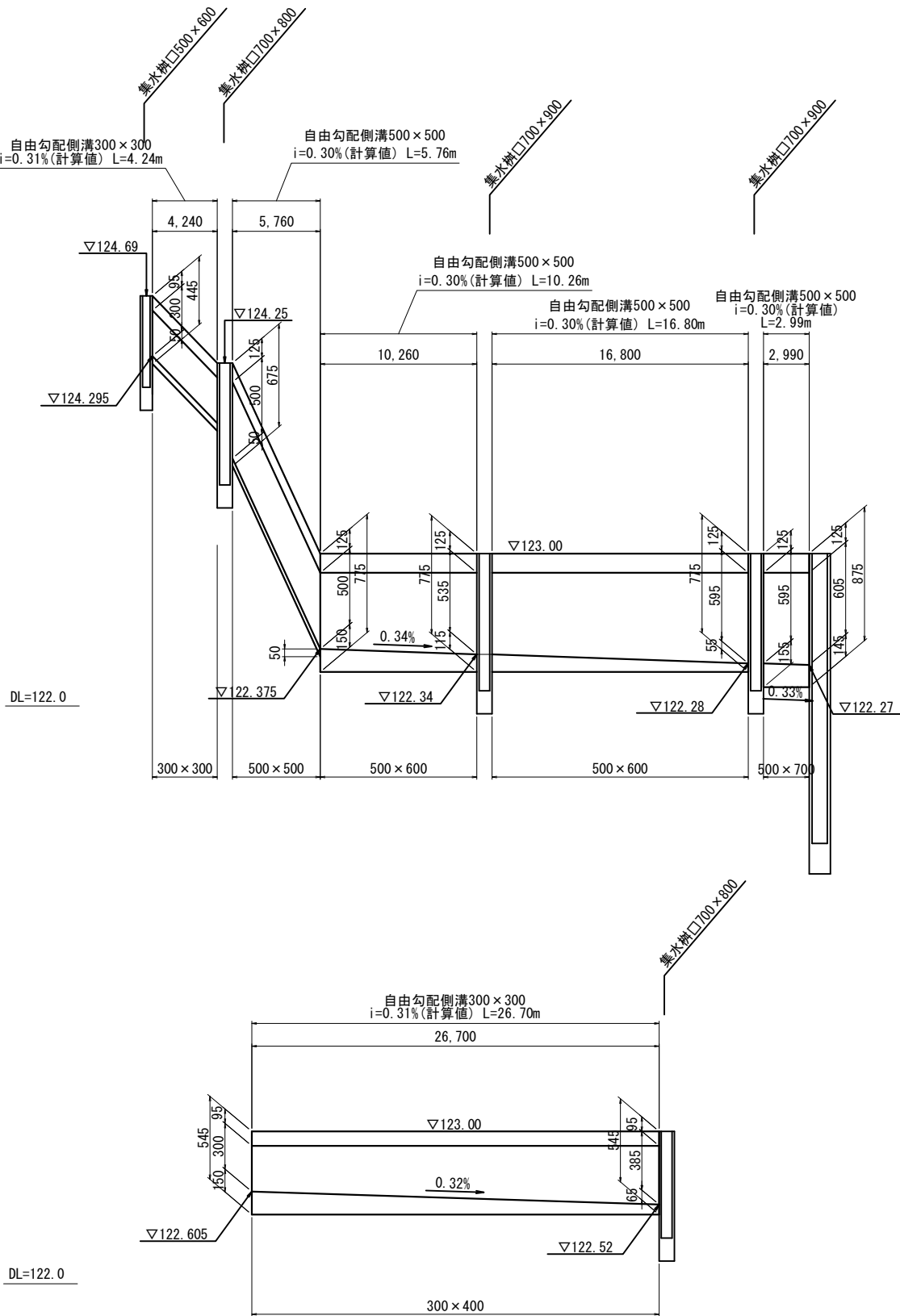
種 別	a	c	d	f	A	H	W	備 考
U-300	300	300	50	60	400	360	500	
U-450	450	450	55	70	560	520	650	

種 別	A	t	B	h	H	W	荷重	備 考
①	500	150	800	600	750	900	T-2	
②	700	150	1000	700	850	1100	T-2	
③	700	150	1000	800	950	1100	T-2	
④	700	150	1000	900	1050	1100	T-2	
⑤	800	150	1100	800	950	1200	T-2	

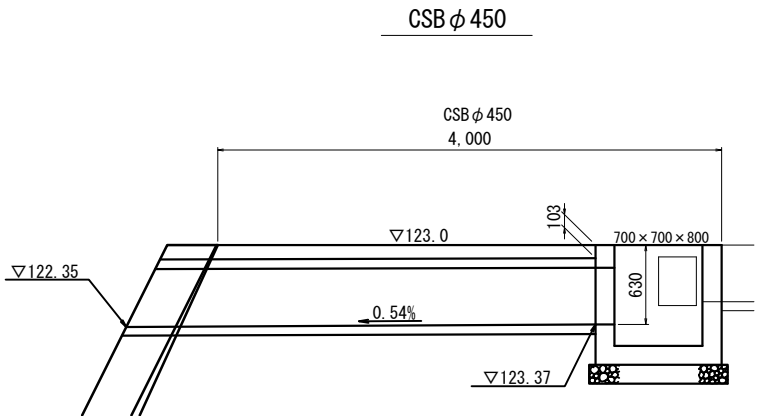
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	法面施設構造図(2)
縮 尺	A1 : S=1/20 A3 : S=1/40
図面番号	91
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

法面施設構造図(3)

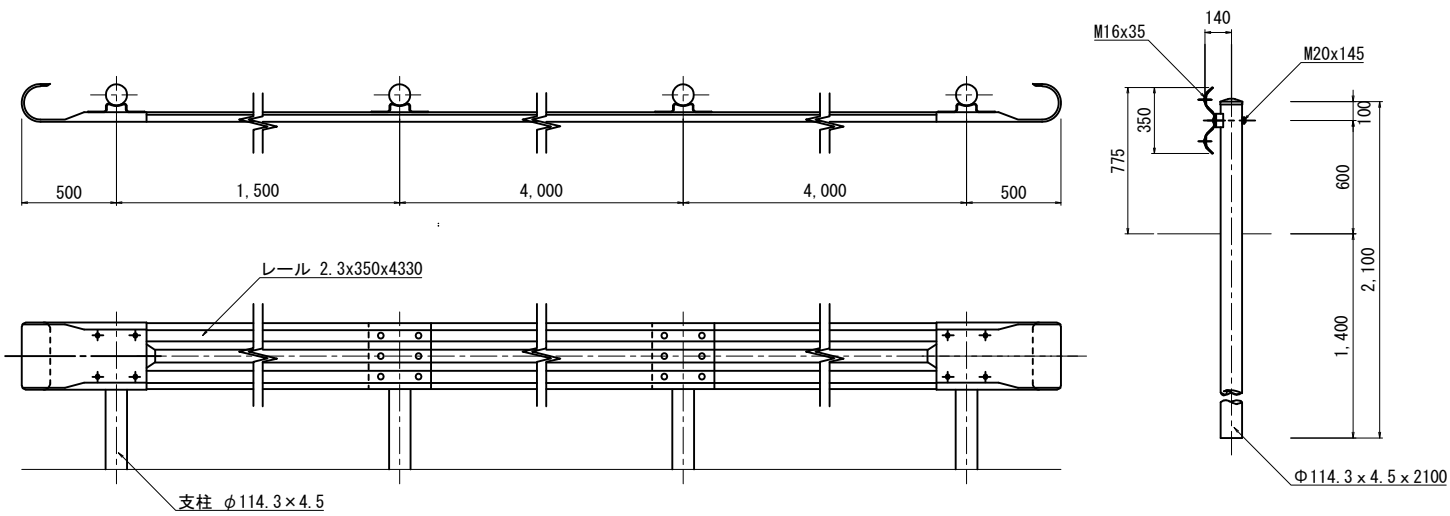
自由勾配側溝展開図 SH=1:200 SV=1:20 (A1)
SH=1:400 SV=1:40 (A3)



CSB管断面図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)
(参考図)



ガードレール S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



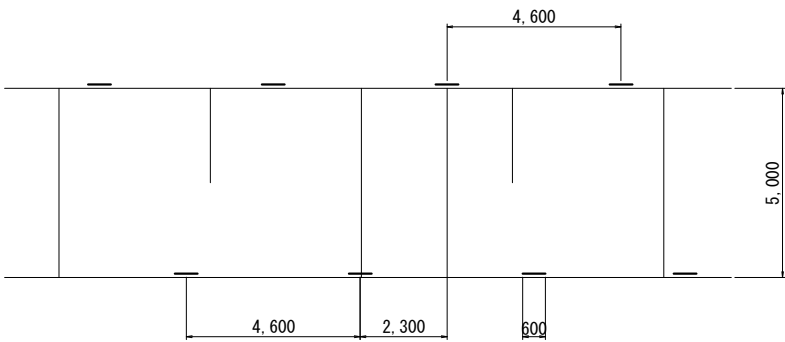
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	法面施設構造図(3)
縮 尺	図 示
図面番号	92
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

法面施設構造図(4)

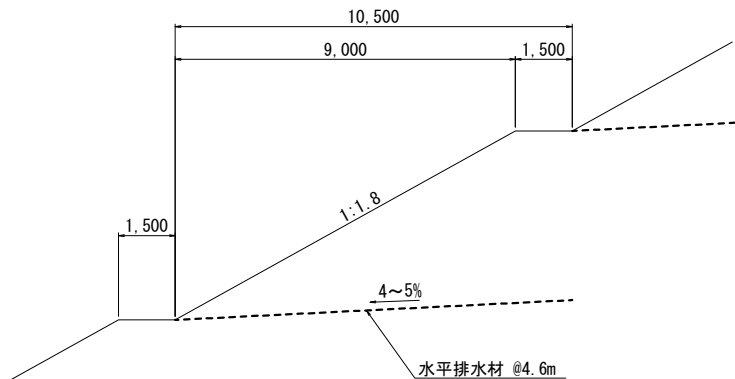
排水材敷設図
(千鳥配置)
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

小段幅1.5m部

正面図

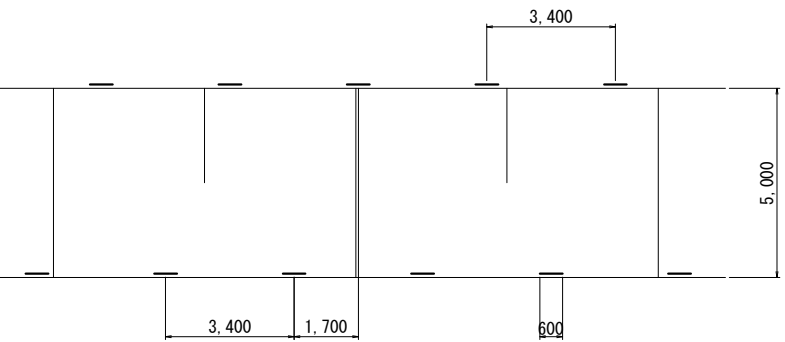


断面図

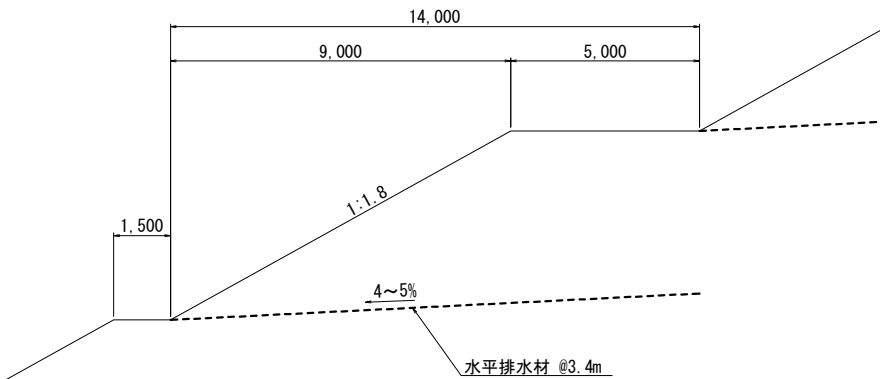


小段幅5.0m部

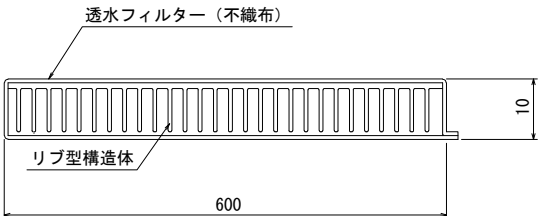
正面図



断面図

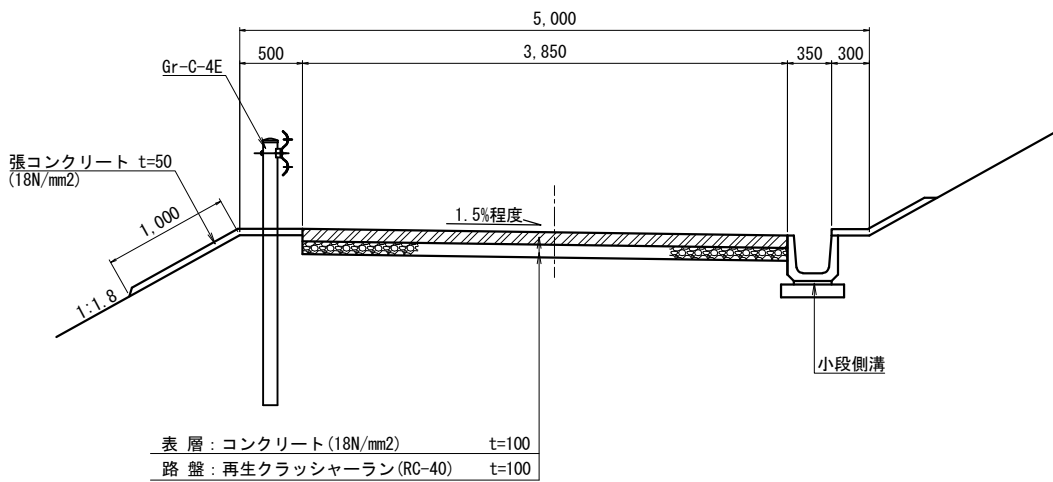


水平排水材詳細図
S=NOSCALE



管理用道路標準断面図
S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

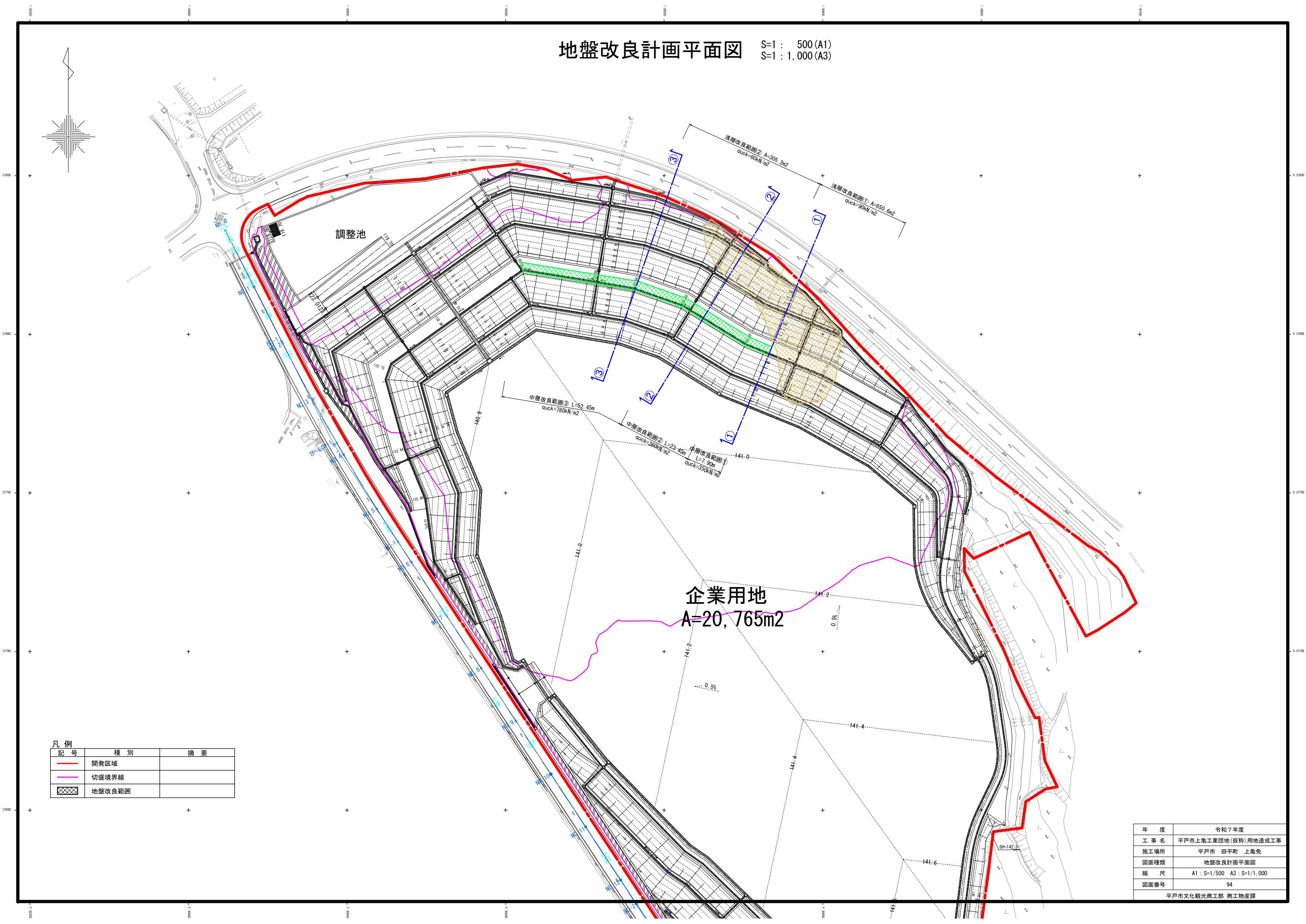
小段W=5.0m部



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	法面施設構造図(4)
縮 尺	図 示
図面番号	93
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

地盤改良計画平面図

S=1 : 500 (A1)
S=1 : 1,000 (A3)

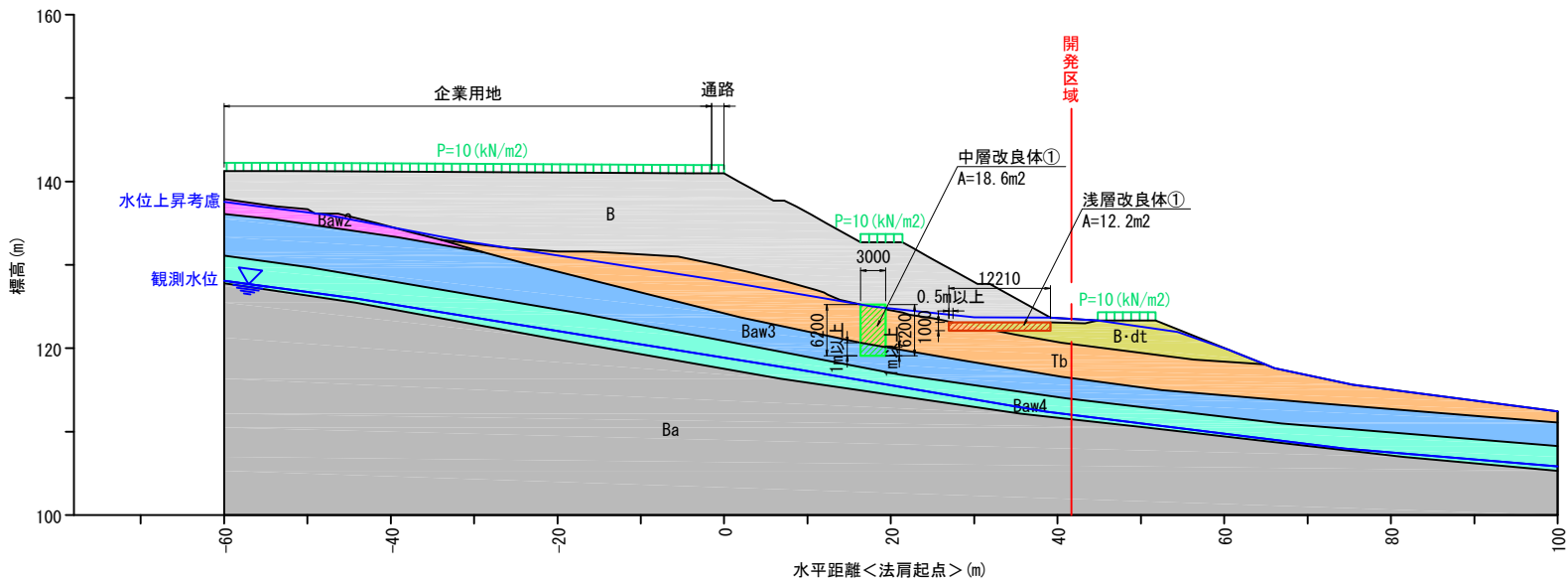


凡 例		
記 号	種 別	摘 要
—	開発区域	
—	切盛境界線	
▨	地盤改良範囲	

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	地盤改良計画平面図
縮 尺	A1 : S=1/500 A3 : S=1/1,000
図面番号	94

地盤改良計画断面図(1)
(①断面)

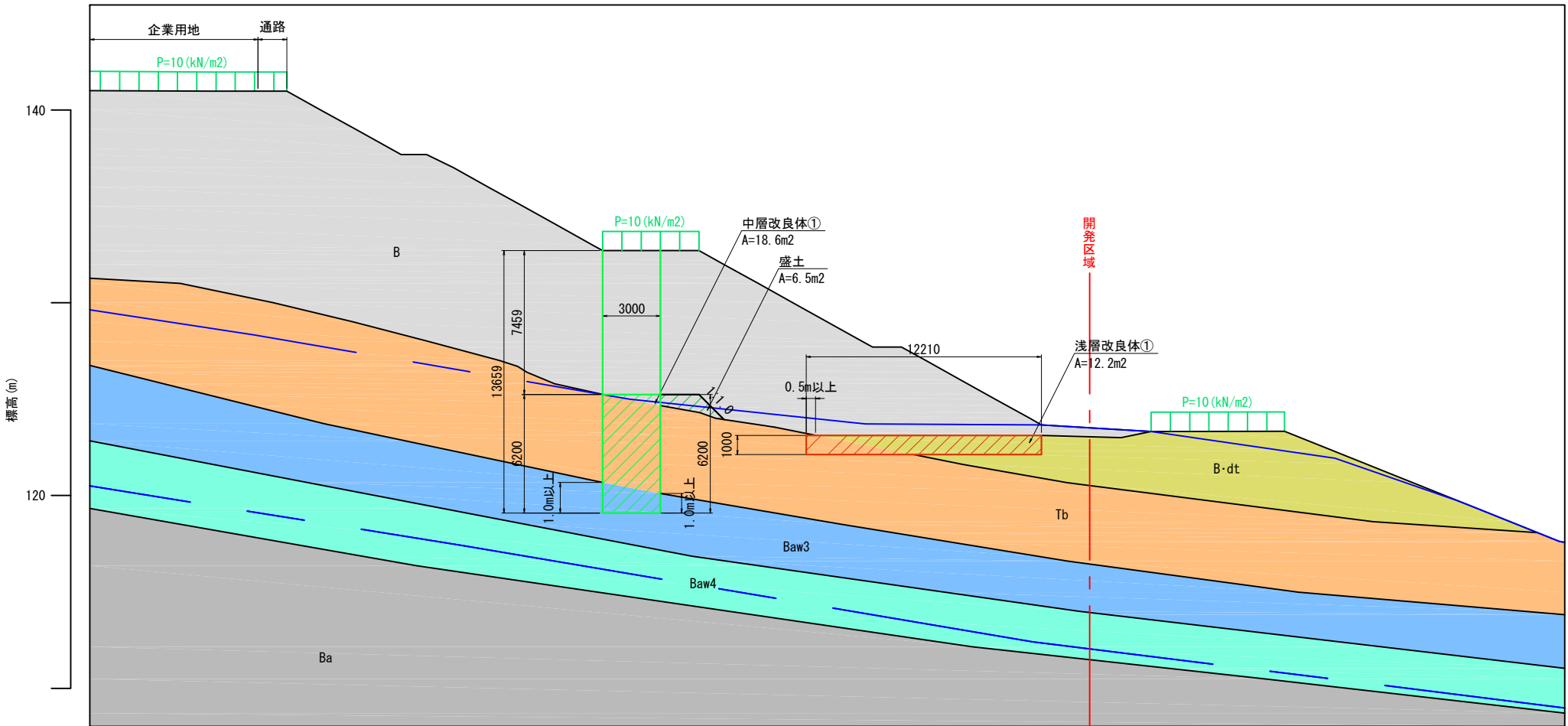
断面図 S=1 : 450 (A1)
S=1 : 900 (A3)



地層名	記号	表示色	単位体積重量 γt (kN/m3)	せん断抵抗角 ϕ (°)	粘着力 C (kN/m2)
新設盛土	B		19	35	1.5
既設盛土・崩積土	B・dt		17	0	25
強風化凝灰角礫岩	Tb		15	0	80
強風化玄武岩	Baw1		15	0	25
強風化玄武岩	Baw2		17	32	83
強風化玄武岩	Baw3		15	28	52
強風化玄武岩	Baw4		15	28	58
玄武岩	Ba		21	38	170

交通荷重P=10 kN/m2

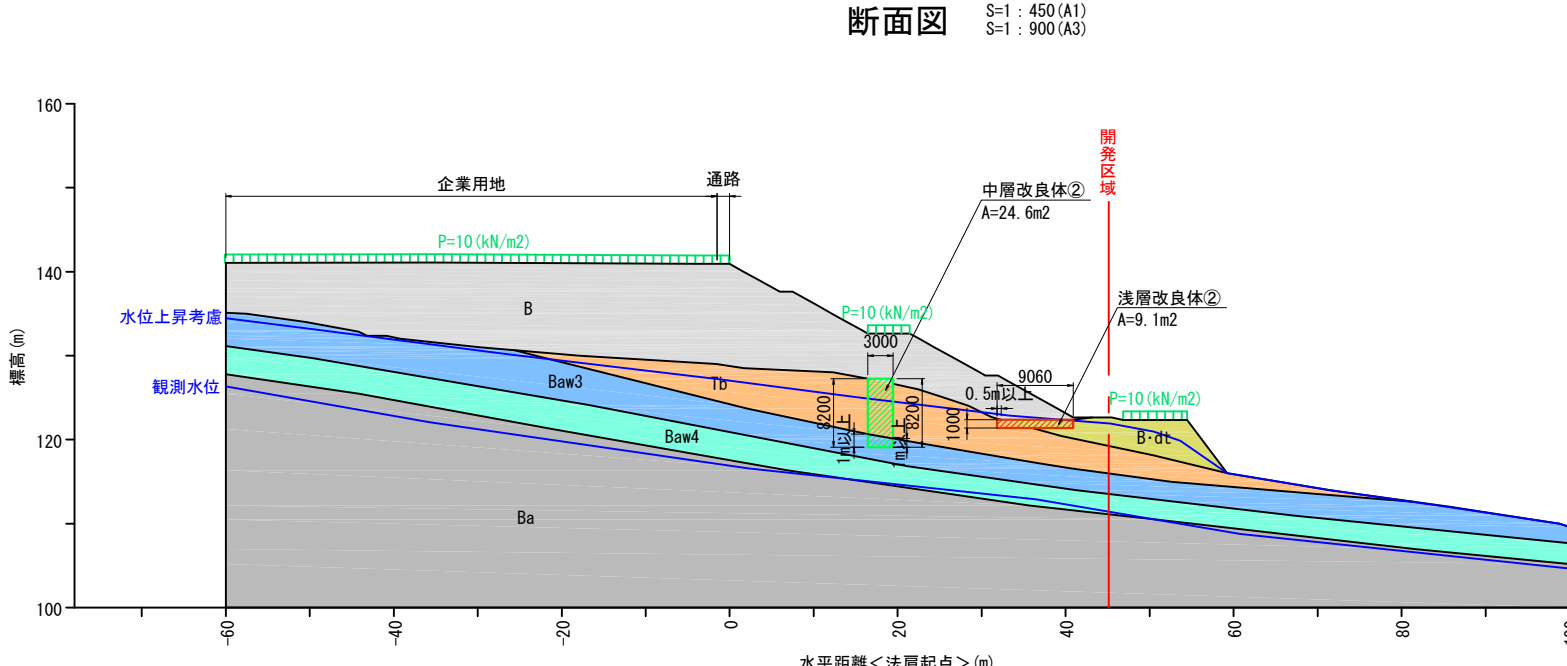
断面拡大図 S=1 : 150 (A1)
S=1 : 300 (A3)



- 浅層改良体①
法尻部の浅層改良を行う
改良対象：既設盛土+崩積土
改良幅：12.2m
改良厚さ：1.0m
改良強度：C=90kN/m2
- 中層改良体①
GH=132.7m小段下地盤の中層改良を行う
改良対象：強風化凝灰角礫岩 (TB)
改良幅：3.0m
改良深さ：6.2m
改良強度：C=350kN/m2

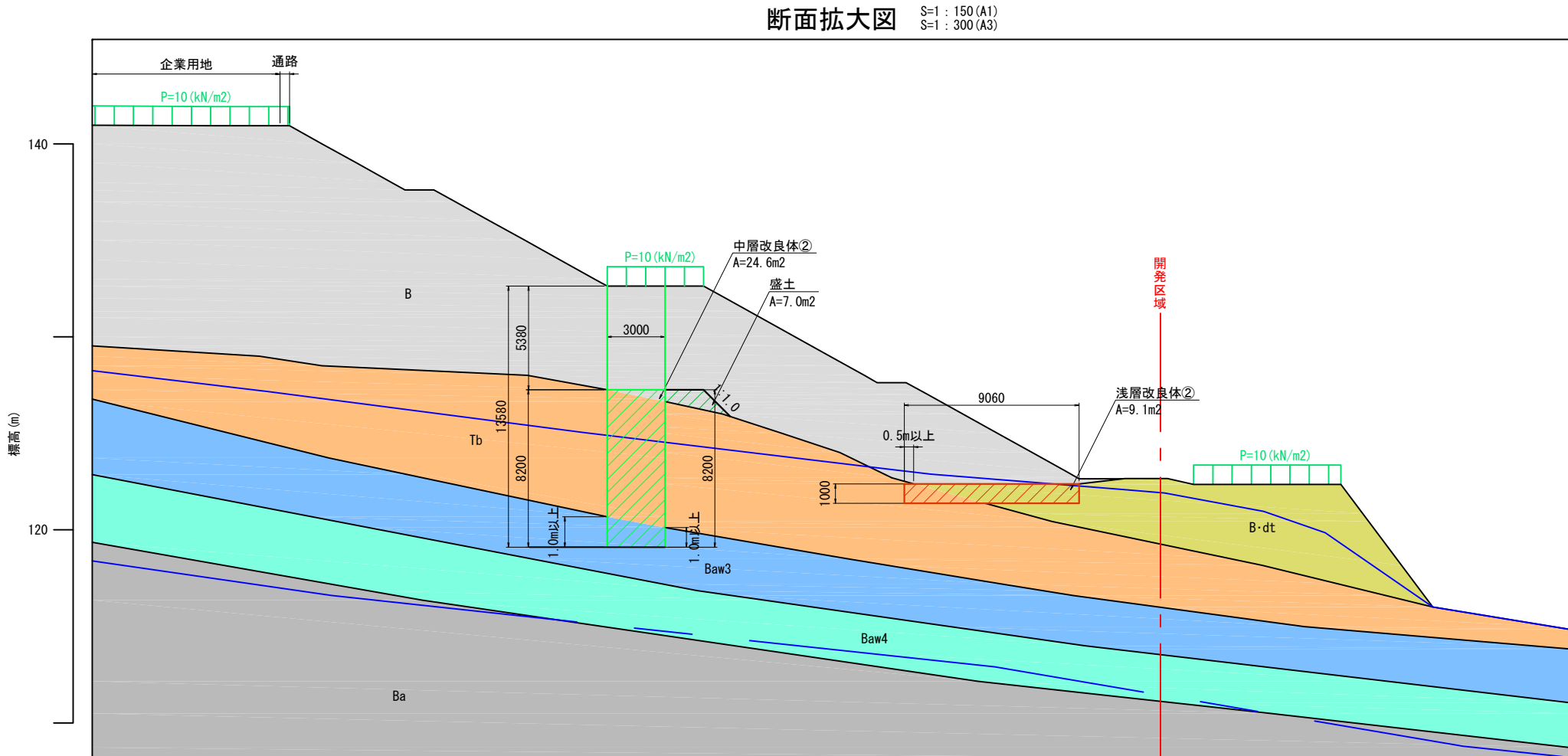
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	地盤改良計画断面図(1)
縮 尺	図 示
図面番号	95
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

地盤改良計画断面図(2
(②断面)



地層名	記号	表示色	単位体積重量 γ_t (kN/m ³)	せん断抵抗角 ϕ (°)	粘着力 c (kN/m ²)
新設盛土	B		19	35	1.5
既設盛土・崩積土	B・dt		17	0	25
強風化凝灰角礫岩	Tb		15	0	80
強風化玄武岩	Baw1		15	0	25
強風化玄武岩	Baw2		17	32	83
強風化玄武岩	Baw3		15	28	52
強風化玄武岩	Baw4		15	28	58
玄武岩	Ba		21	38	170

交通荷重 $P=10\text{ kN/m}^2$



浅層改良体②

法尻部の中層改良を行う

改良対象：既設盛土+崩積土

改良幅 : 9.1m

改良厚さ : 1.0m

改良強度：C=60kN/m²

中層改良体②

GH=132.6m小段下地盤の中層改良を行う

改良対象：強風化凝灰角礫岩(TB)

改良幅 : 3.0m

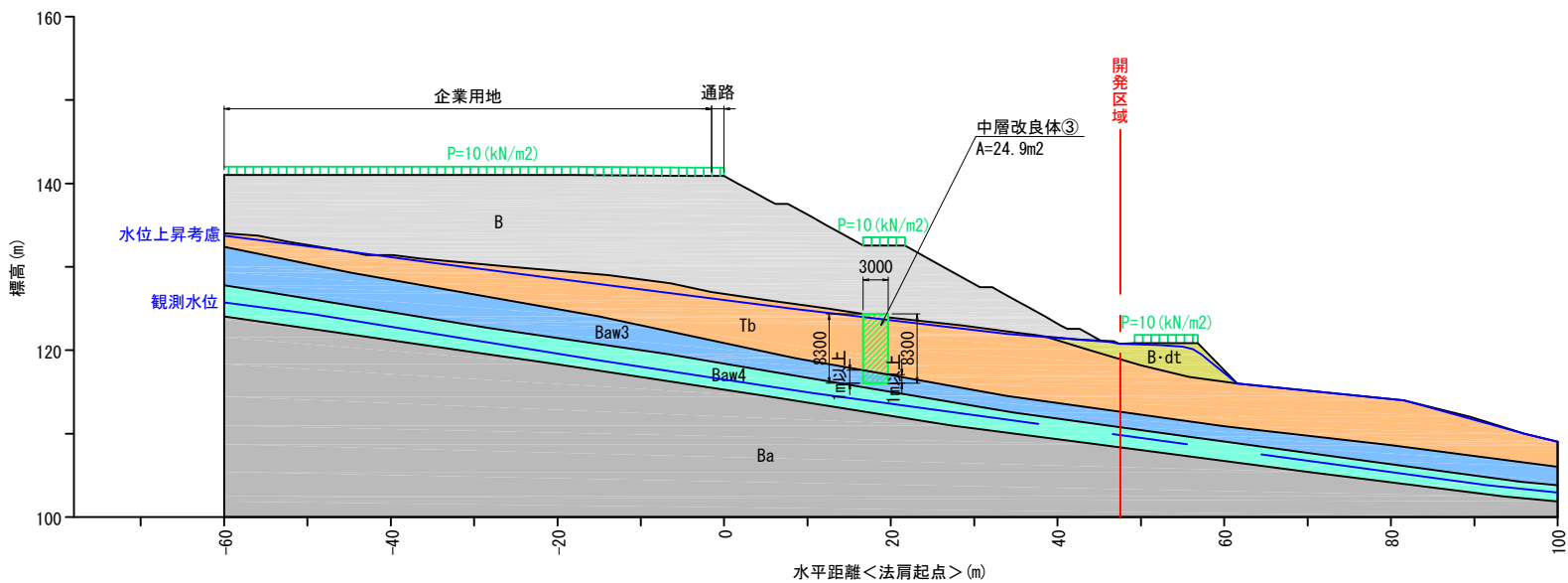
改良深さ : 8.2m

改良強度：C=360kN/m²

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	地盤改良計画断面図(2)
縮 尺	図 示
図面番号	96

地盤改良計画断面図(3)
(③断面)

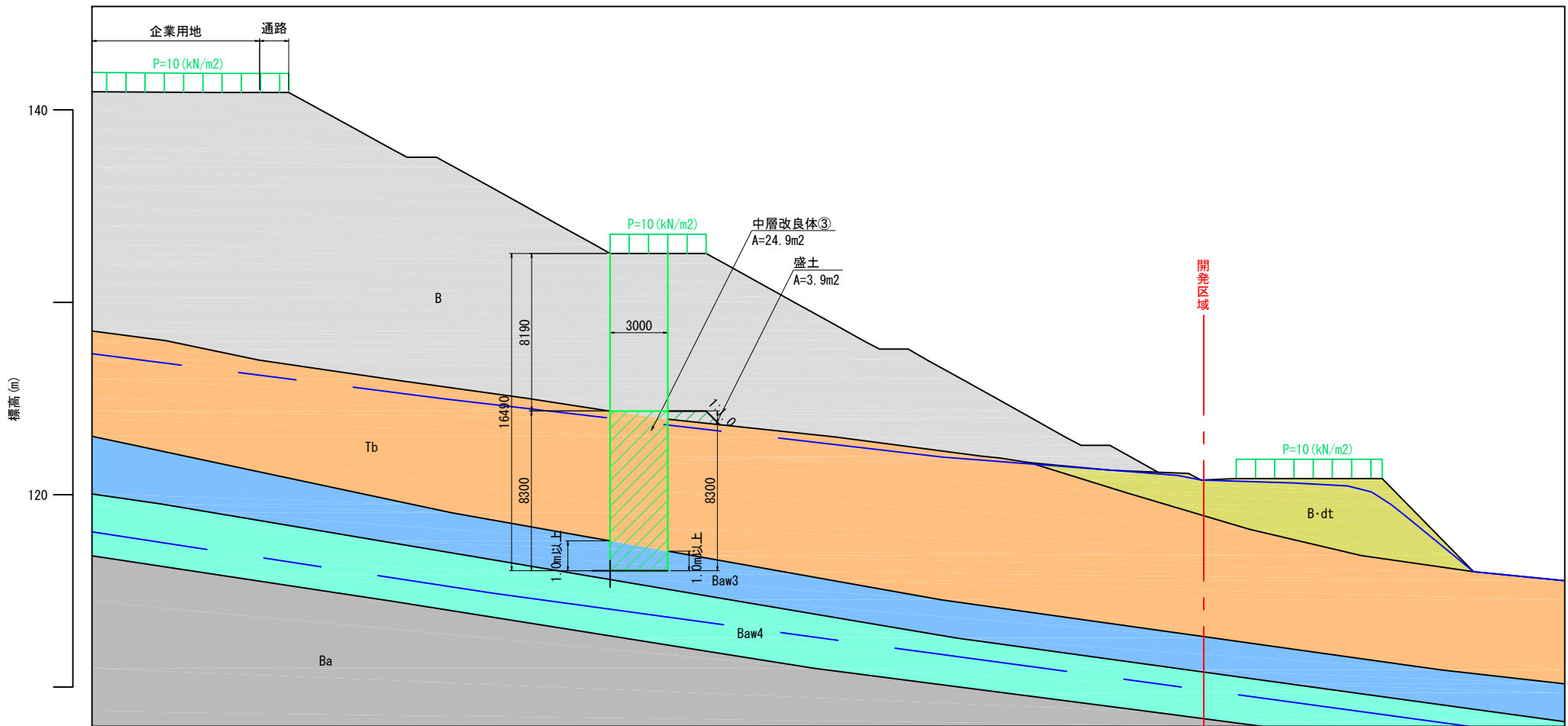
断面図
S=1 : 450 (A1)
S=1 : 900 (A3)



地層名	記号	表示色	単位体積重量 γt (kN/m ³)	セシ断抵抗角 ϕ (°)	粘着力 C (kN/m ²)
新設盛土	B		19	35	1.5
既設盛土・崩積土	B・dt		17	0	25
強風化凝灰角礫岩	Tb		15	0	80
強風化玄武岩	Baw1		15	0	25
強風化玄武岩	Baw2		17	32	83
強風化玄武岩	Baw3		15	28	52
強風化玄武岩	Baw4		15	28	58
玄武岩	Ba		21	38	170

交通荷重P=10 kN/m²

断面拡大図
S=1 : 150 (A1)
S=1 : 300 (A3)

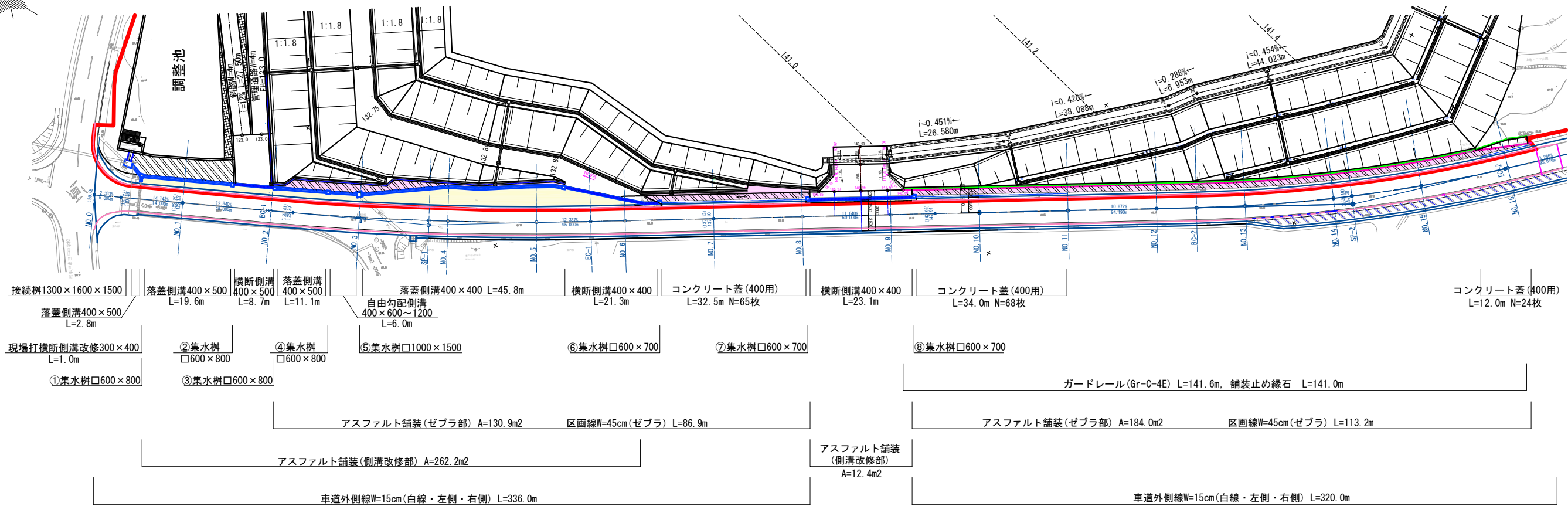


中層改良体③
GH=132.5m小段下地盤の中層改良を行う
改良対象：強風化凝灰角礫岩 (TB)
改良幅：3.0m
改良深さ：8.3m
改良強度：C=780kN/m²

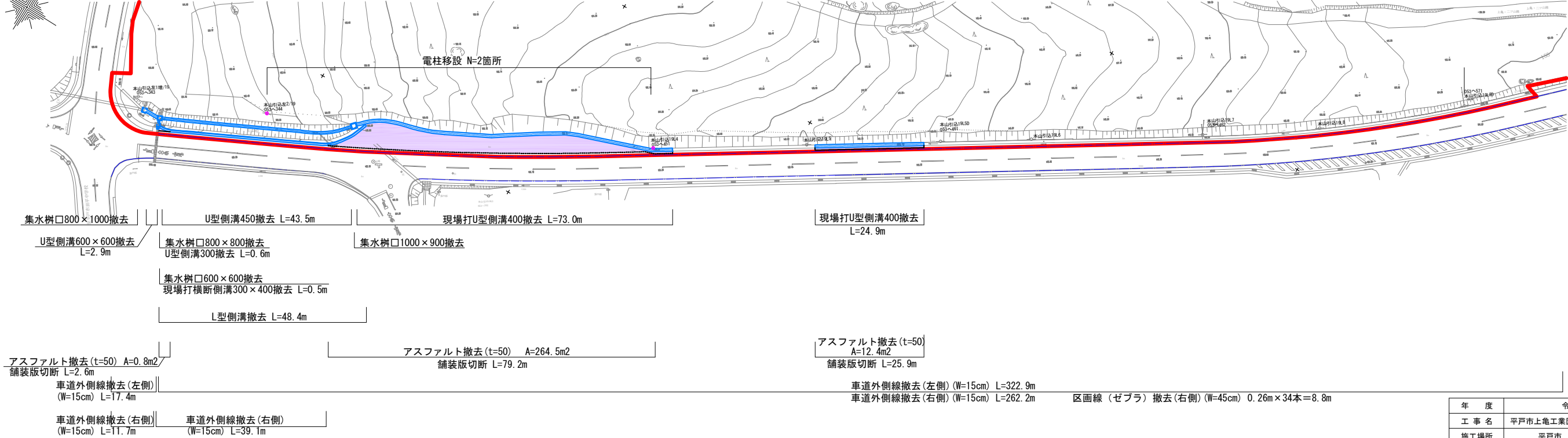
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	地盤改良計画断面図(3)
縮 尺	図 示
図面番号	97
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

市道改修計画図

計画平面図 S=1: 500 (A1)
S=1:1000 (A3)

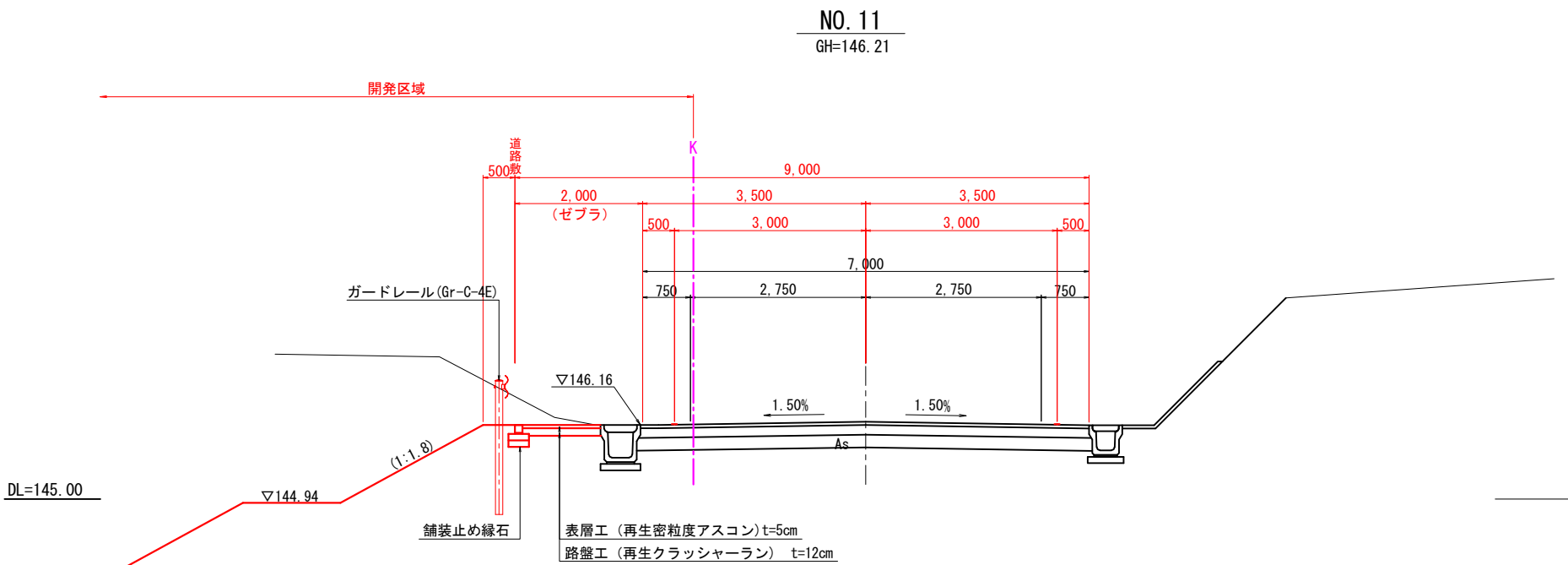
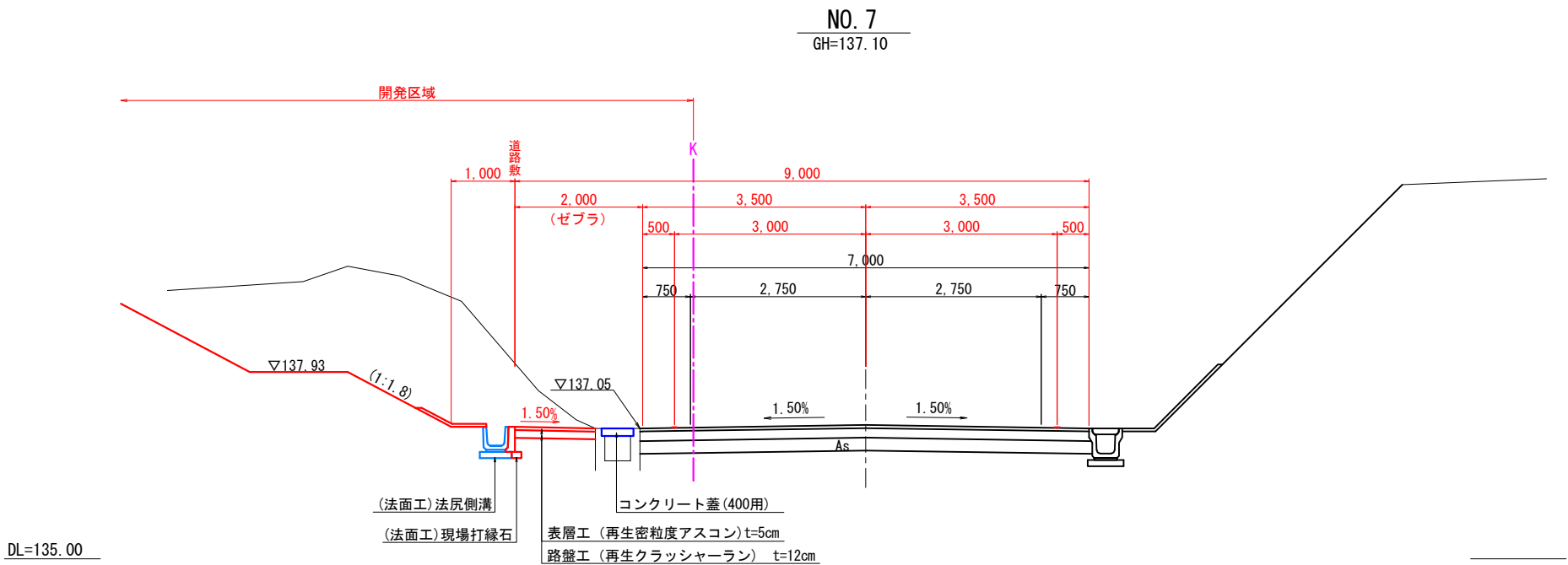


撤去平面図 S=1: 500 (A1)
S=1:1000 (A3)



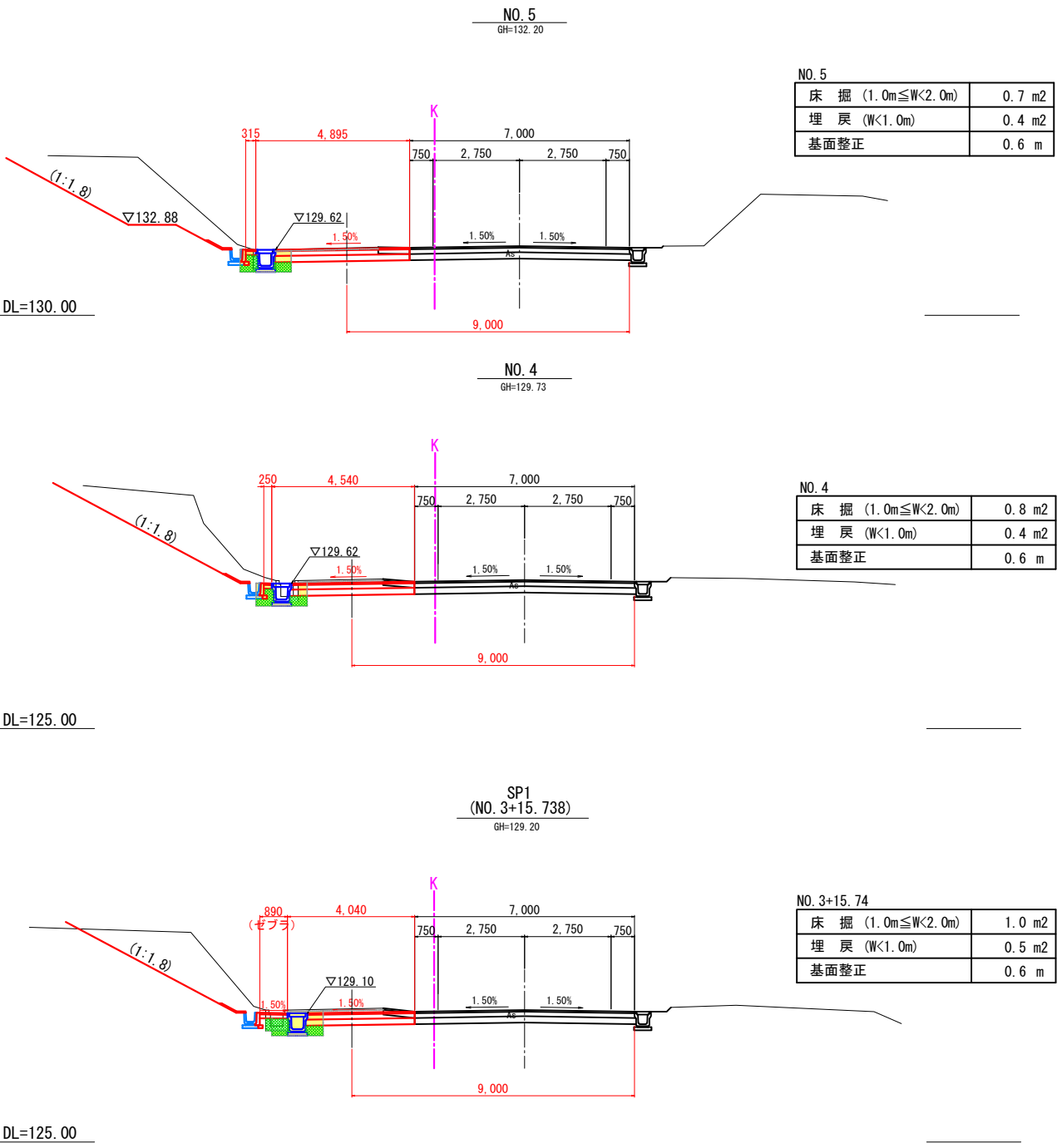
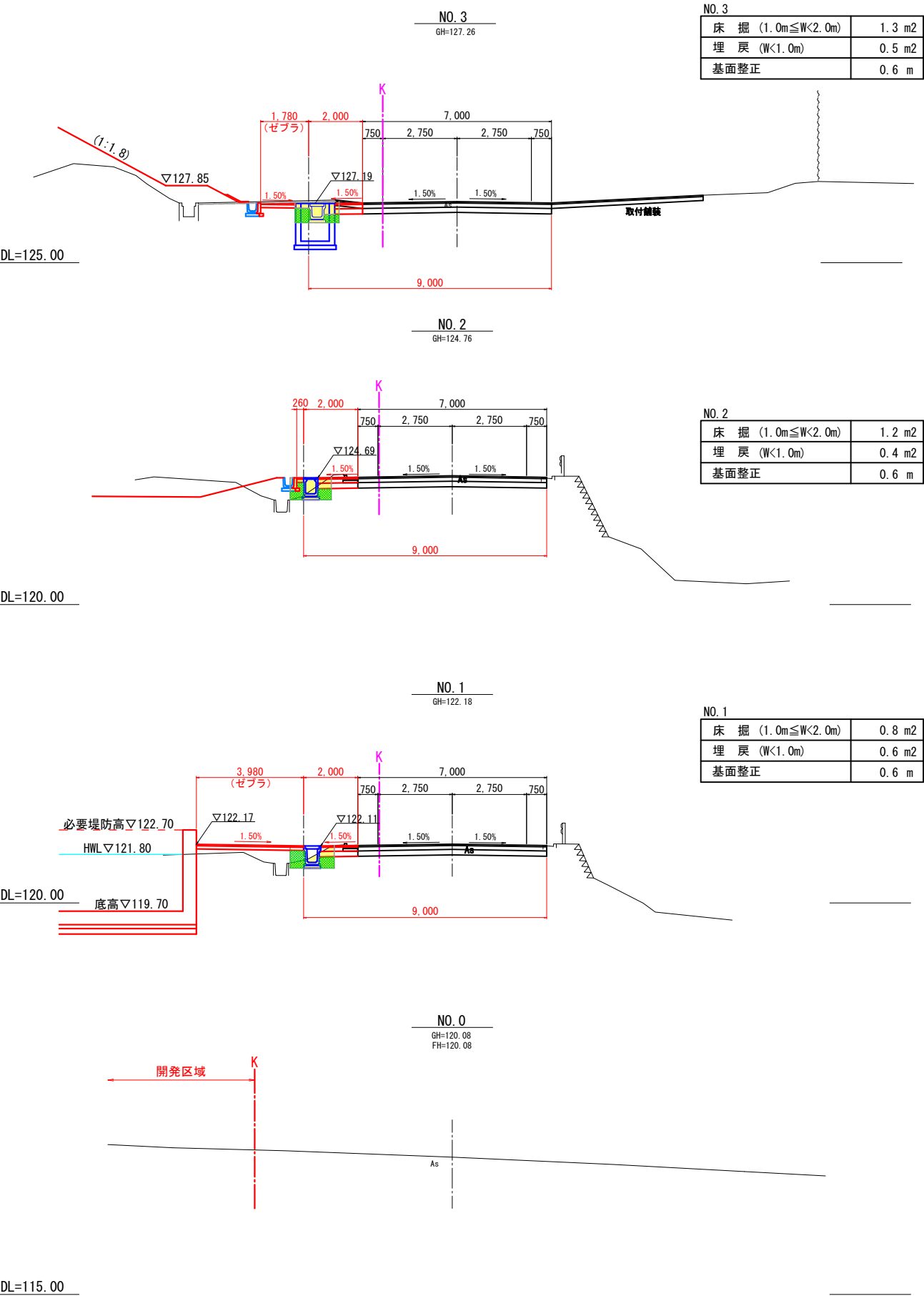
年度	令和7年度
工事名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道改修計画図
縮尺	図示
図面番号	98

市道標準断面図 S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



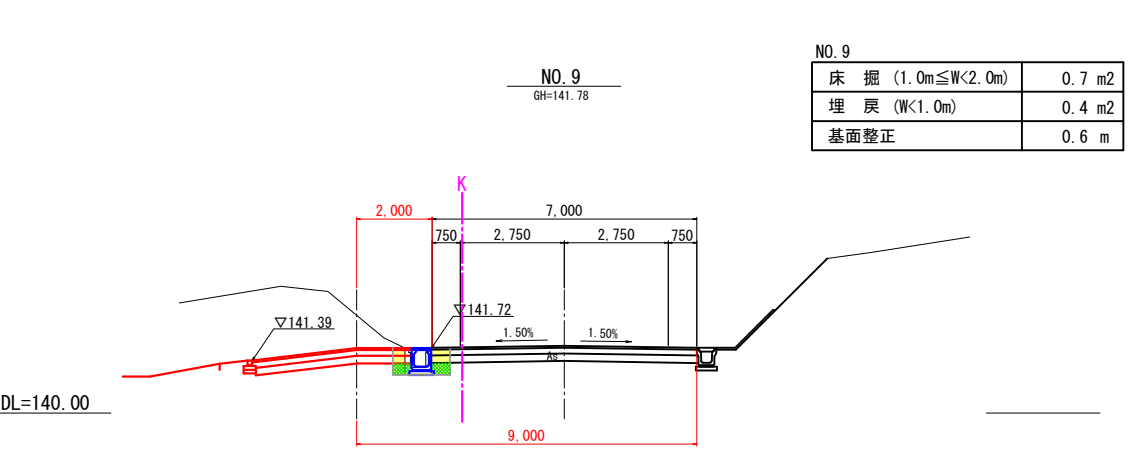
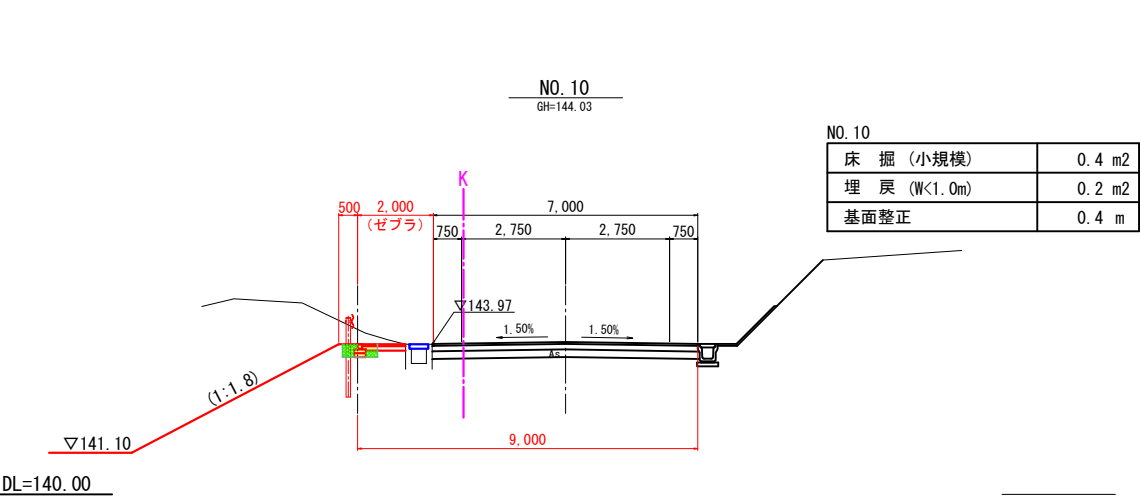
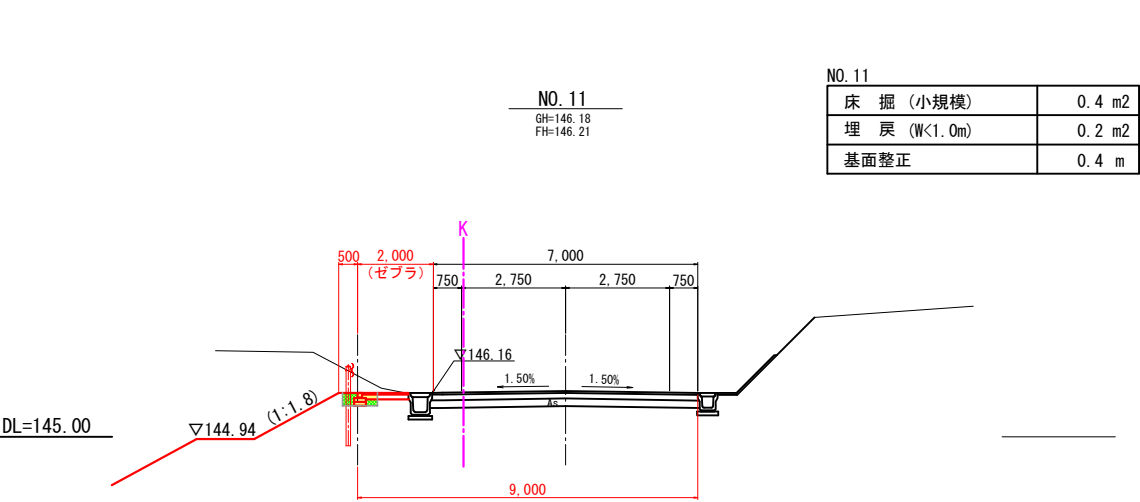
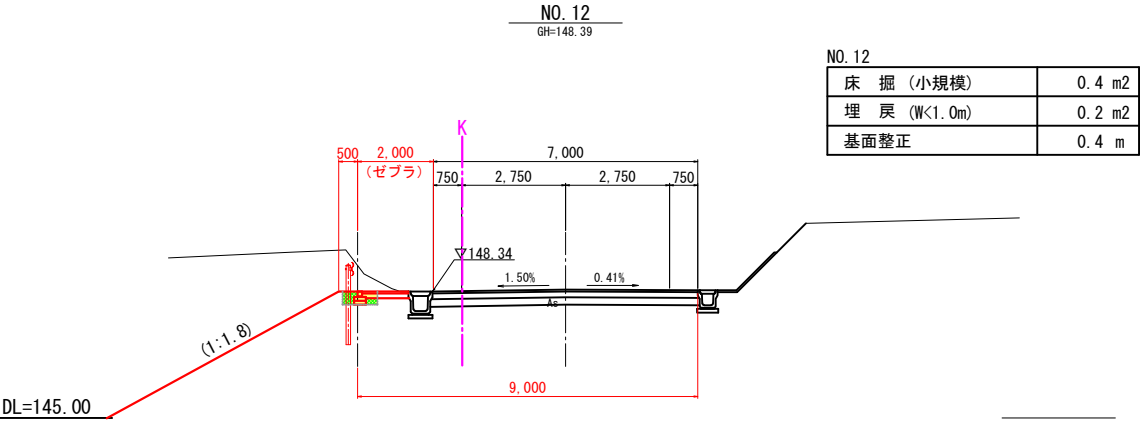
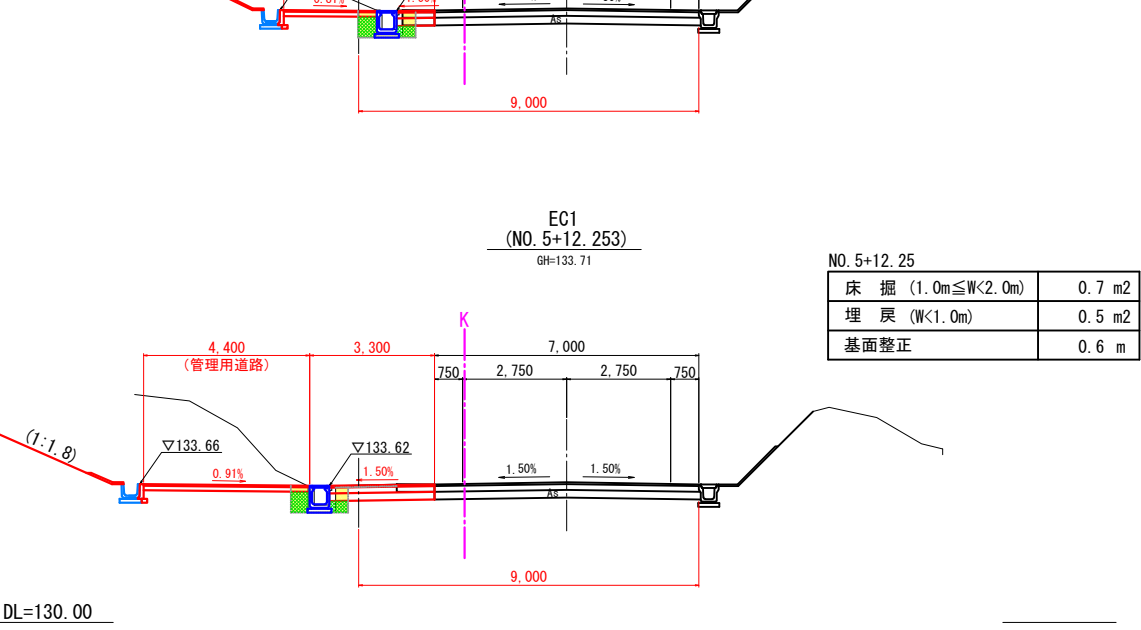
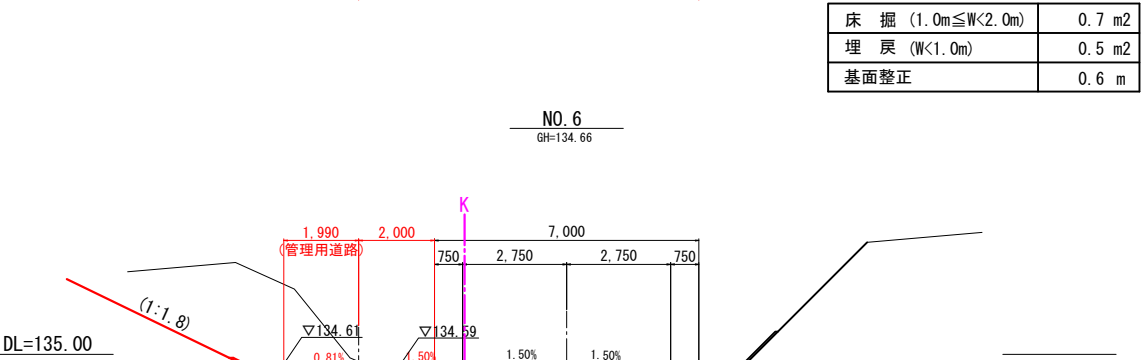
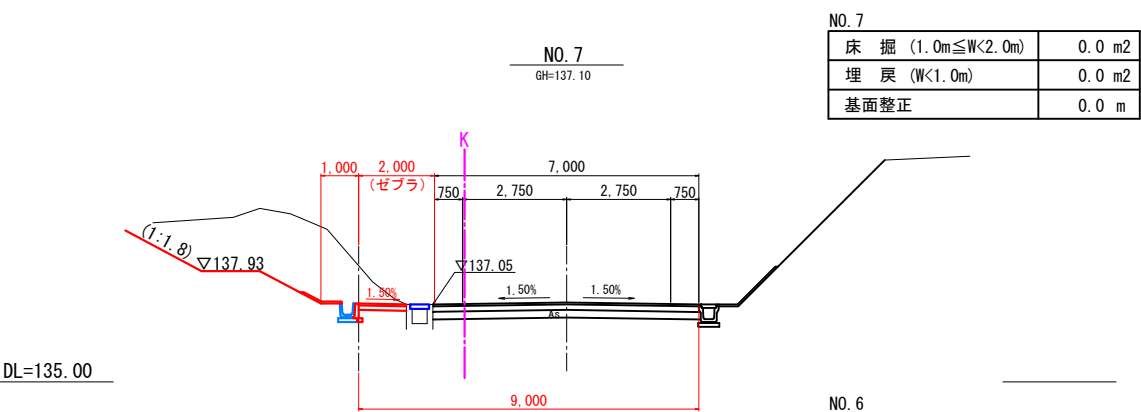
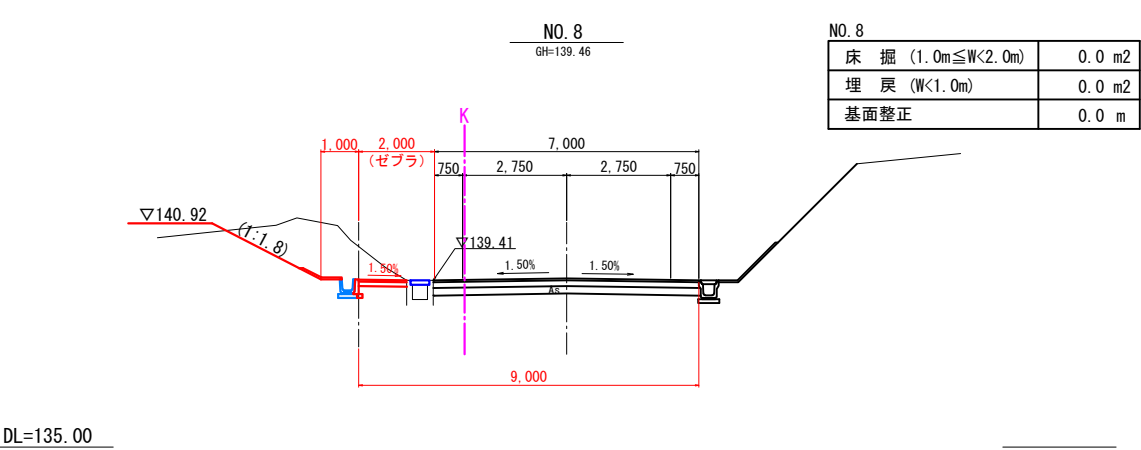
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道標準断面図
縮 尺	A1 : S=1/50 A3 : S=1/100
図面番号	99

市道 山の手線横断図(1) S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



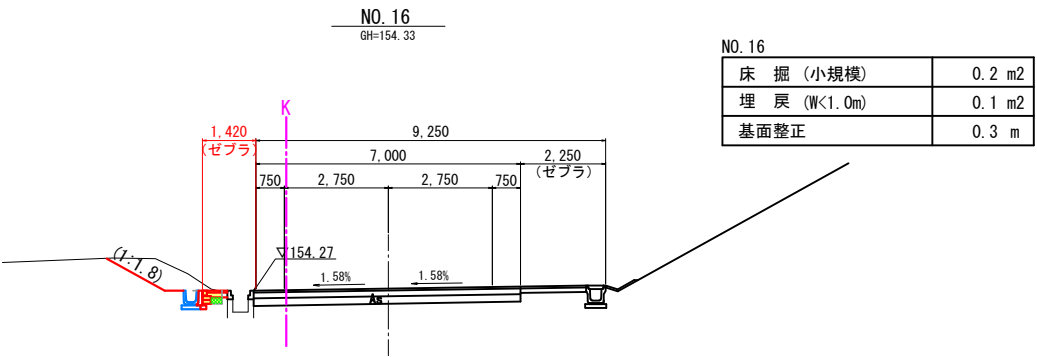
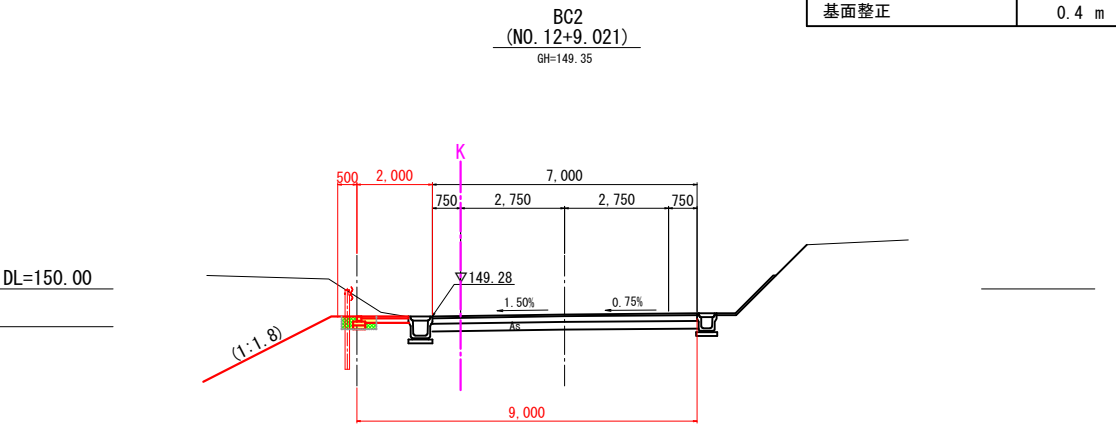
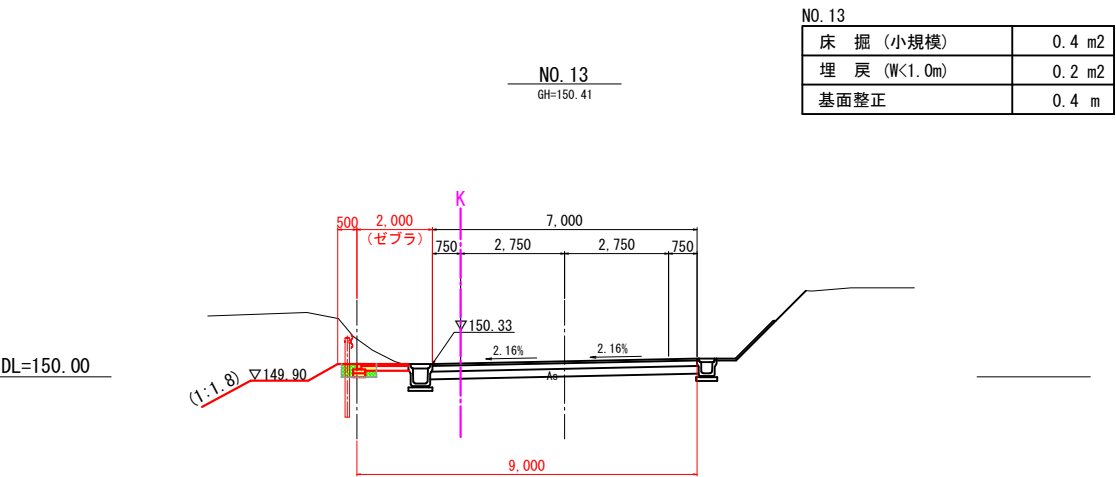
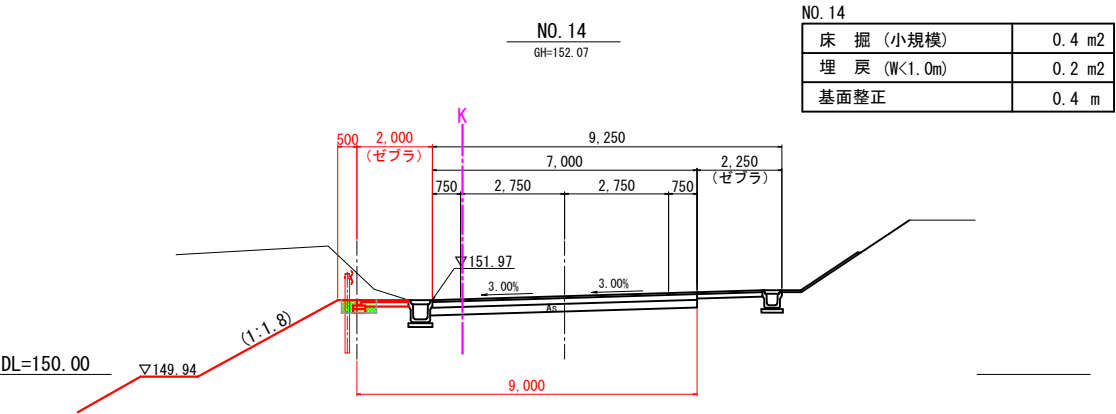
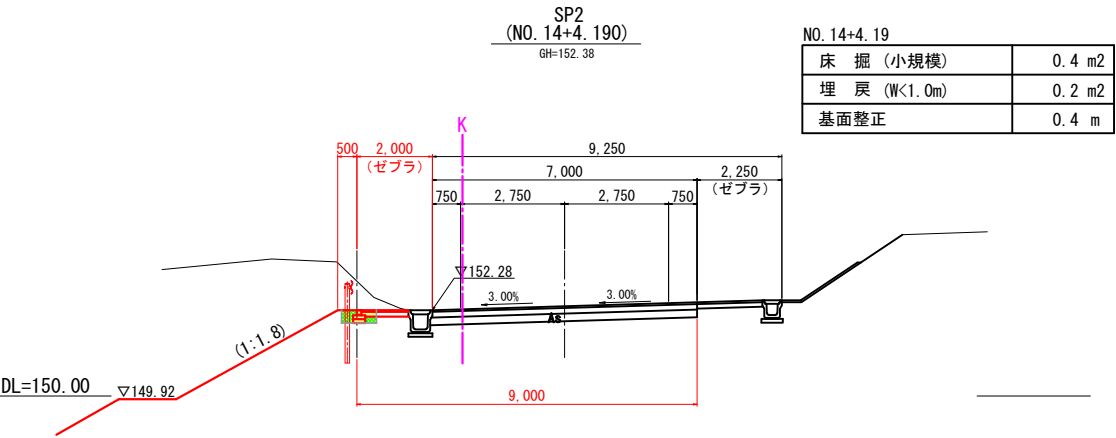
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道 山の手線横断図(1)
縮 尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	100
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

市道 山の手線横断図(2) S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

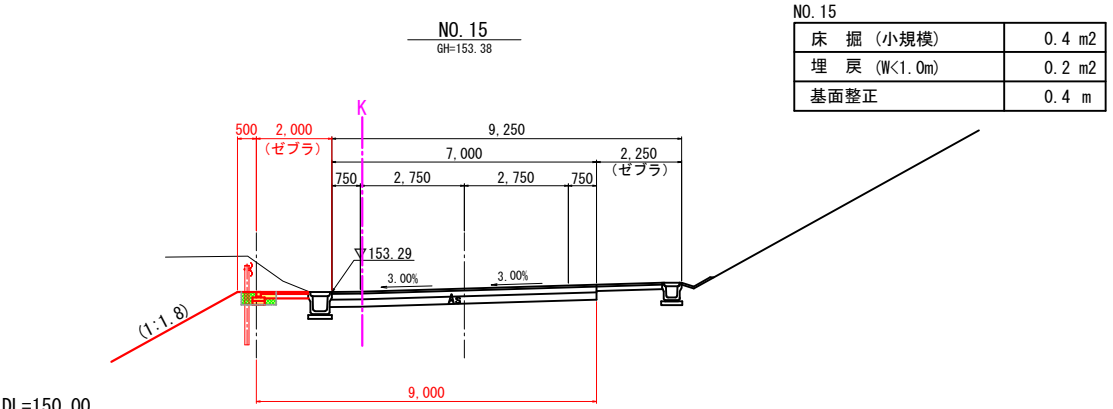


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道 山の手線横断図(2)
縮 尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	101
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

市道 山の手線横断図(3) S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



DL=150.00



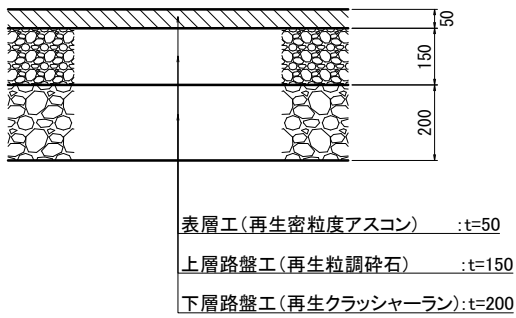
DL=150.00

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道 山の手線横断図(3)
縮 尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	102
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

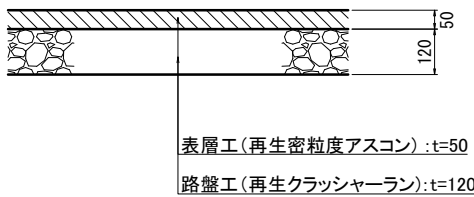
市道施設構造図(1)

アスファルト舗装 S=1:10

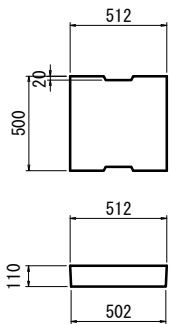
市道部・出入口ロープ部



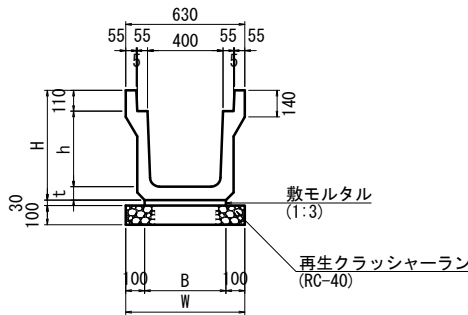
ゼブラ部



コンクリート蓋版(400用) S=1:20

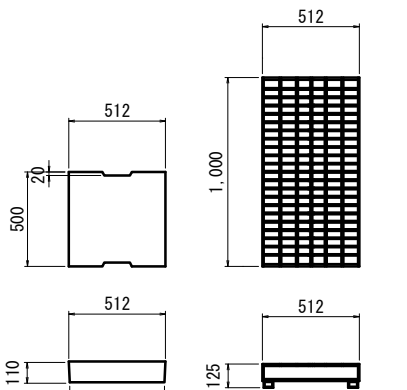


落蓋側溝400 S=1:20



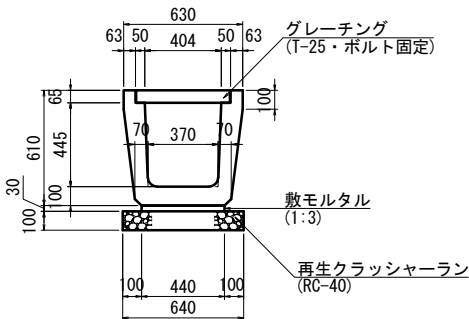
寸法表 (2m当り)						
呼び名	H	h	t	B	W	参考重量(kg)
400×400	580	400	70	430	630	519
400×500	690	500	80	440	640	648

コンクリート蓋 グレーチング蓋

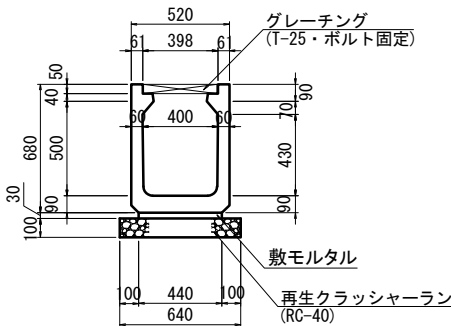


※10mにつき1箇所設置。

横断側溝400×400 S=1:20



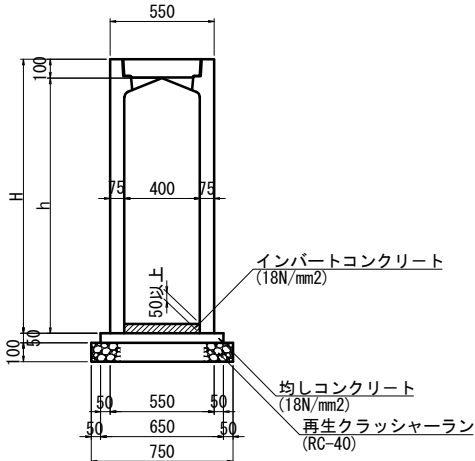
横断側溝400×500 S=1:20



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道施設構造図(1)
縮 尺	図 示
図面番号	103
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

市道施設構造図(2)

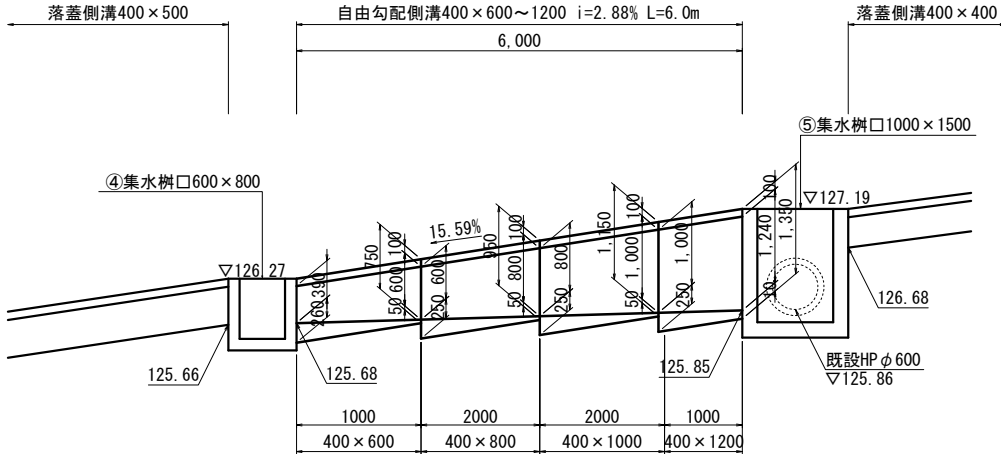
自由勾配側溝400 S=1:20



寸法表 (2m当り)

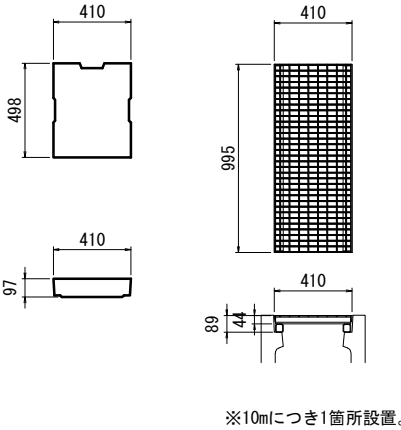
呼び名	H	h	参考重量 (kg)
400 × 600	750	650	701
400 × 800	950	850	848
400 × 1000	1150	1050	995
400 × 1200	1350	1250	1142

自由勾配側溝展開図 S=1: 50 (A1)
S=1: 100 (A3)

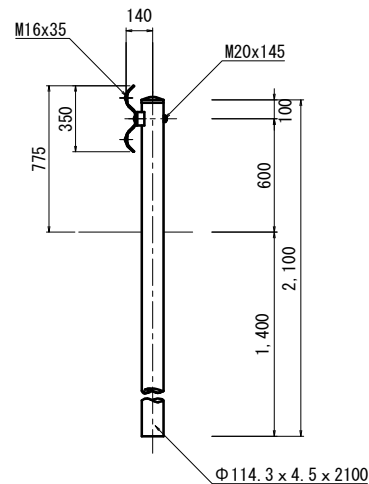
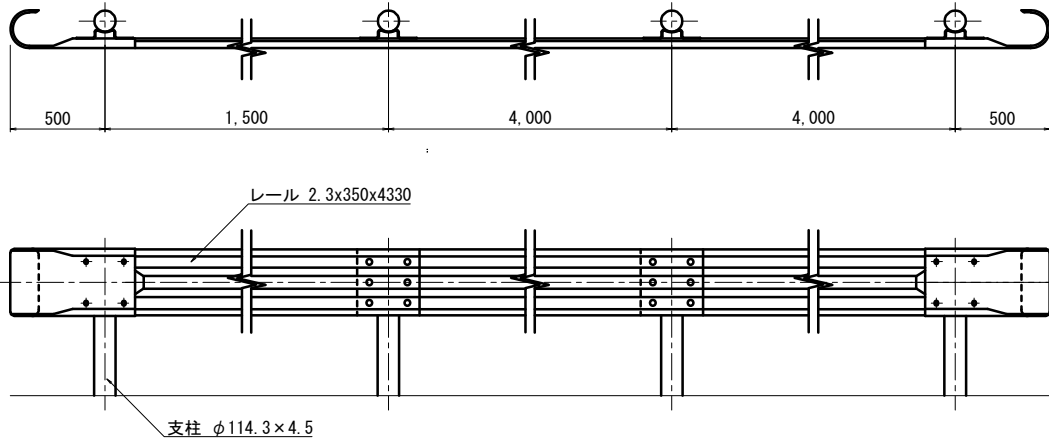


ガードレール S=1:20
Gr-C-4E

コンクリート蓋 グレーチング蓋



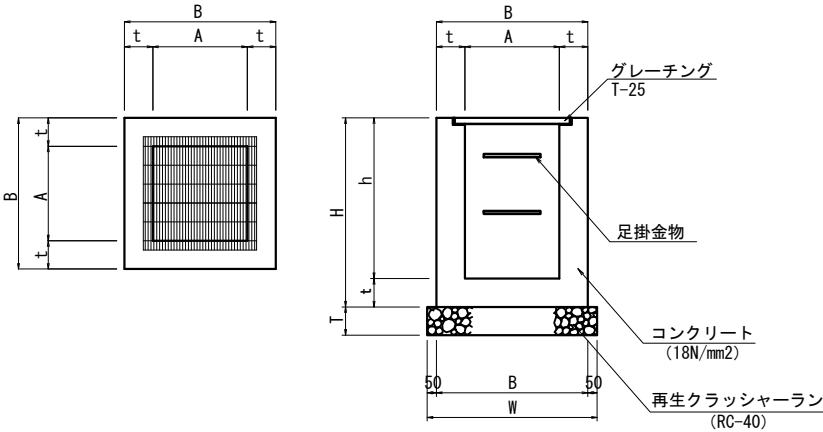
ガードレール S=1:20
Gr-C-4E



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道施設構造図(2)
縮 尺	図 示
図面番号	104
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

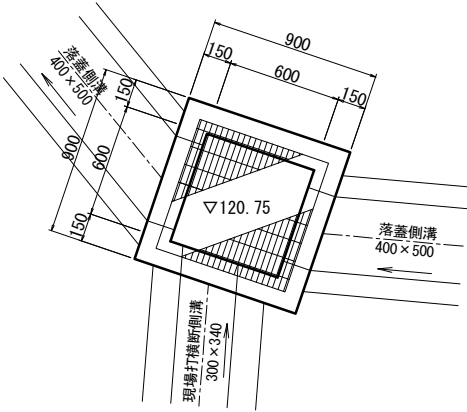
市道施設構造図(3)

集水枳 S=1:20

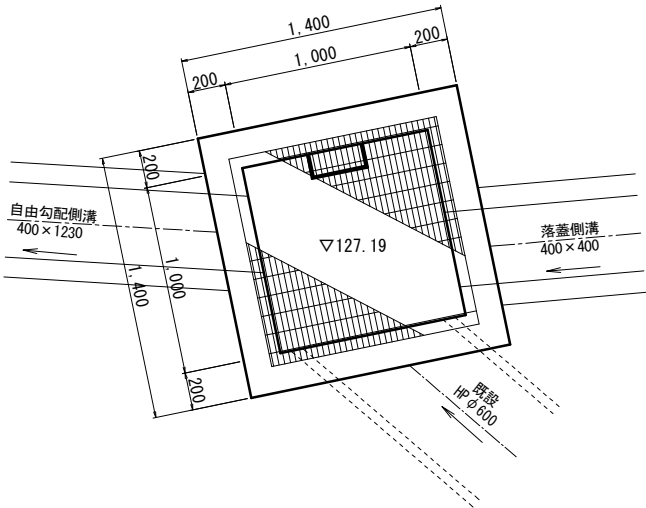


※内空高が1.0m以上の場合に、足掛金物を設置すること。

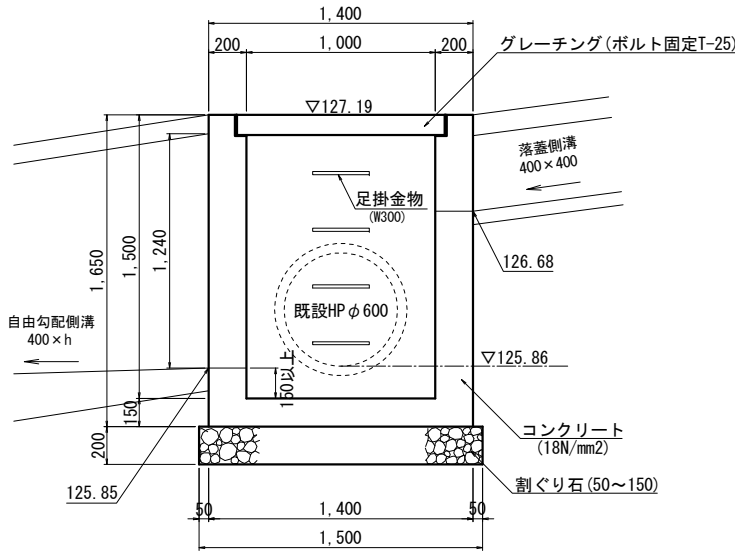
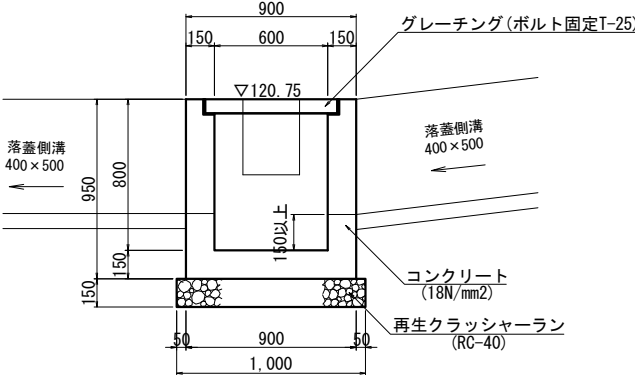
集水枳① S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



集水枳⑤ S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



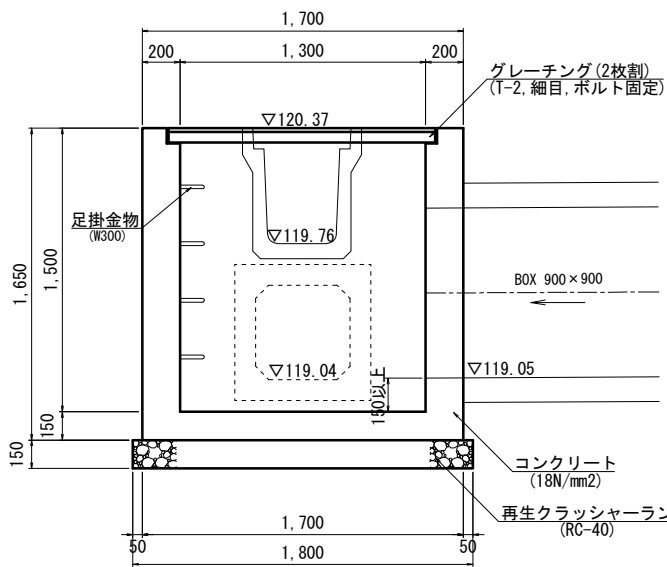
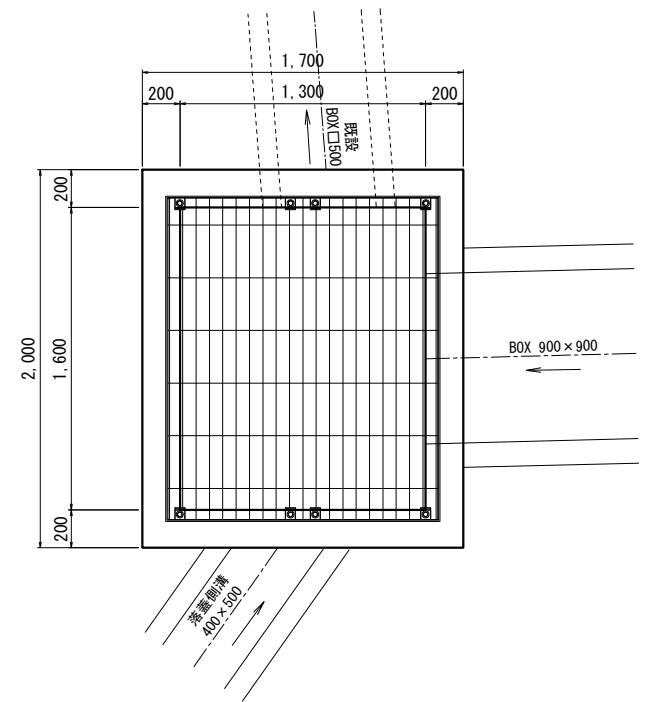
種 別	A	t	B	h	H	W	グレーチング	参考重量 (kg/組)	上流断面	下流断面
①	600	150	900	800	950	1000	700×700×75	67.4	300×340 400×500	400×500
②	600	150	900	800	950	1000	700×700×75	67.4	400×500	400×500
③	600	150	900	800	950	1000	700×700×75	67.4	400×500	400×500
④	600	150	900	800	950	1000	700×700×75	67.4	400×480	400×500
⑤	1000	150	1400	1500	1650	1500	(537+556)×1100×100	172.0	Φ600 400×400	400×1230
⑥	600	150	900	700	850	1000	700×700×75	67.4	400×400	400×400
⑦	600	150	900	700	850	1000	700×700×75	67.4	400×400	400×400
⑧	600	150	900	700	850	1000	700×700×75	67.4	400×400	400×400



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道施設構造図(3)
縮 尺	図 示
図面番号	105
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

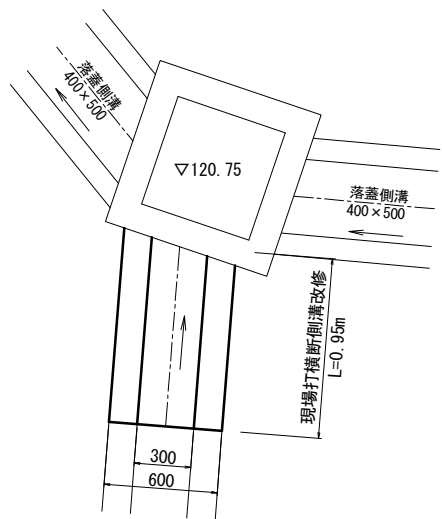
市道施設構造図(4)

接続柵 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

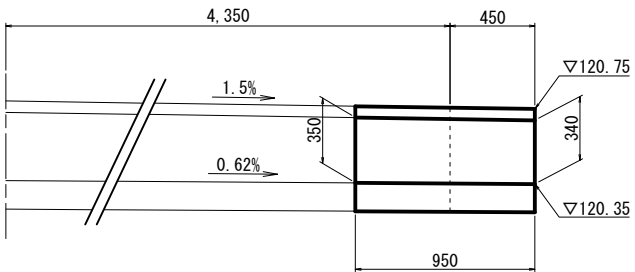


現場打横断側溝改修

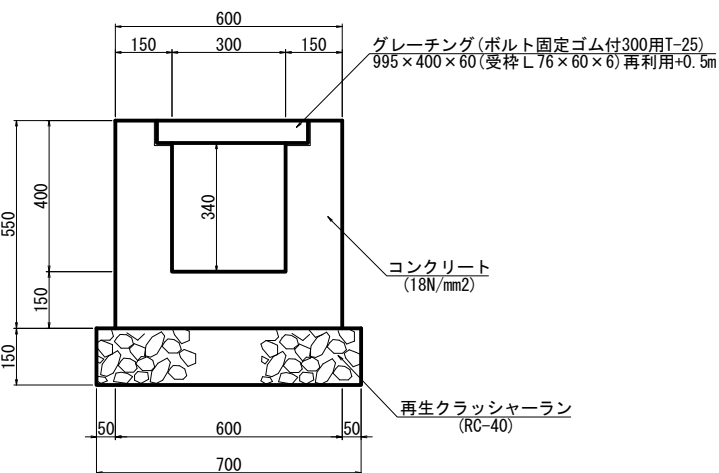
平面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



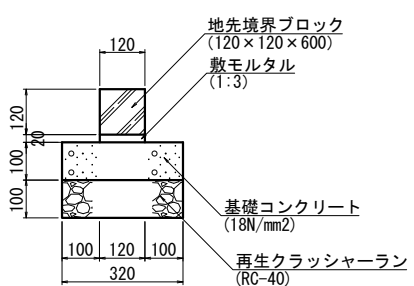
側面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



断面図 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



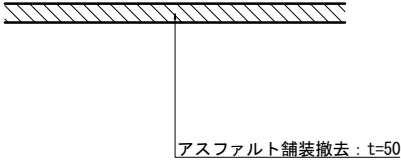
舗装止め縁石 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



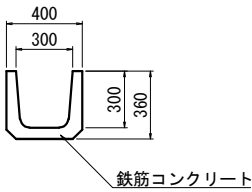
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道施設構造図(4)
縮 尺	図 示
図面番号	106
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

市道撤去構造図

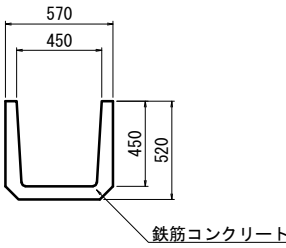
アスファルト舗装 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



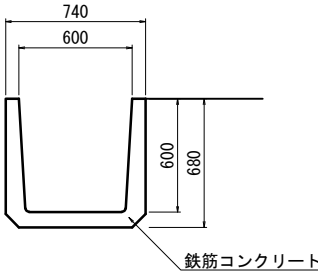
U型側溝300 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



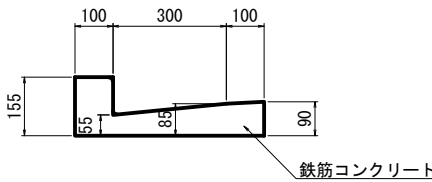
U型側溝450 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



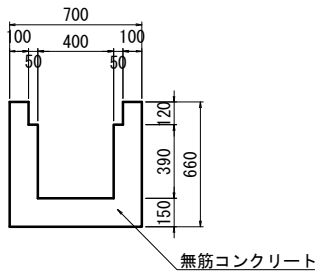
U型側溝600 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



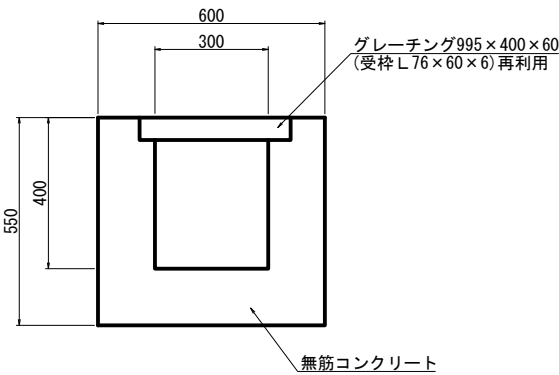
L型側溝 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



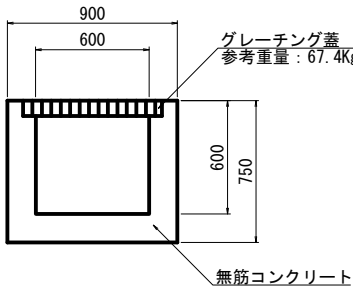
現場打U型側溝400 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



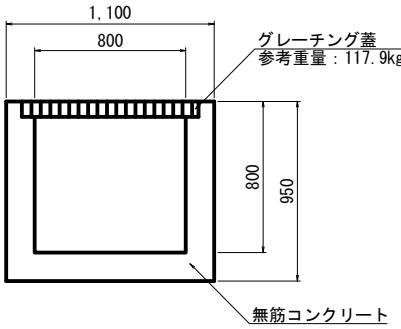
現場打横断側溝 S=1:10 (A1)
S=1:20 (A3)



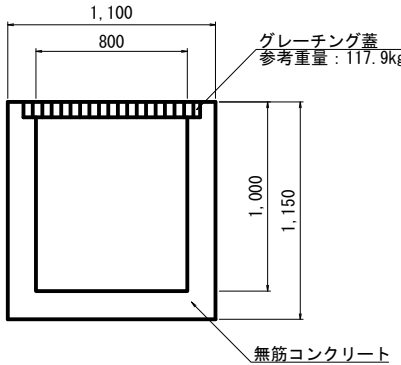
集水桝 口600×600 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



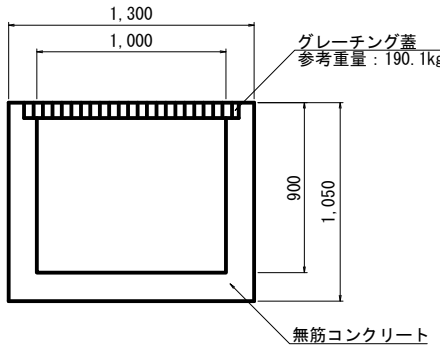
集水桝 口800×800 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



集水桝 口800×1000 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



集水桝 口1000×900 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

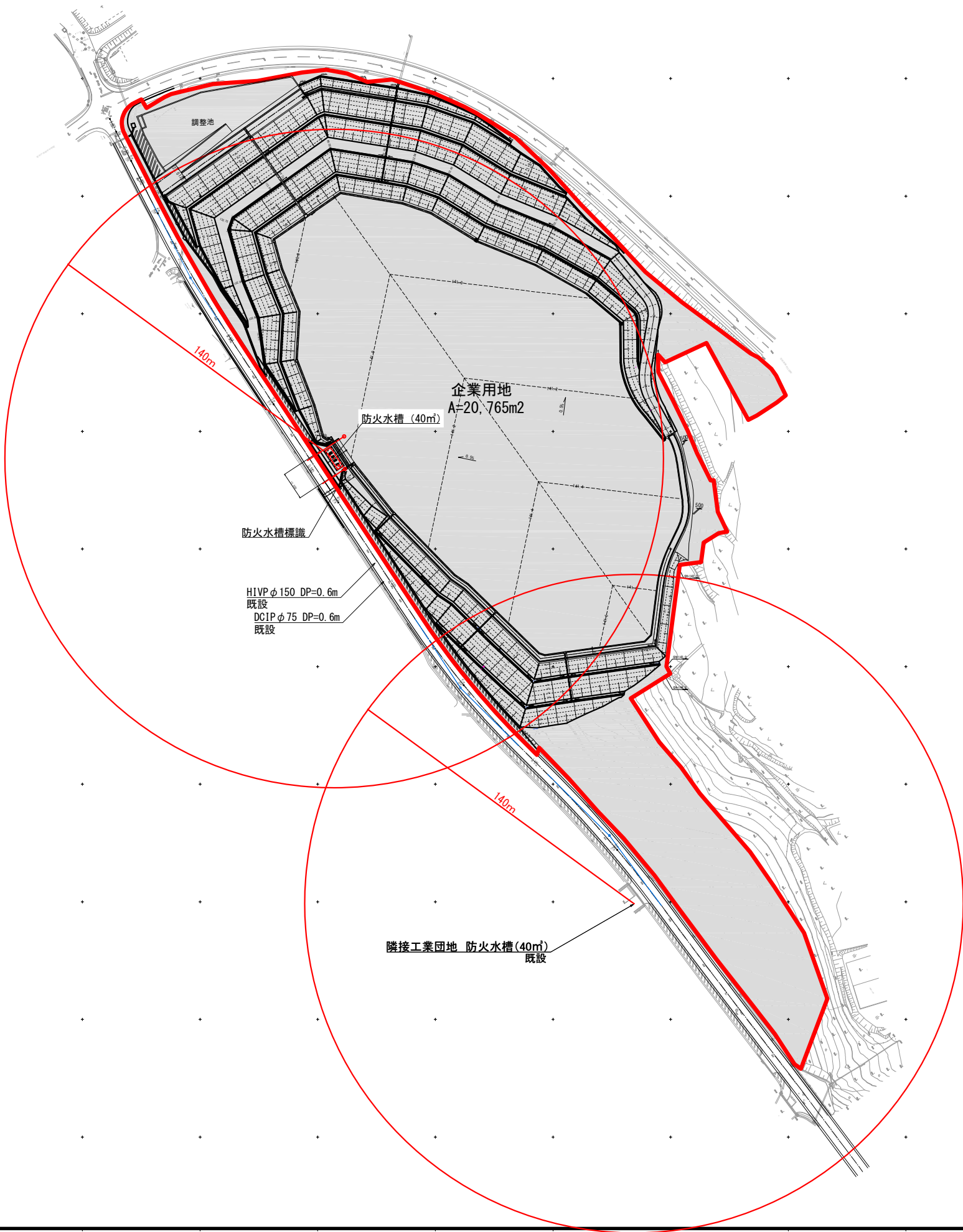


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	市道撤去構造図
縮 尺	図 示
図面番号	107
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

消防水利計画平面図

S=1 : 1,000 (A1)

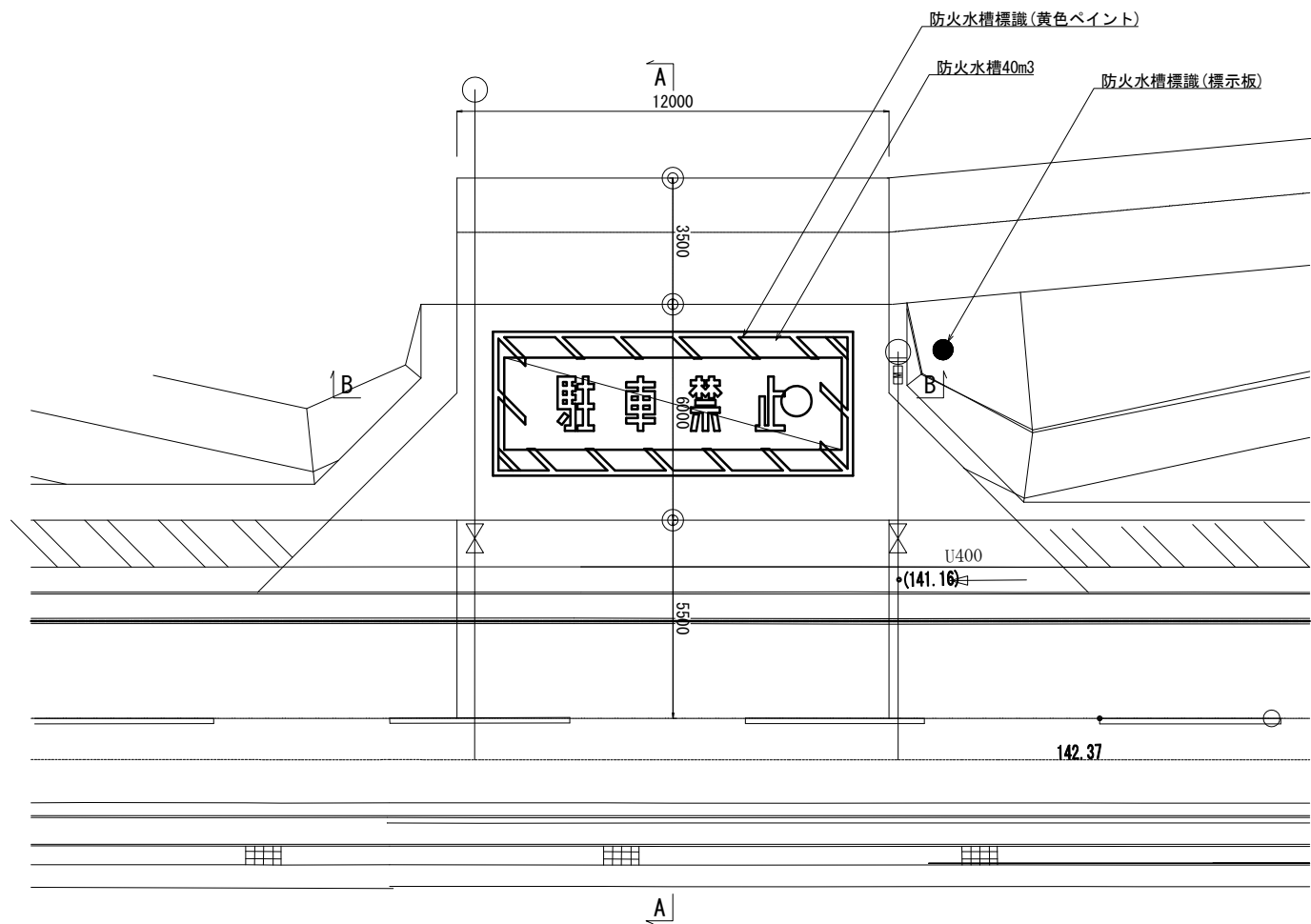
S=1 : 2,000 (A3)



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	消防水利計画平面図
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	108
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

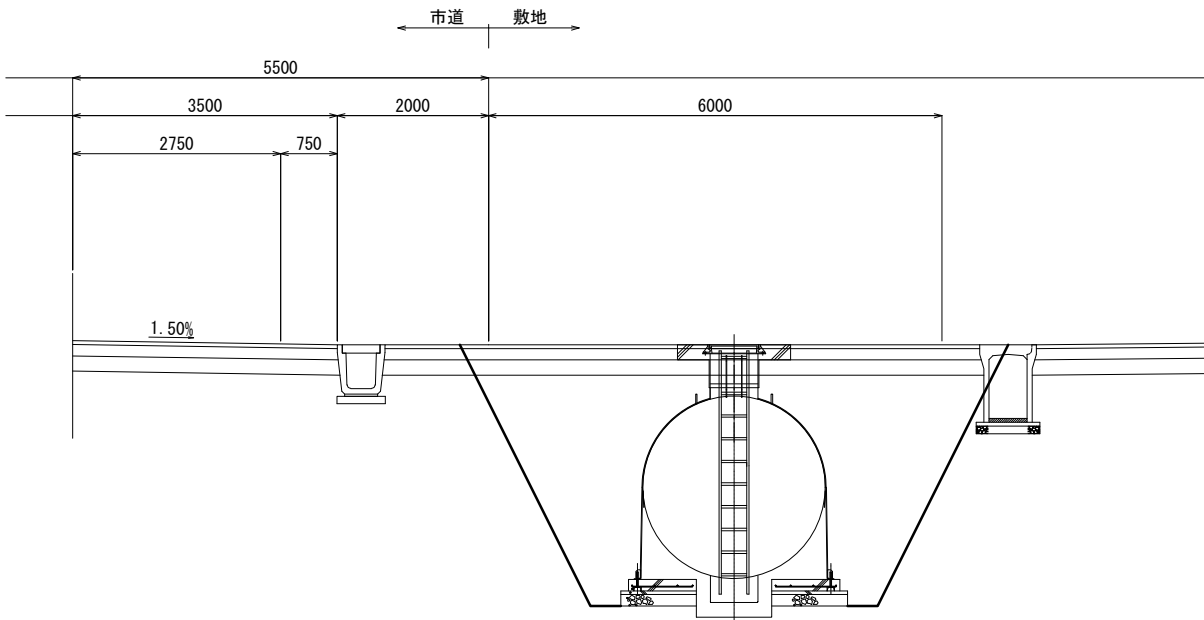
消防水利施設構造図(1)

平面図 S=1:100 (A1) 1:200 (A3)

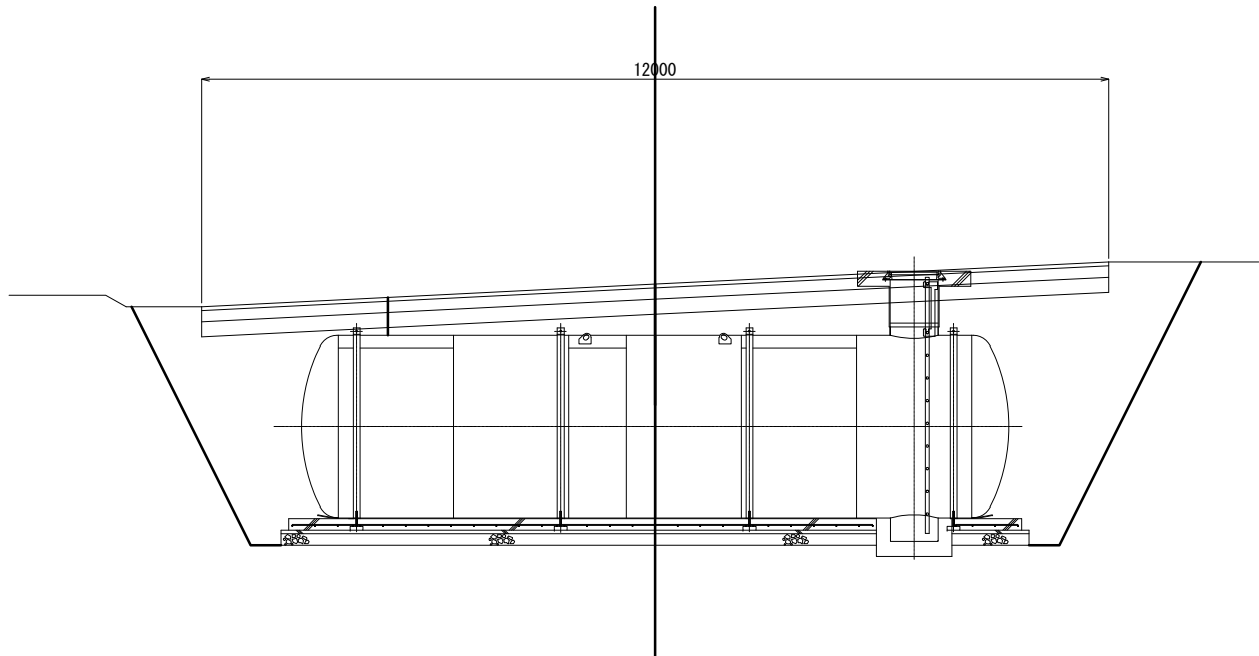


断面図 S=1:50 (A1) 1:100 (A3)

A-A断面



B-B断面



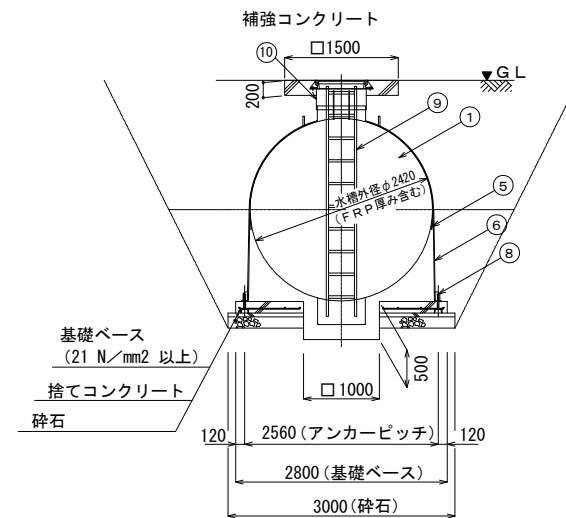
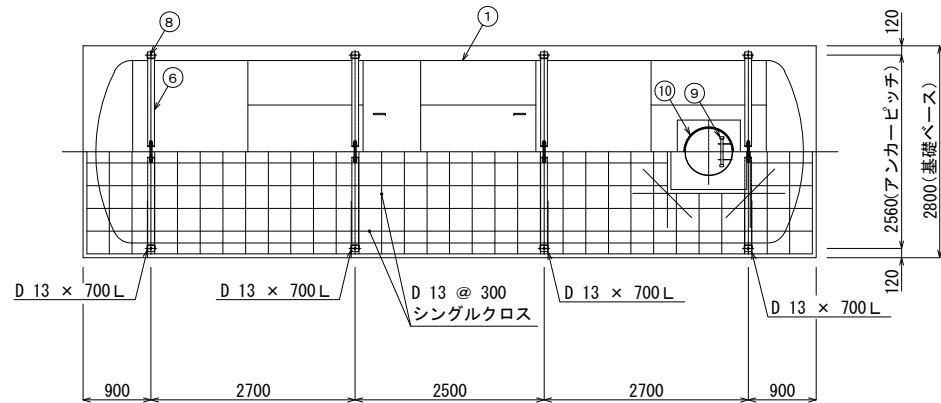
種 別	規 格
型式記号	FSF415
設置場所区分	Ⅲ型
土被り	0.35~1.5 m(Ⅲ型)
水槽容量	40.0 m3

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	消防水利施設構造図(1)
縮 尺	図 示
図面番号	109
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

消防水利施設構造図(2)
(参考図)

防火水槽

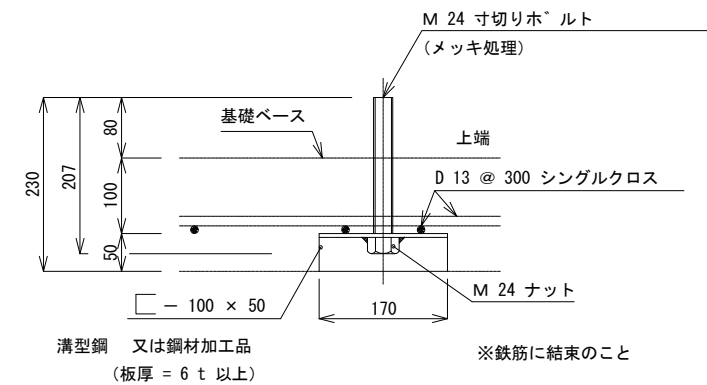
S=1:50 (A1) 1:100 (A3)



アンカーボルト詳細図

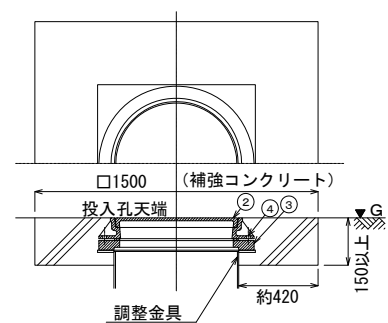
S=1:5 (A1) 1:10 (A3)

本紙使用条件（標準仕様）	
土被り (m)	地下水位 (m)
0.35	0.35 以上
0.4	0.30 以上
0.5	0.15 以上
0.6	0.05 以上
0.7	0 以上
0.8	0 以上
0.9	0 以上
1.0	0 以上
1.1	0 以上
1.2	0 以上
1.3	0 以上
1.4	0 以上
1.5	0 以上

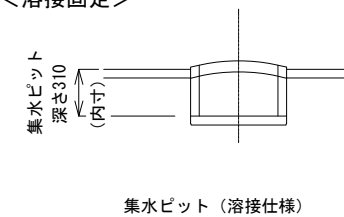


補強コンクリート部断面詳細
(マンホール受け有仕様 参考図)

S=1:20 (A1) 1:40 (A3)



＜溶接固定＞



寸法は部品図419-053参照の事
※縮尺：FREE

※埋設深さは、各行政機関等の打合せにより決定すること。

※マンホール種類、天端レベル、補強コンクリートは打合せにより決定すること。

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	消防水利施設構造図(2)
縮 尺	図 示
図面番号	110
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

(参考図)

補強リング切欠き詳細図

① 補強リング
125幅 × t 9 (又は t 8)
R50 (切欠き)

② 主 体
厚さ 130
R50 (50 - 130)
内面
外面

※塗装仕様の場合は全周溶接とする

① 又は ②

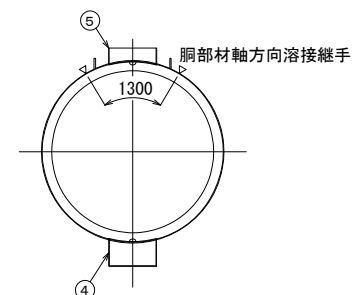
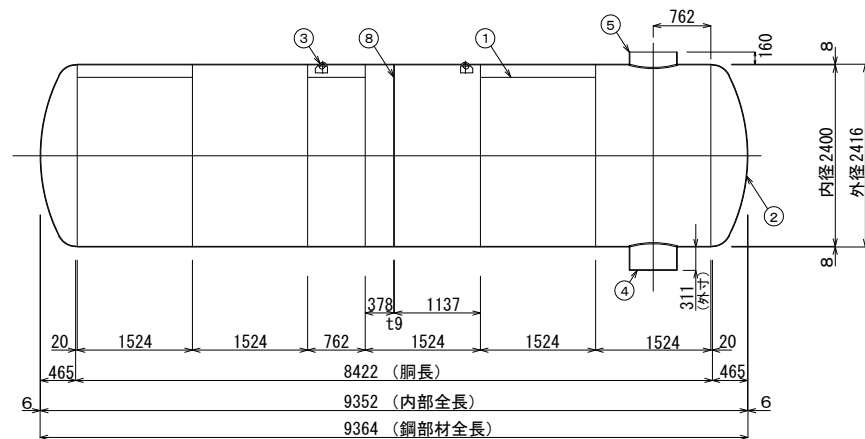
② 又は t 8

補強リング溶接部

① 40 (42)
② 4 (40)

縮尺：FREE

S=1 : 50 (A1) 1 : 100 (A3)



年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上龜工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平 戸 市 田 平 町 上 亀 免
図面種類	消防水施設構造図(3)
縮 尺	図 示
図面番号	111
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

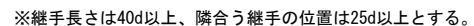
(参考図)

S=1:50 (A1) 1:100 (A3)



Technical drawing of a cross-section of a road structure. The drawing shows a road surface with a centerline, a shoulder, and a drainage ditch. The road surface is 8279 units wide. The shoulder is 1421 units wide. The drainage ditch is 1000 units wide. The total width of the road structure is 9700 units (base). The total width of the road structure including the drainage ditch is 9900 units (gravel). The drawing also shows the vertical dimensions of the road structure: 100 units for the road surface, 150 units for the shoulder, and 50 units for the drainage ditch.

※縮尺：FREE



基礎ベース
(21 N/mm² 以上)

捨てコンクリート

砕石

120

2560 (アンカーピッチ)

120

1000

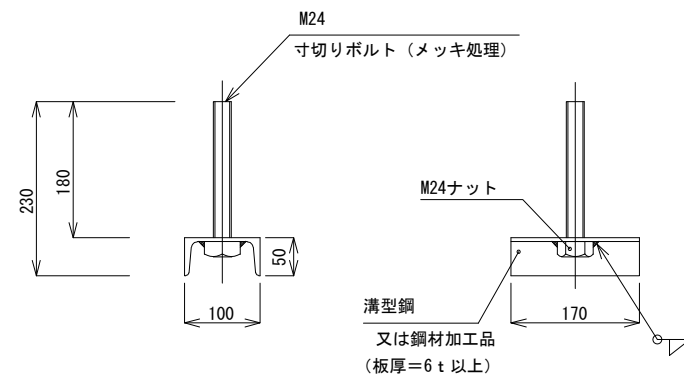
500

2800 (基礎ベース)

3000 (砕石)

S=1:10 (A3)

※鉄筋に結束のこと



Technical drawing of a rectangular traffic sign. The sign has a white background with a black border. The text "駐車禁止" (No Parking) is written in large, bold, black Japanese characters. To the right of the text is a small circle. The sign is mounted on a post. Dimensions are indicated: the sign's width is 1000, its height is 4000, and the mounting post diameter is 150. A label "黄色焼付塗装 (W=150)" points to the sign's surface.

S=1 : 40 (A3)

Technical drawing of a fire alarm signpost. The signpost consists of a circular sign at the top with the text "FIRE CISTERN" and "防火水そう" (Fire Water Tank). Below the sign is a vertical pole with a reflective tape (反射テープ) and a concrete sleeve (コンクリート). The pole is anchored into a base (基礎材) with anchor bolts (アンカー鋼). Dimensions are provided for the sign (600mm diameter), pole (2400mm total height, 1800mm sleeve height), and base (810mm width, 135mm height).

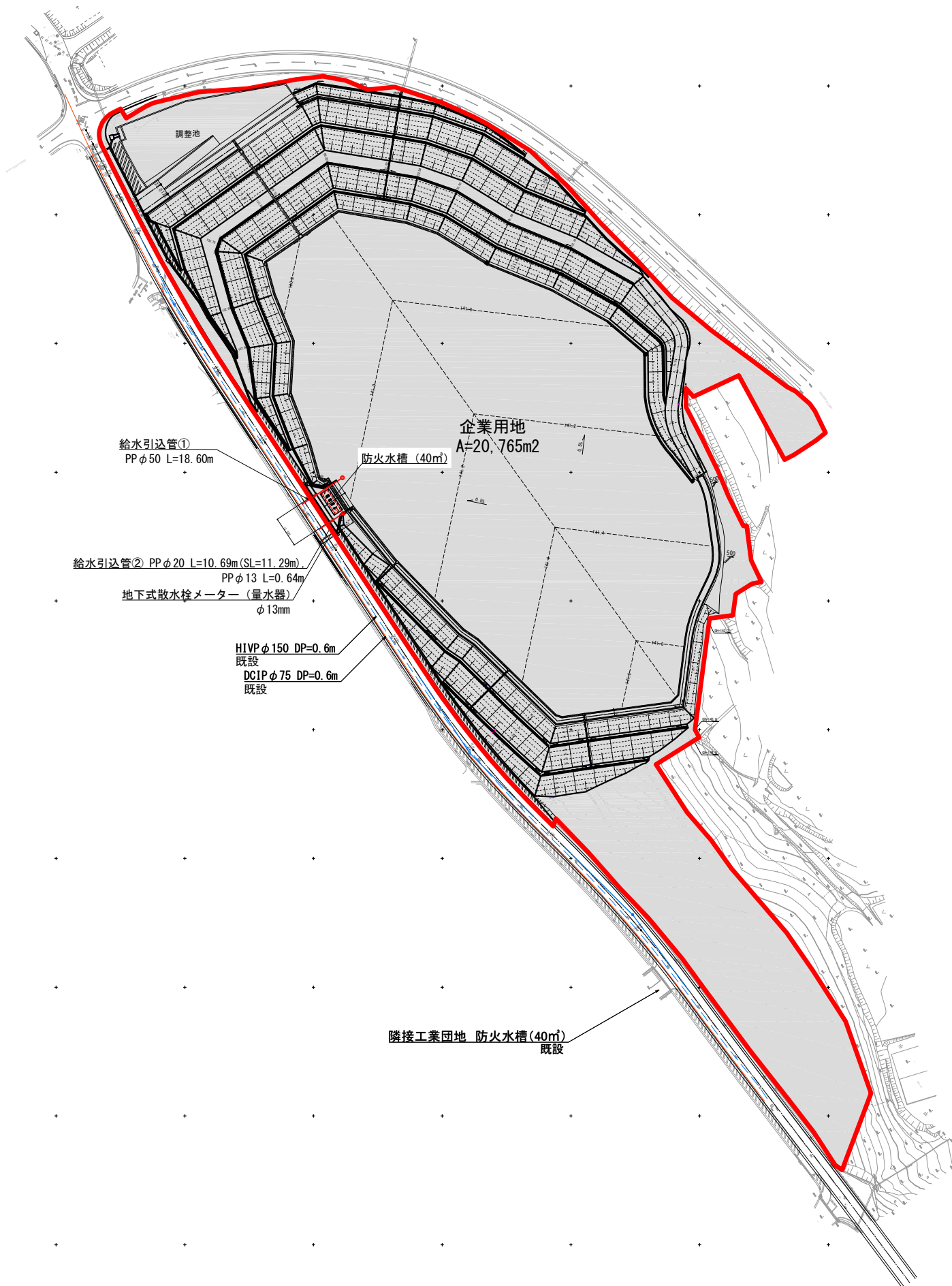
記 号	径	長 さ	本 数	単位重量	一本当り重量	質 量 (kg)	重 量 (N)	摘 要
1	D 13	2700	29	0.995	2.687	77.923	763.65	---
2	D 13	800	8	0.995	0.796	6.368	62.41	---
3	D 13	9600	6	0.995	9.552	57.312	561.66	---
4	D 13	7680	4	0.995	7.642	30.568	299.57	---
5	D 13	830	4	0.995	0.826	3.304	32.38	---
6	D 13	700	8	0.995	0.697	5.576	54.64	---
7	D 13	2010	4	0.995	2.000	8.000	78.40	---
8	D 13	910	4	0.995	0.905	3.620	35.48	---
合 計 D 13					192.671 kg	(1888. 18 N)		
総重量					192.671 kg	(1888. 18 N)		

※ D 13、SD 295以上を使用
※ 鉄筋重量表は継手を考慮しない場合の重量としている。

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平 戸 市 田 平 町 上 亀 免
図面種類	消防水利施設構造図 (4)
縮 尺	図 示
図面番号	112
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

給水施設計画平面図

S=1 : 1,000 (A1)
S=1 : 2,000 (A3)

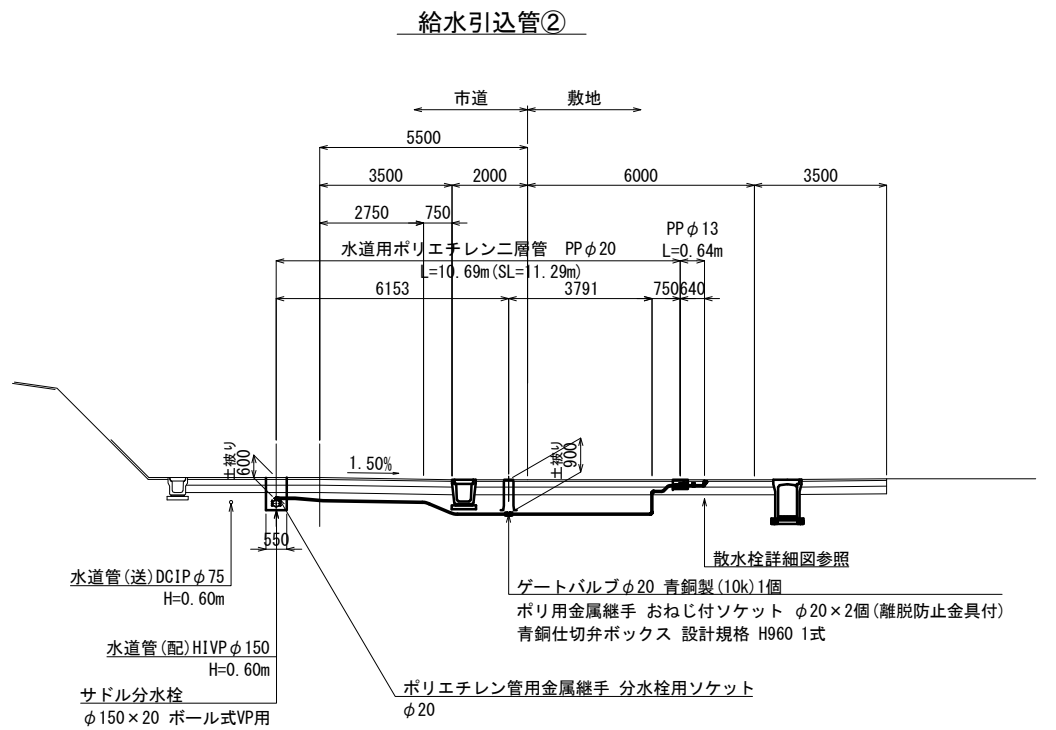
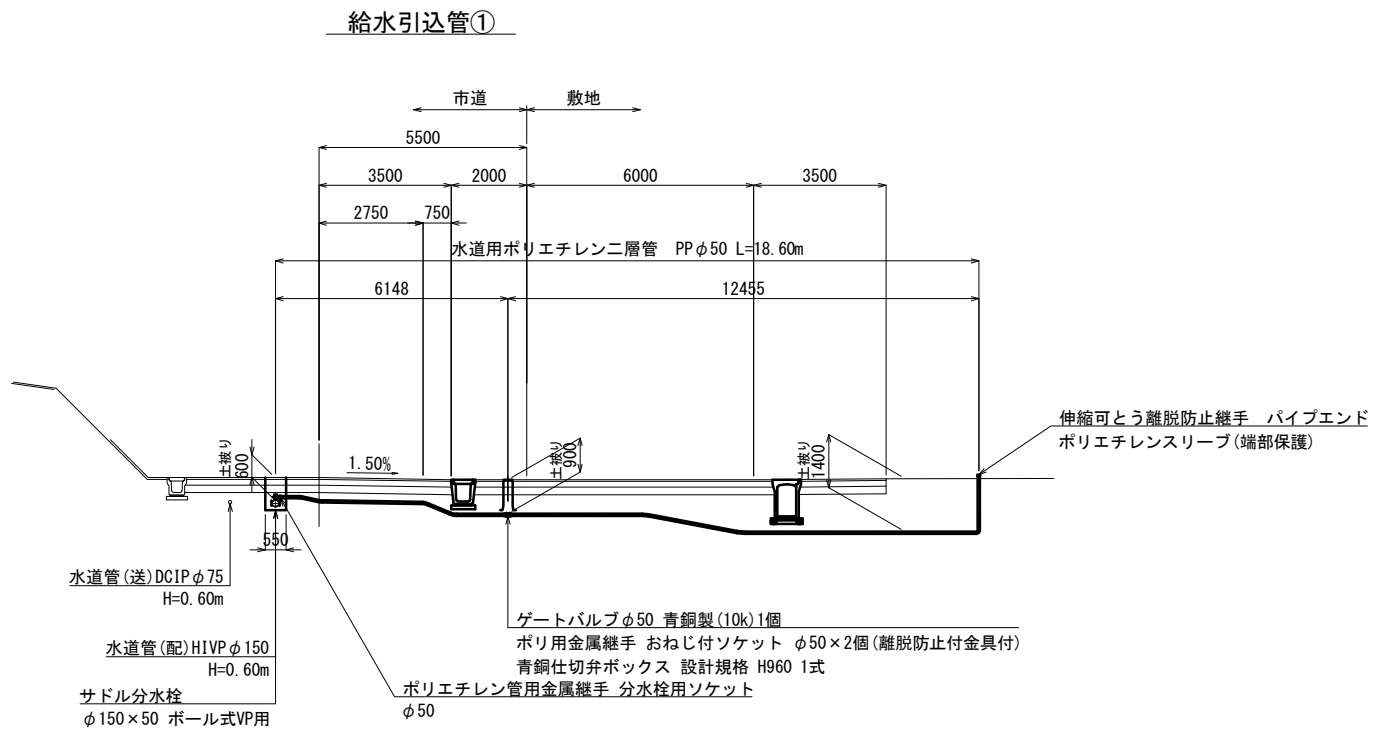


給水凡例	
種別	記号
開発区域	
上水道 (配水) HIVP φ150	
上水道 (送水) DCIP φ75	
計画給水管	

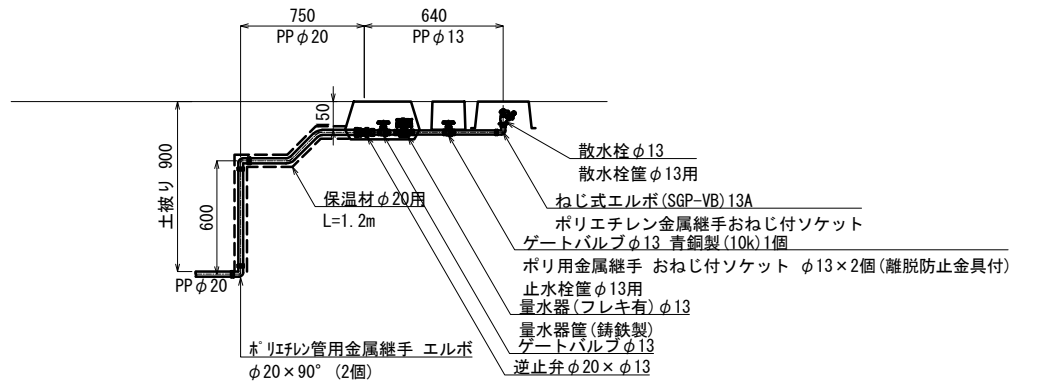
年度	令和7年度
工事名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	給水施設計画平面図
縮尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	113
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

給水引込施設図(1)

横断図 S=1:100 (A1) 1:200 (A3)



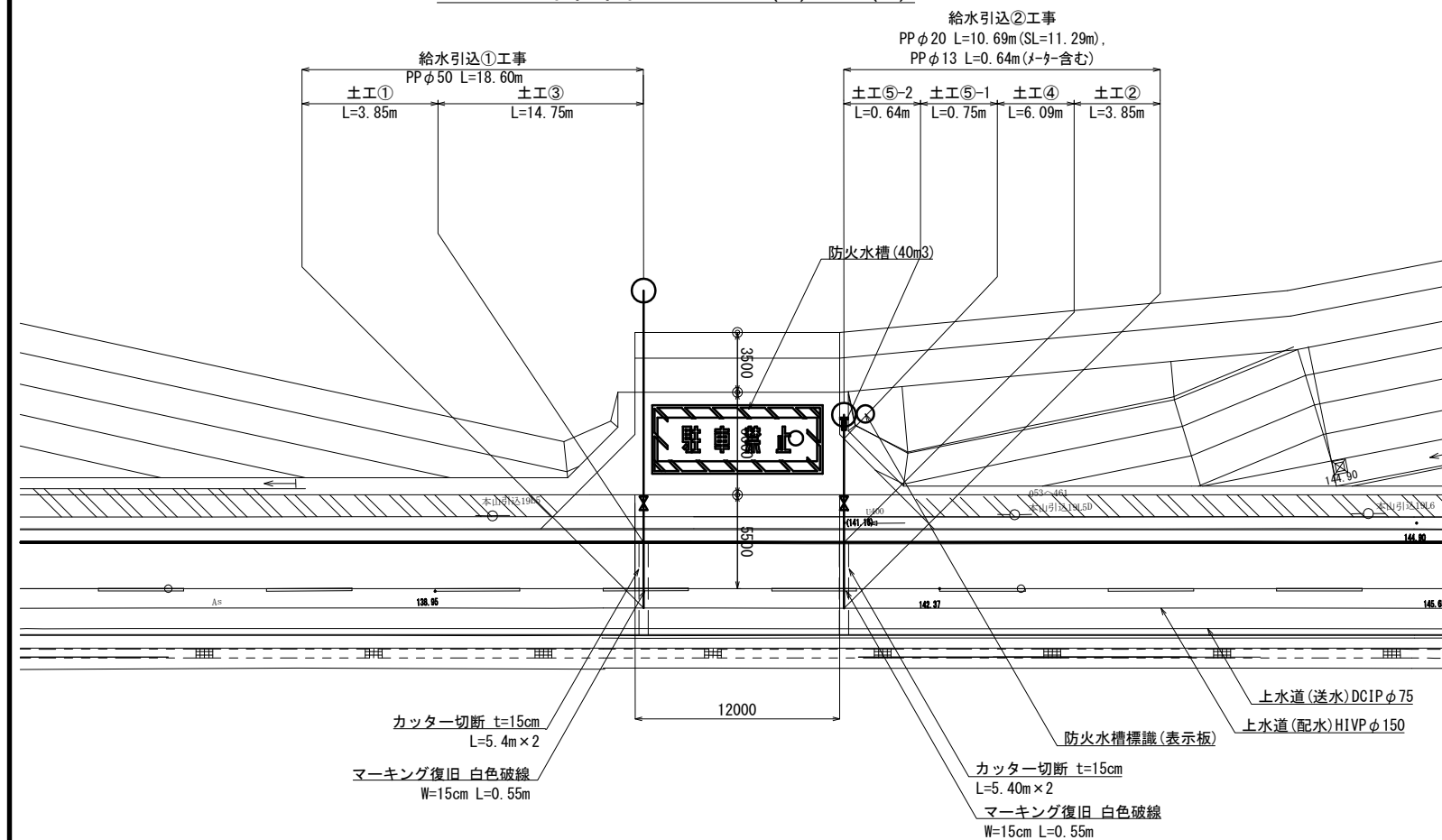
散水栓詳細図 S=1:20 (A1) 1:40 (A3)



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	給水引込施設図(その1)
縮 尺	図 示
図面番号	114
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

給水引込施設図(2)

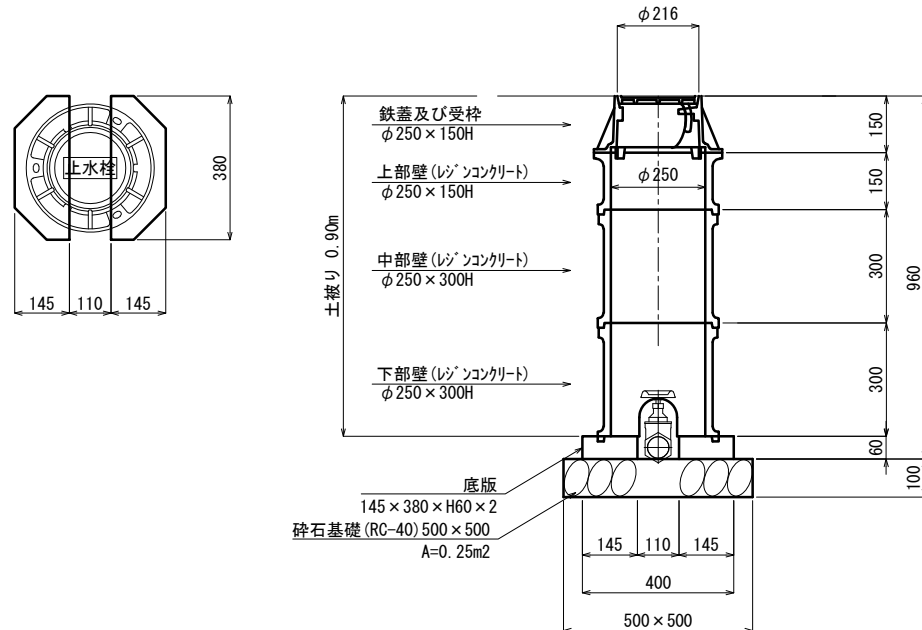
土工平面图 S=1:200 (A1) 1:400 (A3)



弁室構造図(参考図) S=1:10(A1) 1:20(A3)

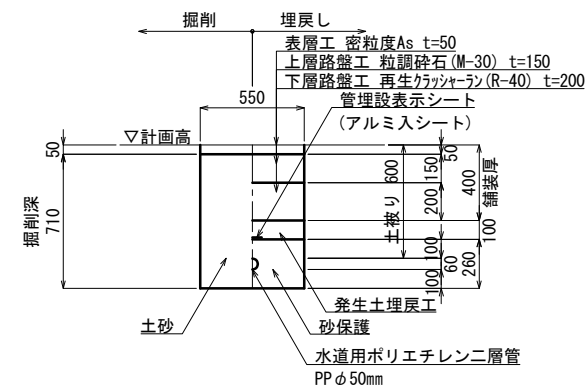
青銅仕切弁BOX組合せ図

土被り H=900
青銅仕切弁使用(φ50以下)

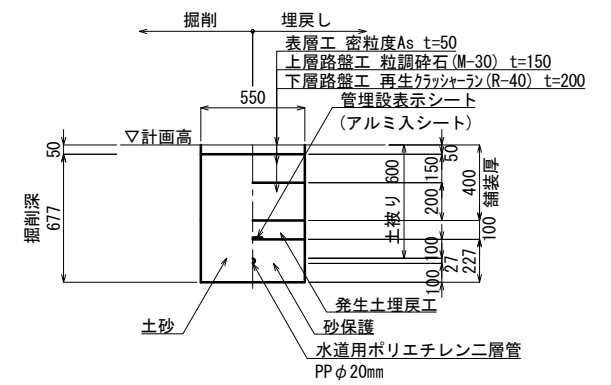


土工断面図 S=1:20 (A1) 1:40 (A3)

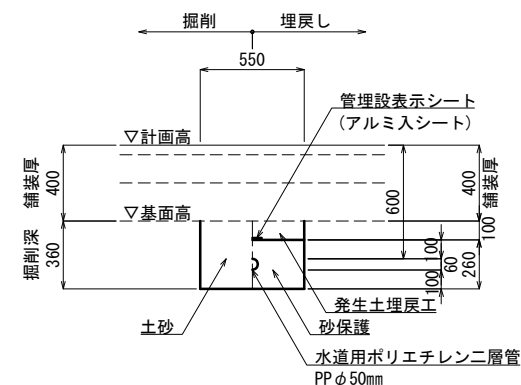
土工断面①
車道部 (As)



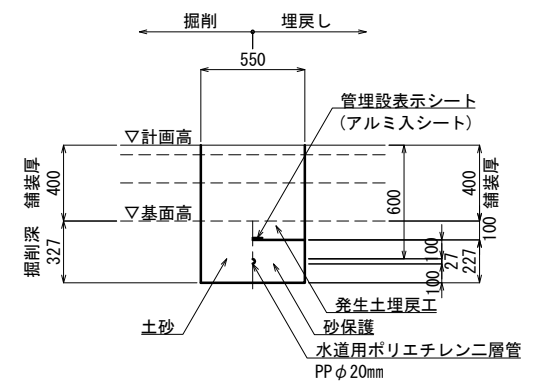
土工断面②
車道部 (As)



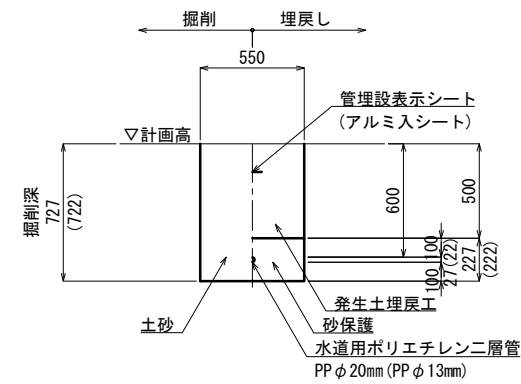
土工断面③
開発区域部(乗入部)



土工断面④
開発区域部(乗入部)



土工断面⑤
開発区域部(一般部)

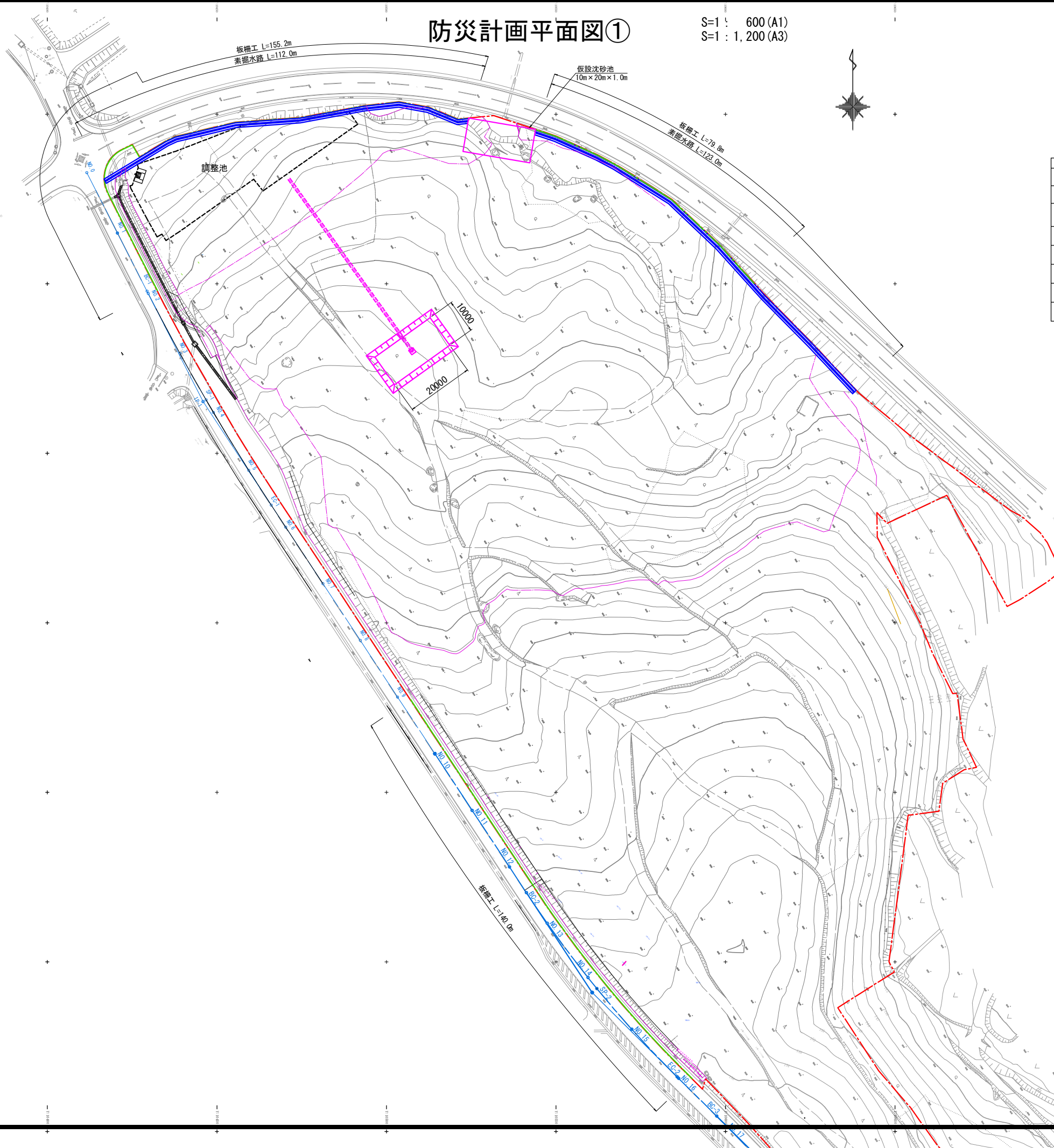


※()は⑤-2 PPφ13の値を示す

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	給水引込施設図(その2)
縮 尺	図 示
図面番号	115
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

防災計画平面図①

S=1 : 600 (A1)
S=1 : 1,200 (A3)

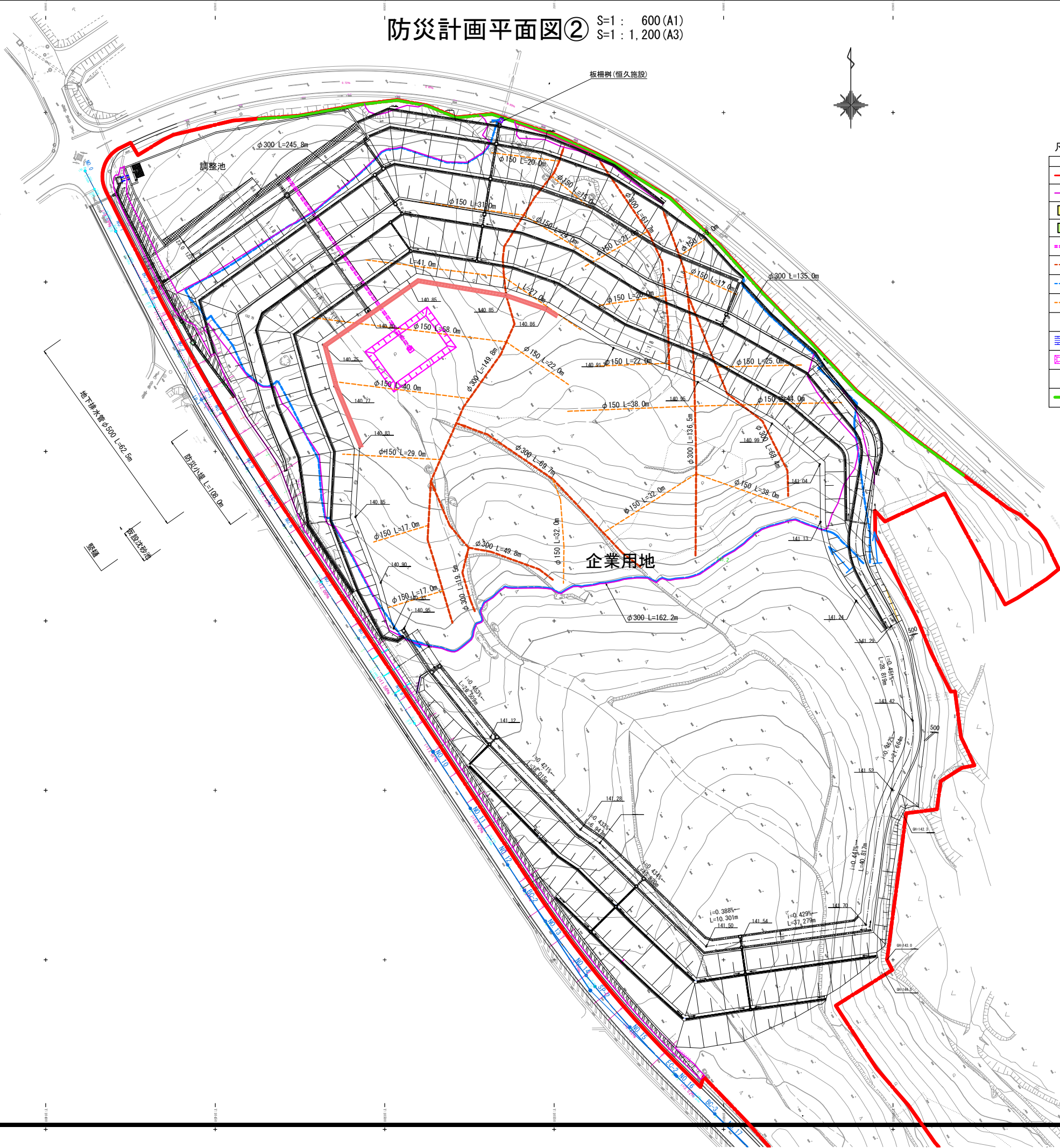


凡 例

記 号	種 別	摘 要
	開墾区域	
	切盛境界線	
	竪樋	1500×1500×8.1
	素掘水路	1300/300×500
	仮設沈砂池	
	仮設沈砂池(板柵)	10.0m×20.0m×1.0m
	板柵工	
	防災小堤	

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	防災計画平面図①
縮 尺	A1：S=1/600 A3：S=1/1,200
図面番号	116
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

防災計画平面図② S=1 : 600 (A1)
S=1 : 1,200 (A3)



凡 例		
記 号	種 別	摘 要
---	開発区域	
---	切盛境界線	
 	切土	
 	盛土	
---	地下排水管 (φ500)	縦樋から調整池へ 流完了後は部分撤去
---	地下排水管 (φ300)	
---	地下排水管 (φ300)	切盛境に設置
---	暗渠排水管 (φ150)	
□	縦樋	
 	仮設水路	
 	仮設沈砂池	
□	板橋樹	恒久施設
---	板橋工	

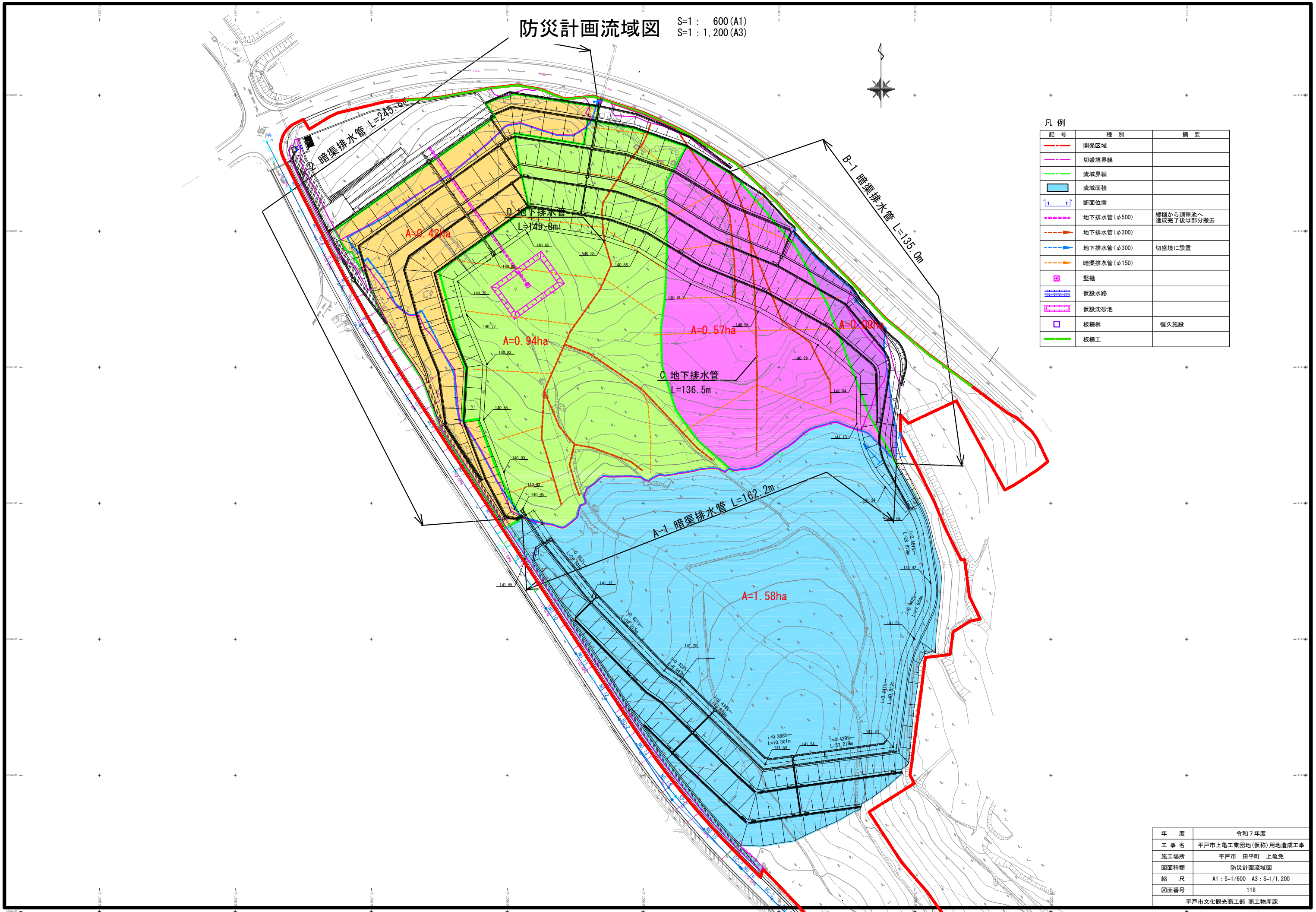
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	防災計画平面図②
縮 尺	A1 : S=1/600 A3 : S=1/1,200
図面番号	117
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

防災計画流域図

S=1 : 600 (A1)
S=1 : 1,200 (A3)



凡 例		
記 号	種 別	摘 要
---	開発区域	
---	切盛境界線	
---	流域界線	
 	流域面積	
[1]	断面位置	
---	地下排水管 (φ500)	縦樋から調整池へ 造成完了後は部分撤去
---	地下排水管 (φ300)	
---	地下排水管 (φ300)	切盛境に設置
---	暗渠排水管 (φ150)	
□	竖樋	
---	仮設水路	
---	仮設沈砂池	
□	板橋樹	恒久施設
---	板橋工	

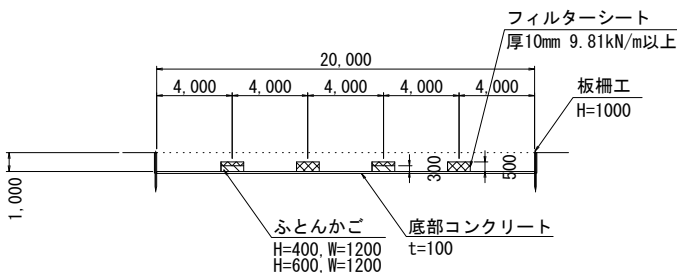
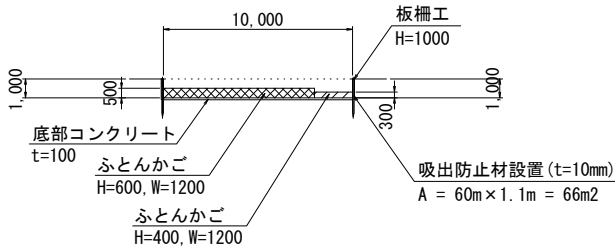
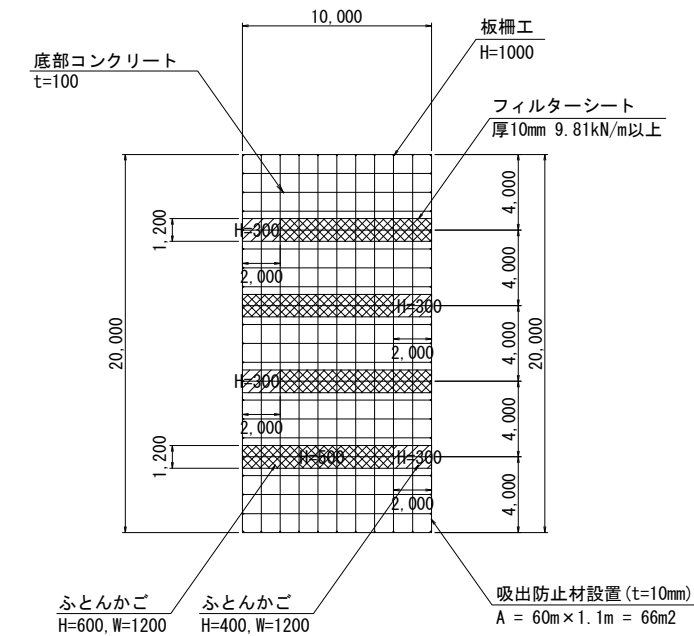


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	防災計画流域図
縮 尺	A1 : S=1/600 A3 : S=1/1,200
図面番号	118
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

防災施設構造図①

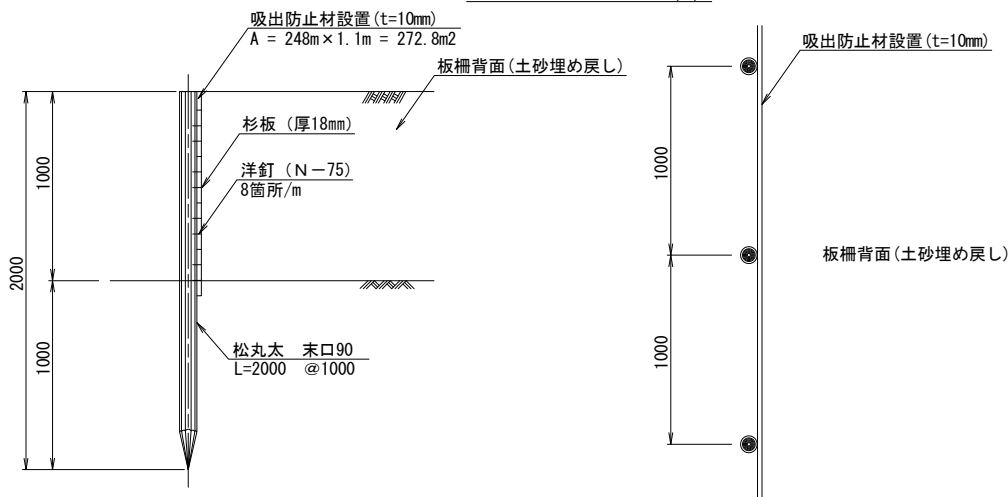
仮設沈砂池

S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



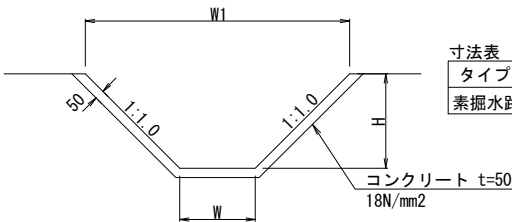
板 柵 工

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



素掘水路

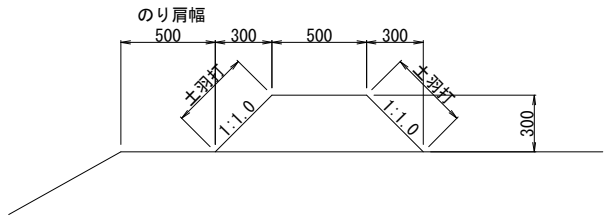
S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)



タイプ	W	W1	H	備 考
素掘水路	300	1300	500	

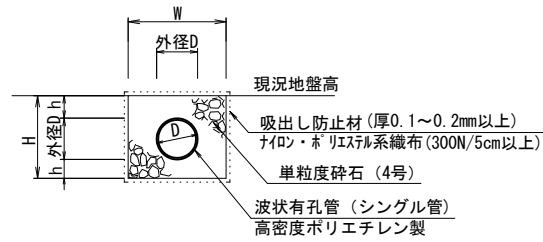
防災小堤

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



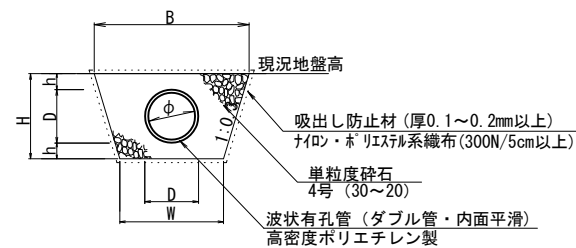
防災施設構造図②

暗渠排水管 S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)
(枝管)



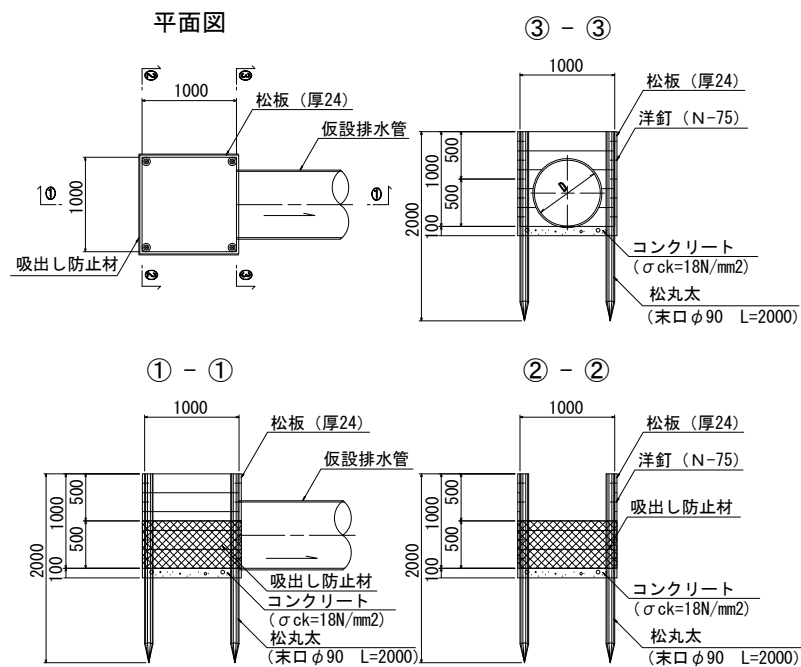
タイプ(D)	外径D	H	h	W	備 考
φ150	173	373	100	500	

地下排水管 S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)

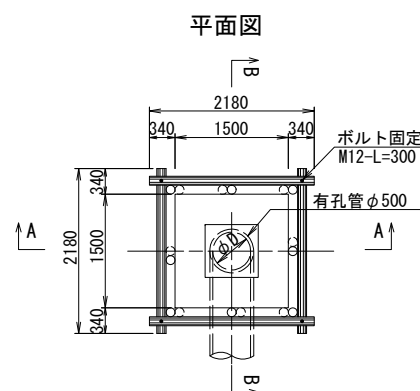


タイプ(D)	外径D	H	h	W	B	備 考
φ300	365	665	150	600	999	
φ500	614	1014	200	1000	1608	

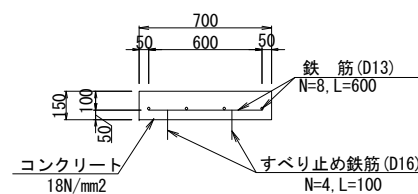
板柵柵	S=1:40 (A1)
	S=1:80 (A3)



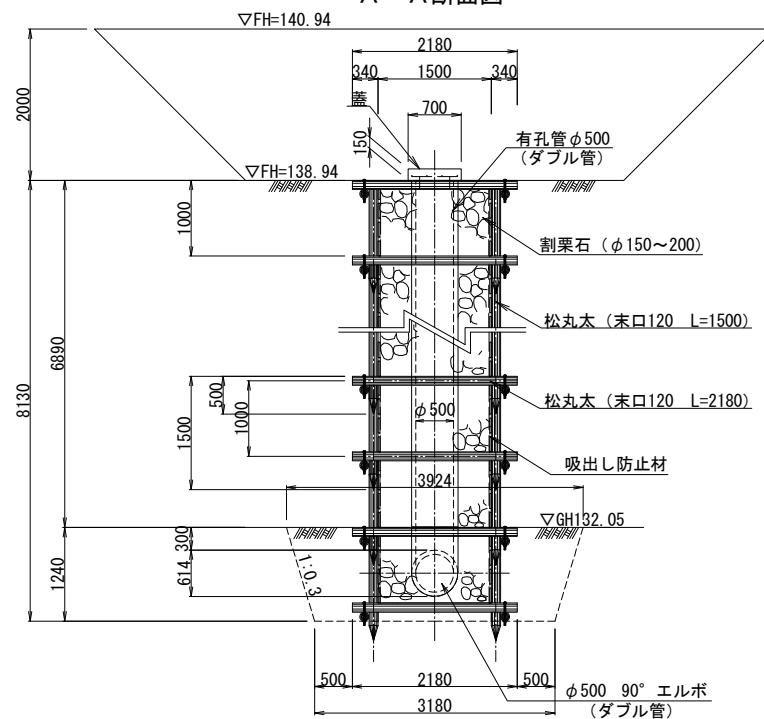
豎 樋 (□1500) S=1: 50 (A1)
 S=1: 100 (A3)



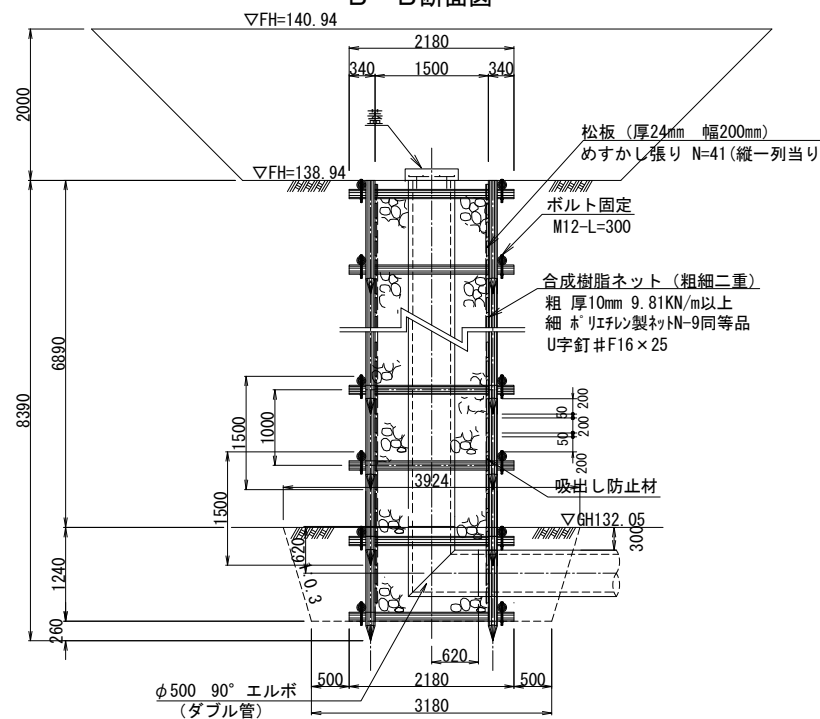
蓋詳細図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



A—A 断面図



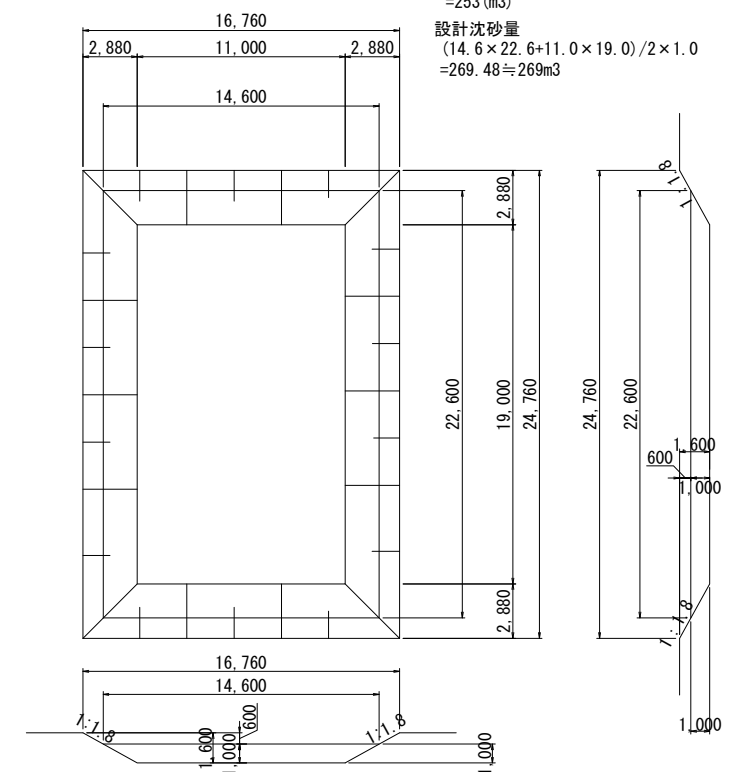
B—B 断面图



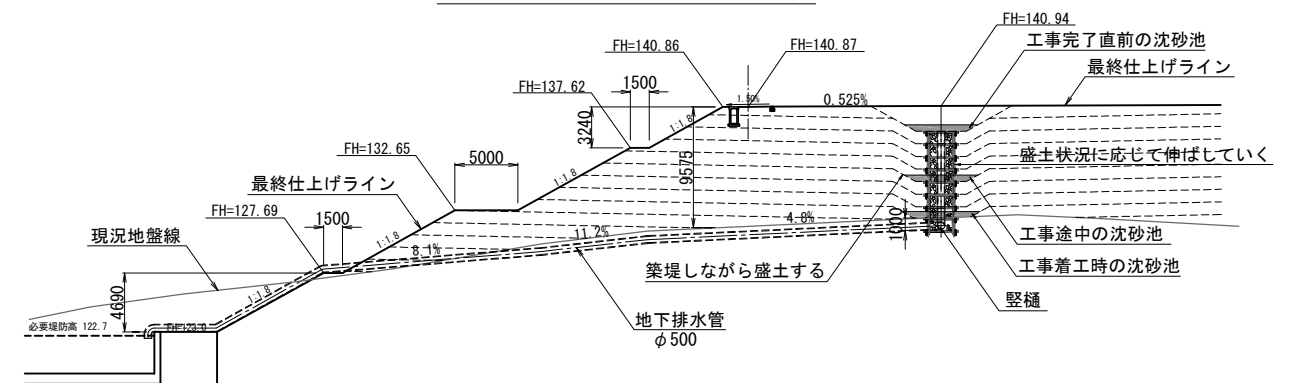
仮設沈砂池 S=1:200 (A1)
 S=1:400 (A3)

必要沈砂量
 $300 \text{ (m}^3/\text{ha/年)} \times 4 \text{ (ヶ月)} / 12 \text{ (ヶ月)} \times 2.53 \text{ (ha)}$
 $= 253 \text{ (m}^3\text{)}$

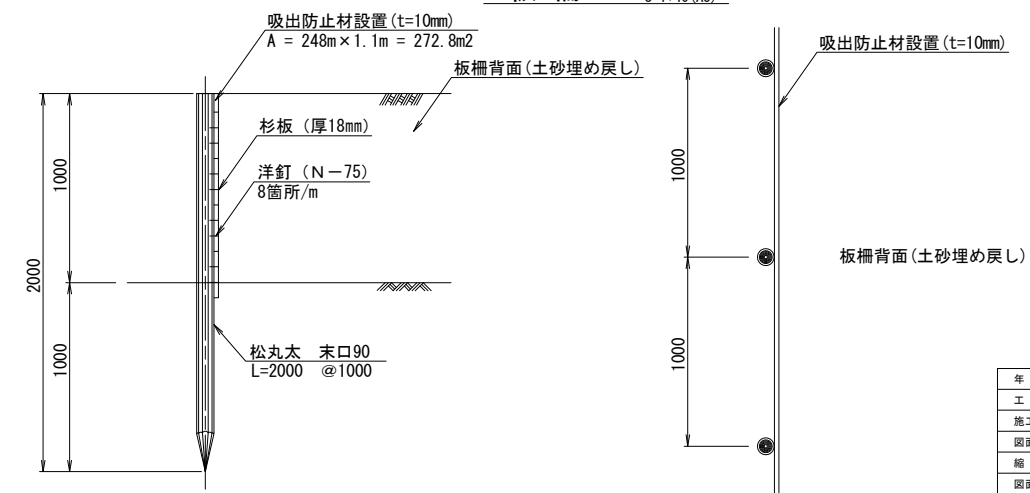
設計沈砂量
 $(14.6 \times 22.6 + 11.0 \times 19.0) / 2 \times 1.0$
 $= 269.48 \div 269 \text{ m}^3$



盛土部施工標準図 S=1:300(A1)
S=1:600(A3)








板 柵 工 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上電工集団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上竜免
図面種類	防災施設構造物
縮 尺	図示
図面番号	120
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

S=1 : 600 (A1)
S=1 : 1,200 (A3)

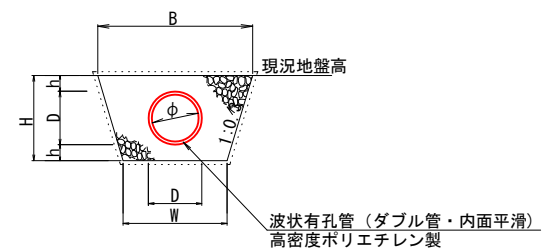


記 号	種 別	摘 要
	開発区域	
	地下排水管 (φ500)	縦樋から調整池へ 造成完了後は部分撤去
	素掘水路	1300/300×500
	板橋工	
	防災小堤	

平戸市文化観光商工部 商工物産課

防災施設撤去構造図

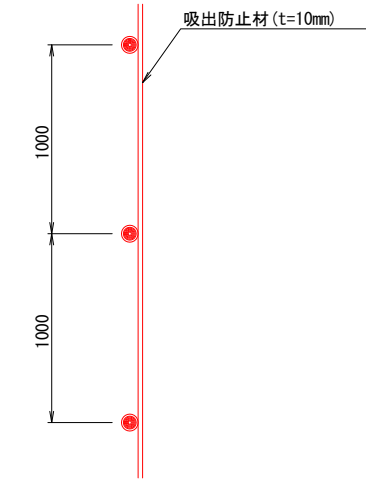
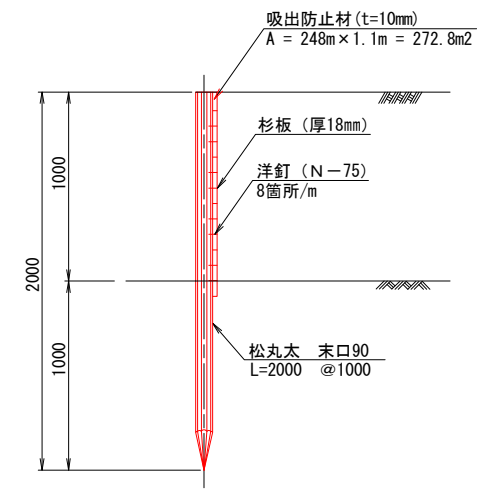
地下排水管 S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)



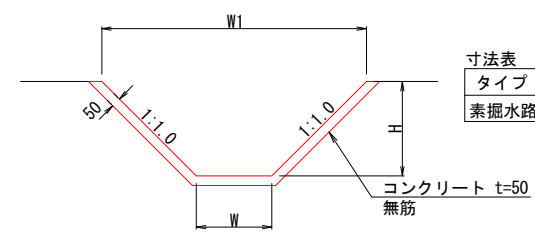
寸法表

タイプ(D)	外径D	H	h	W	B	備 考
φ500	614	1014	200	1000	1608	

板 柵 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



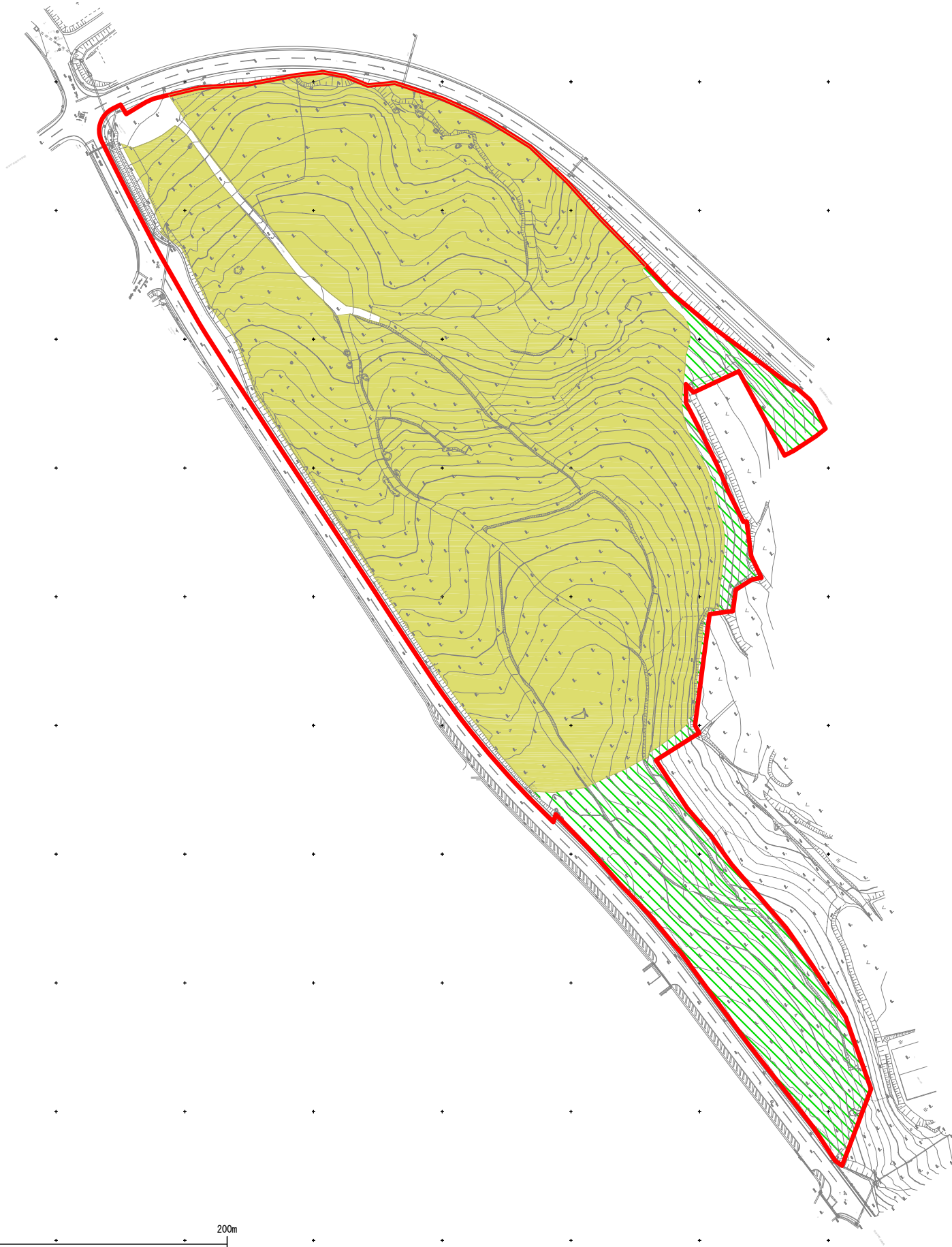
素掘水路 S=1:40 (A1)
S=1:80 (A3)



寸法表

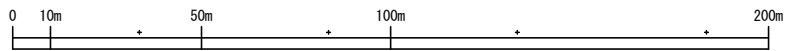
タイプ	W	W1	H	備 考
素掘水路	300	1300	500	

除根範囲平面図 S=1 : 1,000 (A1)・
S=1 : 2,000 (A3)



凡例

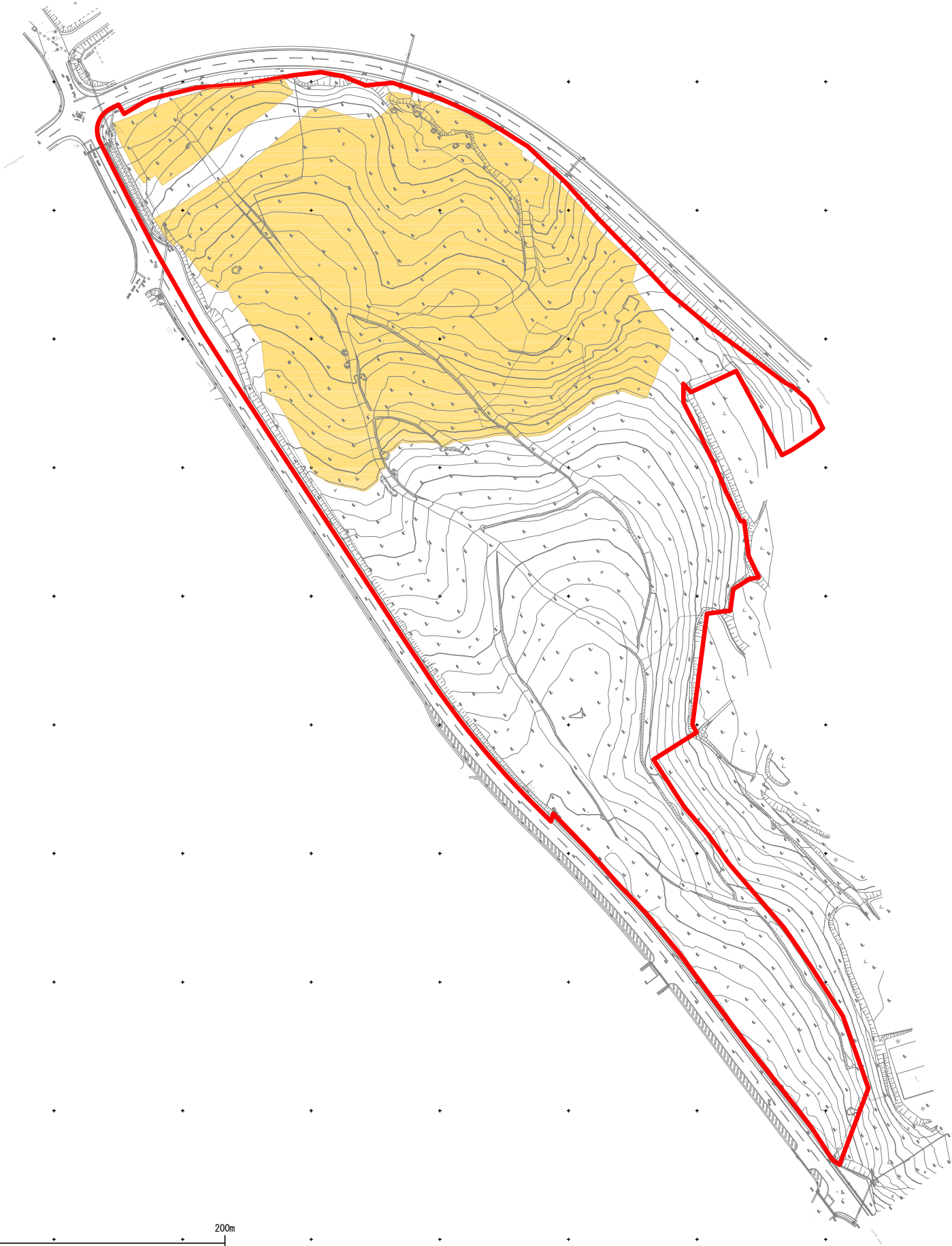
記 号	種 別	摘 要
	除根範囲	A=36,000m ²
	残置森林	



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	除根範囲平面図
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	123

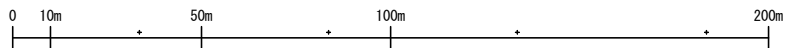
平戸市文化観光商工部 商工物産課

鋤取り範囲平面図 S=1 : 1,000 (A1)・
S=1 : 2,000 (A3)



凡例











記 号	種 別	摘 要
	鋤取り範囲 (鋤取り厚t=50)	A=19,000m ²

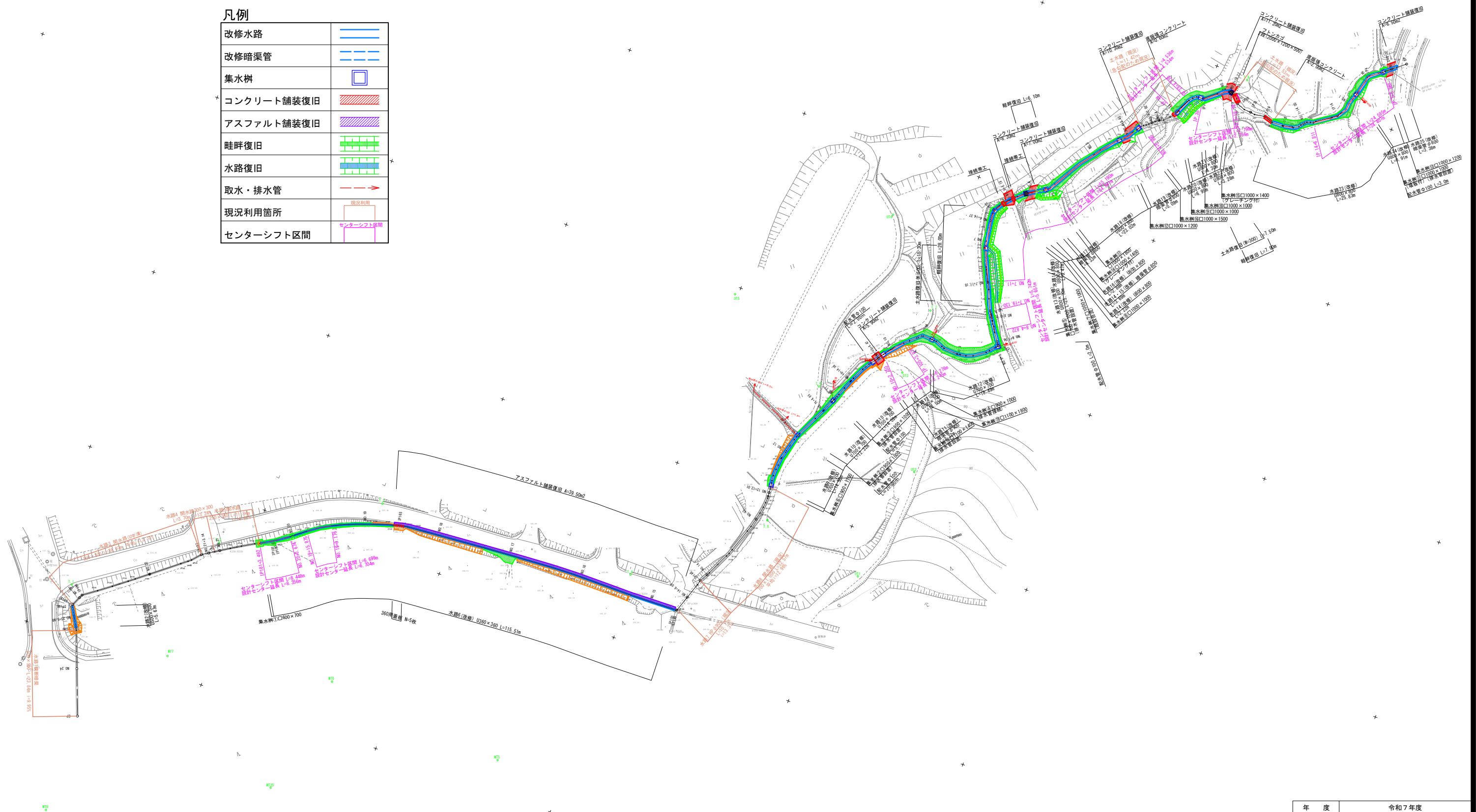


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	鋤取り範囲平面図
縮 尺	A1 : S=1/1,000 A3 : S=1/2,000
図面番号	124

平戸市文化観光商工部 商工物産課

S=1 : 500 (A1)
S=1 : 1,000 (A3)

改修水路	
改修暗渠管	
集水樹	
コンクリート舗装復旧	
アスファルト舗装復旧	
畦畔復旧	
水路復旧	
取水・排水管	
現況利用箇所	
センターシフト区間	

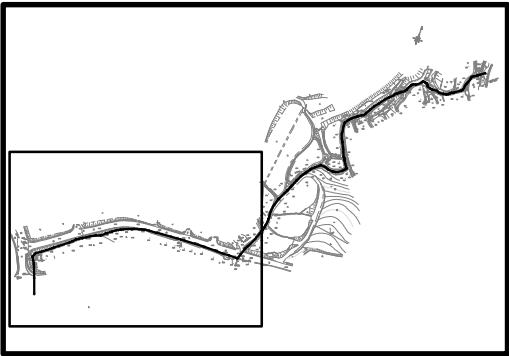


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画平面図
縮 尺	A1：S=1/500 A3：S=1/1,000
図面番号	125
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

下流水路計画平面図(拡大図)(1)

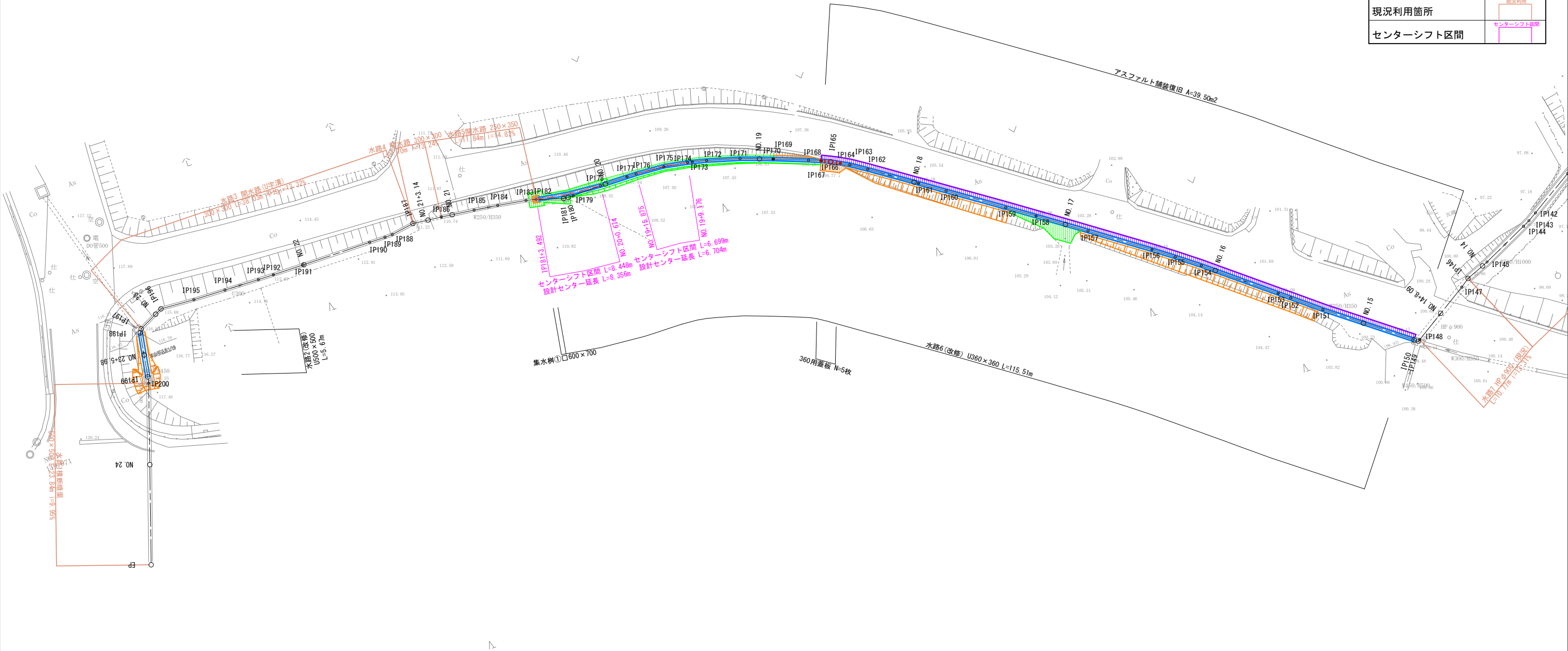
(A1) S=1:250
(A3) S=1:500

KEYPLAN



凡例

改修水路	
改修暗渠管	
集水樹	
コンクリート舗装復旧	
アスファルト舗装復旧	
畦畔復旧	
水路復旧	
取水・排水管	
現況利用箇所	
センターシフト区間	

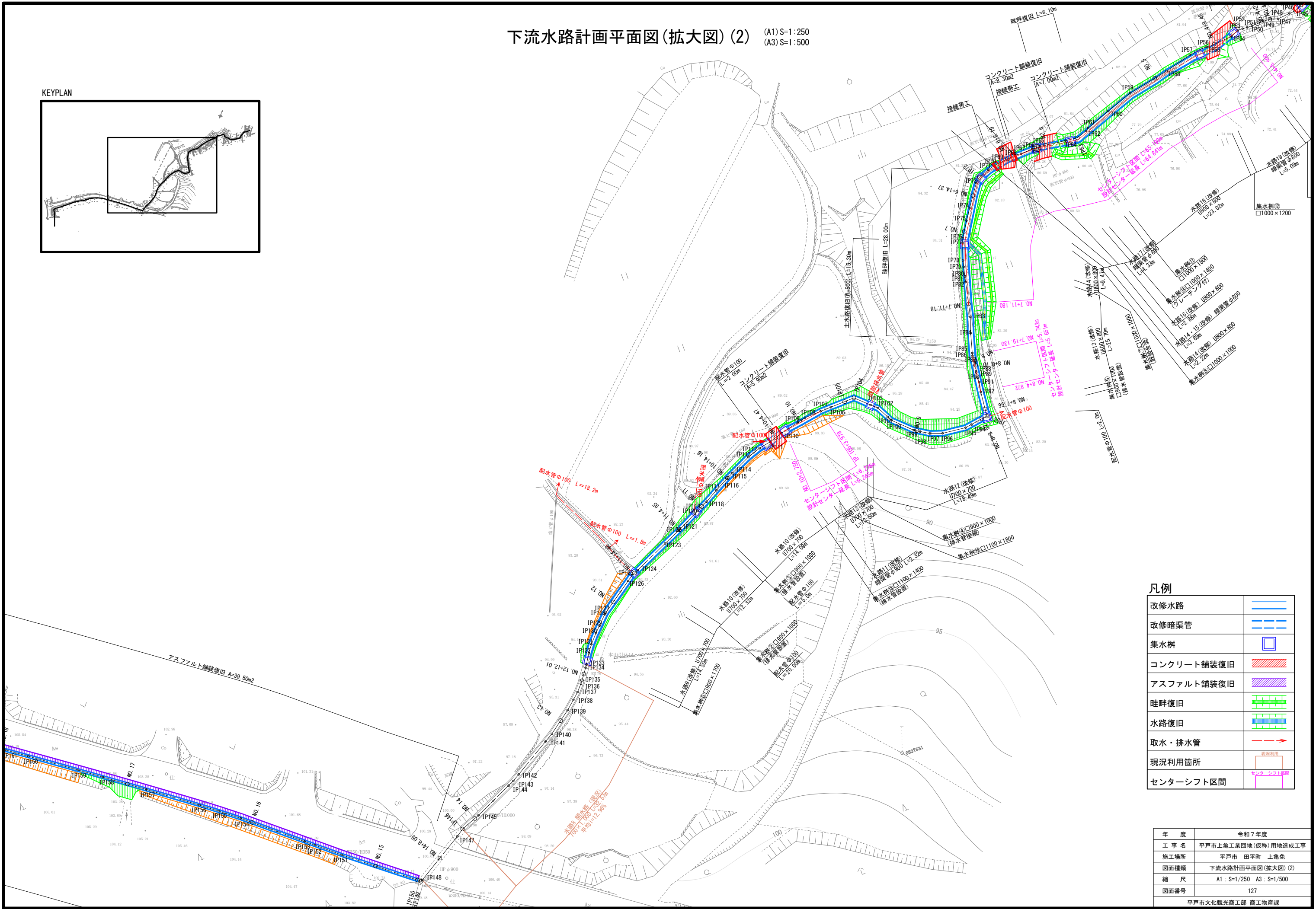
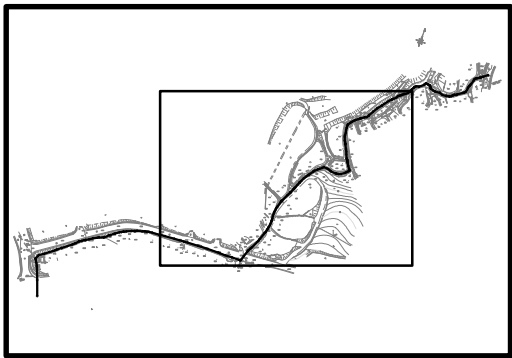


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画平面図(拡大図)(1)
縮 尺	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500
図面番号	126
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

下流水路計画平面図(拡大図)(2)

(A1) S=1:250
(A3) S=1:500

KEYPLAN



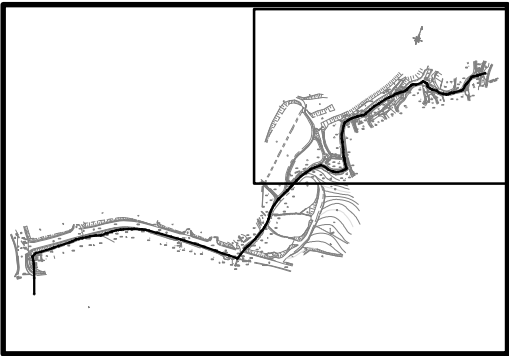
凡例	
改修水路	
改修暗渠管	
集水樹	
コンクリート舗装復旧	
アスファルト舗装復旧	
畦畔復旧	
水路復旧	
取水・排水管	
現況利用箇所	
センターシフト区間	

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画平面図(拡大図)(2)
縮 尺	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500
図面番号	127
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

下流水路計画平面図(拡大図)(3)

(A1) S=1:250
(A3) S=1:500

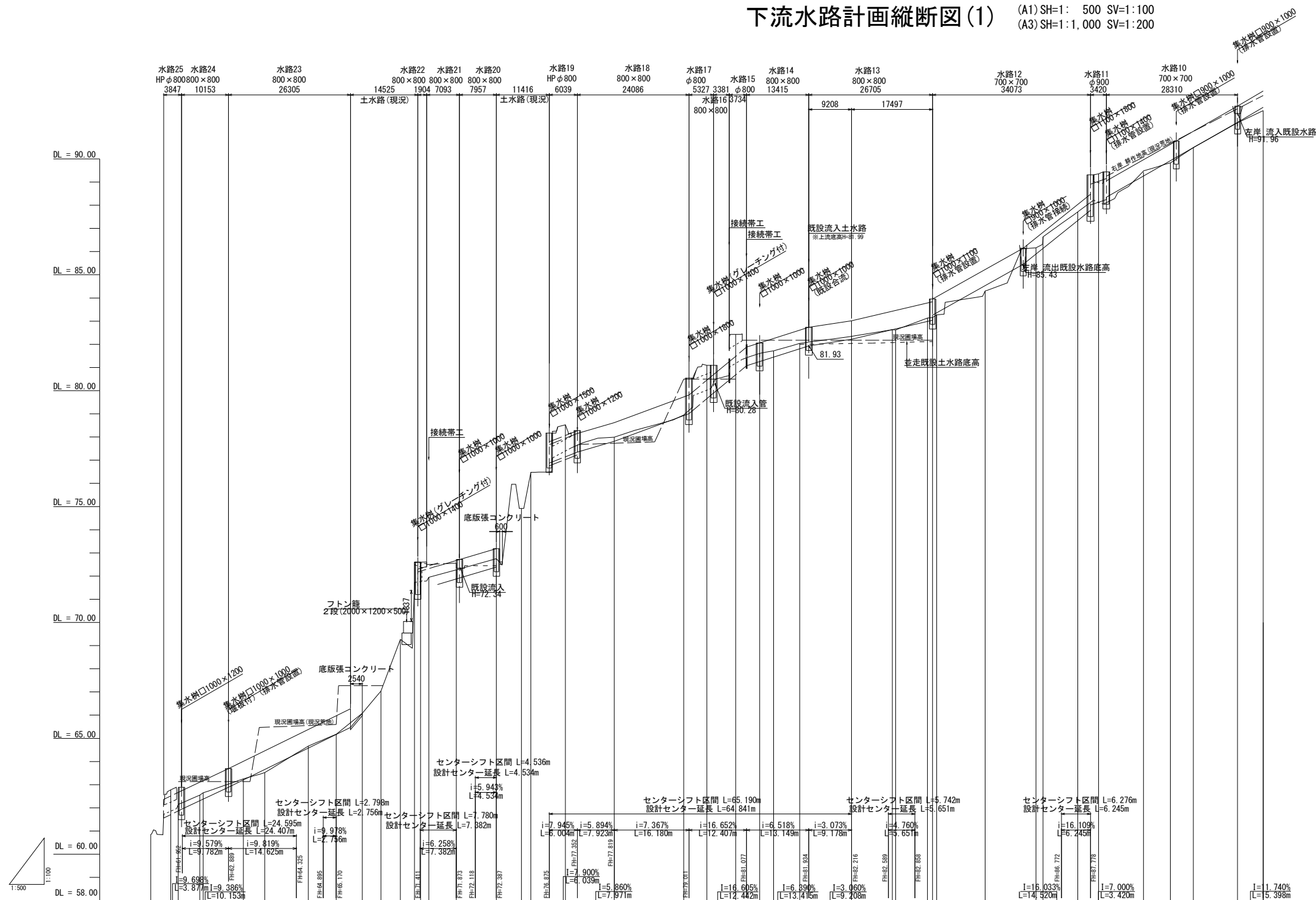
KEYPLAN



凡例	
改修水路	
改修暗渠管	
集水樹	
コンクリート舗装復旧	
アスファルト舗装復旧	
畦畔復旧	
水路復旧	
取水・排水管	
現況利用箇所	
センターシフト区間	

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画平面図(拡大図)(3)
縮 尺	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500
図面番号	128
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

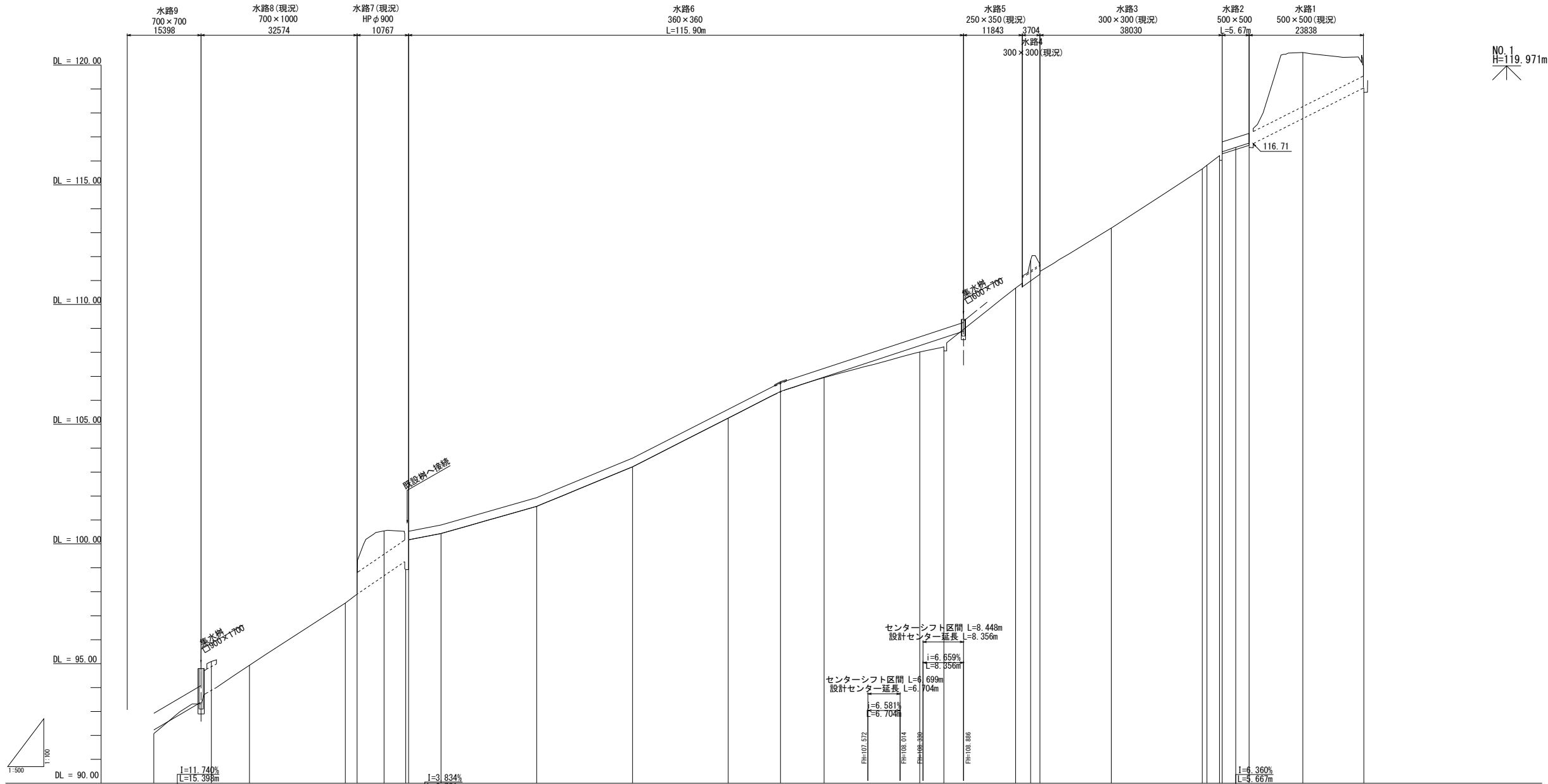
(A1) SH=1: 500 SV=1:100
(A3) SH=1:1,000 SV=1:200



測 点	単 距 離	追 加 距 離	地 盤 高	計 画 河 床 高	水 路 延 長	水 路 断 面	縦 断 勾 配
BP	0.000	0.000	60.86		L=3.38m	φ800	61.560
+4.32 IP. 1	4.320 1.617	4.320 3.357	62.79 62.14	61.711 61.683 61.508	L=6.91m	U800×800	61.936
IP. 4	4.638	10.575	62.55	62.055			62.889
IP. 5	0.752	11.327	62.65	62.376	L=25.83m		65.474
No. 1	8.673	20.000	63.25	63.204		現況利用	62.889
IP. 14	4.589	24.589	63.52	63.655			63.204
+14.00	9.411	34.000	64.67	64.590		U800×800	65.474
No. 2	6.000	40.000	65.17	65.170			65.474
IP. 26	5.634	45.634	66.08	66.08			66.08
IP. 28	4.014	49.648	67.04	67.04		現況利用	71.370
IP. 30	4.231	53.879	69.26	69.26	L=3.28m		71.370
IP. 34	3.042	56.921	72.60	72.60	L=4.30m	U800×800	71.406
IP. 32	1.480	60.000	71.85	71.85	L=6.95m		71.512
No. 3	5.918	65.918	72.27	71.868			71.868
IP. 38	8.656	74.574	72.75	72.387		現況利用	72.387
No. 4	5.426	80.000	74.92	74.92			72.387
+2.02	2.020	82.020	76.48	76.48		φ800	76.875
+9.45	7.430	89.450	78.53	78.53	L=5.09m		77.352
No. 5	10.550	100.000	77.99	77.819	L=23.02m	U800×800	77.819
IP. 63	15.009	115.009	78.95	78.929			79.011
No. 6	4.991	120.000	81.09	79.656	L=4.33m L=4.88m	φ800 U800×800	81.077
+6.19	6.190	126.190	82.43	80.684	L=3.69m		81.077
IP. 72	5.172	131.362	81.61	81.256	L=9.47m		81.934
+14.37	3.008	134.370	81.72	81.448		U800×800	82.216
No. 7	5.630	140.000	82.04	81.808			82.216
+11.18	11.180	151.180	82.34	82.216	L=25.70m		83.027
No. 8	8.820 0.700	160.000 160.700	82.63 82.62	82.630 82.662			83.027
+7.56 IP. 93 +9.57	6.860 1.117 0.893	167.560 168.677 169.570	83.13 83.16 83.27	82.864 83.032 83.358	L=17.49m		83.027
No. 9	10.430	180.000	84.30	84.527	L=18.49m	U700×700	85.450
IP. 104 IP. 105	10.987 1.509	190.987 192.496	86.16 86.64	85.892 86.134	L=13.50m		88.010
No. 10	7.504	200.000	87.71	87.327	L=2.32m	φ900	88.010
+4.47	4.470	204.470	89.36	88.139	L=14.09m		88.010
+14.18	9.710	214.180	89.43	89.264		U700×700	89.264
No. 11	5.820	220.000	89.83	89.928	L=12.32m		91.578
+4.95	4.950	224.950	90.49	90.492			91.578
+14.48	9.530	234.480	91.56	91.578	L=14.50m		93.386
No. 12	5.520	240.000	92.08	92.226			93.386

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画縦断図(1)
縮 尺	A1:SH=1:500 SY=1:100 A3:SH=1:1000 SY=1:200
図面番号	129

下流水路計画縦断図(2) (A1) SH=1: 500 SV=1:100 (A3) SH=1:1,000 SV=1:200

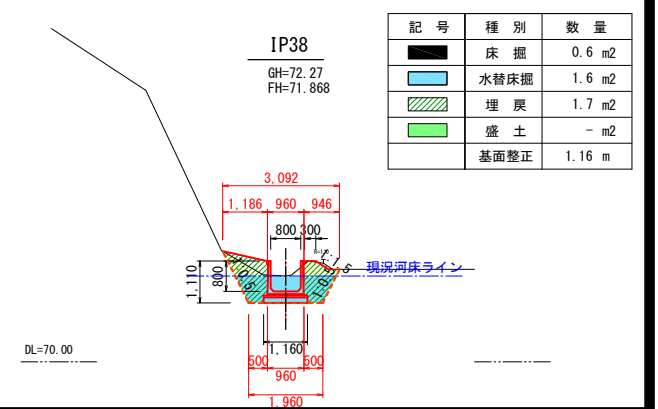
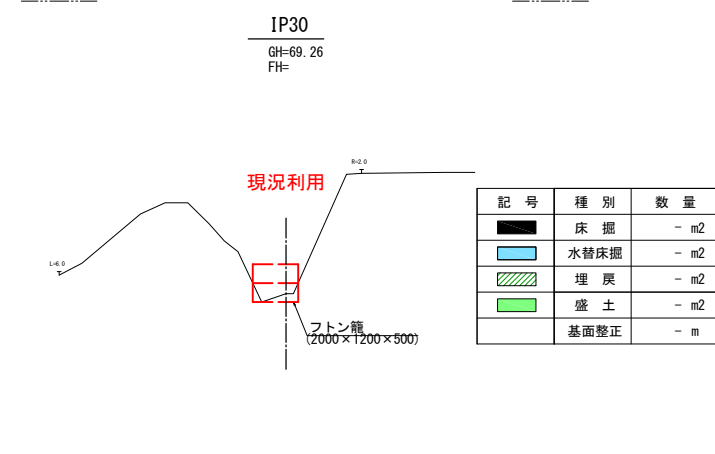
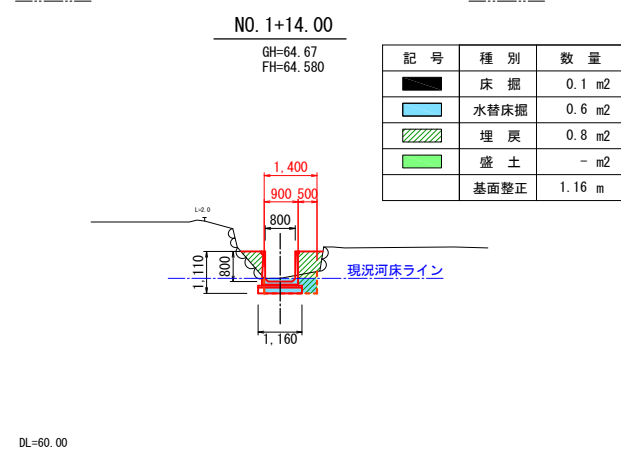
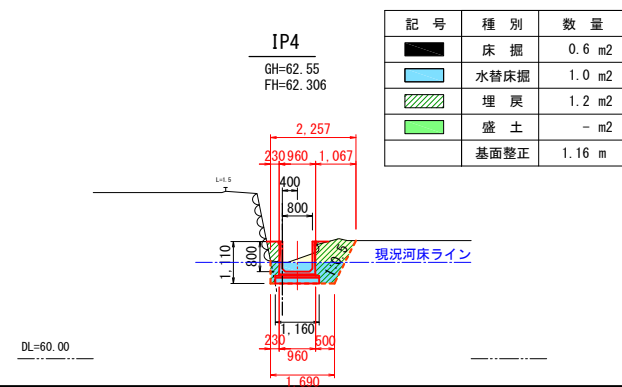
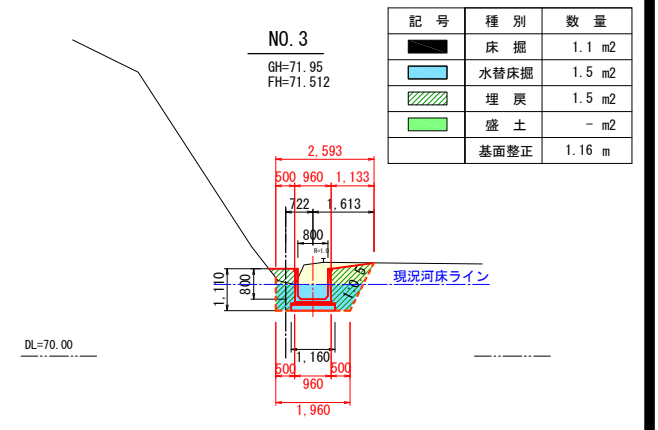
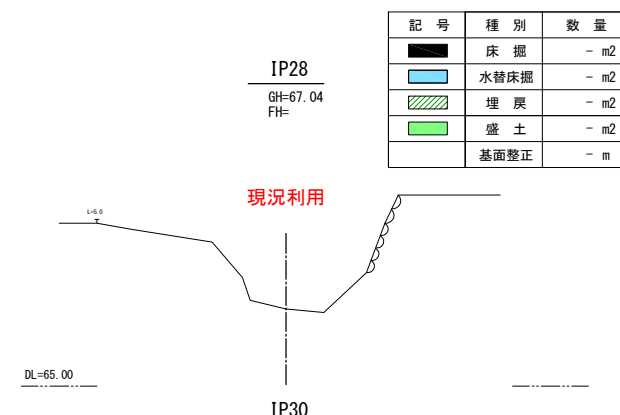
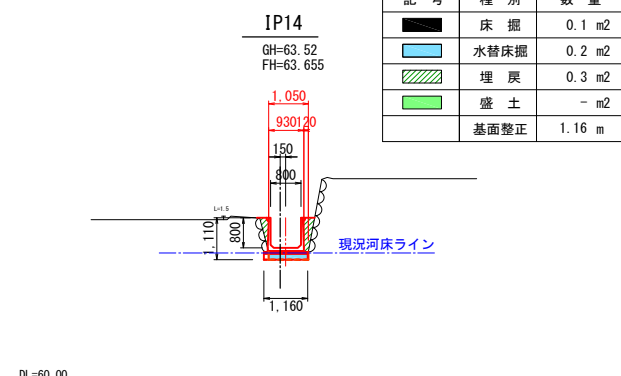
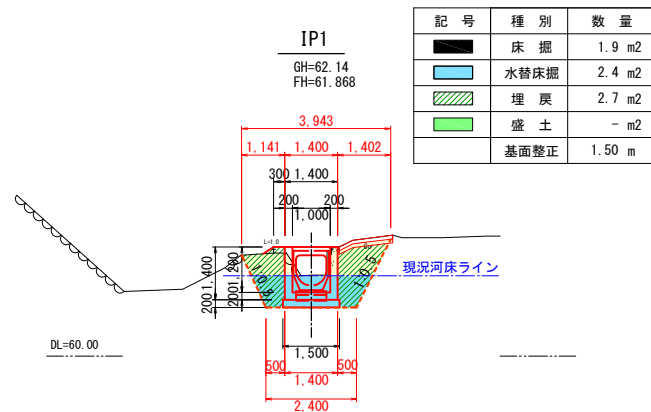
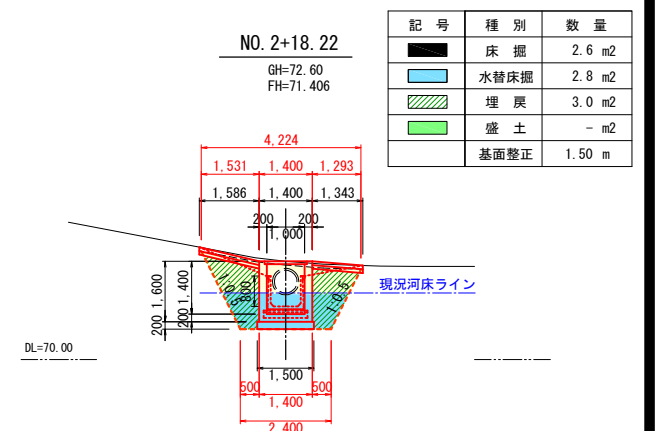
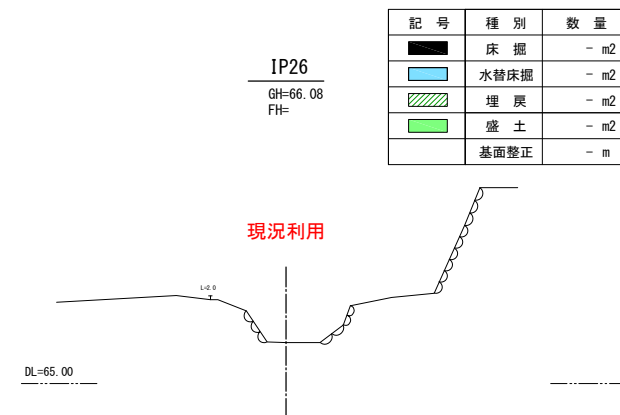
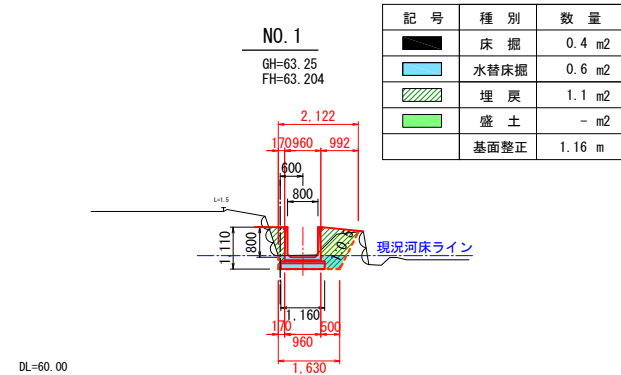
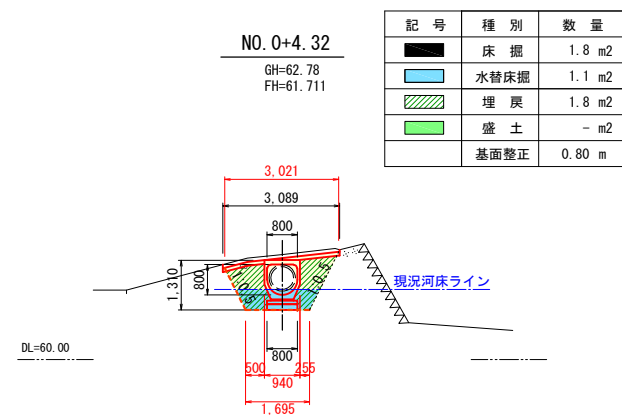
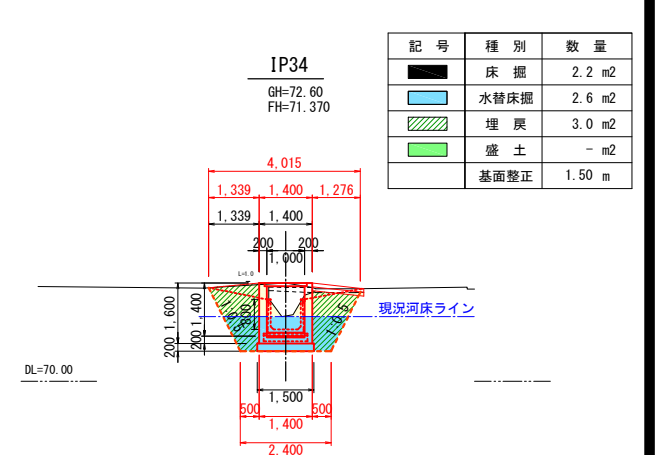
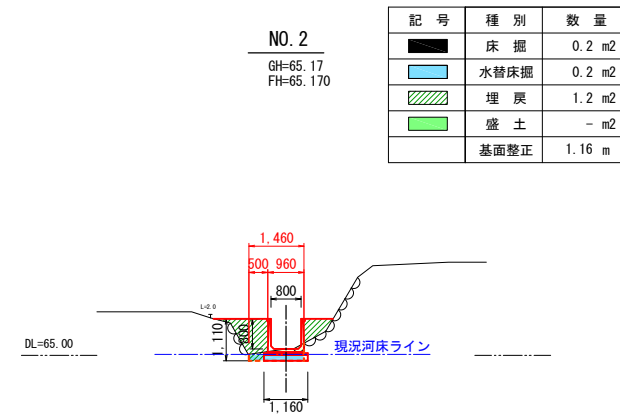
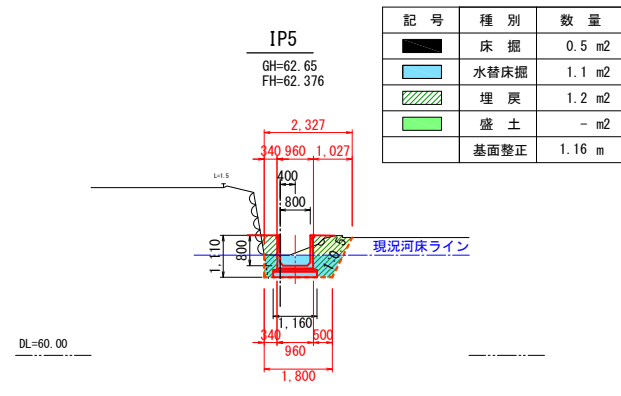
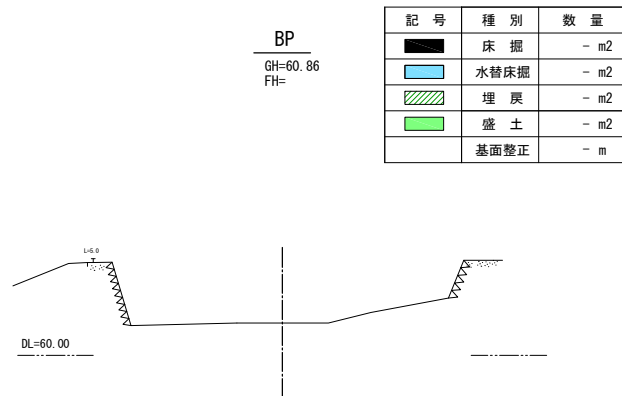


縦断勾配	<div><div>91.578</div><div>93.386</div><div>100.170</div><div>100.430</div><div>101.570</div><div>103.220</div><div>105.258</div><div>106.370</div><div>106.370</div><div>106.968</div><div>108.285</div><div>108.615</div><div>108.656</div><div>116.290</div><div>116.650</div><div>116.650</div></div>															
水路断面	<div><div>U700×700</div><div>現況利用</div><div>U360×360</div><div>現況利用</div><div>U500×500</div><div>現況利用</div></div>															
水路延長	<div><div>L=14.50m</div><div>L=115.51m</div><div>L=5.67m</div></div>															
計画河床高	<div><div>92.226</div><div>93.386</div><div>100.170</div><div>100.430</div><div>101.570</div><div>103.220</div><div>105.258</div><div>106.370</div><div>106.370</div><div>106.968</div><div>108.285</div><div>108.615</div><div>108.656</div><div>116.290</div><div>116.650</div><div>116.650</div></div>															
地盤高	<div><div>92.08</div><div>95.09</div><div>94.94</div><div>97.53</div><div>97.90</div><div>100.54</div><div>98.93</div><div>100.17</div><div>100.43</div><div>101.57</div><div>103.22</div><div>105.25</div><div>106.78</div><div>106.95</div><div>108.02</div><div>108.06</div><div>108.40</div><div>110.69</div><div>111.85</div><div>111.38</div><div>113.19</div><div>115.67</div><div>115.82</div><div>116.02</div><div>116.02</div><div>116.56</div><div>116.56</div><div>120.53</div><div>118.86</div></div>															
追加距離	<div><div>240.000</div><div>252.010</div><div>260.000</div><div>280.000</div><div>282.452</div><div>288.090</div><div>292.551</div><div>293.219</div><div>300.000</div><div>320.000</div><div>340.000</div><div>360.000</div><div>370.917</div><div>380.000</div><div>400.000</div><div>405.013</div><div>405.633</div><div>420.000</div><div>423.440</div><div>425.114</div><div>440.000</div><div>450.000</div><div>460.000</div><div>462.622</div><div>463.146</div><div>465.980</div><div>468.812</div><div>480.000</div><div>492.737</div></div>															
単距離	<div><div>0.000</div><div>12.010</div><div>7.990</div><div>20.000</div><div>2.452</div><div>5.638</div><div>4.561</div><div>0.568</div><div>6.781</div><div>20.000</div><div>20.000</div><div>20.000</div><div>10.917</div><div>9.083</div><div>20.000</div><div>5.013</div><div>0.617</div><div>14.370</div><div>3.140</div><div>1.974</div><div>14.886</div><div>19.029</div><div>0.971</div><div>2.622</div><div>0.523</div><div>2.835</div><div>2.832</div><div>11.188</div><div>12.737</div></div>															
測点	<div><div>No.12</div><div>+12.01</div><div>No.13</div><div>No.14</div><div>IP.146</div><div>+8.09</div><div>IP.149</div><div>IP.150</div><div>No.15</div><div>No.16</div><div>No.17</div><div>No.18</div><div>IP.165</div><div>No.19</div><div>No.20</div><div>IP.180</div><div>IP.181</div><div>No.21</div><div>+3.14</div><div>IP.187</div><div>No.22</div><div>IP.196</div><div>No.23</div><div>IP.197</div><div>IP.198</div><div>+5.98</div><div>IP.199</div><div>No.24</div><div>EP</div></div>															

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画縦断図(2)
縮 尺	A1:SH=1:500 SV=1:100 A3:SH=1:1000 SV=1:200
図面番号	130
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

下流水路計画横断図(1) S=1 : 100 (A1)
S=1 : 200 (A3)

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地（仮称）用地造成工事
施工場所	平 戸 市 田 平 町 上 亀 免
図面種類	下流水路計画横断面図 (I)
縮 尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	131
平戸市文化観光商工部 商工物産課	



下流水路計画横断図(2)

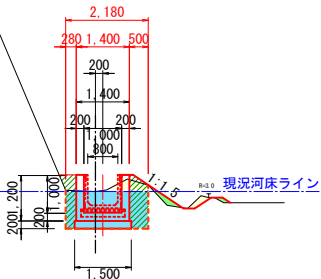
S=1 : 100 (A1)
S=1 : 200 (A3)

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画横断図(2)
縮 尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	132
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

IP44

GH=72.75
FH=72.387

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.3 m2
■	水替床掘	2.1 m2
■	埋 戻	1.1 m2
■	盛 土	0.1 m2
	基面整正	1.50 m



NO. 4

GH=74.92
FH=

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m

現況利用

NO. 4+2.02

GH=76.48
FH=

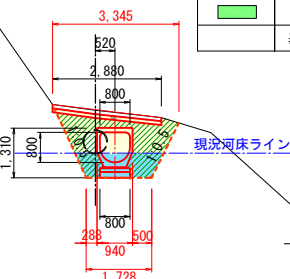
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m

現況利用

NO. 4+9.45

GH=78.53
FH=77.148

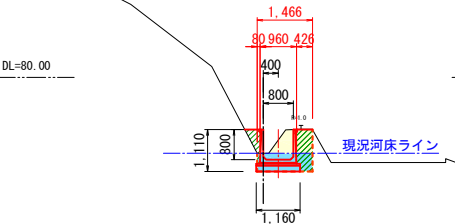
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	2.5 m2
■	水替床掘	1.3 m2
■	埋 戻	2.7 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.80 m



NO. 5

GH=77.99
FH=77.819

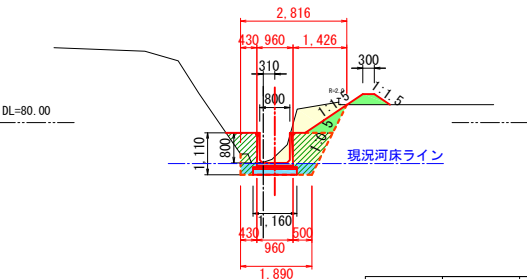
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.6 m2
■	水替床掘	0.7 m2
■	埋 戻	0.6 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1.16 m



IP63

GH=78.95
FH=78.929

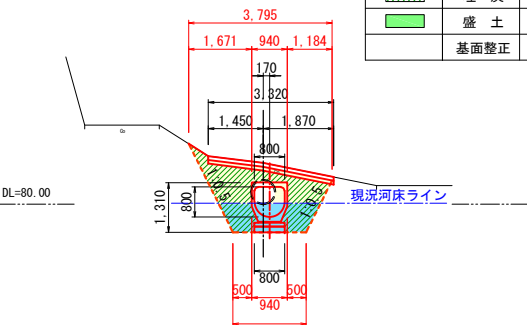
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	1.9 m2
■	水替床掘	0.6 m2
■	埋 戻	1.4 m2
■	盛 土	0.5 m2
	基面整正	1.16 m



NO. 6

GH=81.09
FH=79.656

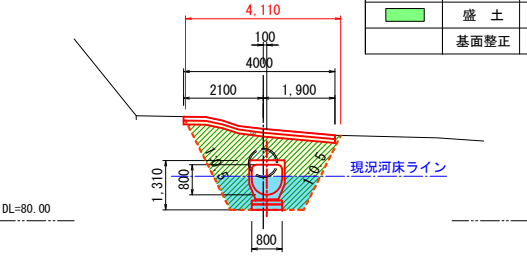
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	2.7 m2
■	水替床掘	1.8 m2
■	埋 戻	3.3 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.80 m



NO. 6+6.19

GH=82.43
FH=80.684

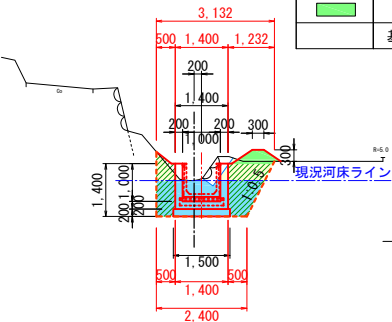
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	3.6 m2
■	水替床掘	2.1 m2
■	埋 戻	4.7 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.80 m



IP72

GH=81.61
FH=81.256

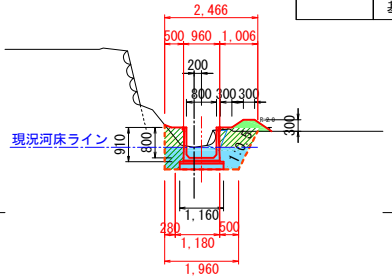
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.9 m2
■	水替床掘	2.5 m2
■	埋 戻	1.9 m2
■	盛 土	0.3 m2
	基面整正	1.50 m



NO. 6+14.37

GH=81.72
FH=81.448

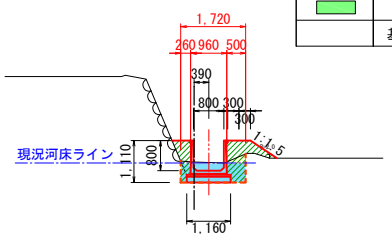
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.5 m2
■	水替床掘	1.2 m2
■	埋 戻	1.4 m2
■	盛 土	0.1 m2
	基面整正	1.16 m



NO. 7

GH=82.04
FH=81.808

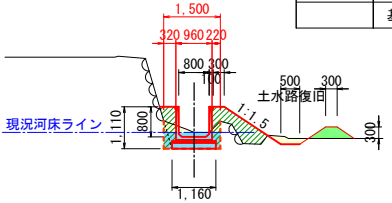
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.1 m2
■	水替床掘	0.9 m2
■	埋 戻	1.1 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1.16 m



NO. 7+11.18

GH=82.34
FH=82.216

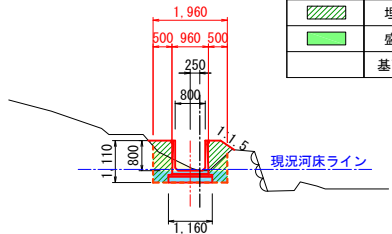
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.3 m2
■	水替床掘	0.7 m2
■	埋 戻	1.1 m2
■	盛 土	0.2 m2
	基面整正	1.16 m



NO. 8

GH=82.63
FH=82.630

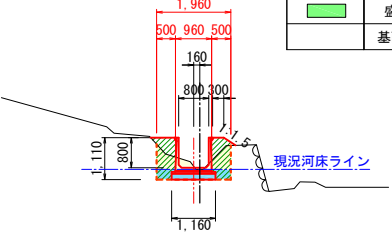
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.4 m2
■	水替床掘	0.6 m2
■	埋 戻	1.1 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1.16 m



NO. 8+0.70

GH=82.62
FH=82.662

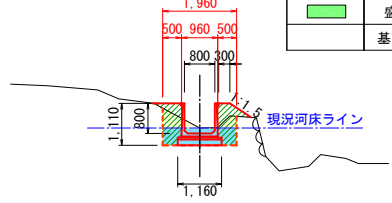
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.6 m2
■	水替床掘	0.5 m2
■	埋 戻	1.1 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1.16 m



NO. 8+7.56

GH=83.13
FH=82.984

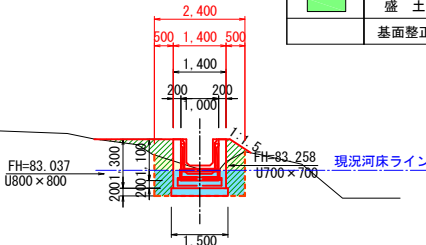
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.4 m2
■	水替床掘	0.9 m2
■	埋 戻	1.1 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1.16 m



IP93

GH=83.16
FH=83.037
83.258

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.5 m2
■	水替床掘	1.6 m2
■	埋 戻	1.6 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1.16 m



下流水路計画横断図(3)

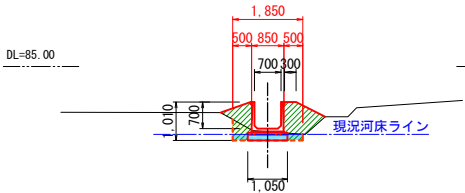
S=1:100(A1)
S=1:200(A3)

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画横断図(3)
縮 尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
図面番号	133
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

NO. 8+9. 57

GH=83. 27
FH=83. 358

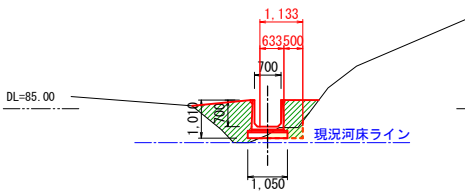
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0. 2 m2
■	水替床掘	0. 3 m2
■	埋 戻	1. 2 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1. 05 m



NO. 9

GH=84. 30
FH=84. 527

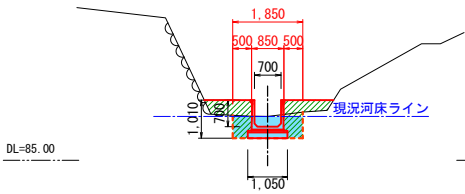
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0. 3 m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	1. 7 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1. 05 m



IP104

GH=86. 16
FH=85. 892

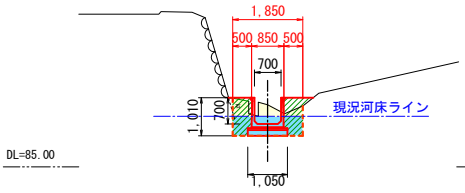
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0. 1 m2
■	水替床掘	1. 1 m2
■	埋 戻	1. 5 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1. 05 m



IP105

GH=86. 64
FH=86. 134

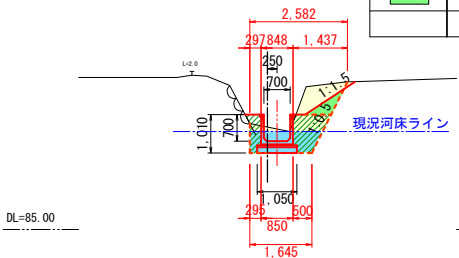
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0. 4 m2
■	水替床掘	1. 0 m2
■	埋 戻	1. 0 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1. 05 m



NO. 10

GH=87. 71
FH=87. 337

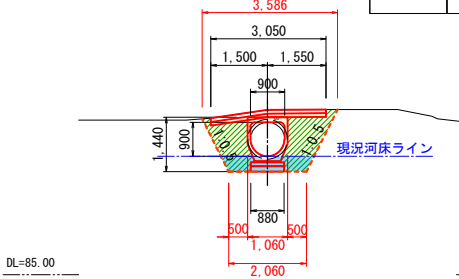
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	1. 3 m2
■	水替床掘	1. 0 m2
■	埋 戻	1. 0 m2
■	盛 土	0. 2 m2
	基面整正	1. 05 m



NO. 10+4. 47

GH=89. 36
FH=88. 130

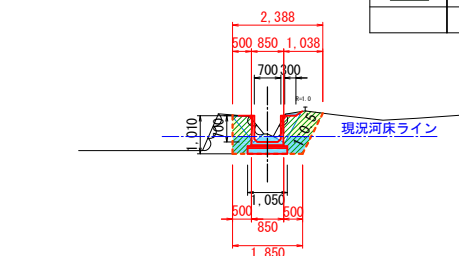
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	2. 4 m2
■	水替床掘	0. 9 m2
■	埋 戻	2. 5 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0. 88 m



NO. 10+14. 18

GH=89. 48
FH=89. 264

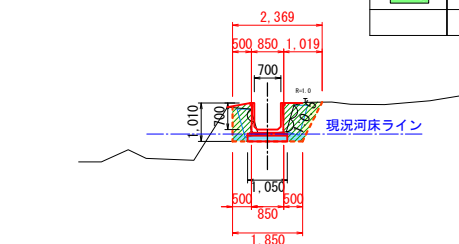
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0. 5 m2
■	水替床掘	0. 8 m2
■	埋 戻	1. 3 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1. 05 m



NO. 11

GH=89. 83
FH=89. 928

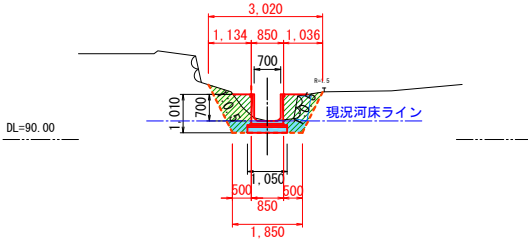
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0. 4 m2
■	水替床掘	0. 3 m2
■	埋 戻	1. 2 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1. 05 m



NO. 11+4. 95

GH=90. 49
FH=90. 492

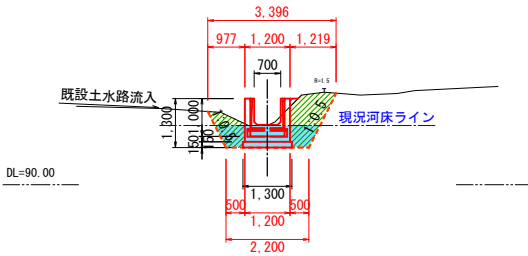
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0. 7 m2
■	水替床掘	0. 6 m2
■	埋 戻	1. 6 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1. 05 m



NO. 11+14. 48

GH=91. 56
FH=91. 578

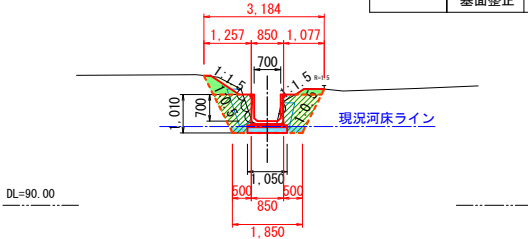
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	1. 1 m2
■	水替床掘	1. 4 m2
■	埋 戻	1. 8 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	1. 30 m



NO. 12

GH=92. 08
FH=92. 226

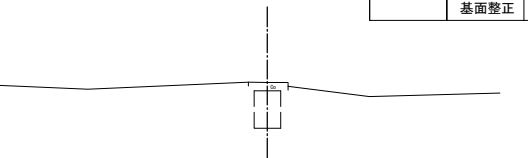
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	1. 2 m2
■	水替床掘	0. 3 m2
■	埋 戻	1. 5 m2
■	盛 土	0. 3 m2
	基面整正	1. 05 m



NO. 12+12. 01

GH=95. 09
FH=

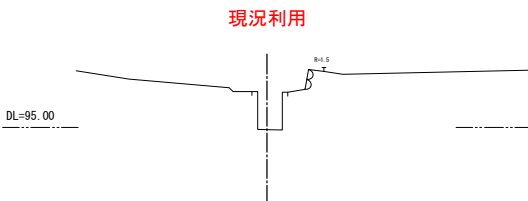
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m



NO. 13

GH=94. 94
FH=

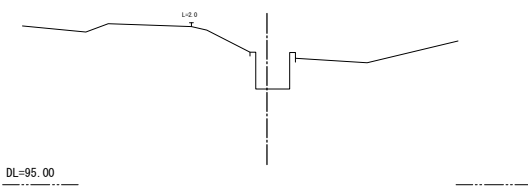
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m



NO. 14

GH=97. 53
FH=

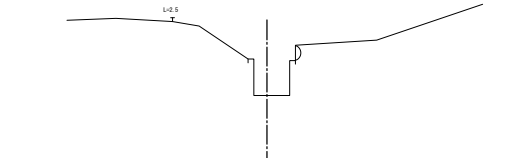
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m



IP146

GH=97. 90
FH=

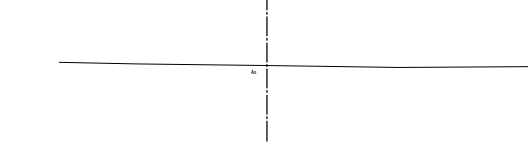
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m



NO. 14+8. 09

GH=100. 54
FH=

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m



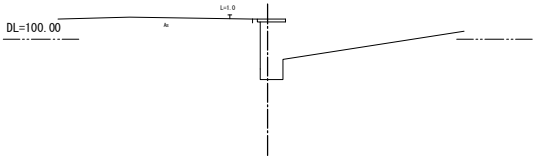
下流水路計画横断図(4) S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画横断図(4)
縮 尺	A1:S=1/100 A3:S=1/200
図面番号	134
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

IP149
GH=98.93
FH=

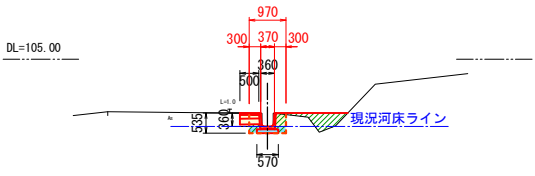
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m

現況利用



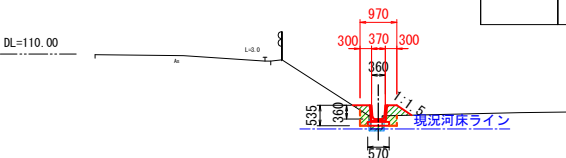
NO. 17
GH=103.22
FH=103.220

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.2 m2
■	水替床掘	0.1 m2
■	埋 戻	0.6 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



NO. 20
GH=108.02
FH=108.285

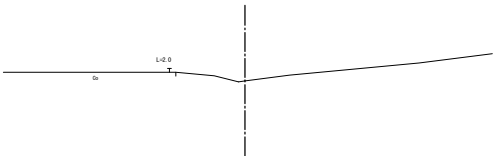
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.2 m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	0.4 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



NO. 21+3.14
GH=111.85
FH=

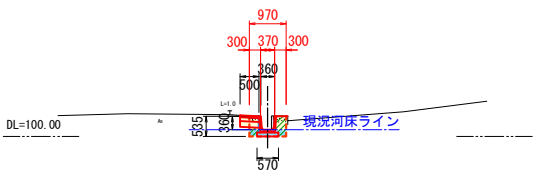
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m

現況利用



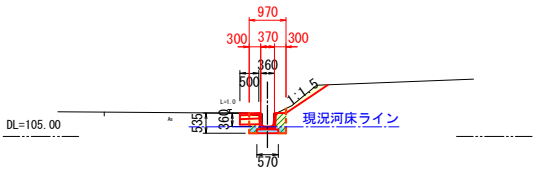
IP150
GH=100.17
FH=100.17

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.3 m2
■	水替床掘	0.1 m2
■	埋 戻	0.2 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



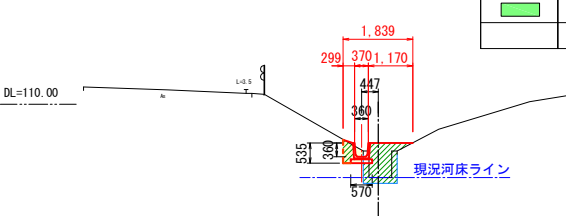
NO. 18
GH=105.25
FH=105.258

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.4 m2
■	水替床掘	0.1 m2
■	埋 戻	0.2 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



IP180
GH=108.06
FH=108.615

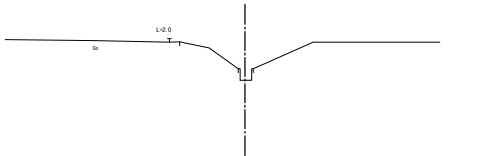
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.3 m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	1.0 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



IP187
GH=111.38
FH=

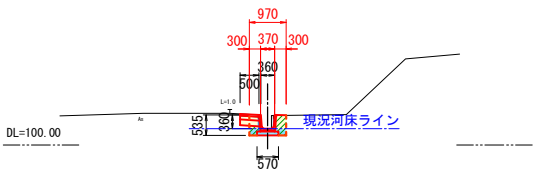
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m

現況利用



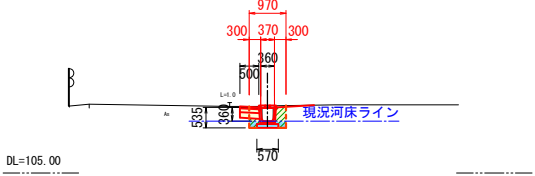
NO. 15
GH=100.43
FH=100.430

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.3 m2
■	水替床掘	0.1 m2
■	埋 戻	0.2 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



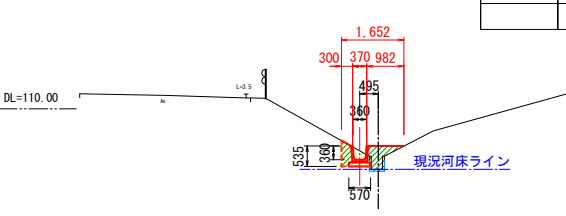
IP165
GH=106.78
FH=106.370

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.3 m2
■	水替床掘	0.1 m2
■	埋 戻	0.2 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



IP181
GH=108.40
FH=108.656

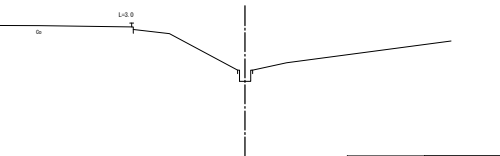
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.4 m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	0.5 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



NO. 22
GH=113.19
FH=

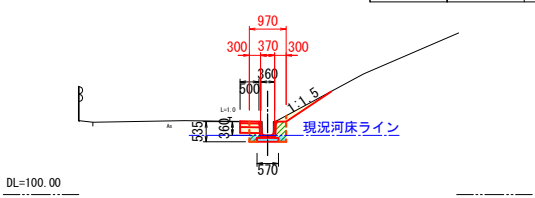
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	- m2
■	水替床掘	- m2
■	埋 戻	- m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	- m

現況利用



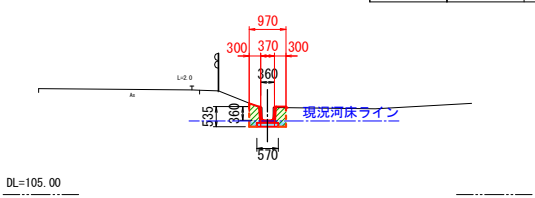
NO. 16
GH=101.57
FH=101.570

記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.4 m2
■	水替床掘	0.1 m2
■	埋 戻	0.2 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m

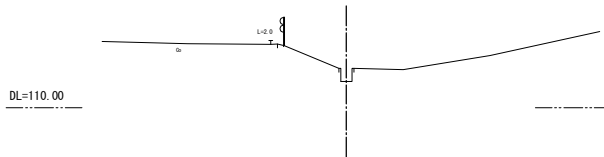


NO. 19
GH=106.95
FH=106.968

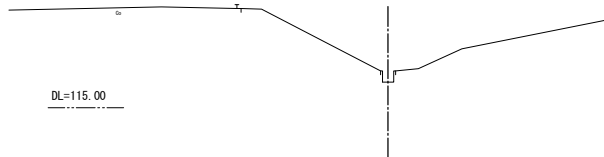
記 号	種 別	数 量
■	床 掘	0.2 m2
■	水替床掘	0.1 m2
■	埋 戻	0.3 m2
■	盛 土	- m2
	基面整正	0.57 m



現況利用

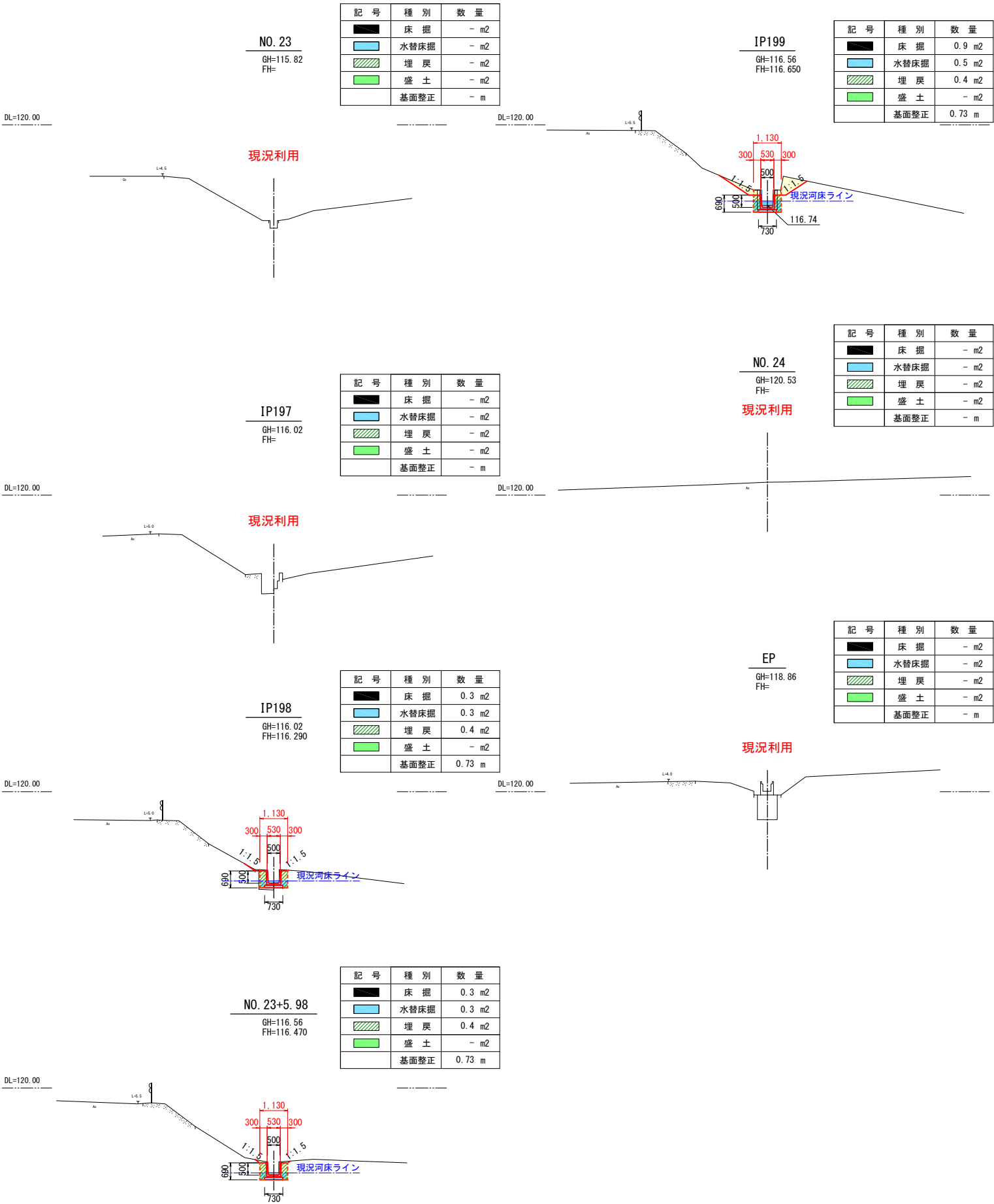


現況利用



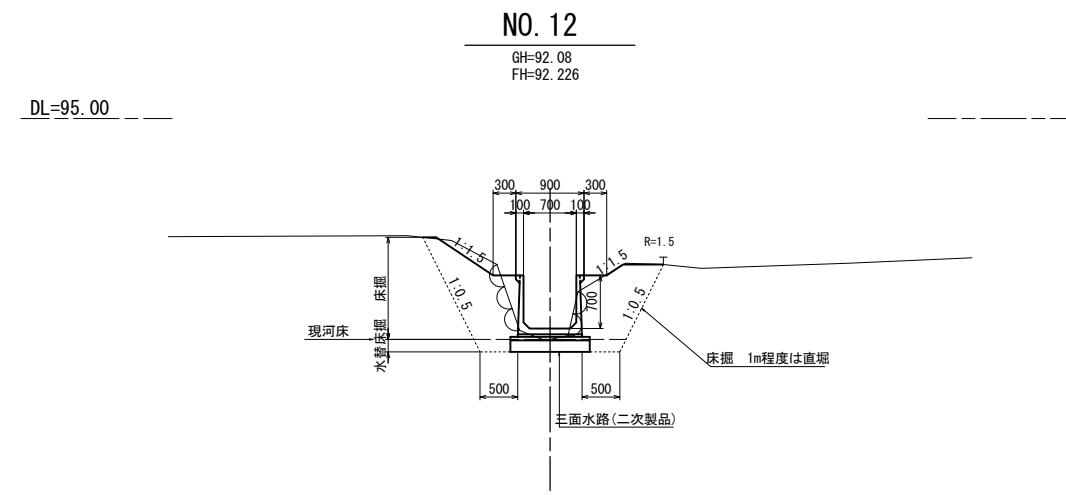
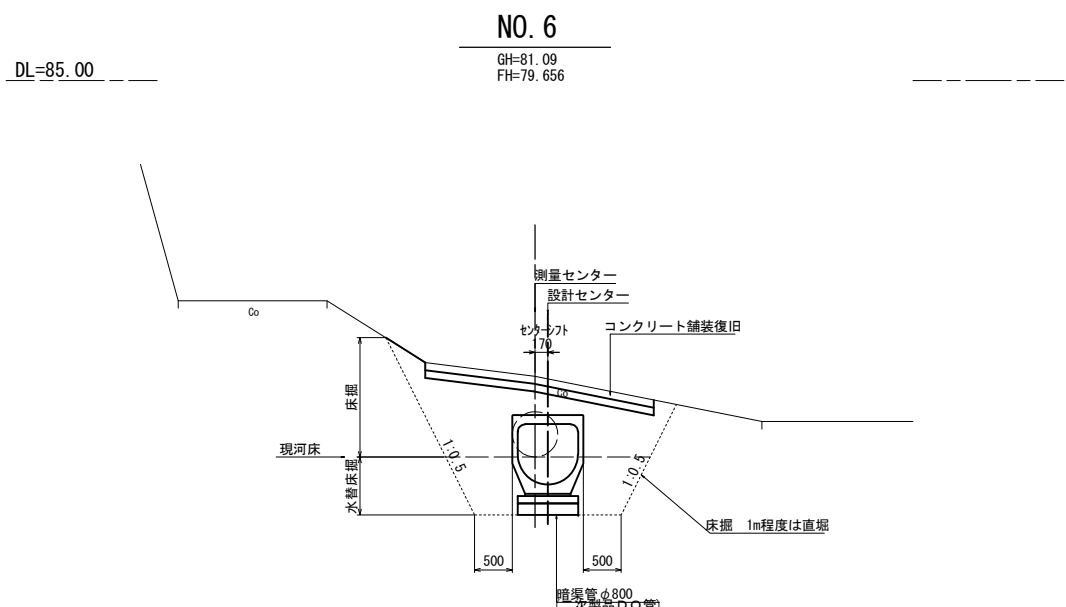
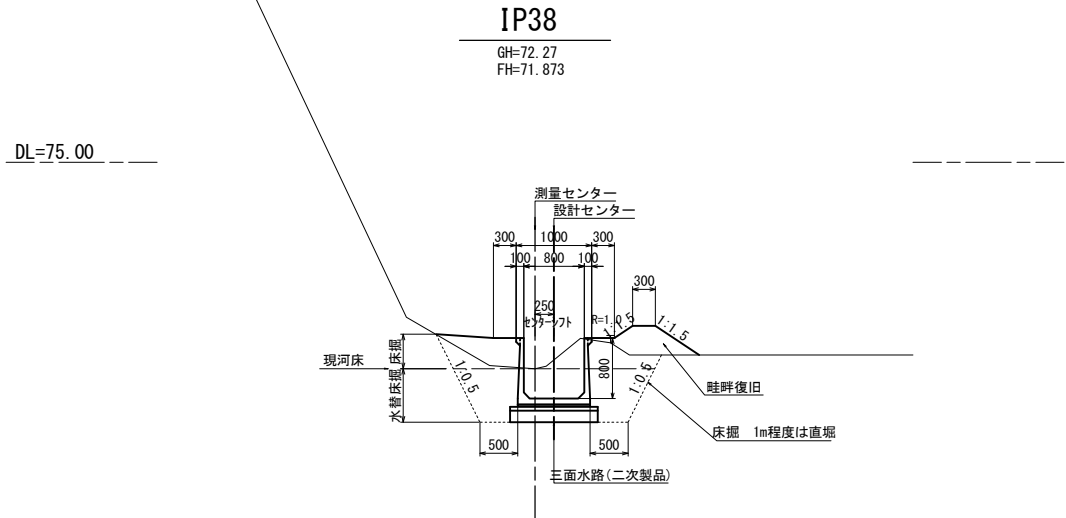
下流水路計画横断図(5) S=1 : 100 (A1)
S=1 : 200 (A3)

年 度	令和 7 年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路計画横断図(5)
縮 尺	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200
図面番号	135
平戸市文化観光商工部 商工物産課	



下流水路標準横断図 S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)

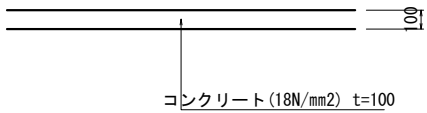
※1. 設計センターは、兩岸の地形状況や流水法線を考慮しシフトしている。
※2. 周辺状況により床掘が大きくなる場合は、余堀幅は調整する。



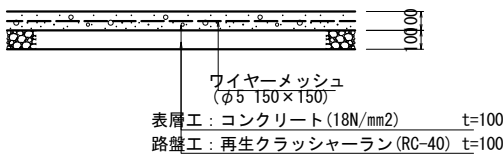
年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路標準横断図
縮 尺	A1 : S=1/50 A3 : S=1/100
図面番号	136
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

下流水路構造図(1)

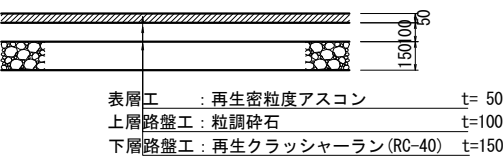
底版張コンクリート S=1 : 20



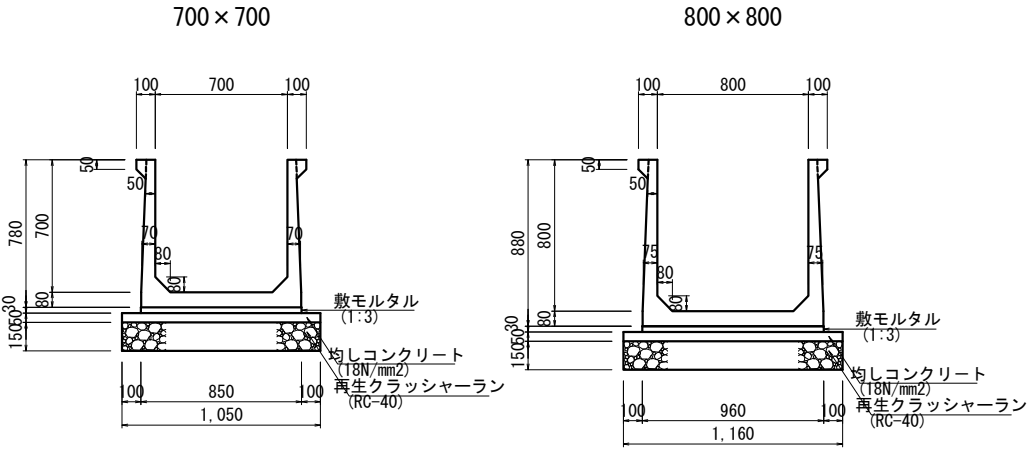
コンクリート舗装復旧 S=1 : 20



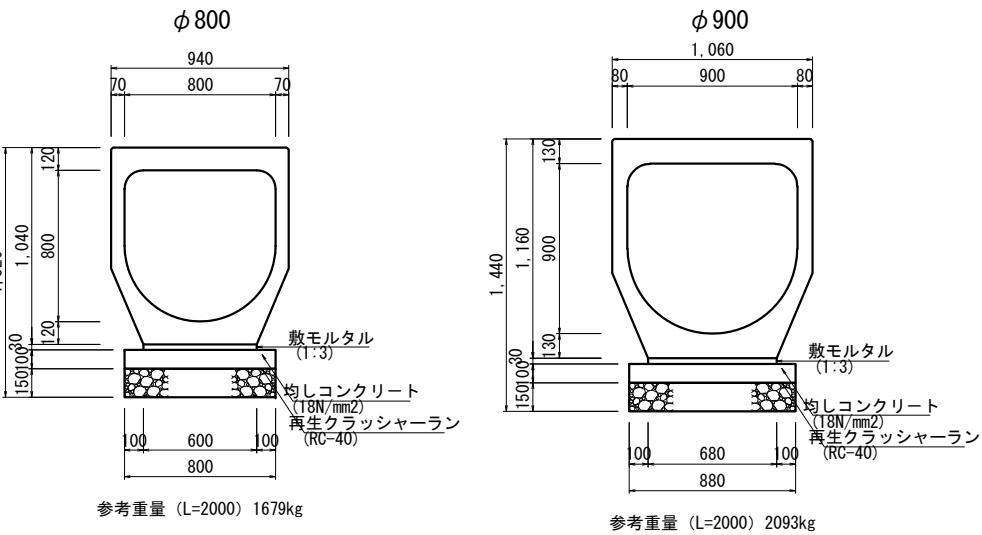
アスファルト舗装復旧 S=1 : 20



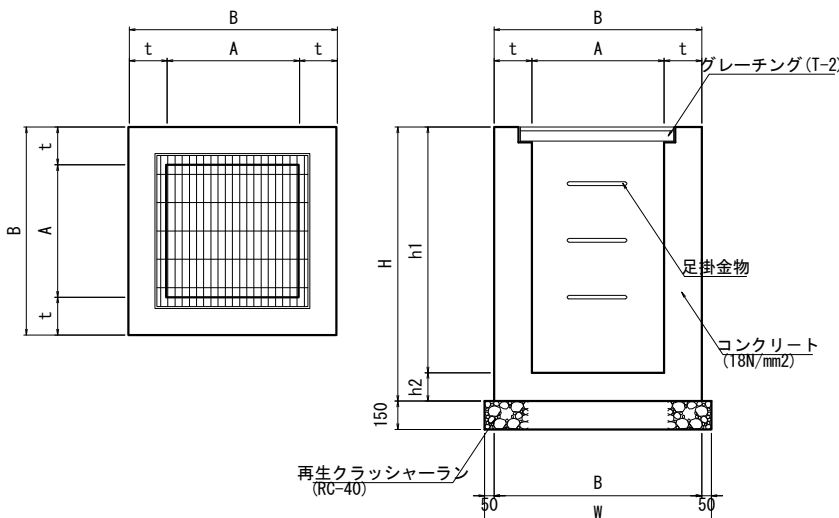
三面水路 S=1 : 20



暗渠管 S=1 : 20



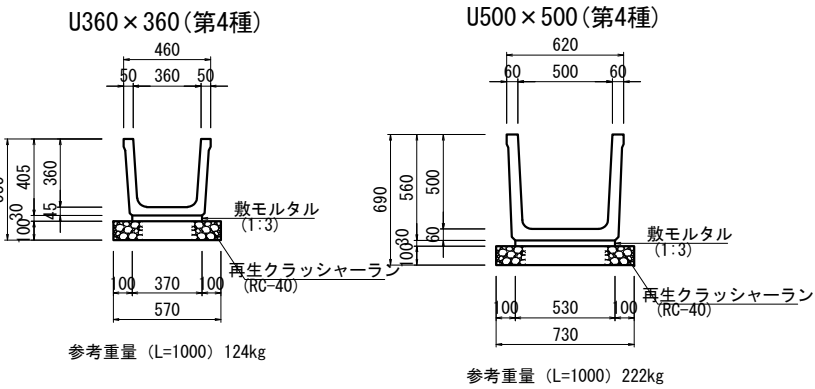
集水桝 S=1 : 20



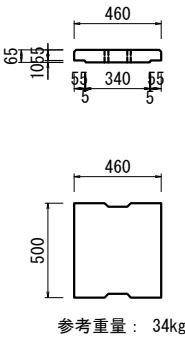
※内空高が1.0m以上の場合に、足掛金物を設置すること。

寸法表									
呼び名	A	t	B	h1	h2	H	W	グレーチング	参考重量 (kg/組)
□600× 700	600	150	900	700	150	850	1000	720×720×44	35. 1
□900×1000	900	200	1300	1000	150	1150	1400	1020×1020×56	86. 9
□900×1700	900	200	1300	1700	150	1850	1400	1020×1020×56	86. 9
□1000×1000	1000	200	1400	1000	150	1150	1500	1120×1120×56	105. 5
□1000×1200	1000	200	1400	1200	150	1350	1500	1120×1120×56	105. 5
□1000×1400	1000	200	1400	1400	150	1550	1500	1120×1120×56	105. 5
□1000×1500	1000	200	1400	1500	150	1650	1500	1120×1120×56	105. 5
□1000×1800	1000	200	1400	1800	150	1950	1500	1120×1120×56	105. 5
□1100×1400	1100	200	1500	1400	150	1550	1600	1238×1238×61	133. 7
□1100×1800	1100	200	1500	1800	150	1950	1600	1238×1238×61	133. 7

U型側溝 S=1 : 20



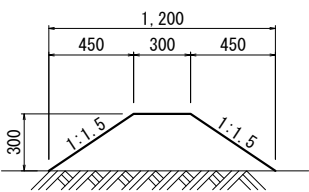
360用蓋板



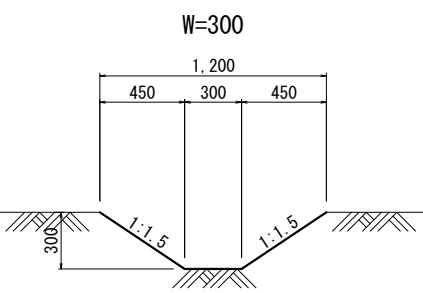
配水管 S=1 : 10



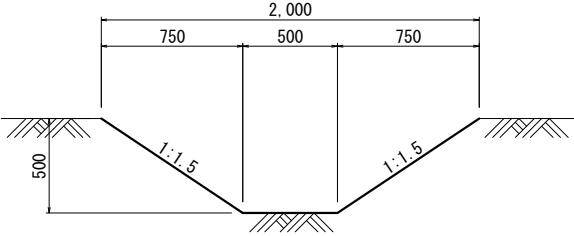
畦畔復旧 S=1 : 20



土水路復旧 S=1 : 20

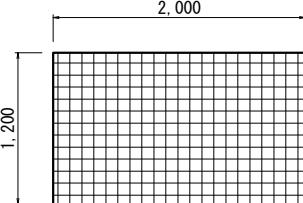


W=500

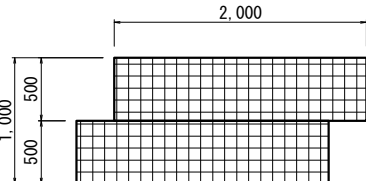


フトンカゴ S=1 : 30
2段 (2000×1200×500)

正面図



断面図

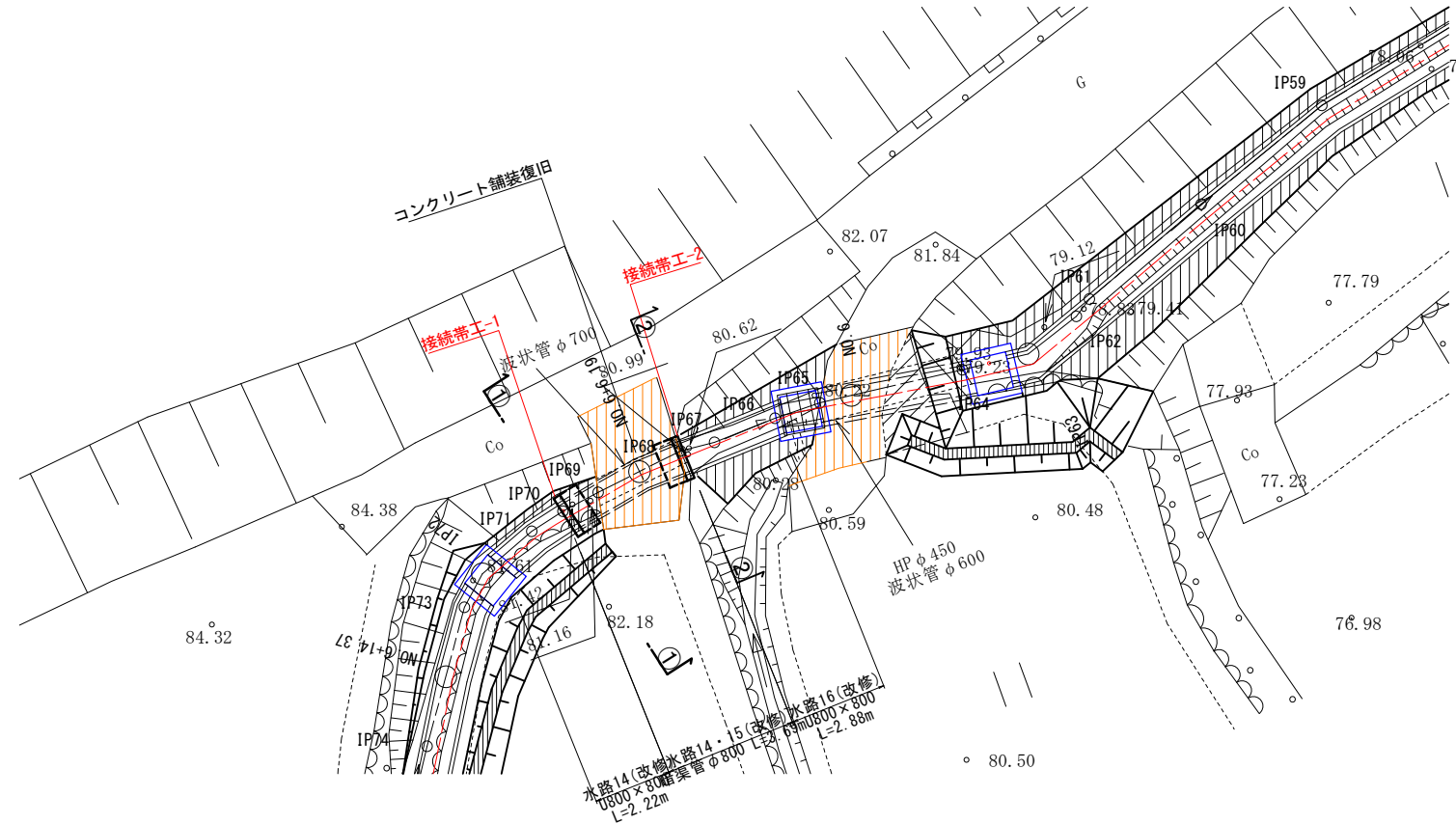


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路構造図(1)
縮 尺	図 示
図面番号	137

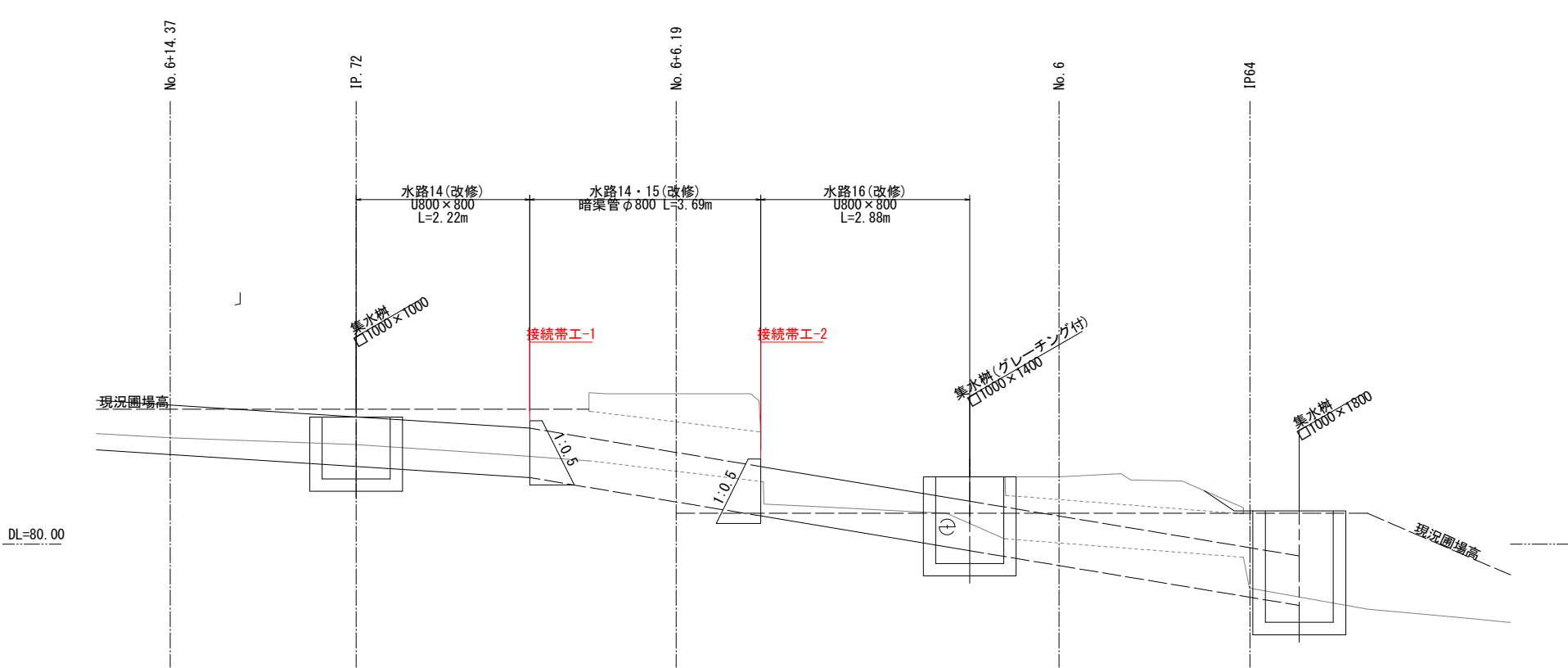
下流水路構造図(2)

接続帯工詳細図

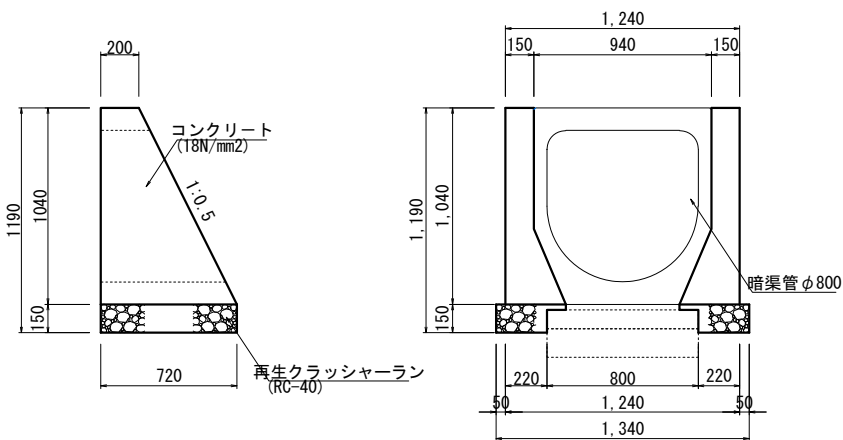
平面図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



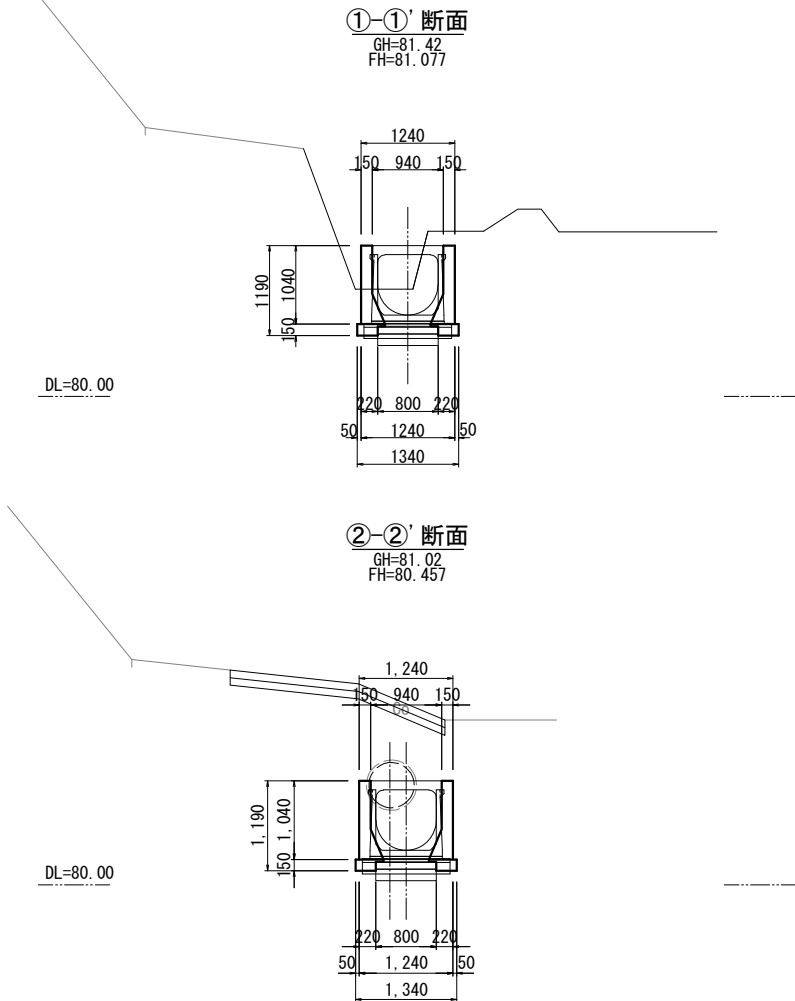
縦断面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



構造図 S=1:20



断面図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路構造図(2)
縮 尺	図 示
図面番号	138

S=1 : 500 (A1)
S=1 : 1,000 (A3)

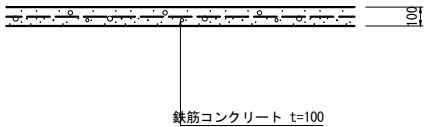


年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工集団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路 撤去平面図
縮 尺	A1：S=1/500 A3：S=1/1,000
図面番号	139
平戸市文化観光商工部 商工物産課	

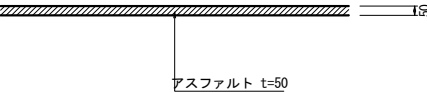
下流水路撤去構造図

S=1 : 20 (A1)
S=1 : 40 (A3)

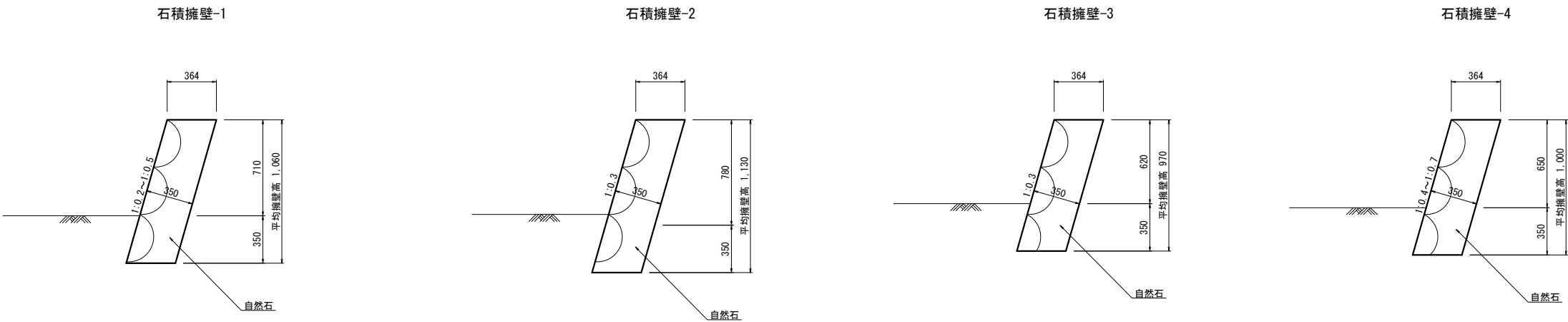
コンクリート舗装撤去 S=1 : 20



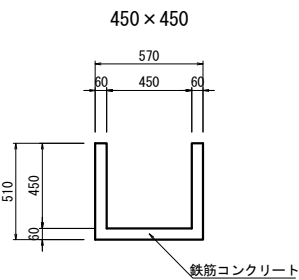
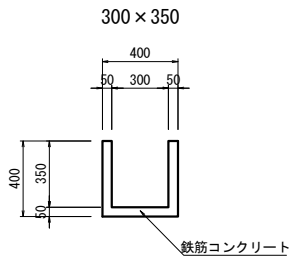
アスファルト舗装撤去 S=1 : 20



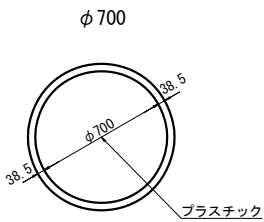
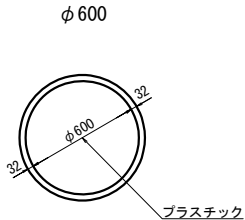
石積擁壁撤去 S=1 : 20



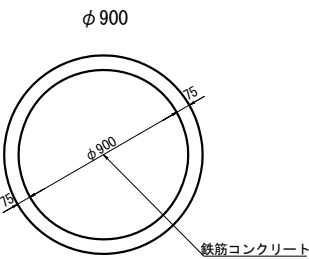
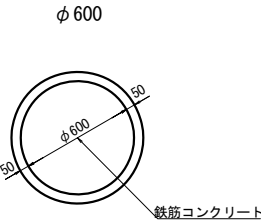
U型側溝撤去 S=1 : 20



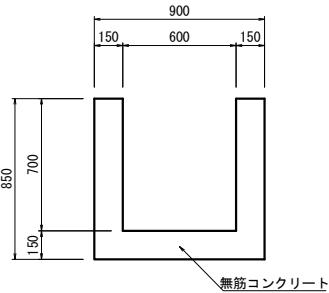
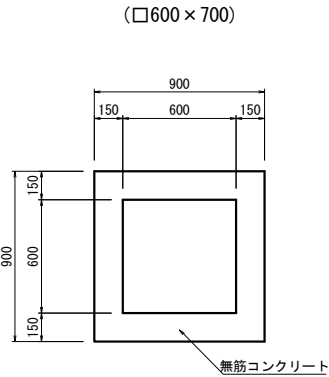
暗渠管撤去 S=1 : 20



HP管撤去 S=1 : 20



集水桝撤去 S=1 : 20



年 度	令和7年度
工 事 名	平戸市上亀工業団地(仮称)用地造成工事
施工場所	平戸市 田平町 上亀免
図面種類	下流水路撤去構造図
縮 尺	図 示
図面番号	140

